

平成 22 年度 老人保健事業推進費等補助金  
老人保健健康増進等事業

# 介護職員によるたんの吸引等の試行事業に関する 調査研究事業

## 中間報告書

株式会社日本能率協会総合研究所

平成 23 年 3 月



## 目 次

|                                |     |
|--------------------------------|-----|
| <b>第1章 調査研究の概要と実施状況</b> .....  | 1   |
| 1. 全体概要 .....                  | 1   |
| (1) 目的 .....                   | 1   |
| (2) 試行事業について .....             | 1   |
| (3) 本調査研究の活動内容 .....           | 1   |
| (4) 評価①、評価②の実施概要 .....         | 3   |
| (5) 本報告書について .....             | 4   |
| 2. 指導者講習 .....                 | 5   |
| (1) 実施概要 .....                 | 5   |
| (2) 参加者の属性 .....               | 6   |
| (3) 参加者アンケートの結果 .....          | 9   |
| 3. 基本研修(講義・演習) .....           | 14  |
| (1) 実施概要 .....                 | 14  |
| (2) 参加者の属性 .....               | 16  |
| (3) 基本研修・講義アンケートの結果 .....      | 19  |
| (4) 基本研修・演習アンケートの結果 .....      | 70  |
| 4. 実地研修 .....                  | 80  |
| (1) 実施概要 .....                 | 80  |
| (2) ケア実施対象者の属性 .....           | 81  |
| (3) 実地研修アンケート .....            | 85  |
| (4) ヒヤリハット・アクシデント報告 .....      | 85  |
| <b>第2章 試行事業の評価結果</b> .....     | 86  |
| 1. 評価①(基本研修から実地研修へ) .....      | 86  |
| (1) 基本研修・講義の評価方法(筆記試験) .....   | 86  |
| (2) 基本研修・講義の評価結果(筆記試験) .....   | 87  |
| (3) 基本研修・演習の評価方法(プロセス評価) ..... | 89  |
| (4) 基本研修・演習の評価結果(プロセス評価) ..... | 91  |
| 2. 評価②(実地研修からケアの試行へ) .....     | 102 |
| (1) 実地研修の評価方法(プロセス評価) .....    | 102 |
| (2) 実地研修の評価結果(プロセス評価) .....    | 104 |

|                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| <b>第3章 資料</b> .....              | 116 |
| 1. 指導者講習アンケート用紙.....             | 116 |
| (1) 参加者アンケート.....                | 116 |
| 2. 基本研修アンケート用紙・評価票用紙(一部抜粋).....  | 118 |
| (1) 介護職員・属性アンケート.....            | 118 |
| (2) 介護職員・講義アンケート.....            | 119 |
| (3) 介護職員・演習プロセス評価票(自己評価票).....   | 120 |
| (4) 介護職員・演習アンケート.....            | 121 |
| (5) 指導者・講義アンケート(講師用).....        | 122 |
| (6) 指導者・演習プロセス評価票(指導者評価票).....   | 124 |
| (7) 指導者・演習アンケート(講師用).....        | 125 |
| 3. 実地研修アンケート用紙・評価票用紙等(一部抜粋)..... | 126 |
| (1) 介護職員・演習プロセス評価票(自己評価票).....   | 126 |
| (2) 介護職員・実地研修アンケート.....          | 127 |
| (3) 介護職員・ヒヤリハット・アクシデント報告.....    | 128 |
| (4) 指導者・演習プロセス評価票(指導者評価票).....   | 130 |
| (5) 指導者・実地研修アンケート(指導看護師).....    | 131 |

# 第1章 調査研究の概要と実施状況

## 1. 全体概要

### (1) 目的

居宅、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホーム、有料老人ホーム、障害者（児）施設等において、たんの吸引等のケアの提供に対するニーズが高まっている状況に対応するため、看護職員と介護職員等が連携・協働して安心・安全なケアを提供するための方策について検討する必要がある。

そこで、本調査研究では、試行事業の取り組みの中で、安心・安全なケアを提供するための方策の一つである介護職員に対する研修内容（講義・テキストの内容や難易度、適切な研修時間や演習回数等）、講義・シミュレーション演習・実地研修の評価方法や評価基準、ケア技術習熟状況の評価方法などに関して、その妥当性・適切性についての検討を行うことを目的としている。

### (2) 試行事業について

これまで、当面のやむを得ない必要な措置（実質的違法性阻却）として、居宅・特別養護老人ホーム・特別支援学校において、介護職員等がたんの吸引・経管栄養のうちの一定の行為を実施することを運用によって認めてきた。しかしながら、居宅や、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホーム、有料老人ホーム、障害者（児）施設等において、たんの吸引等のケアに対するニーズが高まっている状況に対応するため、看護職員と介護職員等が連携・協働して、ケア実施対象者にとって安心・安全なケアを提供するための方策について検討する必要があった。

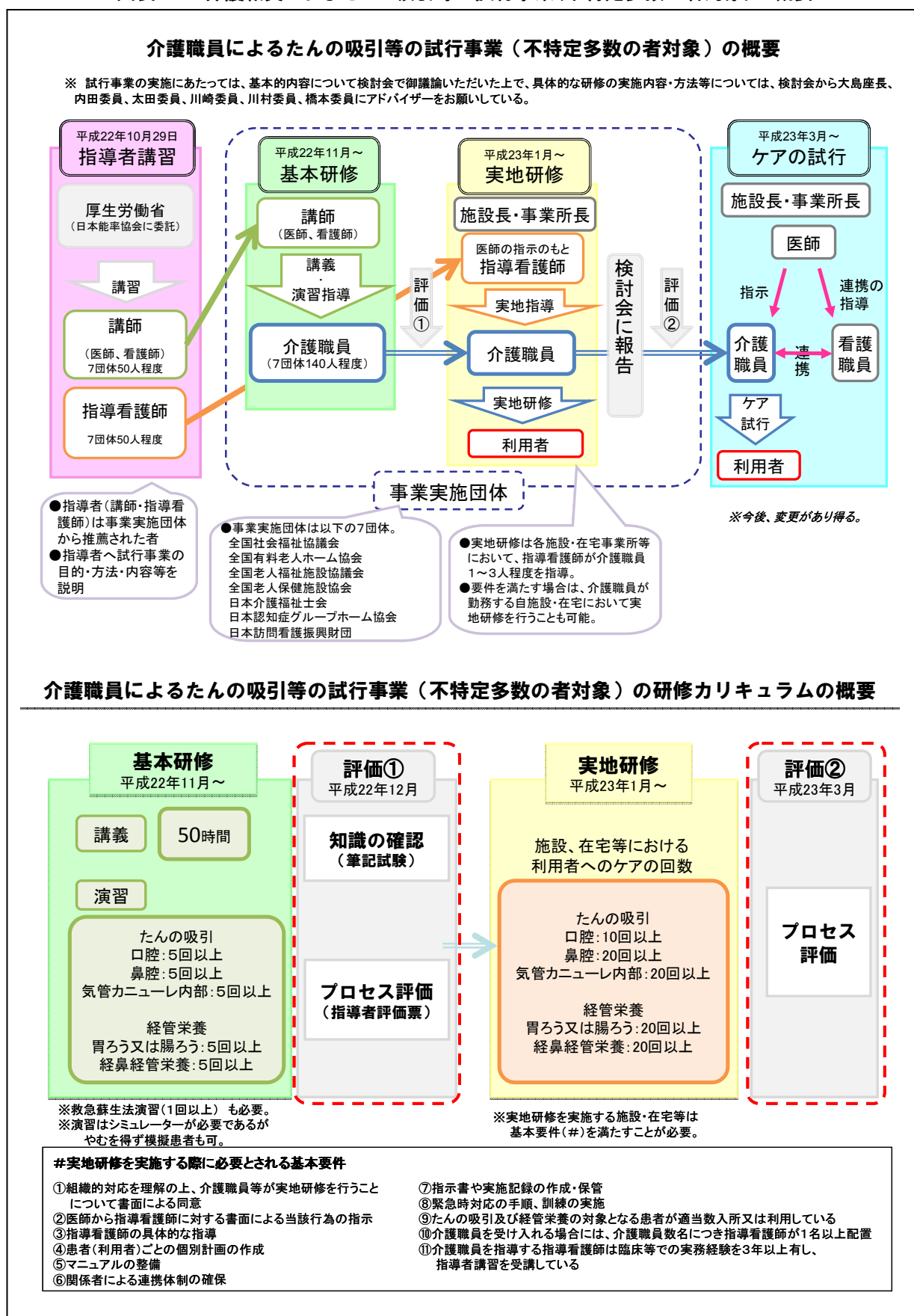
このため、厚生労働省では、平成22年7月から「介護職員等によるたんの吸引等の実施のための制度の在り方に関する検討会」（以下「検討会」という。）を開催し、介護職員等が、医師・看護職員との連携・協力の下に、たんの吸引や経管栄養を行うことについて、法制度の在り方、適切な実施のために必要な研修の在り方、試行的に行う場合の事業の在り方について検討を行って来た。その議論を踏まえ、一定の研修の修了や、医師・看護職員と介護職員等との連携・協働等の条件の下で試行事業を実施し、研修の効果や医療安全の確保などについての検証を目的に「介護職員によるたんの吸引等の試行事業」（以下「試行事業」という。）を行うことになった。

### (3) 本調査研究の活動内容

本調査研究では、不特定多数の者を対象に実施される試行事業（図表1-1）の進捗に合わせて、試行事業の実施団体の運営支援を行うとともに、研修用講義テキストの作成・編集、指導者講習の開催、試行事業の実施状況の記録、試行事業における介護職員の実施ケアの評価データの収集・分析、参加関係者へのアンケート調査の実施・分析を行った（図表1-2）。

なお、研修用講義テキストの作成・編集、並びに指導者講習の開催に関しては、聖隷クリストファー大学大学院教授・川村佐和子先生、並びに「介護職員によるたんの吸引等の試行事業における研修内容・評価の策定に関する研究 検討委員会」メンバー他に講師・執筆協力を得ている。

図表 1-1. 介護職員によるたんの吸引等の試行事業(不特定多数の者対象)の概要



図表 1-2. 試行事業と本調査研究の活動内容

| 試行事業            | 実施時期・期間                | 参加・関係者                                                    | 本調査研究の活動内容                                                                                                |
|-----------------|------------------------|-----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施団体説明会         | 平成22年10月18日            | (実施7団体事務局)                                                | ● 試行事業・指導者講習試の説明・協力依頼                                                                                     |
| 指導者講習           | 平成22年10月29日            | ● 講師<br>● 指導看護師                                           | ● 指導者講習の開催<br>● アンケート調査票作成、実施・分析                                                                          |
| 基本研修<br>(講義・演習) | 平成22年11月5日<br>～12月15日  | ● 講師<br>● 指導看護師<br>● 介護職員                                 | ● 研修用講義テキストの作成・編集<br>● 実施7団体の運営支援<br>● 実施状況の記録・分析<br>● 演習プロセス評価票の回収・分析<br>● アンケート調査票作成、実施・分析<br>● 筆記試験の実施 |
| 評価①             | 平成22年12月22日            | (委員会での検討)                                                 | ● 筆記試験・演習評価結果の検討<br>● 実地研修への進行判定                                                                          |
| 実施団体説明会         | 平成22年12月24日            | (実施7団体事務局)                                                | ● 評価①結果、実地研修の説明と協力依頼                                                                                      |
| 実地研修            | 平成23年1月1日<br>～3月6日     | ● 指導看護師<br>● ケア実施介護職員<br>● ケア実施対象者                        | ● 実施7団体の運営支援<br>● 実施状況の記録・分析<br>● 研修プロセス評価票の回収・分析<br>● アンケート調査票作成、実施・分析<br>● ヒヤリハット・アクシデント報告の回収・分析        |
| 評価②             | 平成23年3月11日             | (委員会での検討)                                                 | ● 実地研修の評価結果の検討<br>● ケアの試行への進行判定                                                                           |
| 実施団体説明会         | 平成23年3月25日             | (実施7団体事務局)                                                | ● 評価②結果、ケアの試行の説明と協力依頼                                                                                     |
| ケアの試行           | 平成23年3月下旬<br>～5月中旬(予定) | ● ケア実施介護職員<br>● 医師<br>● 連携看護職員<br>● 施設長・事業所長<br>● ケア実施対象者 | ● 実施7団体の運営支援(予定)<br>● 実施状況の記録・分析(予定)<br>● 記録票の作成・回収・分析(予定)<br>● アンケート調査票作成、実施・分析(予定)                      |

#### (4) 評価①、評価②の実施概要

試行事業の基本研修から実地研修への進行、実地研修からケアの試行への進行については、それぞれに「評価①」と「評価②」によって、次ステップへの進行のための判定基準の検討と試行事業参加介護職員の個々の進行判定を行った。

この「評価①」と「評価②」の検討のために、委員会「介護職員によるたんの吸引等の試行事業における研修の評価委員会」(以下、「本委員会」という。)を設置し、平成22年12月22日並びに平成23年3月11日の計2回開催した。本委員会構成メンバーは下表の通り(図表1-3)。

※本委員会構成メンバーは、委員長を含め委員全員が「検討会」の構成委員であり、「検討会」において、試行事業のアドバイザーを任命されている。

図表 1-3. 介護職員によるたんの吸引等の試行事業における研修の評価委員会 メンバー

##### <委員>

(五十音順)

|     | 委員名    | 所属                 |
|-----|--------|--------------------|
| 委員長 | 太田 秀樹  | 医療法人アスミス 理事長       |
| 委員  | 内田 千恵子 | 社団法人日本介護福祉士会 副会長   |
|     | 川崎 千鶴子 | 特別養護老人ホームみずべの苑 施設長 |
|     | 川村 佐和子 | 聖隷クリストファー大学 大学院教授  |

<オブザーバー> 厚生労働省老健局高齢者支援課

<事務局> 株式会社日本能率協会総合研究所

#### **(5) 本報告書について**

本調査研究は、試行事業の日程に合わせ、平成 23 年度までを含めた 2 年度事業の 1 年目として位置付けられ、本報告書も「中間報告書」としてのとりまとめ・報告書である。

なお、試行事業の全工程終了時に、最終的なまとめとしての考察を加え、最終報告書を作成する予定である。



## 2. 指導者講習

### (1) 実施概要

#### ①開催日

平成 22 年 10 月 29 日 11:00～16:30 (5 時間 30 分)

#### ②開催場所

機械振興会館 (東京都港区芝公園)

#### ③対象者

介護職員によるたんの吸引等の試行事業実施団体から推薦された下記の者

①基本研修における講師 (医師又は看護師)

②実地研修における指導看護師 (施設・在宅等に勤務する看護師)

#### ④参加者数

102 名 (医師 14 名、看護師 88 名)

#### ⑤実施内容(プログラム)

下表のプログラムに基づき、座学による 1 日研修を実施した。

図表 2-1.指導者講習プログラム

| 時間          | 内容                                                                               | 担当                                  |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| 9:30～       | 受付開始                                                                             |                                     |
| 11:00～12:00 | ■介護職員等によるたんの吸引等の実施のための制度の在り方に関する検討会について<br>■介護職員によるたんの吸引等の試行事業について<br>□質疑応答・意見交換 | 厚生労働省老健局<br>高齢者支援課(猿渡)              |
| 12:00～13:00 | 昼 食                                                                              |                                     |
| 13:00～13:10 | 挨拶                                                                               | 厚生労働省老健局<br>川又振興課長                  |
| 13:10～13:50 | ■介護職員によるたんの吸引等の試行事業における研修カリキュラムについて<br>(1)基本研修の講義用テキストについて<br>□質疑応答              | 川村 佐和子 先生<br>聖隷クリストファー大学<br>大学院教授   |
| 13:50～14:30 | (2)たんの吸引のケア実施の手引きについて<br>□質疑応答                                                   | 原口 道子 先生<br>東京都神経科学総合<br>研究所 研究員    |
| 14:30～14:40 | 休 憩                                                                              |                                     |
| 14:40～15:10 | (3)経管栄養のケア実施の手引きについて<br>□質疑応答                                                    | 佐野 けさ美 先生<br>スギメディカル㈱<br>看護事業開発担当部長 |
| 15:10～15:30 | (4) ヒヤリハット等及びアクシデント報告について<br>□質疑応答                                               | 厚生労働省老健局<br>老人保健課(北澤)               |
| 15:30～16:00 | ■介護職員によるたんの吸引等の試行事業における評価・アンケートの提出について                                           | ㈱日本能率協会総合<br>研究所                    |
| 16:00～16:30 | 全体を通しての質疑応答                                                                      | 厚生労働省                               |

#### ⑥参加者アンケート

調査方法：講習会会場にて質問紙を手渡し配布・その場で回収

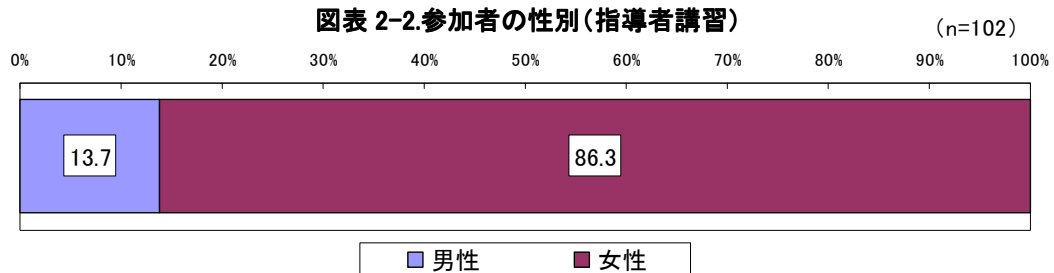
回収数：102 票 (回収率 100%)

調査票：P116～P117 参照

## (2) 参加者の属性

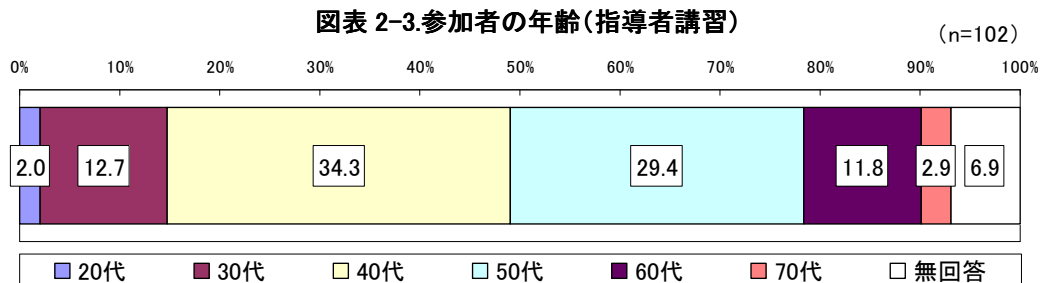
### ①性別

男性 13.7%に対し、女性 86.3%。



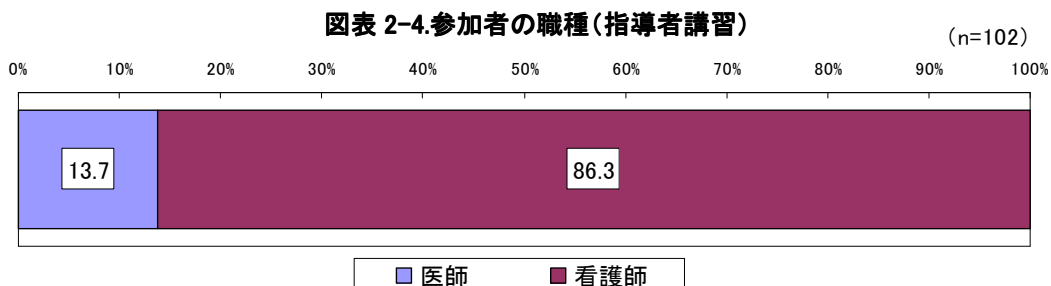
### ②年齢

40代と50代がともに約3割と全体の6割を占め、平均年齢は49.1歳（最年少26歳～最年長74歳）。



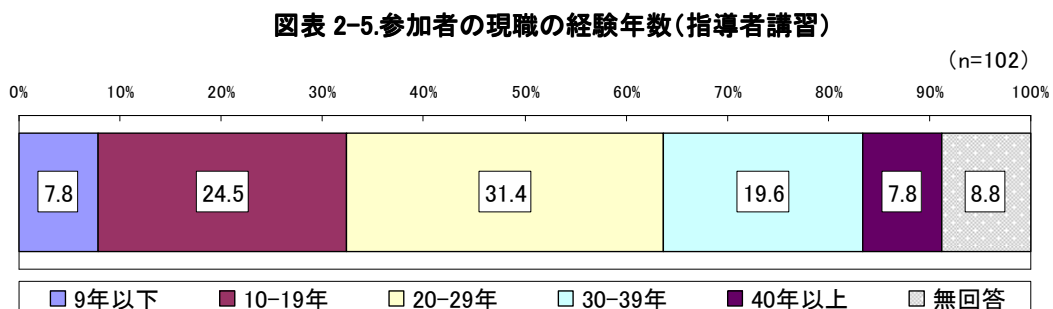
### ③現在の職種

医師 13.7%（全員男性）に対し、看護師 86.3%（全員女性）。



### ④現職の経験年数

「20～29年」が約3割と最も多く、平均経験年数は23.3年（最短4年～最長47年）。



## ⑤所属団体(実施7団体)

当初予定では1団体10名前後で総勢60名の見込みであったが、当日は1団体24名を最大に計102名の参加を得た。また、医師の参加は全体の1割程度であったが、参加医師0人の団体も3団体あった。

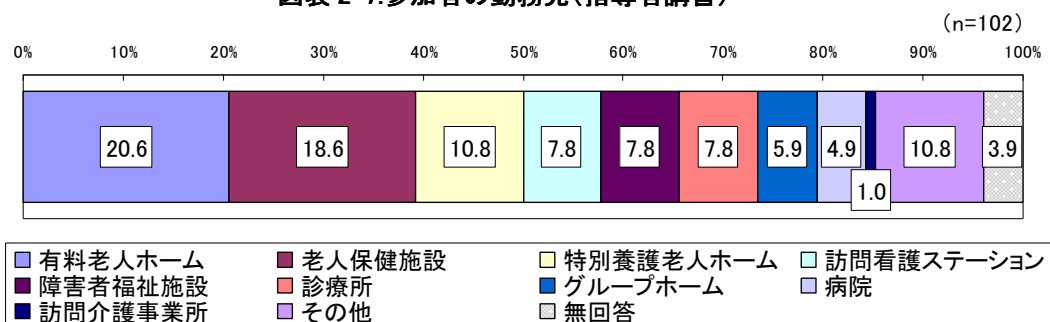
図表 2-6.参加者の所属団体(指導者講習)

| 実施7団体          | 職種 |     | 参加者計<br>(人) |
|----------------|----|-----|-------------|
|                | 医師 | 看護師 |             |
| 全国社会福祉協議会      | 3  | 10  | 13          |
| 全国有料老人ホーム協会    | 0  | 24  | 24          |
| 全国老人福祉施設協議会    | 0  | 11  | 11          |
| 全国老人保健施設協会     | 5  | 10  | 15          |
| 社団法人日本介護福祉士会   | 1  | 9   | 10          |
| 日本認知症グループホーム協会 | 5  | 14  | 19          |
| 日本訪問看護振興財団     | 0  | 10  | 10          |
| 合計             | 14 | 88  | 102         |

## ⑥勤務先

「有料老人ホーム」と「老人保健施設」がともに約2割と最も多く、次いで「特別養護老人ホーム」の1割であった。実施7団体への加盟施設・事業所の比率に応じ、病院・診療所などは少なく、高齢者施設や介護サービス施設・事業所の比率が高かった。

図表 2-7.参加者の勤務先(指導者講習)



## ⑦たんの吸引等のケアが必要な利用者の受持ち人数

参加者（講師・指導看護師）に対し、「たんの吸引等のケアが必要な方（利用者）の受持ち人数（最近1ヶ月）」をケアの種類別に聞いた。無回答の比率が約2～3割と多かった。

「0人」、すなわち最近1ヵ月では一人も担当していないという比率が「たんの吸引・気管カニューレ内部」では40.2%、「経管栄養・経鼻」では28.4%と高い結果となった。

「たんの吸引・口腔内」「たんの吸引・鼻腔内」「経管栄養・胃ろう・腸ろう」でも、同様に「0人」が約12～16%を占めている。

「0人」を除くと、いずれのケアにおいても「1～4人」が一番高い比率となっており、講師・指導看護師の勤務先でも、ケア対象者数は多くはないことが伺える結果となった。

なお、5人以上の合計では、「たんの吸引・口腔」と「経管栄養・胃ろう・腸ろう」は、それぞれ約36%、約34%と3割を超えており、この2つのケアを必要とする方（ケア対象者）は比較的多いものと推測される。

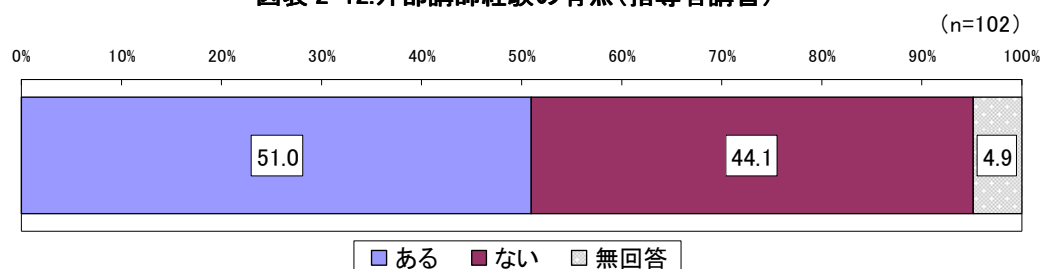
図表 2-11.たんの吸引等のケアが必要な利用者の受持ち人数(指導者講習) (n=102)

| ケアの種類           | 0人    | 1～4人  | 5～9人  | 10～19人 | 20人以上 | 無回答   |
|-----------------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
| たんの吸引・口腔内       | 11.8% | 31.4% | 22.5% | 10.8%  | 2.9%  | 20.6% |
| たんの吸引・鼻腔内       | 15.7% | 34.3% | 15.7% | 7.8%   | 2.9%  | 23.5% |
| たんの吸引・気管カニューレ内部 | 40.2% | 13.7% | 6.9%  | 2.9%   | 2.0%  | 34.3% |
| 経管栄養・胃ろう・腸ろう    | 13.7% | 27.5% | 18.6% | 11.8%  | 3.9%  | 24.5% |
| 経管栄養・経鼻         | 28.4% | 31.4% | 5.9%  | 2.0%   | 1.0%  | 31.4% |

## ⑧講師経験の有無

所属施設内研修以外での外部講師の経験の有無を聞いたところ、「外部講師の経験有り」は51.0%であった。約4割強の方は、外部講師の経験がない。

図表 2-12.外部講師経験の有無(指導者講習)



### (3) 参加者アンケートの結果

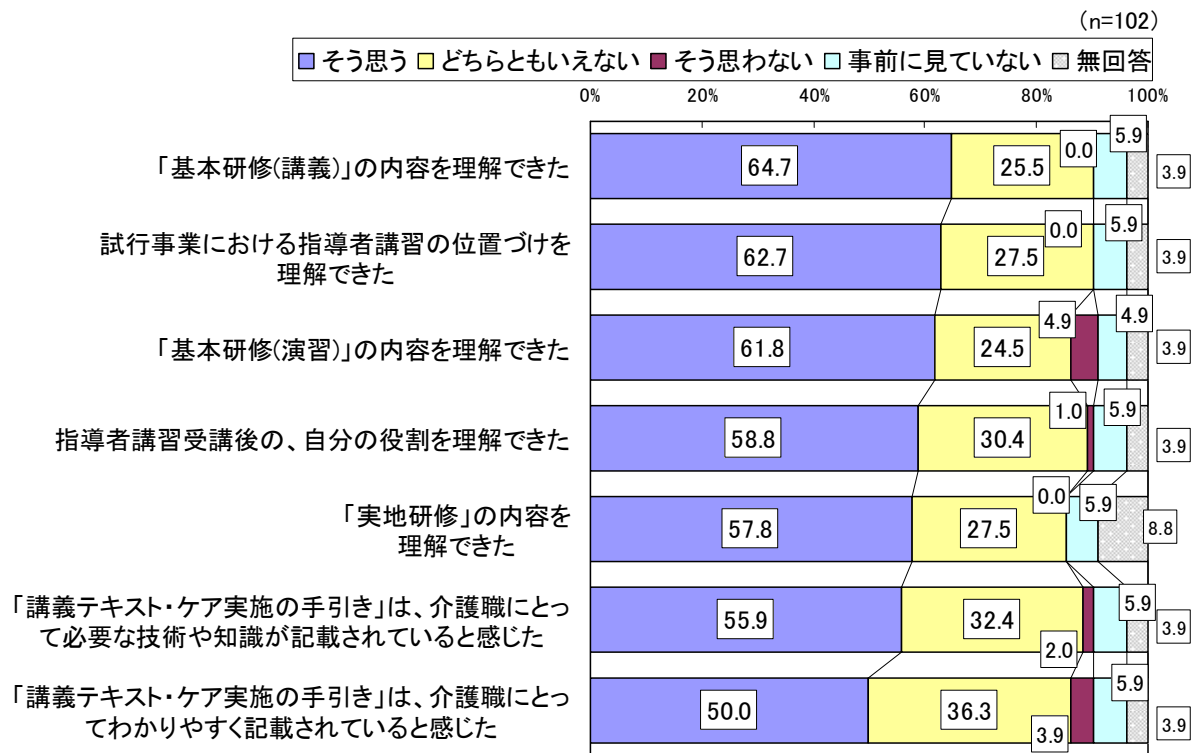
#### ①事前送付資料の評価

指導者講習の参加者全員に対し、講習日1週間前に使用資料を送付し、事前に目を通しておくことをお願いした。参加者は、医師・看護職としての通常業務の中で、全体の8割～9割の方が事前に読んで頂けた（「事前に見ていない」約5～6%、「無回答」約4～9%を全体から除くと、約85%～91%は事前に目を通したと推測できる）。

全ての項目で肯定評価（「そう思う」）が半数を超えており、一方で、否定評価（「そう思わない」）は0～約5%程度と極端に少ない。事前送付資料の内容に関しては高い理解が得られた。

なお、評価項目の中では、「（介護職にとっての）テキスト・手引きの分かりやすさ」と「（介護職にとっての）必要な技術・知識の記載」の肯定評価の比率が、それぞれ50%と約56%で、他の項目に比べて低く、この点に関しては、内容・表現の見直し・改訂が課題と言える。

図表 2-13.事前送付資料の評価(指導者講習)



## ②記載不足の技術・知識(自由回答)

「講義テキスト・ケア実施の手引き」については、介護職にとって分かりやすく記載されていると感じたかに対し、「どちらともいえない」または「そう思わない」の回答した者 41 名に「記載が不足している技術・知識」について聞き、36 件の回答を得た。

回答としては、全体のページ数の多さ、写真・図表・イラスト類の少なさ、医学専門用語の難しさなどについて指摘する回答が多く、具体的な記載不足項目については、『人工呼吸器の説明』、『基本的な体の構造』、『薬品の内容・量』などが挙げられた。

図表 2-14.記載が不足していると思われる技術・知識(指導者講習)

### 【講義テキスト】

- ・概ね良いと思うのですが医学的専門用語の解説集のようなものがあると振りかえりに役立つと感じました。
- ・記載の不足といった指摘事項ではなく、介護者の層（格差）がある中、どのくらいの理解を期待できるのか…、はっきりとイメージがつかめない。
- ・人工呼吸器を実際に見た事のない職員はイメージがわからないと思われる。特に非侵襲的人工呼吸は、講義でわかりやすい説明が必要かと思われる。
- ・基本的な体の構造について知識がないため、文章での説明では、なぜそうなるのかがわかりにくいと思う。対象者の体の変化についても、観察項目は基本といっても、個別的なものが大きいのが、施設、在宅だと言うからです。
- ・薬品の内容、量に関しての記載もできれば必要かと思います。看護学基礎技術の項を参照し図や絵を入れての資料、手順書が見やすくわかりやすいと思います。文章のみでは誤解を生じやすいです。

### 【ケア実施の手引き】

- ・文字の説明に加え、図や写真があればもっとわかりやすいと思います。文字だけの手順はわかりにくい！！
- ・技術毎にSTEP 1～STEP 7（準備から評価記録）まで書かれているが大半は重複記述である。軸となる口腔の吸引をていねいに記述し、説明していただく方が紙の量も減り、見易い。また、手順は文字だけで書かれており、イメージしにくい。イラストを用いて説明してほしい。

## ③指導者講習の受講評価

「自分の役割の理解」「研修カリキュラムの理解」「指導者講習の位置付けの理解」「講義『基本研修の講義用テキスト』の理解」など、上位 5 項目は肯定評価（「そう思う」）が 7 割以上と受講直後の評価は非常に高かった（図表 2-15）。

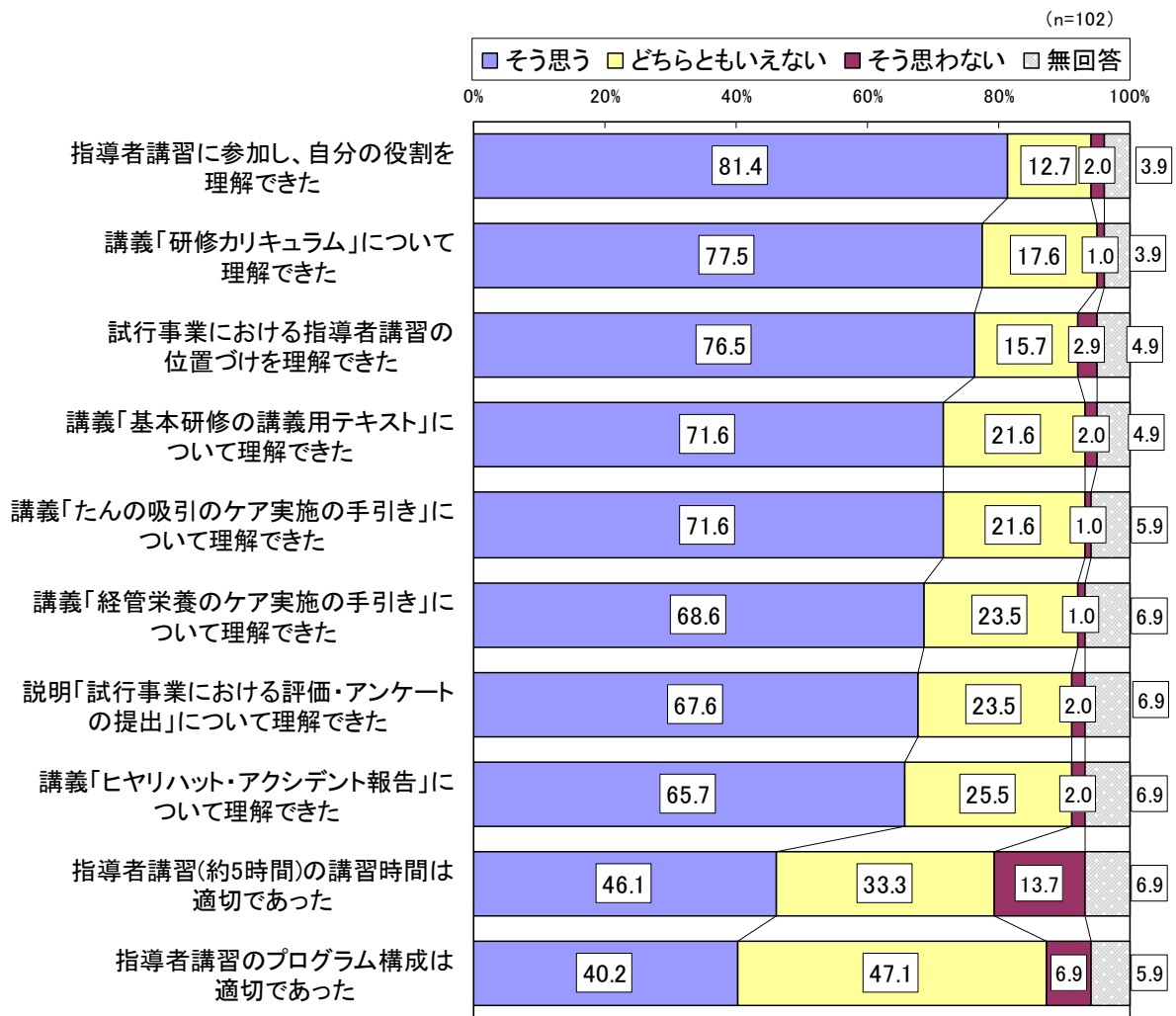
なお、前問の事前送付資料の評価結果と比較すると、「指導者講習の位置付けの理解」は 62.7%から 76.5%へ、「自分の役割の理解」は 58.8%から 81.4%となどの項目で、受講後にはそれぞれ約 14 ポイント、約 23 ポイント増加している。

また、「講習時間の適切性」と「講習プログラム構成の適切性」の 2 項目については、肯定評価（「そう思う」）の比率が約 4～5 割と、他の項目に比べ 20 ポイント程度も低い。

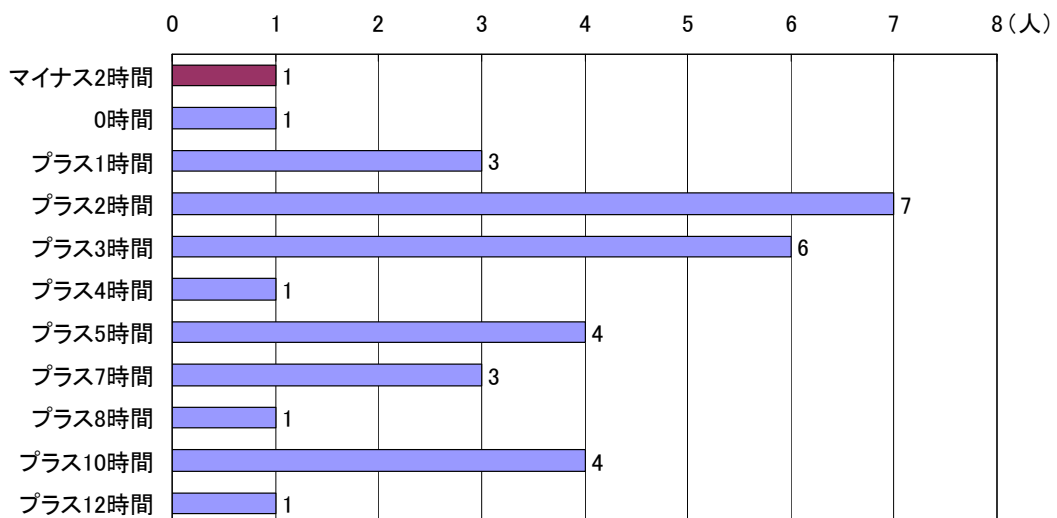
## ④講習の追加希望時間(自由回答)

講習時間については、「どちらともいえない」または「そう思わない」の回答者 48 名に対し、追加希望時間を聞いた。追加時間の回答があった 32 名の平均時間は 4.3 時間であった（図表 2-16）。現行 5 時間半に加え約 4 時間の講習時間の追加が望まれている（図表 2-16）。

図表 2-15.受講後の個別評価(指導者講習)

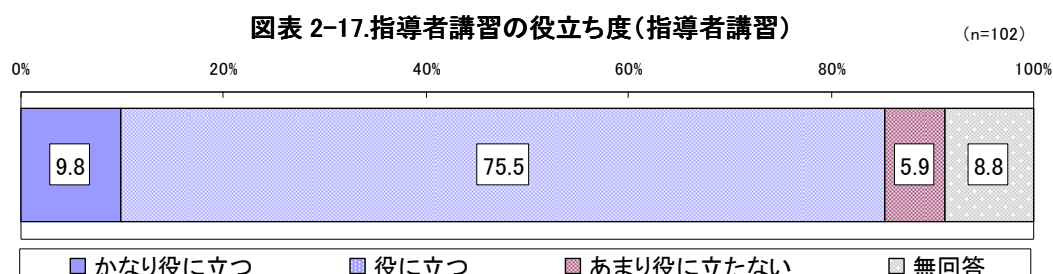


図表 2-16.講習の追加希望時間(指導者講習) 平均4.3時間(n=32)



## ⑤指導者講習の役立ち度

講習受講後の総合的な評価として、「基本研修（講義・演習）、実地研修の実施に向けての指導者講習の役立ち度」を聞いたところ、「かなり役立つ」の9.8%に加え、「役に立つ」75.5%と、両者合わせて全体の約85%の参加者が、指導者講習を肯定的に評価した。



## ⑥もっと詳しく聞きたかった点(自由回答)

指導者講習において「もっと詳しく聞きたかった点・指導ポイント」について聞き、38件の回答を得た。

回答としては、『指導のポイントを、もっと具体的に詳しく説明してほしい。』『安全性の担保について、もう少し強調して説明してもよい』『必要物品を揃えての演習指導』などの意見が挙げられた。

**図表 2-18.もっと詳しく聞きたかった点(指導者講習)**

- ・安全性の担保の部分をもう少し、わかりやすく強調して説明してもよいのではないかと思った。
- ・実地研修の指導や評価票の書き方等、もっと具体的に説明してほしい。できれば、必要物品等そろえて、実際に演習をしてほしい。
- ・家族・Drの同意書ひな形を示してほしい。評価基準の示し方を詳しく説明してほしい。
- ・全体の概要はわかったが指導のポイントを整理した説明もききたかった。(時間の関係上ガイドラインをサラッと流しただけなので)
- ・全体的にかけあしだったので、もっと詳しく指導のポイントなどについて聞きたかった。

## ⑦疑問や不安点(自由回答)

基本研修（講義・演習）や実地研修を行うにあたって、疑問や不安を感じていることについて聞き、69件の回答を得た。

回答としては、『受講生である介護職員の経験・能力のバラツキによる習得状況の差の可能性』『長期の研修期間や長時間の演習設定に対応するための講師・指導看護師・介護職員の日程調整の難しさ』『講師間での、教える内容や指導方法の統一性の維持に対する危惧』『全体の研修期間の短さ』など、様々な意見が挙げられた。

**図表 2-19.疑問や不安点(指導者講習)**

- ・介護職員によるばらつきによって結果が左右されることが予測されますので、今後そのあたりをどのように評価対応していくかも課題と思います。
- ・受講生の経験もいろいろであると思われる。特にグループホームにおける今まで経験は、少ない人が多いのではないかと。基本研修の講義で、その内容をすべて理解されるかどうかと思われる。
- ・想像以上のボリュームで、業務の合間やプライベートの時間を大分裂かないといけ



ないな、と思うと同時に、介護職員も評価（可否のある）があるので、理解しやすいよう講義ができるかどうかとても不安で責任を感じます。

- ・非常にスケジュールがタイトである（予想以上に）にもかかわらず講義内容が細かいので自分自身、内容を把握できるか心配。
- ・講義の内容が講師間で統一できるのか
- ・現場の訪問との調整が必要で、介護職員の方の実地指導の同席指導の時間の確保が心配です。
- ・指導する側にとっても、また介護士にとってもなれないこと（初めての試みですから当然ですが…）であり、慎重に結果を導く必要、重要でもあり、やはり期間が少ないのではないかと思います。私がこの研修に重みを感じているのとは反対に、かけこみで進んでいく様で不安です。

## ⑧試行事業への意見・要望(自由回答)

試行事業への意見・要望については、45 件の回答を得た。

回答としては、試行事業の意義・位置付け、あるいは介護保険制度全体への意見、研修時間や演習回数への要望、事務局への励ましや自身の決意表明など、様々な意見が挙げられた。

図表 2-20.試行事業への意見・要望(指導者講習)

- ・やらないといけないという現実もあり、特養のモデル事業→違法性阻却でのケアが認められて、自他府県で研修のお手伝いをしてきましたが、中央と現場の温度差を痛感します。特に高齢者に関しては、何か、専門職（医療）が少ないことや医療保険の事情（財政の問題？）が、施設へのしわよせにつながっているように思えて仕方ないです。もっとちがう形での改正（人員配置、老健や療養型の問題、高齢者医療のあり方等々…）しなければならないのではないかな、と思えます。介護職は医療職の下請けであってはならないし、このままでは増々難しく大変な仕事になってしまっ、就いてくれる人が少なくなるのではないかと危惧します。難しい業務が増える分、どうぞ介護のがんばる職員を評価してほしいと思います。
- ・演習・実地研修の回数は逆でも良いのではないかと思います。利用者・家族より同意をいただける方は少ないように思います。又特に気管カニューレの吸引に関してはタイミングもあり20回は難しいように思うからです。
- ・たんの試行事業が成功して制度化になることを期待しています。・ようやく介護職の皆さんにも専門性を発揮出来る時代がみえてきた。在宅では看護・介護の連携がより密になると思う。
- ・ギモンや不安は多くありますが試行事業なのでまずやってみることだと思っています。・介護職による安全なたんの吸引が介護現場でできるようになることは良いことだと思います。
- ・試行するには、期間が短すぎるのではないか。すでに吸引している人も、講習はうけてもいいのではないか。できる事と知識は違うと思う。
- ・多くの方の意見を拝見し、不安を感じておられる方が多いのだと感じました。現場の声をもっと拾って下されば良かったと思います。熱い意見の裏には、責任感をもつ専門職の方の熱い気持ちが見えました。しかし、参加させて頂く以上は、私も頑張ります。

### 3. 基本研修（講義・演習）

#### (1) 実施概要

##### ①実施期間

基本研修・講義：平成 22 年 11 月 5 日（金）～12 月 3 日（金）

基本研修・演習：平成 22 年 11 月 6 日（土）～12 月 13 日（月）

※追加演習（4 団体が当初計画に追加し実施）12 月 7 日（火）～12 月 15 日（水）

##### ②研修施設（講義・演習）

基本研修・講義：実施団体事務所、病院、ホテル、貸会議室（全国 9 箇所）

基本研修・演習：実施団体事務所、病院、大学病院附属ラボ施設、ホテル、貸会議室（全国 9 箇所）

##### ③開催形態

開催形態は、A.全国を対象に受講者（介護職員）を募集し研修場所を本部（東京）とし、連続集中開催（宿泊型）した 4 団体と、B.募集対象を地元地域に限定し、研修場所も地方開催とし、複数クールに分けて分散開催（通学型）した 3 団体の 2 つのパターンに分かれた。

##### ④参加者数

（介護職員）事業実施 7 団体から推薦された介護職員 141 名

（医師・指導看護師）講義講師：49 名、シミュレーター演習講師：33 名

##### ⑤実施内容（カリキュラム等）

共通の「講義テキスト」と「カリキュラム」に基づいた 50 時間の講義（座学）と、ケアの基本手順を示した「ケア実施の手引き」に従ったシミュレーター演習（所定回数）を、実施 7 団体ごとに実施した。

図表 3-1.カリキュラムと時間数（基本研修）

| 大項目                    | 中項目                      | 講義時間 |
|------------------------|--------------------------|------|
| 1.人間と社会                | 1-1.個人の尊厳と自立             | 0.5  |
|                        | 1-2.医療の倫理                | 0.5  |
| 2.保健医療制度とチーム医療         | 2-1.保健医療に関する制度           | 1    |
|                        | 2-2.医行為に関係する法律           | 0.5  |
|                        | 2-3.チーム医療と介護職との連携        | 0.5  |
| 3.安全な療養生活              | 3-1.たんの吸引や経管栄養の安全な実施     | 2    |
|                        | 3-2.救急蘇生法                | 2    |
| 4.清潔保持と感染予防            | 4-1.感染予防                 | 0.5  |
|                        | 4-2.職員の感染予防              | 0.5  |
|                        | 4-3.療養環境の清潔、消毒法          | 0.5  |
|                        | 4-4.滅菌と消毒                | 0.5  |
| 5.健康状態の把握              | 5-1.身体・精神の健康             | 1    |
|                        | 5-2.健康状態を知る項目(バイタルサインなど) | 1    |
|                        | 5-3.体温上昇について             | 0.5  |
|                        | 5-4.急変状態について             | 0.5  |
| 6.高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」概論 | 6-1.呼吸のしくみとはたらき          | 1    |
|                        | 6-2.いつもと違う呼吸状態           | 1    |
|                        | 6-3.たんの吸引とは              | 1    |
|                        | 6-4.人工呼吸器と吸引             | 1    |
|                        | 6-5.成人と小児の吸引の違い          | 1    |
|                        | 6-6.吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応  | 1    |
|                        | 6-7.事前説明(声かけ)と同意、事後の確認   | 1    |
|                        | 6-8.呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して)  | 1    |

| 大項目                        | 中項目                            | 講義時間 |
|----------------------------|--------------------------------|------|
| 7.高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」実施手順解説 | 6-9.たんの吸引により生じる危険、事後の安全確認      | 1    |
|                            | 6-10.急変・事故発生時の対応と事前対策          | 2    |
|                            | 7-1.たんの吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 | 1    |
|                            | 7-2.吸引の技術と留意点                  | 5    |
| 8.高齢者及び障害児・者の「経管栄養」概論      | 7-3.たんの吸引に伴うケア                 | 1    |
|                            | 7-4.報告及び記録                     | 1    |
|                            | 8-1.消化器系のしくみとはたらき              | 1    |
|                            | 8-2.消化・吸収とよくある消化器の症状           | 1    |
|                            | 8-3.経管栄養法とは                    | 1    |
|                            | 4)注入する内容に関する知識                 | 1    |
|                            | 5)経管栄養実施上の留意点                  | 1    |
|                            | 6)成人と小児の経管栄養の違い                | 1    |
|                            | 7)経管栄養に係る感染と予防                 | 1    |
|                            | 8)経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応        | 1    |
|                            | 9)事前説明(声かけ)と同意、事後の確認           | 1    |
| 9.高齢者及び障害児・者の「経管栄養」実施手順解説  | 10)経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認       | 1    |
|                            | 11)急変・事故発生時の対応と事前対策            | 1    |
|                            | 1)経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持    | 1    |
|                            | 2)経管栄養の技術と留意点                  | 5    |
| 合計時間                       | 3)経管栄養に必要なケア                   | 1    |
|                            | 4)報告及び記録                       | 1    |
| 合計時間                       |                                | 50   |

図表 3-2.シミュレーター演習のケアごとの所定回数(基本研修)

| ケア等の種類 |           | 実施回数  |
|--------|-----------|-------|
| たんの吸引  | 口腔内吸引     | 5 回以上 |
|        | 鼻腔内吸引     | 5 回以上 |
|        | 気管カニューレ内部 | 5 回以上 |
| 経管栄養   | 胃ろう又は腸ろう  | 5 回以上 |
|        | 経鼻        | 5 回以上 |
| 救急蘇生法  |           | 1 回   |

## ⑥参加者アンケート

### 介護職員アンケート(講義アンケート、自己評価票アンケート、演習アンケート)

調査方法：実施団体を通じて質問紙を一括配布。回答記入は各講義・演習の終了時に行い、全ての研修終了時に郵送（レターパック利用）にて一括回収した。

回収数：141 票（回収率 100%）

調査票：P118～P121 を参照

### 指導者アンケート(講義アンケート、指導者評価票アンケート、演習アンケート)

調査方法：指導者の各勤務先に質問紙を配布。回答記入は各講義・演習の終了時に行い、回収は全ての研修終了時に郵送（レターパック利用）にて一括回収した。

回収数：8～12 票（各講義・演習を担当した指導者数）

調査票：P122～P125 を参照

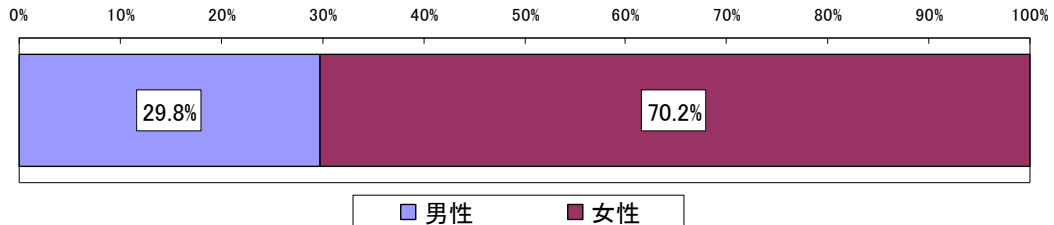
## (2) 参加者の属性

### ①性別

男性 29.8%に対し、女性 70.2%。

図表 3-3.介護職員の性別(基本研修)

(n=141)

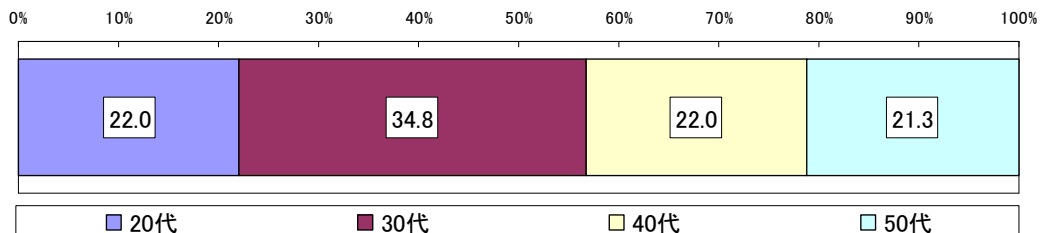


### ②年齢

30代が約3割強を占め、平均年齢は38.7歳（最年少24歳～最年長58歳）。

図表 3-4.介護職員の年齢(基本研修)

(n=141)

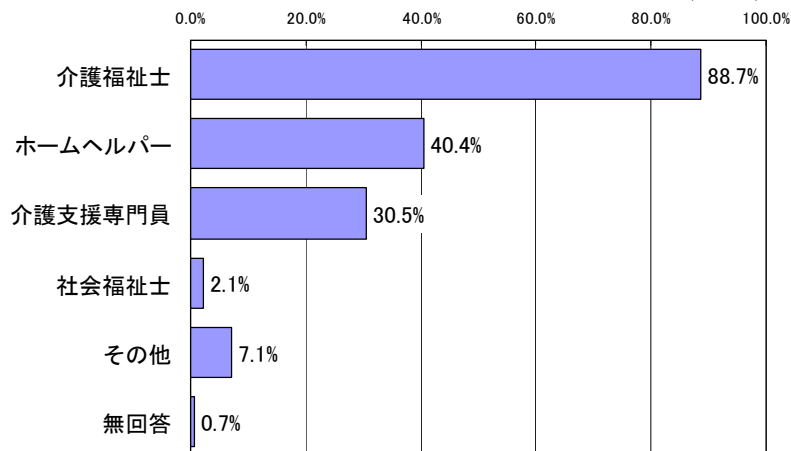


### ③保有資格(複数回答)

「介護福祉士」が最も多く88.7%、次いで「ホームヘルパー」40.4%、「介護支援専門員」30.5%の順であった。ホームヘルパー57名(複数回答)の内訳は「1級」14.0%、「2級」84.2%で重複回答は1名。「その他」の回答内容は、福祉住環境コーディネーター2名、社会福祉主事2名、保育士2名、認知症ケア専門士2名、認知症ライフパートナー基礎1名、施設実習指導者1名である。

図表 3-5.介護職員の保有資格(基本研修)

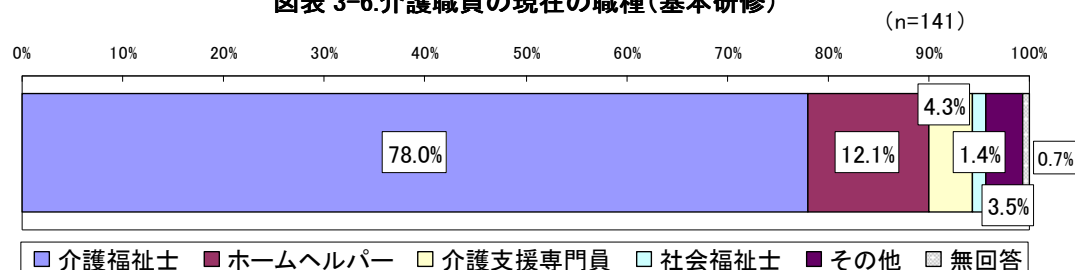
(n=141)



#### ④現在の職種

「介護福祉士」が最も多く 78.0%、次いで「ホームヘルパー」12.1%、「介護支援専門員」4.3%の順であった。「その他」の回答内容は、管理者 2 名、生活相談員 1 名、生活支援員 1 名である。

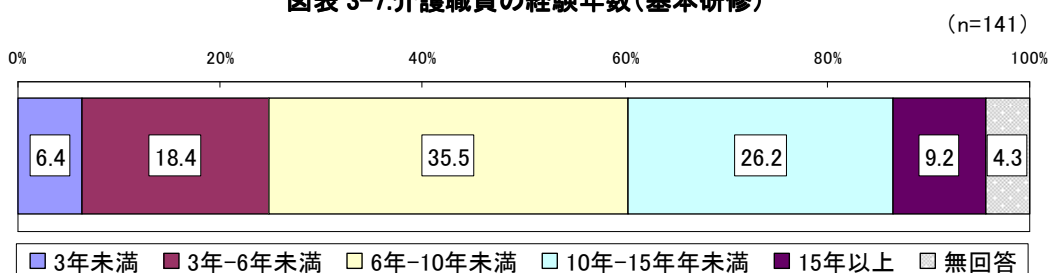
図表 3-6.介護職員の現在の職種(基本研修)



#### ⑤現職の経験年数

「6 年～10 年未満」が 35.5%と最も多く、平均経験年数は 8.5 年(最短 0.8 年～最長 29 年)。

図表 3-7.介護職員の経験年数(基本研修)



#### ⑥所属団体(実施団体)

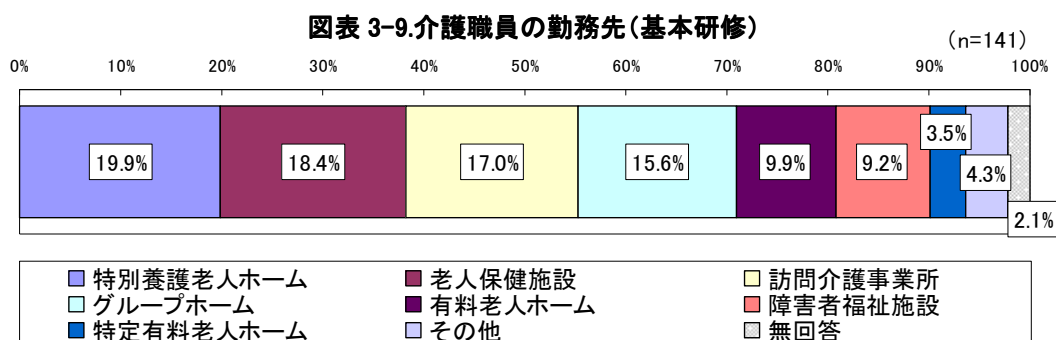
実施 7 団体ごとに 19 名～23 名の参加を得て、全体で 141 名(1 団体平均 20.1 名)であった。

図表 3-8.介護職員の所属団体(基本研修)

| 実施7団体          | 参加人数 |
|----------------|------|
| 全国社会福祉協議会      | 20   |
| 全国有料老人ホーム協会    | 20   |
| 全国老人福祉施設協議会    | 19   |
| 全国老人保健施設協会     | 20   |
| 社団法人日本介護福祉士会   | 19   |
| 日本認知症グループホーム協会 | 23   |
| 日本訪問看護振興財団     | 20   |
| 合計             | 141  |

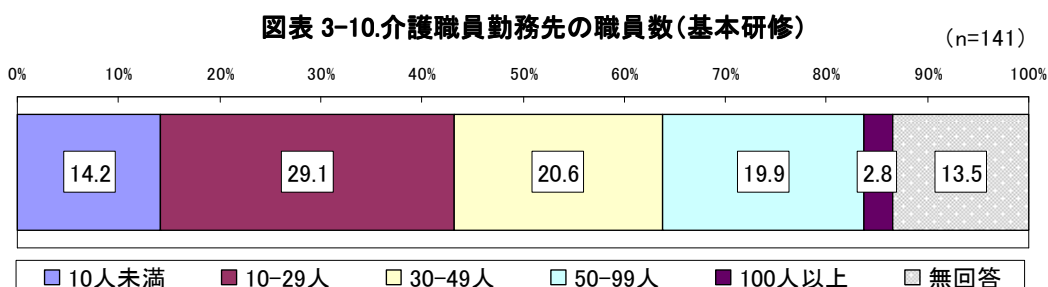
## ⑦勤務先

「特別養護老人ホーム」19.9%、「老人保健施設」18.4%、「訪問介護事業所」17.0%、「グループホーム」15.6%の順。



## ⑧勤務先の職員数

「10～29 人」が29.1%で最も多く、平均職員数は33.2 人（最少1 人～最大125 人）。



## ⑨たんの吸引等のケアが必要な利用者数

勤務先の「たんの吸引等のケアが必要な利用者数」をケアの種類別に聞いた。無回答が7.8%と含まれたものの、「0 人」は「たんの吸引・気管カニューレ内部」では66.7%、「経管栄養・経鼻」では54.6%と非常に高い結果となった。「たんの吸引・口腔内」、「たんの吸引・鼻腔内」、「経管栄養・胃ろう・腸ろう」の3 ケアでも、同様に「0 人」が約21～42%を占めている。

「0 人」を含めた回答平均は、口腔内4.7 人、鼻腔内3.5 人、気管カニューレ1.2 人、胃ろう・腸ろう5.4 人、経鼻1.2 人である。また、すべてのケアに「該当者無し」と回答したものは19 名（13.5%）とあった。

**図表 3-11.たんの吸引等のケアが必要な利用者数(基本研修)** (n=141)

| 医療的ケアの種別        | 0人    | 1～4人  | 5～9人  | 10～19人 | 20人以上 | 無回答  |
|-----------------|-------|-------|-------|--------|-------|------|
| たんの吸引・口腔内       | 25.5% | 31.2% | 19.9% | 10.6%  | 5.0%  | 7.8% |
| たんの吸引・鼻腔内       | 41.8% | 24.8% | 14.9% | 7.1%   | 3.5%  | 7.8% |
| たんの吸引・気管カニューレ内部 | 66.7% | 17.7% | 6.4%  | 0.0%   | 1.4%  | 7.8% |
| 経管栄養・胃ろう・腸ろう    | 20.6% | 27.0% | 29.8% | 10.6%  | 4.3%  | 7.8% |
| 経管栄養・経鼻         | 54.6% | 29.8% | 7.1%  | 0.7%   | 0.0%  | 7.8% |

### (3) 基本研修・講義アンケートの結果

#### 【介護職員の評価】

##### ①講義の難易度(介護職員)

各講義の受講直後に、介護職員に対し講義の難易度（設問「講義を理解できたか」）を4段階（「理解できた」、「一部理解できないところがあった」、「大半は理解できなかった」、「理解できなかった」）で聞いた（図表 3-12、図表 3-13）。

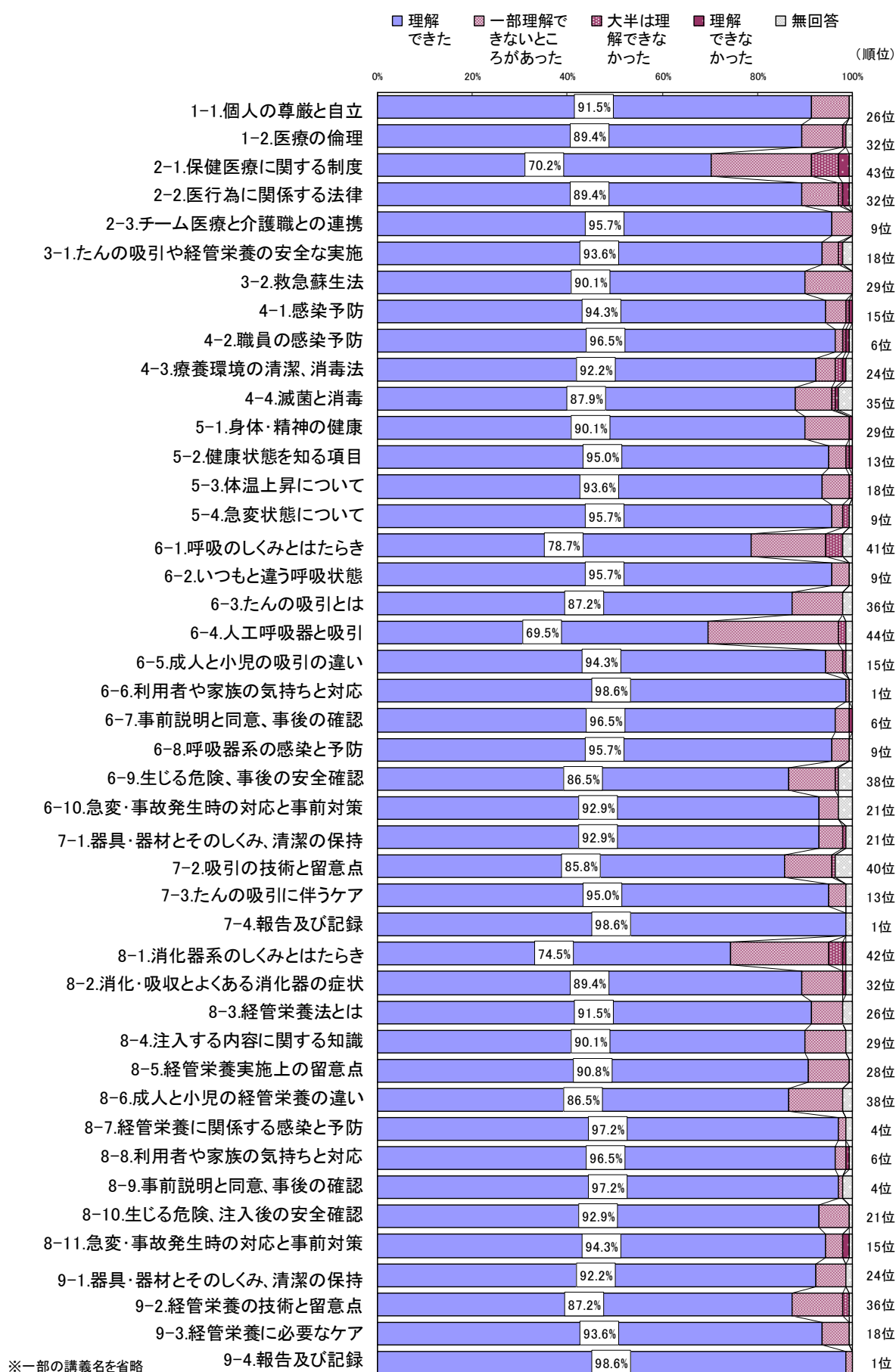
全体としては、「理解できた」が 69.5%～98.6%と、44 講義の全てにおいて、最も高い比率を占め、44 講義の平均で 90.1%であった。一方、「理解できなかった」は 0.3%～2.1%と極僅かであり、「一部理解できないところがあった」と「大半は理解できなかった」も合わせた否定的評価の3項目の合計値は 0.0%～29.1%と約3割以下に留まった。この結果から、基本研修の全 44 講義の難易度は、介護職員にとって十分に理解できる程度であったと考えられる。

講義別にみると、「理解できた」の比率が高かったのは、「6-6.吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応」、「7-4.報告及び記録」、「9-4.報告及び記録」の3講義で、いずれも 98.6%と参加介護職のほとんどが理解できたとしている。次いで、「8-7.経管栄養に係る感染と予防」と「8-9.事前説明(声かけ)と同意、事後の確認」は 97.2%でやはりかなり高い。

一方、「理解できた」比率が低かったのは、「6-4.人工呼吸器と吸引」69.5%、「2-1.保健医療に関する制度」70.2%、「8-1.消化器系のしくみとはたらき」74.5%、「6-1.呼吸のしくみとはたらき」78.7%であった。この3講義については、否定的評価（一部理解できないところがあった」、「大半は理解できなかった」、「理解できなかった」の3項目の合計値）も高く、「6-4.人工呼吸器と吸引」と「2-1.保健医療に関する制度」は約29%、「8-1.消化器系のしくみとはたらき」約24%、「6-1.呼吸のしくみとはたらき」約19%という結果であった。全体的に理解しやすい講義内容の中で、この4講義については理解しにくいと評価した介護職員が少なからず存在したことになる。

図表 3-12.講義の難易度 介護職員（基本研修・講義）

(n=141)





図表 3-13.講義の難易度 介護職員(基本研修・講義)

| 問 1. 講義は理解できましたか。 |                            |                                | 全体  | 理解<br>できた | 一部理解で<br>きないところ<br>があった | 大半は理<br>解できな<br>かった | 理解<br>できな<br>かった | 無回答  | 順位(理解<br>できた) |
|-------------------|----------------------------|--------------------------------|-----|-----------|-------------------------|---------------------|------------------|------|---------------|
| 1                 | 人間と社会                      | 1-1 個人の尊厳と自立                   | 141 | 91.5%     | 7.8%                    | 0.0%                | 0.0%             | 0.7% | 26位           |
|                   |                            | 1-2 医療の倫理                      | 141 | 89.4%     | 8.5%                    | 0.7%                | 0.0%             | 1.4% | 32位           |
| 2                 | 保健医療制度とチーム医療               | 2-1 保健医療に関する制度                 | 141 | 70.2%     | 21.3%                   | 5.7%                | 2.1%             | 0.7% | 43位           |
|                   |                            | 2-2 医行為に関係する法律                 | 141 | 89.4%     | 7.8%                    | 0.7%                | 1.4%             | 0.7% | 32位           |
|                   |                            | 2-3 チーム医療と介護職との連携              | 141 | 95.7%     | 4.3%                    | 0.0%                | 0.0%             | 0.0% | 9位            |
| 3                 | 安全な療養生活                    | 3-1 たんの吸引や経管栄養の安全な実施           | 141 | 93.6%     | 3.5%                    | 0.7%                | 0.0%             | 2.1% | 18位           |
|                   |                            | 3-2 救急蘇生法                      | 141 | 90.1%     | 9.9%                    | 0.0%                | 0.0%             | 0.0% | 29位           |
| 4                 | 清潔保持と感染予防                  | 4-1 感染予防                       | 141 | 94.3%     | 4.3%                    | 0.7%                | 0.7%             | 0.0% | 15位           |
|                   |                            | 4-2 職員の感染予防                    | 141 | 96.5%     | 1.4%                    | 0.7%                | 0.7%             | 0.7% | 6位            |
|                   |                            | 4-3 療養環境の清潔、消毒法                | 141 | 92.2%     | 4.3%                    | 1.4%                | 0.7%             | 1.4% | 24位           |
|                   |                            | 4-4 滅菌と消毒                      | 141 | 87.9%     | 7.8%                    | 0.7%                | 0.7%             | 2.8% | 35位           |
| 5                 | 健康状態の把握                    | 5-1 身体・精神の健康                   | 141 | 90.1%     | 9.2%                    | 0.0%                | 0.7%             | 0.0% | 29位           |
|                   |                            | 5-2 健康状態を知る項目(バイタルサインなど)       | 141 | 95.0%     | 3.5%                    | 0.7%                | 0.7%             | 0.0% | 13位           |
|                   |                            | 5-3 体温上昇について                   | 141 | 93.6%     | 5.7%                    | 0.7%                | 0.0%             | 0.0% | 18位           |
|                   |                            | 5-4 急変状態について                   | 141 | 95.7%     | 2.1%                    | 1.4%                | 0.0%             | 0.7% | 9位            |
| 6                 | 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」(概論)     | 6-1 呼吸のしくみとはたらき                | 141 | 78.7%     | 15.6%                   | 3.5%                | 0.0%             | 2.1% | 41位           |
|                   |                            | 6-2 いつもと違う呼吸状態                 | 141 | 95.7%     | 3.5%                    | 0.0%                | 0.0%             | 0.7% | 9位            |
|                   |                            | 6-3 たんの吸引とは                    | 141 | 87.2%     | 10.6%                   | 0.0%                | 0.0%             | 2.1% | 36位           |
|                   |                            | 6-4 人工呼吸器と吸引                   | 141 | 69.5%     | 27.7%                   | 1.4%                | 0.0%             | 1.4% | 44位           |
|                   |                            | 6-5 成人と小児の吸引の違い                | 141 | 94.3%     | 3.5%                    | 0.7%                | 0.0%             | 1.4% | 15位           |
|                   |                            | 6-6 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応        | 141 | 98.6%     | 0.7%                    | 0.0%                | 0.0%             | 0.7% | 1位            |
|                   |                            | 6-7 事前説明(声かけ)と同意、事後の確認         | 141 | 96.5%     | 2.8%                    | 0.0%                | 0.7%             | 0.0% | 6位            |
|                   |                            | 6-8 呼吸器系の感染と予防(吸引に関連して)        | 141 | 95.7%     | 3.5%                    | 0.0%                | 0.0%             | 0.7% | 9位            |
|                   |                            | 6-9 たんの吸引により生じる危険、事後の安全確認      | 141 | 86.5%     | 9.9%                    | 0.7%                | 0.0%             | 2.8% | 38位           |
|                   |                            | 6-10 急変・事故発生時の対応と事前対策          | 141 | 92.9%     | 4.3%                    | 0.0%                | 0.0%             | 2.8% | 21位           |
| 7                 | 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」(実施手順解説) | 7-1 たんの吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 | 141 | 92.9%     | 5.0%                    | 0.7%                | 0.0%             | 1.4% | 21位           |
|                   |                            | 7-2 吸引の技術と留意点                  | 141 | 85.8%     | 9.9%                    | 0.7%                | 0.0%             | 3.5% | 40位           |
|                   |                            | 7-3 たんの吸引に伴うケア                 | 141 | 95.0%     | 3.5%                    | 0.0%                | 0.0%             | 1.4% | 13位           |
|                   |                            | 7-4 報告及び記録                     | 141 | 98.6%     | 0.0%                    | 0.0%                | 0.0%             | 1.4% | 1位            |
| 8                 | 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」(概論)      | 8-1 消化器系のしくみとはたらき              | 141 | 74.5%     | 20.6%                   | 2.8%                | 0.7%             | 1.4% | 42位           |
|                   |                            | 8-2 消化・吸収とよくある消化器の症状           | 141 | 89.4%     | 8.5%                    | 0.0%                | 0.7%             | 1.4% | 32位           |
|                   |                            | 8-3 経管栄養法とは                    | 141 | 91.5%     | 6.4%                    | 0.0%                | 0.0%             | 2.1% | 26位           |
|                   |                            | 8-4 注入する内容に関する知識               | 141 | 90.1%     | 8.5%                    | 0.0%                | 0.0%             | 1.4% | 29位           |
|                   |                            | 8-5 経管栄養実施上の留意点                | 141 | 90.8%     | 8.5%                    | 0.0%                | 0.0%             | 0.7% | 28位           |
|                   |                            | 8-6 成人と小児の経管栄養の違い              | 141 | 86.5%     | 11.3%                   | 0.0%                | 0.0%             | 2.1% | 38位           |
|                   |                            | 8-7 経管栄養に関係する感染と予防             | 141 | 97.2%     | 1.4%                    | 0.0%                | 0.0%             | 1.4% | 4位            |
|                   |                            | 8-8 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応      | 141 | 96.5%     | 2.1%                    | 0.0%                | 0.7%             | 0.7% | 6位            |
|                   |                            | 8-9 事前説明(声かけ)と同意、事後の確認         | 141 | 97.2%     | 0.7%                    | 0.0%                | 0.0%             | 2.1% | 4位            |
|                   |                            | 8-10 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認     | 141 | 92.9%     | 6.4%                    | 0.0%                | 0.0%             | 0.7% | 21位           |
| 9                 | 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」(実施手順解説)  | 9-1 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持  | 141 | 92.2%     | 6.4%                    | 0.0%                | 0.0%             | 1.4% | 24位           |
|                   |                            | 9-2 経管栄養の技術と留意点                | 141 | 87.2%     | 10.6%                   | 1.4%                | 0.0%             | 0.7% | 36位           |
|                   |                            | 9-3 経管栄養に必要なケア                 | 141 | 93.6%     | 5.7%                    | 0.0%                | 0.0%             | 0.7% | 18位           |
|                   |                            | 9-4 報告及び記録                     | 141 | 98.6%     | 1.4%                    | 0.0%                | 0.0%             | 0.0% | 1位            |

## ②テキストのわかりやすさ(介護職員)

介護職員に対し、テキストのわかりやすさ（設問「講義のテキストはわかりやすく記述されていましたか」）を4段階（「わかりやすかった」、「一部わかりにくい箇所があった」、「大半はわかりにくい」、「わかりにくい」）で聞いた（図表 3-14、図表 3-15）。

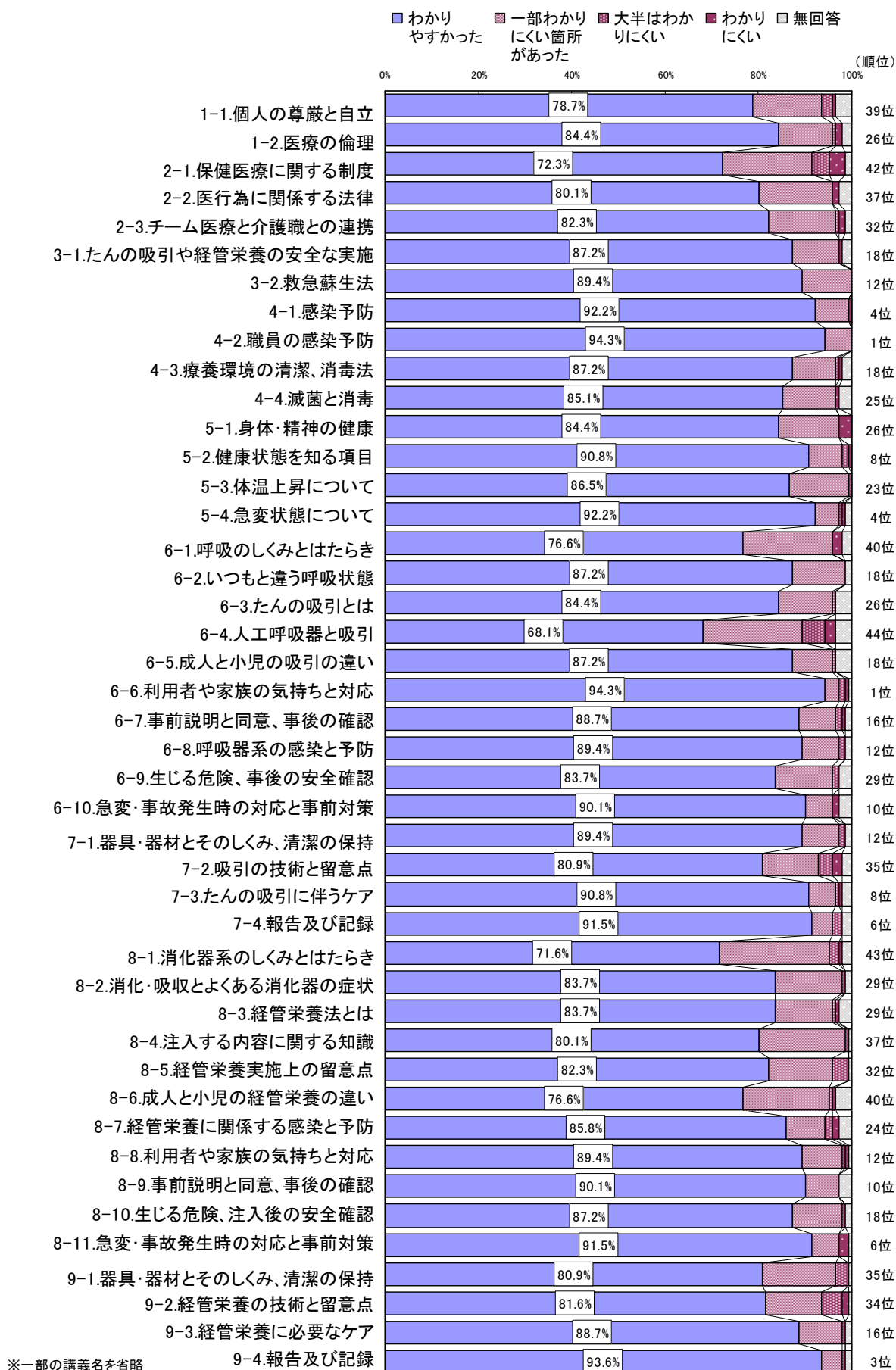
全体としては、「わかりやすかった」が 68.1%～94.3%と、44 講義の全てにおいて、最も高い比率を占め、44 講義の平均では 85.4%であった。一方、「わかりにくい」は 0.0%～3.5%と極僅かであり、「一部わかりにくい箇所があった」と「大半はわかりにくい」も合わせた否定的評価の合計値は 5.0%～28.4%と約 3 割以下に留まった。この結果から、基本研修のテキストは、多くの介護職員にとって十分に分かりやすいものであったと考えられる。

講義別にみると、「わかりやすかった」の比率が高かったのは、「4-2.職員の感染予防」と「6-6.吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応」の 94.3%であった。次いで、「9-4.報告及び記録」93.6%、「4-1 感染予防」と「5-4.急変状態について」の 92.2%の順であった。

一方、「わかりやすかった」比率が低かったのは、「6-4.人工呼吸器と吸引」の 68.1%、次いで、「8-1.消化器系のしくみとはたらき」71.6%、「2-1.保健医療に関する制度」72.3%、「6-1.呼吸のしくみとはたらき」と「8-6.成人と小児の経管栄養の違い」が 76.6%の順であった。この 3 講義については、否定的評価（「一部わかりにくい箇所があった」「大半はわかりにくい」「わかりにくい」の 3 項目の合計値）も高く、「6-4.人工呼吸器と吸引」が約 28%、次いで「2-1.保健医療に関する制度」と「8-1.消化器系のしくみとはたらき」がともに約 26%、「6-1.呼吸のしくみとはたらき」約 21%という結果であった。全体的にわかりやすいテキスト内容の中で、この 4 講義については理解しにくいと評価した介護職員が少なからず存在したことになる。

図表 3-14.テキストのわかりやすさ 介護職員(基本研修・講義)

(n=141)



図表 3-15.テキストのわかりやすさ 介護職員(基本研修・講義)

| 問2. 講義のテキストはわかりやすく記述されていましたか。 |                            |                                | 全体  | わかりやすかった | 一部わかりにくい箇所があった | 大半はわかりにくい | わかりにくい | 無回答  | 順位(分かったやすかった) |
|-------------------------------|----------------------------|--------------------------------|-----|----------|----------------|-----------|--------|------|---------------|
| 1                             | 人間と社会                      | 1-1 個人の尊厳と自立                   | 141 | 78.7%    | 14.9%          | 2.1%      | 0.7%   | 3.5% | 39位           |
|                               |                            | 1-2 医療の倫理                      | 141 | 84.4%    | 11.3%          | 0.7%      | 1.4%   | 2.1% | 26位           |
| 2                             | 保健医療制度とチーム医療               | 2-1 保健医療に関する制度                 | 141 | 72.3%    | 19.1%          | 3.5%      | 3.5%   | 1.4% | 42位           |
|                               |                            | 2-2 医行為に関係する法律                 | 141 | 80.1%    | 15.6%          | 0.0%      | 1.4%   | 2.8% | 37位           |
|                               |                            | 2-3 チーム医療と介護職との連携              | 141 | 82.3%    | 14.2%          | 0.7%      | 1.4%   | 1.4% | 32位           |
| 3                             | 安全な療養生活                    | 3-1 たんの吸引や経管栄養の安全な実施           | 141 | 87.2%    | 9.9%           | 0.0%      | 0.7%   | 2.1% | 18位           |
|                               |                            | 3-2 救急蘇生法                      | 141 | 89.4%    | 10.6%          | 0.0%      | 0.0%   | 0.0% | 12位           |
| 4                             | 清潔保持と感染予防                  | 4-1 感染予防                       | 141 | 92.2%    | 7.1%           | 0.0%      | 0.7%   | 0.0% | 4位            |
|                               |                            | 4-2 職員の感染予防                    | 141 | 94.3%    | 5.7%           | 0.0%      | 0.0%   | 0.0% | 1位            |
|                               |                            | 4-3 療養環境の清潔、消毒法                | 141 | 87.2%    | 9.2%           | 0.7%      | 0.7%   | 2.1% | 18位           |
|                               |                            | 4-4 滅菌と消毒                      | 141 | 85.1%    | 11.3%          | 0.0%      | 0.7%   | 2.8% | 25位           |
| 5                             | 健康状態の把握                    | 5-1 身体・精神の健康                   | 141 | 84.4%    | 12.8%          | 0.0%      | 2.8%   | 0.0% | 26位           |
|                               |                            | 5-2 健康状態を知る項目(バイタルサインなど)       | 141 | 90.8%    | 7.1%           | 1.4%      | 0.7%   | 0.0% | 8位            |
|                               |                            | 5-3 体温上昇について                   | 141 | 86.5%    | 12.8%          | 0.7%      | 0.0%   | 0.0% | 23位           |
|                               |                            | 5-4 急変状態について                   | 141 | 92.2%    | 5.0%           | 0.7%      | 0.7%   | 1.4% | 4位            |
| 6                             | 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」(概論)     | 6-1 呼吸のしくみとはたらき                | 141 | 76.6%    | 19.1%          | 0.0%      | 2.1%   | 2.1% | 40位           |
|                               |                            | 6-2 いつもと違う呼吸状態                 | 141 | 87.2%    | 11.3%          | 0.0%      | 0.0%   | 1.4% | 18位           |
|                               |                            | 6-3 たんの吸引とは                    | 141 | 84.4%    | 11.3%          | 0.7%      | 0.0%   | 3.5% | 26位           |
|                               |                            | 6-4 人工呼吸器と吸引                   | 141 | 68.1%    | 21.3%          | 5.0%      | 2.1%   | 3.5% | 44位           |
|                               |                            | 6-5 成人と小児の吸引の違い                | 141 | 87.2%    | 8.5%           | 0.7%      | 0.0%   | 3.5% | 18位           |
|                               |                            | 6-6 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応        | 141 | 94.3%    | 2.8%           | 1.4%      | 0.7%   | 0.7% | 1位            |
|                               |                            | 6-7 事前説明(声かけ)と同意、事後の確認         | 141 | 88.7%    | 7.8%           | 1.4%      | 0.7%   | 1.4% | 16位           |
|                               |                            | 6-8 呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して)        | 141 | 89.4%    | 7.8%           | 1.4%      | 0.0%   | 1.4% | 12位           |
|                               |                            | 6-9 たんの吸引により生じる危険、事後の安全確認      | 141 | 83.7%    | 12.1%          | 1.4%      | 0.0%   | 2.8% | 29位           |
|                               |                            | 6-10 急変・事故発生時の対応と事前対策          | 141 | 90.1%    | 5.7%           | 0.0%      | 1.4%   | 2.8% | 10位           |
| 7                             | 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」(実施手順解説) | 7-1 たんの吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 | 141 | 89.4%    | 7.8%           | 1.4%      | 0.0%   | 1.4% | 12位           |
|                               |                            | 7-2 吸引の技術と留意点                  | 141 | 80.9%    | 12.1%          | 2.8%      | 2.1%   | 2.1% | 35位           |
|                               |                            | 7-3 たんの吸引に伴うケア                 | 141 | 90.8%    | 5.7%           | 0.7%      | 0.7%   | 2.1% | 8位            |
|                               |                            | 7-4 報告及び記録                     | 141 | 91.5%    | 4.3%           | 2.1%      | 0.0%   | 2.1% | 6位            |
| 8                             | 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」(概論)      | 8-1 消化器系のしくみとはたらき              | 141 | 71.6%    | 23.4%          | 2.1%      | 0.7%   | 2.1% | 43位           |
|                               |                            | 8-2 消化・吸収とよくある消化器の症状           | 141 | 83.7%    | 14.2%          | 0.7%      | 0.0%   | 1.4% | 29位           |
|                               |                            | 8-3 経管栄養法とは                    | 141 | 83.7%    | 12.1%          | 0.7%      | 0.7%   | 2.8% | 29位           |
|                               |                            | 8-4 注入する内容に関する知識               | 141 | 80.1%    | 18.4%          | 0.7%      | 0.0%   | 0.7% | 37位           |
|                               |                            | 8-5 経管栄養実施上の留意点                | 141 | 82.3%    | 13.5%          | 3.5%      | 0.0%   | 0.7% | 32位           |
|                               |                            | 8-6 成人と小児の経管栄養の違い              | 141 | 76.6%    | 18.4%          | 0.7%      | 0.7%   | 3.5% | 40位           |
|                               |                            | 8-7 経管栄養に関係する感染と予防             | 141 | 85.8%    | 8.5%           | 1.4%      | 1.4%   | 2.8% | 24位           |
|                               |                            | 8-8 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応      | 141 | 89.4%    | 8.5%           | 0.7%      | 0.7%   | 0.7% | 12位           |
|                               |                            | 8-9 事前説明(声かけ)と同意、事後の確認         | 141 | 90.1%    | 7.1%           | 0.0%      | 0.0%   | 2.8% | 10位           |
|                               |                            | 8-10 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認     | 141 | 87.2%    | 10.6%          | 0.7%      | 0.0%   | 1.4% | 18位           |
|                               |                            | 8-11 急変・事故発生時の対応と事前対策          | 141 | 91.5%    | 5.7%           | 0.0%      | 2.1%   | 0.7% | 6位            |
| 9                             | 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」(実施手順解説)  | 9-1 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持  | 141 | 80.9%    | 15.6%          | 2.8%      | 0.0%   | 0.7% | 35位           |
|                               |                            | 9-2 経管栄養の技術と留意点                | 141 | 81.6%    | 12.1%          | 4.3%      | 1.4%   | 0.7% | 34位           |
|                               |                            | 9-3 経管栄養に必要なケア                 | 141 | 88.7%    | 9.2%           | 0.7%      | 0.0%   | 1.4% | 16位           |
|                               |                            | 9-4 報告及び記録                     | 141 | 93.6%    | 4.3%           | 0.7%      | 0.0%   | 1.4% | 3位            |

### ③講義時間の適切さ(介護職員)

介護職員に対し、講義の時間の適切さ（設問「講義時間は適切だと思いますか」）を、「適切である」、「短い」、「長い」の3つの選択肢で聞いた（図表 3-16、図表 3-17）。

全体としては、「適切である」は 41.1%～81.6%（44 講義平均 65.2%）、「長い」が 7.8%～58.2%（44 講義平均 31.0%）であり、講義によって、「適切である」と「長い」の意見が分かれる結果となった。なお、「短い」は 0.0%～26.2%で回答比率は低かった。この結果から、基本研修の講義時間は、介護職員にとって概ね適切な長さであったと評価されているが、一部の講義については、長いと感じたようである。「長い」比率が 5 割程度を占めた 8 講義（受講者の半数が長いと評価）については、優先して講義時間や講義内容を再考する必要があると思われる。

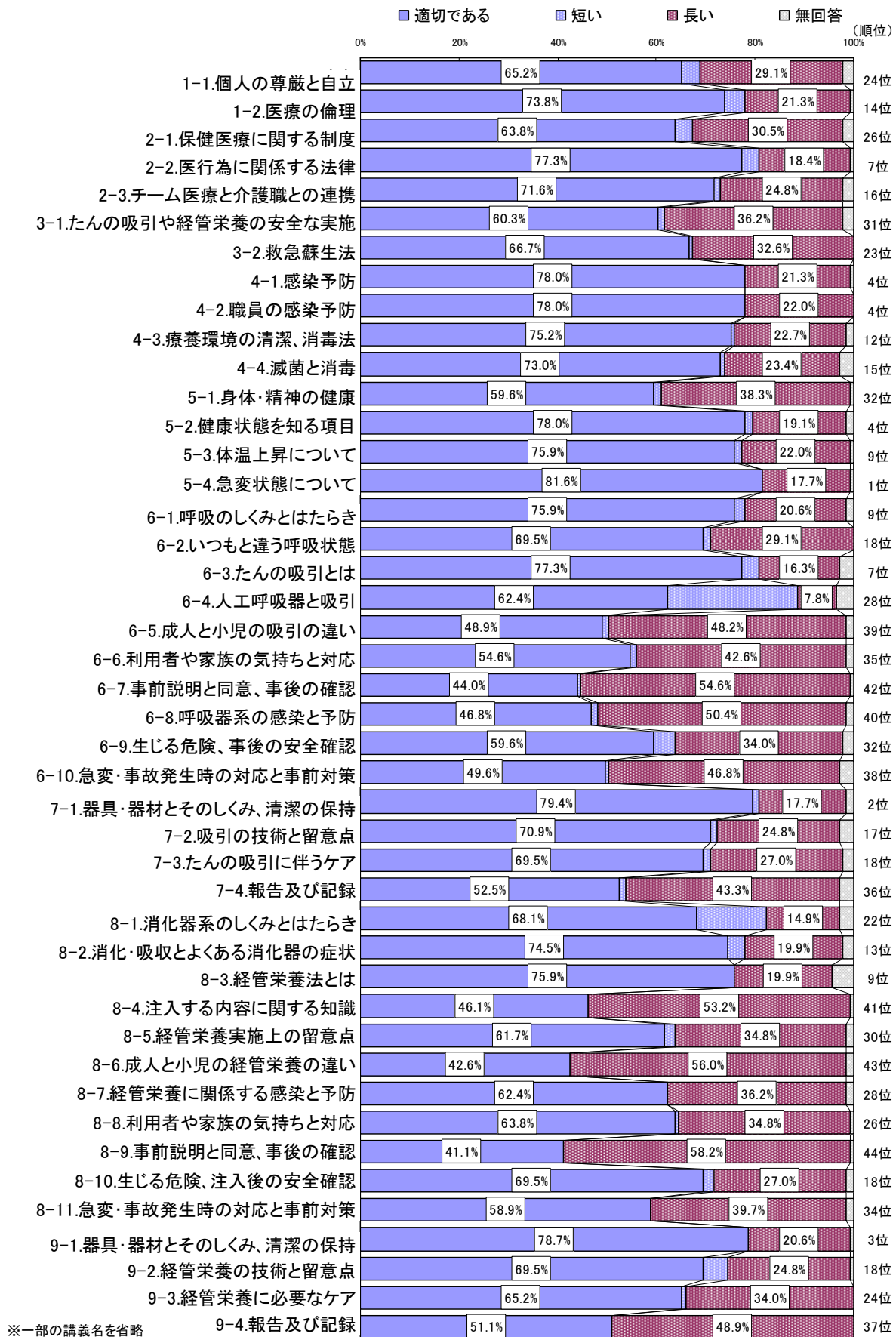
講義別にみると、「適切である」の比率が高かったのは、「5-4.急変状態について」81.6%、「7-1.たんの吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持」79.4%、「9-1.経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持」78.7%、「4-1.感染予防」78.0%、「4-2.職員の感染予防」78.0%、「5-2.健康状態を知る項目(バイタルサインなど)」78.0%であった。

一方、「長い」の比率が高かったのは、「8-9.事前説明(声かけ)と同意、事後の確認」58.2%、「8-6.成人と小児の経管栄養の違い」56.0%、「6-7.事前説明（声かけ）と同意、事後の確認」54.6%、「8-4.注入する内容に関する知識」53.2%、「6-8.呼吸器系の感染と予防(吸引に関連して)」50.4%の順であり、いずれも「適切である」の比率をやや上回る結果となっている。続いて、「9-4.報告及び記録」48.9%、「6-5.成人と小児の吸引の違い」48.2%、「6-10.急変・事故発生時の対応と事前対策」46.8%であった。

逆に、「短い」の比率が高かったのは、「6-4.人工呼吸器と吸引」26.2%、「8-1.消化器系のしくみとはたらき」14.2%であった。

図表 3-16.講義時間の適切さ 介護職員(基本研修・講義)

(n=141)



図表 3-17.講義時間の適切さ 介護職員(基本研修・講義)

| 問3. 講義時間は適切だと思いましたか。 |                            |      |                            | 全体  | 適切である | 短い    | 長い    | 無回答  | 順位(適切である) |
|----------------------|----------------------------|------|----------------------------|-----|-------|-------|-------|------|-----------|
| 1                    | 人間と社会                      | 1-1  | 個人の尊厳と自立                   | 141 | 65.2% | 3.5%  | 29.1% | 2.1% | 24位       |
|                      |                            | 1-2  | 医療の倫理                      | 141 | 73.8% | 4.3%  | 21.3% | 0.7% | 14位       |
| 2                    | 保健医療制度とチーム医療               | 2-1  | 保健医療に関する制度                 | 141 | 63.8% | 3.5%  | 30.5% | 2.1% | 26位       |
|                      |                            | 2-2  | 医行為に関係する法律                 | 141 | 77.3% | 3.5%  | 18.4% | 0.7% | 7位        |
|                      |                            | 2-3  | チーム医療と介護職との連携              | 141 | 71.6% | 1.4%  | 24.8% | 2.1% | 16位       |
| 3                    | 安全な療養生活                    | 3-1  | たんの吸引や経管栄養の安全な実施           | 141 | 60.3% | 1.4%  | 36.2% | 2.1% | 31位       |
|                      |                            | 3-2  | 救急蘇生法                      | 141 | 66.7% | 0.7%  | 32.6% | 0.0% | 23位       |
| 4                    | 清潔保持と感染予防                  | 4-1  | 感染予防                       | 141 | 78.0% | 0.0%  | 21.3% | 0.7% | 4位        |
|                      |                            | 4-2  | 職員の感染予防                    | 141 | 78.0% | 0.0%  | 22.0% | 0.0% | 4位        |
|                      |                            | 4-3  | 療養環境の清潔、消毒法                | 141 | 75.2% | 0.7%  | 22.7% | 1.4% | 12位       |
|                      |                            | 4-4  | 滅菌と消毒                      | 141 | 73.0% | 0.7%  | 23.4% | 2.8% | 15位       |
| 5                    | 健康状態の把握                    | 5-1  | 身体・精神の健康                   | 141 | 59.6% | 1.4%  | 38.3% | 0.7% | 32位       |
|                      |                            | 5-2  | 健康状態を知る項目(バイタルサインなど)       | 141 | 78.0% | 1.4%  | 19.1% | 1.4% | 4位        |
|                      |                            | 5-3  | 体温上昇について                   | 141 | 75.9% | 1.4%  | 22.0% | 0.7% | 9位        |
|                      |                            | 5-4  | 急変状態について                   | 141 | 81.6% | 0.0%  | 17.7% | 0.7% | 1位        |
| 6                    | 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」(概論)     | 6-1  | 呼吸のしくみとはたらき                | 141 | 75.9% | 2.1%  | 20.6% | 1.4% | 9位        |
|                      |                            | 6-2  | いつもと違う呼吸状態                 | 141 | 69.5% | 1.4%  | 29.1% | 0.0% | 18位       |
|                      |                            | 6-3  | たんの吸引とは                    | 141 | 77.3% | 3.5%  | 16.3% | 2.8% | 7位        |
|                      |                            | 6-4  | 人工呼吸器と吸引                   | 141 | 62.4% | 26.2% | 7.8%  | 3.5% | 28位       |
|                      |                            | 6-5  | 成人と小児の吸引の違い                | 141 | 48.9% | 1.4%  | 48.2% | 1.4% | 39位       |
|                      |                            | 6-6  | 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応        | 141 | 54.6% | 1.4%  | 42.6% | 1.4% | 35位       |
|                      |                            | 6-7  | 事前説明(声かけ)と同意、事後の確認         | 141 | 44.0% | 0.7%  | 54.6% | 0.7% | 42位       |
|                      |                            | 6-8  | 呼吸器系の感染と予防(吸引に関連して)        | 141 | 46.8% | 1.4%  | 50.4% | 1.4% | 40位       |
|                      |                            | 6-9  | たんの吸引により生じる危険、事後の安全確認      | 141 | 59.6% | 4.3%  | 34.0% | 2.1% | 32位       |
|                      |                            | 6-10 | 急変・事故発生時の対応と事前対策           | 141 | 49.6% | 0.7%  | 46.8% | 2.8% | 38位       |
| 7                    | 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」(実施手順解説) | 7-1  | たんの吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 | 141 | 79.4% | 1.4%  | 17.7% | 1.4% | 2位        |
|                      |                            | 7-2  | 吸引の技術と留意点                  | 141 | 70.9% | 1.4%  | 24.8% | 2.8% | 17位       |
|                      |                            | 7-3  | たんの吸引に伴うケア                 | 141 | 69.5% | 1.4%  | 27.0% | 2.1% | 18位       |
|                      |                            | 7-4  | 報告及び記録                     | 141 | 52.5% | 1.4%  | 43.3% | 2.8% | 36位       |
| 8                    | 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」(概論)      | 8-1  | 消化器系のしくみとはたらき              | 141 | 68.1% | 14.2% | 14.9% | 2.8% | 22位       |
|                      |                            | 8-2  | 消化・吸収とよくある消化器の症状           | 141 | 74.5% | 3.5%  | 19.9% | 2.1% | 13位       |
|                      |                            | 8-3  | 経管栄養法とは                    | 141 | 75.9% | 0.0%  | 19.9% | 4.3% | 9位        |
|                      |                            | 8-4  | 注入する内容に関する知識               | 141 | 46.1% | 0.0%  | 53.2% | 0.7% | 41位       |
|                      |                            | 8-5  | 経管栄養実施上の留意点                | 141 | 61.7% | 2.1%  | 34.8% | 1.4% | 30位       |
|                      |                            | 8-6  | 成人と小児の経管栄養の違い              | 141 | 42.6% | 0.0%  | 56.0% | 1.4% | 43位       |
|                      |                            | 8-7  | 経管栄養に関係する感染と予防             | 141 | 62.4% | 0.0%  | 36.2% | 1.4% | 28位       |
|                      |                            | 8-8  | 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応      | 141 | 63.8% | 0.7%  | 34.8% | 0.7% | 26位       |
|                      |                            | 8-9  | 事前説明(声かけ)と同意、事後の確認         | 141 | 41.1% | 0.0%  | 58.2% | 0.7% | 44位       |
|                      |                            | 8-10 | 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認      | 141 | 69.5% | 2.1%  | 27.0% | 1.4% | 18位       |
|                      |                            | 8-11 | 急変・事故発生時の対応と事前対策           | 141 | 58.9% | 0.0%  | 39.7% | 1.4% | 34位       |
| 9                    | 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」(実施手順解説)  | 9-1  | 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持  | 141 | 78.7% | 0.0%  | 20.6% | 0.7% | 3位        |
|                      |                            | 9-2  | 経管栄養の技術と留意点                | 141 | 69.5% | 5.0%  | 24.8% | 0.7% | 18位       |
|                      |                            | 9-3  | 経管栄養に必要なケア                 | 141 | 65.2% | 0.7%  | 34.0% | 0.0% | 24位       |
|                      |                            | 9-4  | 報告及び記録                     | 141 | 51.1% | 0.0%  | 48.9% | 0.0% | 37位       |

#### ④教え方のわかりやすさ(介護職員)

介護職員に対し、指導者の教え方のわかりやすさ（設問「指導者はわかりやすく講義を行っていましたか」）を4段階（「わかりやすかった」、「一部わかりにくかった」、「大半はわかりにくかった」、「わかりにくかった」）で聞いた（図表 3-18、図表 3-19）。

全体としては、「わかりやすかった」が70.9%～97.9%と、44講義の全てにおいて、最も高い比率を占め、44講義の平均では90.2%と9割を占めた。一方、「わかりにくい」は0.0%～4.3%と極僅かであり、「一部わかりにくかった」と「大半は分かりにくかった」も合わせた否定的評価の合計値は0.0%～23.4%と約25%以下に留まった。この結果から、指導者の教え方については、多くの介護職員にとって十分に分かりやすいものであったと考えられる。

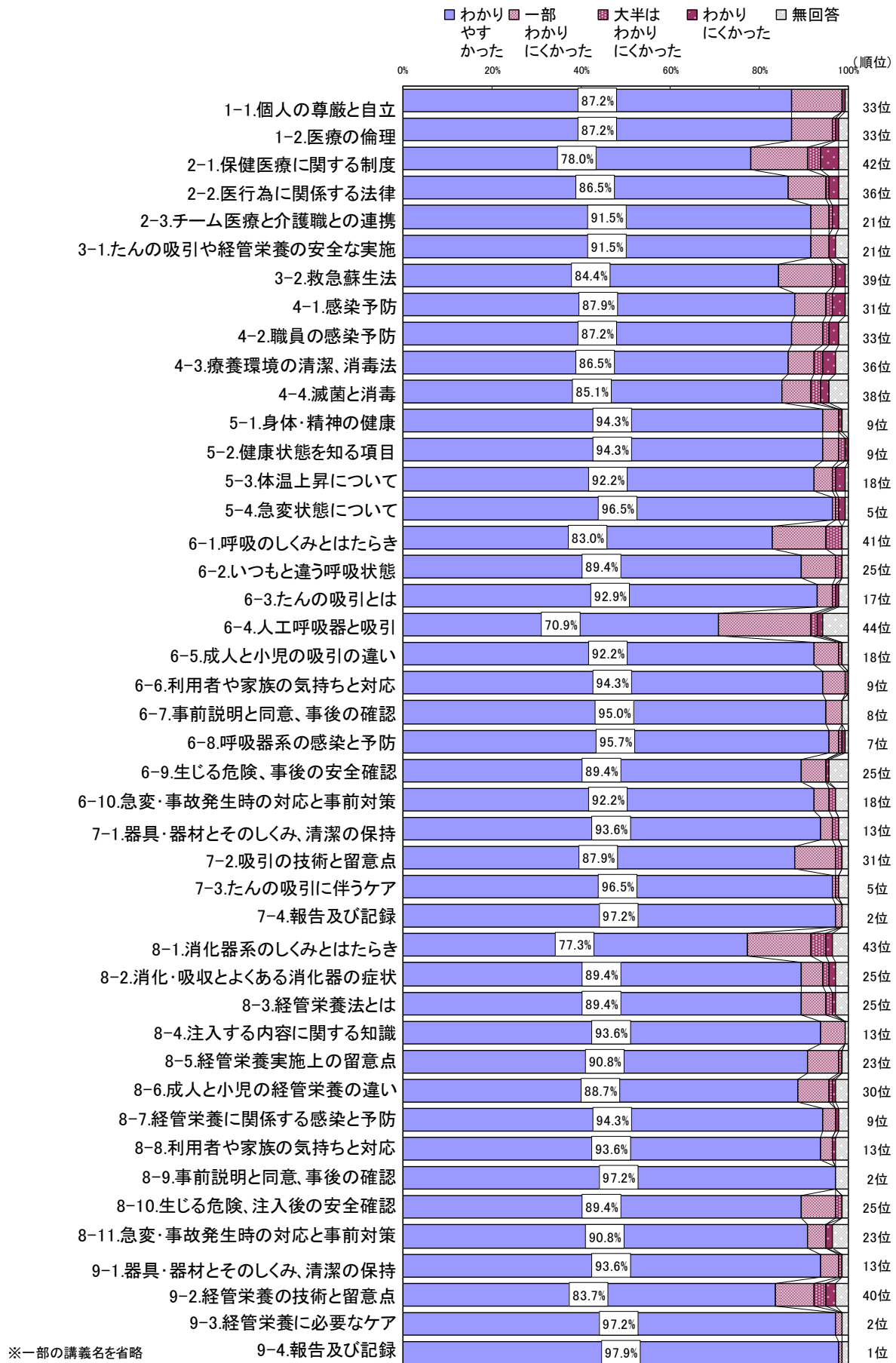
講義別にみると、「わかりやすかった」の比率が高かったのは、「9-4.報告及び記録」が97.9%で最も高く、次いで「7-4.報告及び記録」、「8-9.事前説明(声かけ)と同意、事後の確認」、「9-3.経管栄養に必要なケア」の3項目が97.2%、「5-4.急変状態について」と「7-3.たんの吸引に伴うケア」が96.5%の順であった。

一方、「わかりやすかった」比率が低かったのは、「6-4.人工呼吸器と吸引」の70.9%、次いで、「8-1.消化器系のしくみとはたらき」77.3%、「2-1.保健医療に関する制度」78.0%、「6-1.呼吸のしくみとはたらき」83.0%、「9-2.経管栄養の技術と留意点」83.7%の順であった。これらの講義は、否定的評価（「一部わかりにくかった」「大半はわかりにくかった」「わかりにくかった」の3項目の合計値）も高く、「6-4.人工呼吸器と吸引」が約23%、次いで「2-1.保健医療に関する制度」約20%、「8-1.消化器系のしくみとはたらき」約19%、「6-1.呼吸のしくみとはたらき」約16%の順に高い結果であった。全体的にわかりやすい教え方の中で、この4講義については教え方が分かりにくいと評価した介護職員が少なからず存在した。



図表 3-18.教え方のわかりやすさ 介護職員（基本研修・講義）

(n=141)



図表 3-19.教え方のわかりやすさ 介護職員(基本研修・講義)

| 問4. 指導者はわかりやすく講義を行っていましたか。 |                            |      |                            | 全体  | わかりやすかった | 一部わかりにくかった | 大半はわかりにくかった | わかりにくかった | 無回答  | 順位(わかりやすかった) |
|----------------------------|----------------------------|------|----------------------------|-----|----------|------------|-------------|----------|------|--------------|
| 1                          | 人間と社会                      | 1-1  | 個人の尊厳と自立                   | 141 | 87.2%    | 11.3%      | 0.0%        | 0.7%     | 0.7% | 33位          |
|                            |                            | 1-2  | 医療の倫理                      | 141 | 87.2%    | 9.2%       | 0.7%        | 0.7%     | 2.1% | 33位          |
| 2                          | 保健医療制度とチーム医療               | 2-1  | 保健医療に関する制度                 | 141 | 78.0%    | 12.8%      | 2.8%        | 4.3%     | 2.1% | 42位          |
|                            |                            | 2-2  | 行為に関係する法律                  | 141 | 86.5%    | 8.5%       | 0.7%        | 2.1%     | 2.1% | 36位          |
|                            |                            | 2-3  | チーム医療と介護職との連携              | 141 | 91.5%    | 4.3%       | 0.7%        | 1.4%     | 2.1% | 21位          |
| 3                          | 安全な療養生活                    | 3-1  | たんの吸引や経管栄養の安全な実施           | 141 | 91.5%    | 4.3%       | 0.0%        | 1.4%     | 2.8% | 21位          |
|                            |                            | 3-2  | 救急蘇生法                      | 141 | 84.4%    | 12.1%      | 0.7%        | 2.1%     | 0.7% | 39位          |
| 4                          | 清潔保持と感染予防                  | 4-1  | 感染予防                       | 141 | 87.9%    | 7.1%       | 1.4%        | 2.8%     | 0.7% | 31位          |
|                            |                            | 4-2  | 職員の感染予防                    | 141 | 87.2%    | 7.1%       | 1.4%        | 2.1%     | 2.1% | 33位          |
|                            |                            | 4-3  | 療養環境の清潔、消毒法                | 141 | 86.5%    | 5.7%       | 2.1%        | 2.8%     | 2.8% | 36位          |
|                            |                            | 4-4  | 滅菌と消毒                      | 141 | 85.1%    | 6.4%       | 2.1%        | 2.1%     | 4.3% | 38位          |
| 5                          | 健康状態の把握                    | 5-1  | 身体・精神の健康                   | 141 | 94.3%    | 3.5%       | 0.0%        | 0.7%     | 1.4% | 9位           |
|                            |                            | 5-2  | 健康状態を知る項目(バイタルサインなど)       | 141 | 94.3%    | 3.5%       | 1.4%        | 0.7%     | 0.0% | 9位           |
|                            |                            | 5-3  | 体温上昇について                   | 141 | 92.2%    | 4.3%       | 0.7%        | 2.1%     | 0.7% | 18位          |
|                            |                            | 5-4  | 急変状態について                   | 141 | 96.5%    | 0.7%       | 0.7%        | 1.4%     | 0.7% | 5位           |
| 6                          | 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」(概論)     | 6-1  | 呼吸のしくみとはたらき                | 141 | 83.0%    | 12.1%      | 3.5%        | 0.0%     | 1.4% | 41位          |
|                            |                            | 6-2  | いつもと違う呼吸状態                 | 141 | 89.4%    | 7.8%       | 1.4%        | 0.0%     | 1.4% | 25位          |
|                            |                            | 6-3  | たんの吸引とは                    | 141 | 92.9%    | 3.5%       | 0.7%        | 0.7%     | 2.1% | 17位          |
|                            |                            | 6-4  | 人工呼吸器と吸引                   | 141 | 70.9%    | 20.6%      | 1.4%        | 1.4%     | 5.7% | 44位          |
|                            |                            | 6-5  | 成人と小児の吸引の違い                | 141 | 92.2%    | 5.7%       | 0.7%        | 0.0%     | 1.4% | 18位          |
|                            |                            | 6-6  | 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応        | 141 | 94.3%    | 5.0%       | 0.7%        | 0.0%     | 0.0% | 9位           |
|                            |                            | 6-7  | 事前説明(声かけ)と同意、事後の確認         | 141 | 95.0%    | 3.5%       | 0.0%        | 0.0%     | 1.4% | 8位           |
|                            |                            | 6-8  | 呼吸器系の感染と予防(吸引に関連して)        | 141 | 95.7%    | 2.1%       | 0.7%        | 0.7%     | 0.7% | 7位           |
|                            |                            | 6-9  | たんの吸引により生じる危険、事後の安全確認      | 141 | 89.4%    | 5.7%       | 0.0%        | 0.7%     | 4.3% | 25位          |
|                            |                            | 6-10 | 急変・事故発生時の対応と事前対策           | 141 | 92.2%    | 3.5%       | 1.4%        | 0.0%     | 2.8% | 18位          |
| 7                          | 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」(実施手順解説) | 7-1  | たんの吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 | 141 | 93.6%    | 2.8%       | 1.4%        | 0.0%     | 2.1% | 13位          |
|                            |                            | 7-2  | 吸引の技術と留意点                  | 141 | 87.9%    | 9.2%       | 1.4%        | 0.0%     | 1.4% | 31位          |
|                            |                            | 7-3  | たんの吸引に伴うケア                 | 141 | 96.5%    | 0.7%       | 0.7%        | 0.0%     | 2.1% | 5位           |
|                            |                            | 7-4  | 報告及び記録                     | 141 | 97.2%    | 1.4%       | 0.0%        | 0.0%     | 1.4% | 2位           |
| 8                          | 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」(概論)      | 8-1  | 消化器系のしくみとはたらき              | 141 | 77.3%    | 14.2%      | 3.5%        | 1.4%     | 3.5% | 43位          |
|                            |                            | 8-2  | 消化・吸収とよくある消化器の症状           | 141 | 89.4%    | 5.0%       | 1.4%        | 1.4%     | 2.8% | 25位          |
|                            |                            | 8-3  | 経管栄養法とは                    | 141 | 89.4%    | 5.7%       | 1.4%        | 0.7%     | 2.8% | 25位          |
|                            |                            | 8-4  | 注入する内容に関する知識               | 141 | 93.6%    | 5.7%       | 0.0%        | 0.0%     | 0.7% | 13位          |
|                            |                            | 8-5  | 経管栄養実施上の留意点                | 141 | 90.8%    | 7.1%       | 0.7%        | 0.0%     | 1.4% | 23位          |
|                            |                            | 8-6  | 成人と小児の経管栄養の違い              | 141 | 88.7%    | 7.1%       | 0.7%        | 0.7%     | 2.8% | 30位          |
|                            |                            | 8-7  | 経管栄養に関する感染と予防              | 141 | 94.3%    | 2.8%       | 0.0%        | 0.7%     | 2.1% | 9位           |
|                            |                            | 8-8  | 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応      | 141 | 93.6%    | 2.8%       | 0.0%        | 0.7%     | 2.8% | 13位          |
|                            |                            | 8-9  | 事前説明(声かけ)と同意、事後の確認         | 141 | 97.2%    | 0.0%       | 0.0%        | 0.0%     | 2.8% | 2位           |
|                            |                            | 8-10 | 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認      | 141 | 89.4%    | 7.8%       | 1.4%        | 0.0%     | 1.4% | 25位          |
|                            |                            | 8-11 | 急変・事故発生時の対応と事前対策           | 141 | 90.8%    | 4.3%       | 0.0%        | 1.4%     | 3.5% | 23位          |
| 9                          | 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」(実施手順解説)  | 9-1  | 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持  | 141 | 93.6%    | 4.3%       | 0.7%        | 0.0%     | 1.4% | 13位          |
|                            |                            | 9-2  | 経管栄養の技術と留意点                | 141 | 83.7%    | 8.5%       | 2.8%        | 2.1%     | 2.8% | 40位          |
|                            |                            | 9-3  | 経管栄養に必要なケア                 | 141 | 97.2%    | 1.4%       | 0.0%        | 0.0%     | 1.4% | 2位           |
|                            |                            | 9-4  | 報告及び記録                     | 141 | 97.9%    | 0.7%       | 0.0%        | 0.0%     | 1.4% | 1位           |

## ⑤講義のわかりにくい点(自由回答)(介護職員)

教え方のわかりやすさ(設問「指導者はわかりやすく講義を行っていましたか」)において、「一部わかりにくかった」、「大半はわかりにくかった」、「わかりにくかった」と回答した方に、講義のわかりにくい点(設問「どのような点にわかりにくいと感じたか」)を聞き、483件の回答を得た(図表 3-21)。

自由回答を分類したところ、全体としては、「講義内容について」188件、「講義の進め方について」136件、「講義内容がわかりにくい、難しい」94件、「解説やテキスト内容の不足」91件などの意見が多くあがった(1つの回答欄に、複数の内容が書き込まれていた場合は、それぞれにカウント)。

講義別では、「6-4.人工呼吸器と吸引」と「8-1.消化器系のしくみとはたらき」がともに28件、「6-1.呼吸のしくみとはたらき」が26件と多く、「9-3.経管栄養に必要なケア」と「9-4.報告と記録」がともに2件と少なかった。

具体的な回答は以下の通り(図表 3-20)。

**図表 3-20.講義のわかりにくい点(自由回答)介護職員(基本研修・講義)**

- ・ (2-1) テキスト、スライドをただ読んでという印象。先生は受講者達が自分の話をどれだけ理解しているかという事を把握しながら話が出来たでしょうか？大学の授業によくある無意味な独り言タイプの授業であった。
- ・ (3-1) テキストを基にシンプルにすすめ、補足として事例を出すという流れがわかりやすかった。
- ・ (3-2) 教材を読むだけで、特別な説明が少なかった為、少し理解するのが困難でした
- ・ (4-1) 一部テキストと矛盾している内容があったので迷う。
- ・ (4-2) 本を読むことで自然と覚えられる部分もあり良かった。
- ・ (4-3) 薬品名がわかりづらい。勉強にはなるが、少しはやかかった。
- ・ (5-1) 自らの解釈も含め、「平常状態」について詳しく説明を受け良かったです。
- ・ (5-3) グループワーク及びテキスト重要ポイントの記述(自分で考え、修正していく手法)は頭に残る学習法で働きながら学ぶ私たちにとって時間効率がとても良かった。
- ・ (5-3) 重要な項目であり、詳しく説明され、良かったと思います。
- ・ (6-1) テキストのポイント(大切な部分)を伝えている点が良かった。
- ・ (6-2) テキストだけでは、少し物足りないと思う。指導者の資料で大切な部分を把握出来た。呼吸状態については重要なので、このくらい詳しいほうがよい。
- ・ (6-4) 事例を出して説明してほしかったです。(具体的な)
- ・ (6-7) 最初から一連のプロセスを見ながら、説明と同意の必要性の説明があるとわかりやすかった(イメージがわく)
- ・ (7-1) カテーテル見せながらだったので分りやすいと思います。
- ・ (7-2) もう少し時間をかけて行って復習したかった。手順がテキストと前後まちがっている部分があった。
- ・ (7-4) 具体的な記録の不適切な略語などの説明がわかりやすくて良いと思った。
- ・ (8-1) 全体の流れが早く、ついていけず、ポイントがわからなかった。理解できなかった。
- ・ (8-3) 実際に見ている物もあるが、見た事がないタイプもあり、実物を見たり写真をみたかった。
- ・ (8-4) 栄養剤の種類で医薬品と食品の違いがわかりませんでした。
- ・ (8-6) 成人と小児の違いということなので同じ項目での比較をしてほしい。先生も小児の経験がないということでむずかしかったようだ。
- ・ (9-2) 一度も器具を触ったことのない人がいた。そういった人には、特に指導者がついて説明してあげた方がいいと思った。

図表 3-21. 講義のわかりにくい点(自由回答) 介護職員(基本研修・講義)

| 問4.講義のわかりにくい点 |                                                |      |                            | 回答<br>件数 | 講義内容<br>について | 講義の進<br>め方につ<br>いて | 講義内容<br>がわかり<br>にくい・む<br>ずかしい | 解説やテ<br>キスト内<br>容の不足 | 言葉が難<br>しい | 関連知識<br>の必要性 | その他 |
|---------------|------------------------------------------------|------|----------------------------|----------|--------------|--------------------|-------------------------------|----------------------|------------|--------------|-----|
| 1             | 人間と社<br>会                                      | 1-1  | 個人の尊厳と自立                   | 14       | 8            | 2                  | 1                             | 1                    | 1          | 1            | 2   |
|               |                                                | 1-2  | 医療の倫理                      | 14       | 6            | 2                  | 4                             | 2                    | 1          | 0            | 1   |
| 2             | 保健医療<br>制度と<br>チーム医<br>療                       | 2-1  | 保健医療に関する制度                 | 20       | 11           | 3                  | 6                             | 0                    | 0          | 1            | 3   |
|               |                                                | 2-2  | 医行為に関係する法律                 | 9        | 5            | 1                  | 3                             | 1                    | 1          | 1            | 2   |
|               |                                                | 2-3  | チーム医療と介護職との連携              | 6        | 3            | 1                  | 1                             | 0                    | 0          | 0            | 2   |
| 3             | 安全な療<br>養生活                                    | 3-1  | たんの吸引や経管栄養の安全な実施           | 10       | 3            | 4                  | 0                             | 5                    | 0          | 0            | 2   |
|               |                                                | 3-2  | 救急蘇生法                      | 21       | 8            | 6                  | 3                             | 7                    | 0          | 0            | 4   |
| 4             | 清潔保持<br>と感染予<br>防                              | 4-1  | 感染予防                       | 16       | 9            | 8                  | 0                             | 5                    | 0          | 0            | 2   |
|               |                                                | 4-2  | 職員の感染予防                    | 13       | 7            | 4                  | 2                             | 4                    | 0          | 0            | 2   |
|               |                                                | 4-3  | 療養環境の清潔、消毒法                | 11       | 6            | 4                  | 2                             | 1                    | 1          | 0            | 1   |
|               |                                                | 4-4  | 滅菌と消毒                      | 10       | 3            | 4                  | 2                             | 3                    | 0          | 1            | 0   |
| 5             | 健康状態<br>の把握                                    | 5-1  | 身体・精神の健康                   | 9        | 2            | 2                  | 1                             | 5                    | 0          | 0            | 0   |
|               |                                                | 5-2  | 健康状態を知る項目(バイタルサインなど)       | 9        | 3            | 1                  | 1                             | 3                    | 0          | 0            | 2   |
|               |                                                | 5-3  | 体温上昇について                   | 7        | 2            | 2                  | 0                             | 4                    | 0          | 0            | 0   |
|               |                                                | 5-4  | 急変状態について                   | 3        | 1            | 1                  | 0                             | 1                    | 0          | 0            | 0   |
| 6             | 高齢者及<br>び障害<br>児・者の<br>「たんの吸<br>引」(概論)         | 6-1  | 呼吸のしくみとはたらき                | 26       | 7            | 7                  | 4                             | 3                    | 4          | 1            | 3   |
|               |                                                | 6-2  | いつもと違う呼吸状態                 | 16       | 7            | 3                  | 2                             | 7                    | 1          | 0            | 0   |
|               |                                                | 6-3  | たんの吸引とは                    | 8        | 2            | 3                  | 1                             | 3                    | 1          | 1            | 0   |
|               |                                                | 6-4  | 人工呼吸器と吸引                   | 28       | 9            | 11                 | 6                             | 4                    | 5          | 0            | 2   |
|               |                                                | 6-5  | 成人と小児の吸引の違い                | 7        | 0            | 3                  | 3                             | 1                    | 0          | 0            | 0   |
|               |                                                | 6-6  | 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応        | 10       | 3            | 6                  | 0                             | 0                    | 0          | 0            | 2   |
|               |                                                | 6-7  | 事前説明(声かけ)と同意、事後の確認         | 6        | 1            | 1                  | 2                             | 0                    | 0          | 0            | 2   |
|               |                                                | 6-8  | 呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して)        | 7        | 2            | 2                  | 0                             | 1                    | 1          | 0            | 1   |
|               |                                                | 6-9  | たんの吸引により生じる危険、事後の安全確認      | 10       | 4            | 2                  | 1                             | 4                    | 1          | 0            | 1   |
|               |                                                | 6-10 | 急変・事故発生時の対応と事前対策           | 5        | 1            | 2                  | 1                             | 1                    | 0          | 0            | 1   |
| 7             | 高齢者及<br>び障害児・<br>者の「たんの<br>吸引」<br>(実施手順<br>解説) | 7-1  | たんの吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 | 11       | 6            | 2                  | 1                             | 0                    | 2          | 0            | 3   |
|               |                                                | 7-2  | 吸引の技術と留意点                  | 17       | 7            | 6                  | 3                             | 0                    | 0          | 0            | 5   |
|               |                                                | 7-3  | たんの吸引に伴うケア                 | 3        | 1            | 1                  | 1                             | 0                    | 0          | 0            | 0   |
|               |                                                | 7-4  | 報告及び記録                     | 4        | 3            | 0                  | 0                             | 0                    | 0          | 0            | 1   |
| 8             | 高齢者及<br>び障害<br>児・者の<br>「経管栄養」(概論)              | 8-1  | 消化器系のしくみとはたらき              | 28       | 5            | 11                 | 7                             | 2                    | 4          | 0            | 1   |
|               |                                                | 8-2  | 消化・吸収とよくある消化器の症状           | 9        | 2            | 4                  | 3                             | 0                    | 0          | 0            | 0   |
|               |                                                | 8-3  | 経管栄養法とは                    | 12       | 2            | 3                  | 2                             | 4                    | 2          | 0            | 0   |
|               |                                                | 8-4  | 注入する内容に関する知識               | 11       | 6            | 0                  | 6                             | 0                    | 0          | 0            | 0   |
|               |                                                | 8-5  | 経管栄養実施上の留意点                | 12       | 2            | 7                  | 5                             | 0                    | 0          | 0            | 0   |
|               |                                                | 8-6  | 成人と小児の経管栄養の違い              | 8        | 3            | 1                  | 2                             | 4                    | 0          | 0            | 0   |
|               |                                                | 8-7  | 経管栄養に関係する感染と予防             | 5        | 3            | 0                  | 1                             | 1                    | 0          | 1            | 0   |
|               |                                                | 8-8  | 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応      | 9        | 6            | 1                  | 1                             | 0                    | 0          | 0            | 1   |
|               |                                                | 8-9  | 事前説明(声かけ)と同意、事後の確認         | 3        | 1            | 2                  | 0                             | 0                    | 0          | 0            | 0   |
|               |                                                | 8-10 | 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認      | 15       | 9            | 3                  | 5                             | 6                    | 0          | 0            | 0   |
|               |                                                | 8-11 | 急変・事故発生時の対応と事前対策           | 10       | 2            | 2                  | 4                             | 1                    | 0          | 0            | 1   |
| 9             | 高齢者及<br>び障害<br>児・者の「<br>経管栄養」<br>(実施手順<br>解説)  | 9-1  | 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持  | 7        | 3            | 1                  | 2                             | 2                    | 0          | 1            | 0   |
|               |                                                | 9-2  | 経管栄養の技術と留意点                | 20       | 11           | 6                  | 4                             | 5                    | 0          | 0            | 1   |
|               |                                                | 9-3  | 経管栄養に必要なケア                 | 2        | 1            | 1                  | 1                             | 0                    | 0          | 0            | 0   |
|               |                                                | 9-4  | 報告及び記録                     | 2        | 2            | 0                  | 0                             | 0                    | 0          | 0            | 0   |
| 計             |                                                |      |                            | 483      | 188          | 136                | 94                            | 91                   | 25         | 8            | 48  |

## ⑥講義の総合評価(介護職員)

介護職員に対し、講義の総合評価（設問「講義を総合的にみてどのように感じましたか」）を4段階（「よい」、「どちらかというといよい」、「どちらかというといよくない」、「よくない」）で聞いた（図表 3-22、図表 3-23）。

全体としては、「よい」が 45.4%～76.6%と 44 講義の全てにおいて最も高い比率を占め、44 講義の平均では 66.3%と 7 割弱を占め、次いで、「どちらかというといよい」が 15.6～48.2%、平均 25.1%であった。一方、「どちらかというといよくない」は 0.7～10.6%、「よくない」は 0.0%～2.1%と極僅かであった。

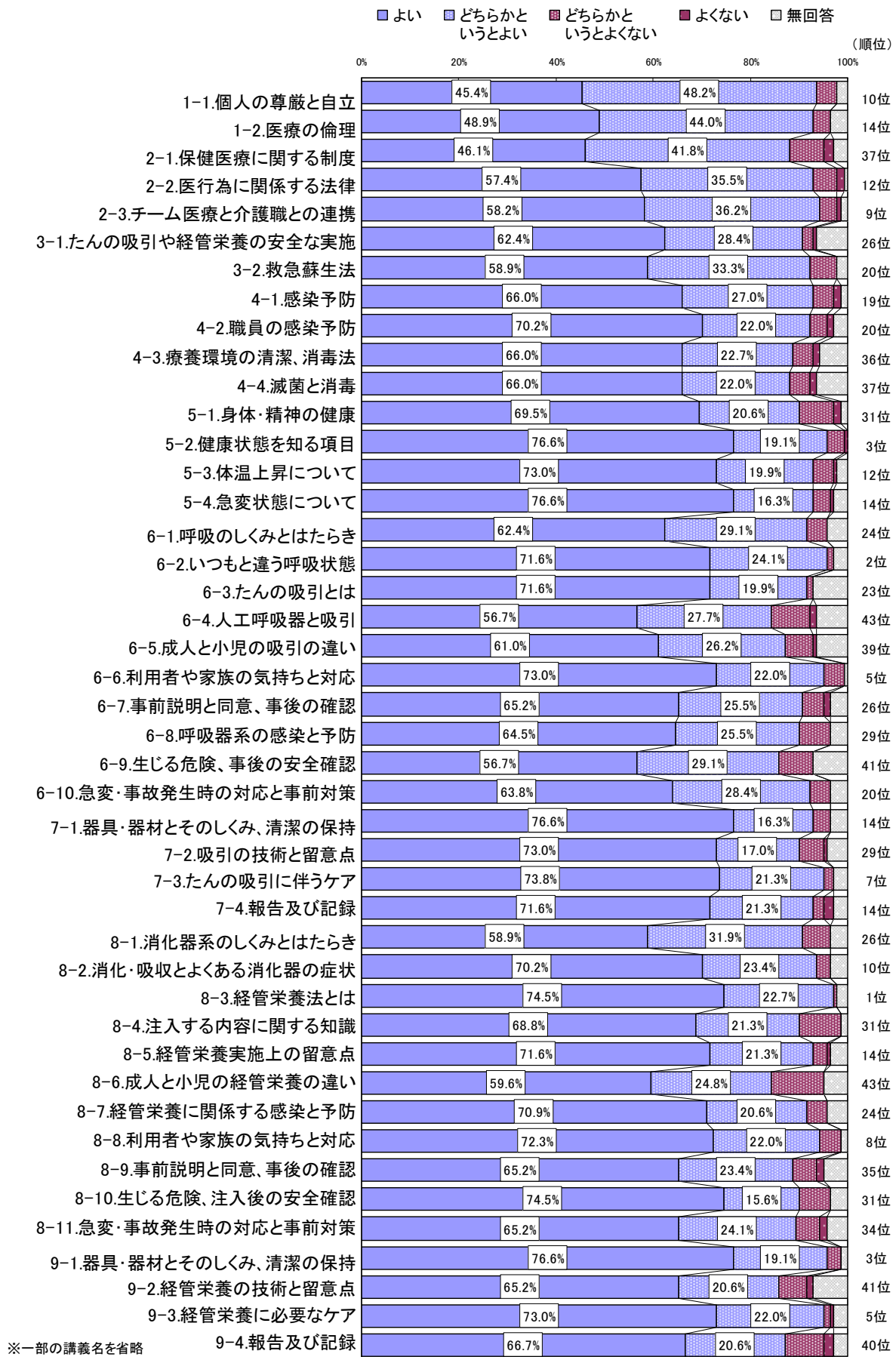
「よい」と「どちらかというといよい」を合わせた肯定的評価の合計値は 84.4～97.2%と圧倒的に多く、一方、「よくない」と「どちらかというといよくない」を合わせた否定的評価の合計値は 0.7%～10.6%と約 1 割程度以下に留まった。この結果から、基本研修・講義について、講義の難易度、テキストの内容、指導者の教え方、講義時間などを含めた総合的な評価については、多くの介護職員から高い評価が得られたものと考えられる。

講義別にみると、「よい」の比率が高かったのは、「5-2.健康状態を知る項目(バイタルサインなど)」、「5-4.急変状態について」、「7-1.たんの吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持」、「9-1.経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持」の 4 項目がいずれも 76.6%で最も高かった。「よい」と「どちらかというといよい」を合わせた肯定的評価の合計値では、「8-3.経管栄養法とは」が約 97%、「6-2.いつもと違う呼吸状態」、「5-2.健康状態を知る項目(バイタルサインなど)」、「9-1.経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持」の 3 講義がいずれも約 96%の順で高い結果となった。

一方、「よい」の比率が低かったのは、「1-1.個人の尊厳と自立」45.4%、「2-1.保健医療に関する制度」46.1%、「1-2.医療の倫理」48.9%の順であった。また、「よくない」と「どちらかというといよくない」を合わせた否定的評価の合計値では、「8-6.成人と小児の経管栄養の違い」が約 11%で最も高く、「9-4.報告及び記録」約 10%、「2-1.保健医療に関する制度」約 9%の順であった。

図表 3-22.講義の総合評価 介護職員(基本研修・講義)

(n=141)



図表 3-23.講義の総合評価 介護職員(基本研修・講義)

| 問5. この講義を総合的にみてどのように感じましたか。 |                            |                                | 全体  | よい    | どちらかというとい | どちらかというとい | よくない | 無回答  | よい+どちらというとい | 順位(肯定的評価) |
|-----------------------------|----------------------------|--------------------------------|-----|-------|-----------|-----------|------|------|-------------|-----------|
| 1                           | 人間と社会                      | 1-1 個人の尊厳と自立                   | 141 | 45.4% | 48.2%     | 4.3%      | 0.0% | 2.1% | 93.6%       | 10位       |
|                             |                            | 1-2 医療の倫理                      | 141 | 48.9% | 44.0%     | 3.5%      | 0.0% | 3.5% | 92.9%       | 14位       |
| 2                           | 保健医療制度とチーム医療               | 2-1 保健医療に関する制度                 | 141 | 46.1% | 41.8%     | 7.1%      | 2.1% | 2.8% | 87.9%       | 37位       |
|                             |                            | 2-2 医行為に関係する法律                 | 141 | 57.4% | 35.5%     | 5.0%      | 1.4% | 0.7% | 92.9%       | 12位       |
|                             |                            | 2-3 チーム医療と介護職との連携              | 141 | 58.2% | 36.2%     | 3.5%      | 0.7% | 1.4% | 94.3%       | 9位        |
| 3                           | 安全な療養生活                    | 3-1 たんの吸引や経管栄養の安全な実施           | 141 | 62.4% | 28.4%     | 2.1%      | 0.7% | 6.4% | 90.8%       | 26位       |
|                             |                            | 3-2 救急蘇生法                      | 141 | 58.9% | 33.3%     | 5.7%      | 0.0% | 2.1% | 92.2%       | 20位       |
| 4                           | 清潔保持と感染予防                  | 4-1 感染予防                       | 141 | 66.0% | 27.0%     | 4.3%      | 1.4% | 1.4% | 92.9%       | 19位       |
|                             |                            | 4-2 職員の感染予防                    | 141 | 70.2% | 22.0%     | 3.5%      | 1.4% | 2.8% | 92.2%       | 20位       |
|                             |                            | 4-3 療養環境の清潔、消毒法                | 141 | 66.0% | 22.7%     | 4.3%      | 1.4% | 5.7% | 88.7%       | 36位       |
|                             |                            | 4-4 滅菌と消毒                      | 141 | 66.0% | 22.0%     | 4.3%      | 1.4% | 6.4% | 87.9%       | 37位       |
| 5                           | 健康状態の把握                    | 5-1 身体・精神の健康                   | 141 | 69.5% | 20.6%     | 7.1%      | 1.4% | 1.4% | 90.1%       | 31位       |
|                             |                            | 5-2 健康状態を知る項目(バイタルサインなど)       | 141 | 76.6% | 19.1%     | 3.5%      | 0.7% | 0.0% | 95.7%       | 3位        |
|                             |                            | 5-3 体温上昇について                   | 141 | 73.0% | 19.9%     | 4.3%      | 0.7% | 2.1% | 92.9%       | 12位       |
|                             |                            | 5-4 急変状態について                   | 141 | 76.6% | 16.3%     | 3.5%      | 0.7% | 2.8% | 92.9%       | 14位       |
| 6                           | 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」(概論)     | 6-1 呼吸のしくみとはたらき                | 141 | 62.4% | 29.1%     | 4.3%      | 0.0% | 4.3% | 91.5%       | 24位       |
|                             |                            | 6-2 いつもと違う呼吸状態                 | 141 | 71.6% | 24.1%     | 1.4%      | 0.0% | 2.8% | 95.7%       | 2位        |
|                             |                            | 6-3 たんの吸引とは                    | 141 | 71.6% | 19.9%     | 1.4%      | 0.0% | 7.1% | 91.5%       | 23位       |
|                             |                            | 6-4 人工呼吸器と吸引                   | 141 | 56.7% | 27.7%     | 7.8%      | 1.4% | 6.4% | 84.4%       | 43位       |
|                             |                            | 6-5 成人と小児の吸引の違い                | 141 | 61.0% | 26.2%     | 5.7%      | 0.7% | 6.4% | 87.2%       | 39位       |
|                             |                            | 6-6 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応        | 141 | 73.0% | 22.0%     | 4.3%      | 0.0% | 0.7% | 95.0%       | 5位        |
|                             |                            | 6-7 事前説明(声かけ)と同意、事後の確認         | 141 | 65.2% | 25.5%     | 4.3%      | 1.4% | 3.5% | 90.8%       | 26位       |
|                             |                            | 6-8 呼吸器系の感染と予防(吸引に関連して)        | 141 | 64.5% | 25.5%     | 6.4%      | 0.0% | 3.5% | 90.1%       | 29位       |
|                             |                            | 6-9 たんの吸引により生じる危険、事後の安全確認      | 141 | 56.7% | 29.1%     | 7.1%      | 0.0% | 7.1% | 85.8%       | 41位       |
|                             |                            | 6-10 急変・事故発生時の対応と事前対策          | 141 | 63.8% | 28.4%     | 4.3%      | 0.0% | 3.5% | 92.2%       | 20位       |
| 7                           | 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」(実施手順解説) | 7-1 たんの吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 | 141 | 76.6% | 16.3%     | 3.5%      | 0.0% | 3.5% | 92.9%       | 14位       |
|                             |                            | 7-2 吸引の技術と留意点                  | 141 | 73.0% | 17.0%     | 5.0%      | 0.7% | 4.3% | 90.1%       | 29位       |
|                             |                            | 7-3 たんの吸引に伴うケア                 | 141 | 73.8% | 21.3%     | 2.1%      | 0.0% | 2.8% | 95.0%       | 7位        |
|                             |                            | 7-4 報告及び記録                     | 141 | 71.6% | 21.3%     | 2.1%      | 2.1% | 2.8% | 92.9%       | 14位       |
| 8                           | 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」(概論)      | 8-1 消化器系のしくみとはたらき              | 141 | 58.9% | 31.9%     | 5.7%      | 0.0% | 3.5% | 90.8%       | 26位       |
|                             |                            | 8-2 消化・吸収とよくある消化器の症状           | 141 | 70.2% | 23.4%     | 2.8%      | 0.0% | 3.5% | 93.6%       | 10位       |
|                             |                            | 8-3 経管栄養法とは                    | 141 | 74.5% | 22.7%     | 0.7%      | 0.0% | 2.1% | 97.2%       | 1位        |
|                             |                            | 8-4 注入する内容に関する知識               | 141 | 68.8% | 21.3%     | 8.5%      | 0.0% | 1.4% | 90.1%       | 31位       |
|                             |                            | 8-5 経管栄養実施上の留意点                | 141 | 71.6% | 21.3%     | 2.8%      | 0.7% | 3.5% | 92.9%       | 14位       |
|                             |                            | 8-6 成人と小児の経管栄養の違い              | 141 | 59.6% | 24.8%     | 10.6%     | 0.0% | 5.0% | 84.4%       | 43位       |
|                             |                            | 8-7 経管栄養に関係する感染と予防             | 141 | 70.9% | 20.6%     | 4.3%      | 0.0% | 4.3% | 91.5%       | 24位       |
|                             |                            | 8-8 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応      | 141 | 72.3% | 22.0%     | 4.3%      | 0.0% | 1.4% | 94.3%       | 8位        |
|                             |                            | 8-9 事前説明(声かけ)と同意、事後の確認         | 141 | 65.2% | 23.4%     | 5.0%      | 1.4% | 5.0% | 88.7%       | 35位       |
|                             |                            | 8-10 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認     | 141 | 74.5% | 15.6%     | 6.4%      | 0.0% | 3.5% | 90.1%       | 31位       |
|                             |                            | 8-11 急変・事故発生時の対応と事前対策          | 141 | 65.2% | 24.1%     | 5.0%      | 1.4% | 4.3% | 89.4%       | 34位       |
| 9                           | 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」(実施手順解説)  | 9-1 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持  | 141 | 76.6% | 19.1%     | 2.8%      | 0.0% | 1.4% | 95.7%       | 3位        |
|                             |                            | 9-2 経管栄養の技術と留意点                | 141 | 65.2% | 20.6%     | 5.7%      | 1.4% | 7.1% | 85.8%       | 41位       |
|                             |                            | 9-3 経管栄養に必要なケア                 | 141 | 73.0% | 22.0%     | 1.4%      | 0.7% | 2.8% | 95.0%       | 5位        |
|                             |                            | 9-4 報告及び記録                     | 141 | 66.7% | 20.6%     | 7.8%      | 2.1% | 2.8% | 87.2%       | 40位       |

## ⑦講義への意見・要望(自由回答)(介護職員)

講義への意見・要望（設問「この講義に対する、ご意見ご要望がありましたらご記入ください」）に対し、2,052 件の回答を得た（図表 3-25）。

自由回答を分類したところ、全体としては、「講義内容について」905 件、「受講後の感想」477 件、「テキストについて」359 件、「講義時間について」289 件などの意見が多く挙げられた（1 つの回答欄に、複数の内容が書き込まれていた場合は、それぞれにカウント）。

講義別では、「3-2 救急蘇生法」73 件、「6-6. 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応」71 件、「6-4.人工呼吸器と吸引」62 件、「6-10.急変・事故発生時の対応と事前対策」60 件と回答が多かった。

具体的な回答は以下の通り（図表 3-24）。

**図表 3-24.講義への意見・要望(自由回答)介護職員(基本研修・講義)**

- ・ (3-1) テキストの内容に対して設定時間が長すぎる。講師も困まっておられるのが明らかである。講義は事例もあげて話をしていただき、わかりやすかったと思います。
- ・ (6-1) 肺胞をぶどうや風船にたとえての説明が、わかりやすかった。
- ・ (6-2) 聴診器を使って呼吸の音をきいたり、わかりやすかったです。
- ・ (6-3) 現場のナースから何が必要なのかをアドバイスしてもらえ明日からすぐ使える事でありおもしろかった。現場でさっそくやってみます。
- ・ (6-4) 別のホームには、人工呼吸器をつけている方がいますが、見たことない方にとっては、とっつきにくい内容だったと思います。回路の確認や、それぞれの部品の意味、入居者にとっての人工呼吸器の必要性、何が必要かを学びました。回路がとれていたりするとアラームで教えてくれることがある等、具体的な説明が欲しかったです。
- ・ (6-5) 全体的な事ですが、項目が終わる事に到達目標の確認をして頂き良かったと思う。
- ・ (6-6) 自分がもし吸引が必要になったら…ということで鼻腔や口腔のチューブを実際に体験できる時間もあり、吸引を受ける苦痛を理解できた。家族や利用者に関しても、理解をしてもらい、家族が不安に思っているようなこともしっかり話しをしていくことを心掛けていきたい。
- ・ (6-10) 心肺蘇生の応急方法は、対象者の状態（変形やカニューレの有無）によって一人一人違う事があるので、日頃から医師、看護師に確認しておく、という記述も必要だと思った。また、アンビューバッグでの送気については、指導者の説明だけでは、「難しいから、私たちには出来ないかも…」と思わせてしまう感じがしたが、そうして送気しないのでは送気が遅れ、生命の危機になると思うので、「アンビューバッグでの送気の回数や量は、日頃から医師や看護師に確認しておくが、基本は迅速に対応する」という事をつけ加えてほしいと思う。（人工呼吸器の方の急変緊急時の対応は、他の急変時の対応とは別で、人工呼吸器のくくりで行った方がよい。他のとはレベルが違うから。アンビューの説明もあわせて）
- ・ (7-2) 用意して下さった資料がとても分かりやすく良かった為、テキストでも参考にしたい。学んだ後にグループワークで再度確認できた事が良かった（手順書の作成）
- ・ (7-3) 体位ドレナージはとても習いたかったので実際に演習できて本当によかった
- ・ (8-1) テキストの中に消化器全体の図があればより栄養の流れがわかりやすかったと思います。
- ・ (8-4) 具体的なお話はとてもわかりやすいです。アイソカルの試飲も気分悪かったが理解の助けになりました。そこの状況にあわせた選択が必要ということがわかりました。
- ・ (8-6) 成人と小児の違いだけなので 1 時間も必要ないかと思います。
- ・ (8-8) 当施設では、ご本人意志がしっかり確認できない方が対象のため、また、ご家族の意向もあまりない為“新たな気付き”を受けました。



図表 3-25.講義の意見・要望(自由回答の件数) 介護職員(基本研修・講義)

| 問6.講義に対する意見・要望 |                                                |      |                            | 回答<br>件数 | 講義内容<br>について | 受講後の<br>感想 | テキスト<br>について | 講義時間<br>について | 講義の進<br>め方につ<br>いて | 追加資<br>料・教材<br>について | その他 |
|----------------|------------------------------------------------|------|----------------------------|----------|--------------|------------|--------------|--------------|--------------------|---------------------|-----|
| 1              | 人間と社<br>会                                      | 1-1  | 個人の尊厳と自立                   | 47       | 28           | 11         | 5            | 7            | 5                  | 3                   | 2   |
|                |                                                | 1-2  | 医療の倫理                      | 32       | 18           | 4          | 3            | 0            | 6                  | 3                   | 4   |
| 2              | 保健医療<br>制度と<br>チーム医<br>療                       | 2-1  | 保健医療に関する制度                 | 45       | 24           | 6          | 9            | 5            | 2                  | 5                   | 4   |
|                |                                                | 2-2  | 医行為に関係する法律                 | 31       | 9            | 7          | 8            | 1            | 1                  | 1                   | 3   |
|                |                                                | 2-3  | チーム医療と介護職との連携              | 40       | 10           | 6          | 8            | 6            | 3                  | 0                   | 8   |
| 3              | 安全な療<br>養生活                                    | 3-1  | たんの吸引や経管栄養の安全な実施           | 57       | 25           | 12         | 3            | 17           | 0                  | 0                   | 7   |
|                |                                                | 3-2  | 救急蘇生法                      | 73       | 30           | 13         | 11           | 9            | 4                  | 15                  | 10  |
| 4              | 清潔保持<br>と感染予<br>防                              | 4-1  | 感染予防                       | 50       | 23           | 9          | 5            | 4            | 4                  | 4                   | 5   |
|                |                                                | 4-2  | 職員の感染予防                    | 37       | 5            | 13         | 5            | 4            | 3                  | 0                   | 5   |
|                |                                                | 4-3  | 療養環境の清潔、消毒法                | 27       | 10           | 6          | 6            | 2            | 2                  | 0                   | 2   |
|                |                                                | 4-4  | 滅菌と消毒                      | 34       | 13           | 11         | 2            | 5            | 1                  | 0                   | 2   |
| 5              | 健康状態<br>の把握                                    | 5-1  | 身体・精神の健康                   | 45       | 16           | 14         | 10           | 11           | 3                  | 0                   | 1   |
|                |                                                | 5-2  | 健康状態を知る項目(バイタルサインなど)       | 48       | 18           | 14         | 11           | 5            | 6                  | 2                   | 3   |
|                |                                                | 5-3  | 体温上昇について                   | 38       | 18           | 8          | 10           | 3            | 0                  | 1                   | 2   |
|                |                                                | 5-4  | 急変状態について                   | 32       | 18           | 10         | 3            | 1            | 1                  | 0                   | 2   |
| 6              | 高齢者及<br>び障害<br>児・者の<br>「たんの吸<br>引」(概論)         | 6-1  | 呼吸のしくみとはたらき                | 51       | 26           | 10         | 6            | 7            | 7                  | 3                   | 7   |
|                |                                                | 6-2  | いつもと違う呼吸状態                 | 52       | 27           | 12         | 10           | 5            | 4                  | 1                   | 7   |
|                |                                                | 6-3  | たんの吸引とは                    | 43       | 23           | 10         | 7            | 3            | 3                  | 2                   | 5   |
|                |                                                | 6-4  | 人工呼吸器と吸引                   | 62       | 39           | 8          | 11           | 14           | 2                  | 7                   | 5   |
|                |                                                | 6-5  | 成人と小児の吸引の違い                | 42       | 16           | 8          | 0            | 12           | 3                  | 0                   | 11  |
|                |                                                | 6-6  | 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応        | 71       | 22           | 33         | 3            | 6            | 5                  | 3                   | 11  |
|                |                                                | 6-7  | 事前説明(声かけ)と同意、事後の確認         | 51       | 17           | 14         | 4            | 10           | 3                  | 1                   | 9   |
|                |                                                | 6-8  | 呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して)        | 50       | 19           | 13         | 3            | 7            | 5                  | 1                   | 8   |
|                |                                                | 6-9  | たんの吸引により生じる危険、事後の安全確認      | 56       | 33           | 11         | 5            | 7            | 2                  | 0                   | 7   |
|                |                                                | 6-10 | 急変・事故発生時の対応と事前対策           | 60       | 24           | 15         | 12           | 10           | 3                  | 0                   | 10  |
| 7              | 高齢者及<br>び障害児<br>・者の「た<br>んの吸引」<br>(実施手順<br>解説) | 7-1  | たんの吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 | 48       | 29           | 7          | 10           | 3            | 2                  | 6                   | 4   |
|                |                                                | 7-2  | 吸引の技術と留意点                  | 57       | 20           | 15         | 14           | 5            | 5                  | 11                  | 8   |
|                |                                                | 7-3  | たんの吸引に伴うケア                 | 50       | 16           | 20         | 13           | 1            | 1                  | 6                   | 3   |
|                |                                                | 7-4  | 報告及び記録                     | 46       | 26           | 12         | 7            | 6            | 3                  | 2                   | 4   |
| 8              | 高齢者及<br>び障害児<br>・者の「経<br>管栄養」(概<br>論)          | 8-1  | 消化器系のしくみとはたらき              | 54       | 28           | 6          | 23           | 3            | 7                  | 5                   | 3   |
|                |                                                | 8-2  | 消化・吸収とよくある消化器の症状           | 39       | 19           | 4          | 8            | 3            | 3                  | 6                   | 5   |
|                |                                                | 8-3  | 経管栄養法とは                    | 39       | 18           | 9          | 11           | 4            | 3                  | 8                   | 2   |
|                |                                                | 8-4  | 注入する内容に関する知識               | 48       | 21           | 7          | 13           | 16           | 0                  | 10                  | 4   |
|                |                                                | 8-5  | 経管栄養実施上の留意点                | 32       | 12           | 8          | 8            | 4            | 2                  | 8                   | 4   |
|                |                                                | 8-6  | 成人と小児の経管栄養の違い              | 58       | 27           | 6          | 17           | 16           | 2                  | 6                   | 7   |
|                |                                                | 8-7  | 経管栄養に関係する感染と予防             | 43       | 22           | 15         | 6            | 7            | 2                  | 8                   | 2   |
|                |                                                | 8-8  | 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応      | 49       | 15           | 21         | 7            | 4            | 1                  | 3                   | 6   |
|                |                                                | 8-9  | 事前説明(声かけ)と同意、事後の確認         | 51       | 18           | 12         | 5            | 22           | 0                  | 2                   | 5   |
|                |                                                | 8-10 | 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認      | 43       | 22           | 11         | 8            | 5            | 0                  | 2                   | 6   |
|                |                                                | 8-11 | 急変・事故発生時の対応と事前対策           | 46       | 26           | 10         | 3            | 5            | 2                  | 0                   | 5   |
| 9              | 高齢者及<br>び障害児<br>・者の「経<br>管栄養」<br>(実施手順<br>解説)  | 9-1  | 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持  | 40       | 15           | 8          | 15           | 3            | 1                  | 9                   | 3   |
|                |                                                | 9-2  | 経管栄養の技術と留意点                | 57       | 24           | 12         | 16           | 10           | 8                  | 5                   | 7   |
|                |                                                | 9-3  | 経管栄養に必要なケア                 | 32       | 10           | 6          | 12           | 3            | 2                  | 1                   | 4   |
|                |                                                | 9-4  | 報告及び記録                     | 46       | 26           | 10         | 3            | 8            | 0                  | 1                   | 2   |
| 計              |                                                |      |                            | 2,052    | 905          | 477        | 359          | 289          | 122                | 151                 | 224 |

## ⑧試行事業への意見・要望(自由回答)(介護職員)

試行事業への意見・要望（設問「試行事業へのご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にご記入下さい」）に対し、83件の回答を得た。

自由回答を分類したところ、全体としては、「講義内容について」68件、「講義の進め方」「受講後の感想」61件、「研修に関する要望」48件、「講義・演習時間について」43件、「テキストについて」39件、「その他」106件の意見があがった（1つの回答欄に、複数の内容が書き込まれていた場合は、それぞれにカウント）。

具体的な回答は以下の通り（図表 3-26）。

**図表 3-26 試行事業への意見・要望(自由回答) 介護職員(基本研修・講義)**

- ・ 講義の時間配分をもう少し考えてもらいたい。半分かくらいの時間で演習に時間をかけてほしい。
- ・ とにかく詰めこみすぎの内容が辛い。もう少し、余裕をもったのスケジュールを組んでほしいです。・ 重複内容が多かったです。・ 今回はある程度、キャリアのある方々で再学習した感もあったが、新人だったらという事を考えるとよいかもしれません。
- ・ 看護師さんが何時間も時間をかけて学んでいることを今回の講義時間だけでは理解し習得するには足りないと思いました。もっと奥深く難しいことなので講義の時間はもう少し欲しかったです。
- ・ 全体的な構成が悪いように感じます。講義を集中させるより、講義の後に演習を行うなどし、学んで体で覚えるという形をとった方がいいのではと思いました。実物もない状況で、理解するのは無理があります。講義→演習まで時間あり、忘れてしまう。e x . リスクマネジメント→吸引に関する事、尺器に関する事、経路に関する事など、まとめてみたらどうでしょうか。・ 同じことが繰り返され、重要なのはわかりますが、まとめられるように思われます。
- ・ 50時間、各講師の方に、ご指導いただきありがとうございました。今後、指導していただいた内容を、ホームで生かしていきたいと思います。
- ・ 普段利用者の方々に何気なくおこなっている痰の吸引、経管栄養は、医師法的視的から見れば、違法であることは、ぼんやりとですが理解していました。それを理解していながらも、我々がやらなければならない現実も理解しています。しかし、違法だからといってやらなくても良いということにはならず、この心理的な相反する現実には、様々な理由が複雑に絡みあい、単純に解決することができないという現代においての事実であるとあきらめていました。ただ、この度の事業が試行であるにせよ開始したことは、介護を受ける者、提供する者にとって、心苦しい現実から脱却することのできる新たな喜ぶべき事実であると思います。今回の講義、実習については、第一回ということもあり、内容、時間、様々な点で納得の行くものではなかったと思いますが、回を重ねるにつれて、より完成に近いものになると思います。今後、この研修を受ける者にとって、我々の意見が真摯に受け取られ、介護を受ける者のためになることを願っています。乱筆、乱文ご容赦下さい。

## 【指導者】

### ⑨講義の難易度(指導者)

各講義の終了後に、講師担当の指導者（医師もしくは指導看護師で、講義により担当者数は異なる：n=8～12）に対し、講義の難易度（設問「講義は介護職員が理解できる内容だと思いますか」）を3段階（「理解できる」、「どちらともいえない」、「理解できない」）で聞いた（図表 3-27、図表 3-28）。

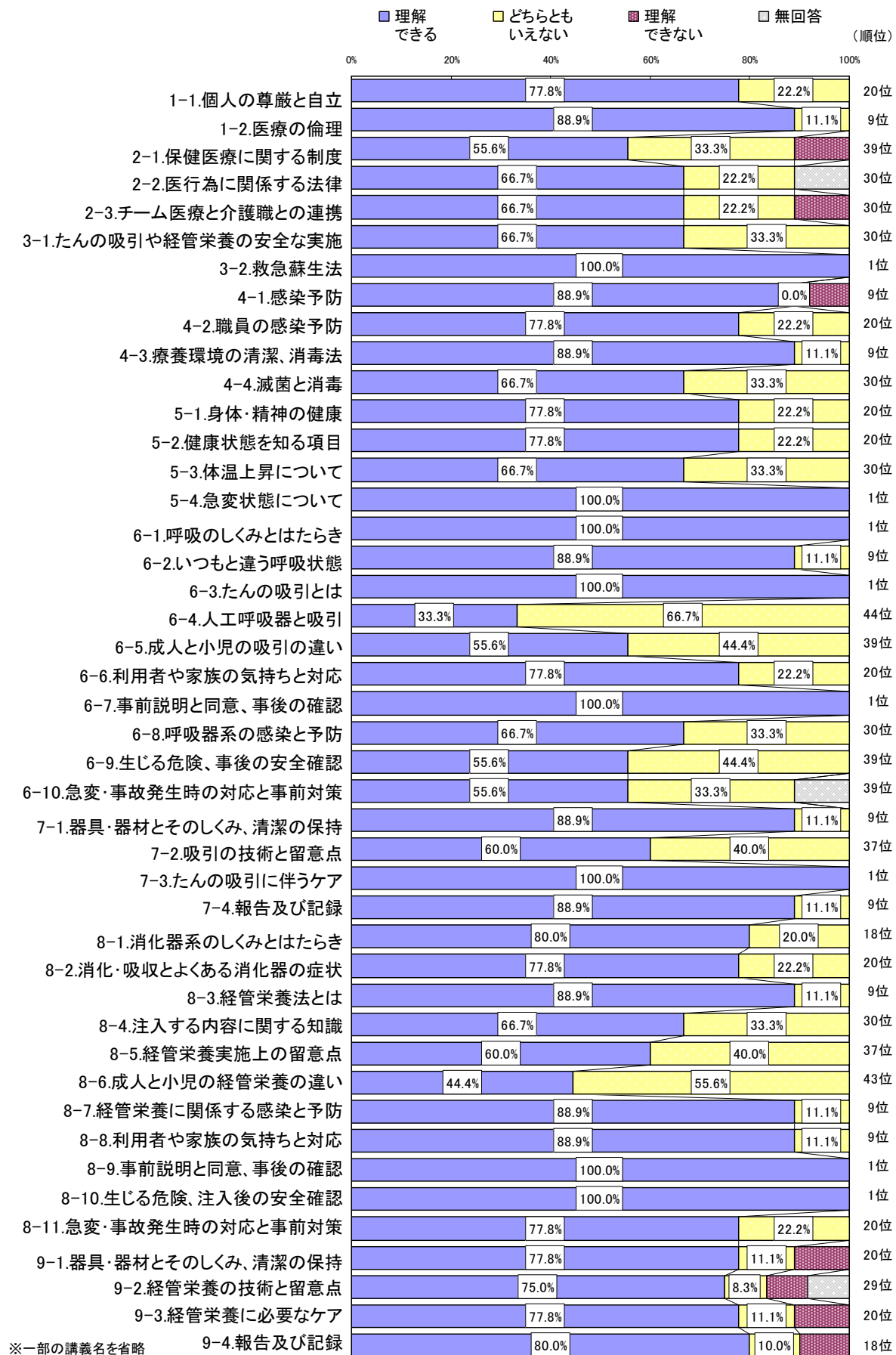
もともと回答対象者数が少ないため、回答数値の変動幅が大きいものの、全体としては、「理解できる」が 33.0～100.0%と、44 講義のうち 42 講義で最も高い比率を占め、44 講義の平均で 77.8%であった。一方、「理解できない」は 0.0～11.1%と約 1 割程度以下に留まった。この結果から、基本研修の講義については、一部の講義を除き、講師担当の指導者は、介護職員にとって十分に理解できる内容であると判断したものと考えられる。

講義別にみると、「理解できる」の比率が高かったのは、「3-2.救急蘇生法」、「5-4.急変状態について」「6-1.呼吸のしくみとはたらき」、「6-3.たんの吸引とは」、「6-7.事前説明（声かけ）と同意、事後の確認」、「7-3.たんの吸引に伴うケア」、「8-9.事前説明(声かけ)と同意、事後の確認」、「8-10.経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認」の 8 講義であり、講師担当の指導者の全員が「理解できる」とした。

一方、「理解できた」比率が低かったのは、「8-6.成人と小児の経管栄養の違い」の 44.4%、「6-4.人工呼吸器と吸引」の 33.3%で、この 2 講義については、「理解できない」とした回答者はゼロであったが、「どちらともいえない」が半数を超えた。

図表 3-27.講義の難易度 指導者(基本研修・講義)

(n=8~12)



図表 3-28.講義の難易度 指導者(基本研修・講義)

| 問1. 講義は介護職員が理解できる内容だと思いましたか。 |                            |                                | 件数 | 理解<br>できる | どちらとも<br>いえない | 理解<br>できない | 無回答   | 順位(理解<br>できる) |
|------------------------------|----------------------------|--------------------------------|----|-----------|---------------|------------|-------|---------------|
| 1                            | 人間と社会                      | 1-1 個人の尊厳と自立                   | 9  | 77.8%     | 22.2%         | 0.0%       | 0.0%  | 20位           |
|                              |                            | 1-2 医療の倫理                      | 9  | 88.9%     | 11.1%         | 0.0%       | 0.0%  | 9位            |
| 2                            | 保健医療制度とチーム医療               | 2-1 保健医療に関する制度                 | 9  | 55.6%     | 33.3%         | 11.1%      | 0.0%  | 39位           |
|                              |                            | 2-2 医行為に関係する法律                 | 9  | 66.7%     | 22.2%         | 0.0%       | 11.1% | 30位           |
|                              |                            | 2-3 チーム医療と介護職との連携              | 9  | 66.7%     | 22.2%         | 11.1%      | 0.0%  | 30位           |
| 3                            | 安全な療養生活                    | 3-1 たんの吸引や経管栄養の安全な実施           | 9  | 66.7%     | 33.3%         | 0.0%       | 0.0%  | 30位           |
|                              |                            | 3-2 救急蘇生法                      | 8  | 100.0%    | 0.0%          | 0.0%       | 0.0%  | 1位            |
| 4                            | 清潔保持と感染予防                  | 4-1 感染予防                       | 9  | 88.9%     | 0.0%          | 11.1%      | 0.0%  | 9位            |
|                              |                            | 4-2 職員の感染予防                    | 9  | 77.8%     | 22.2%         | 0.0%       | 0.0%  | 20位           |
|                              |                            | 4-3 療養環境の清潔、消毒法                | 9  | 88.9%     | 11.1%         | 0.0%       | 0.0%  | 9位            |
|                              |                            | 4-4 滅菌と消毒                      | 9  | 66.7%     | 33.3%         | 0.0%       | 0.0%  | 30位           |
| 5                            | 健康状態の把握                    | 5-1 身体・精神の健康                   | 9  | 77.8%     | 22.2%         | 0.0%       | 0.0%  | 20位           |
|                              |                            | 5-2 健康状態を知る項目(バイタルサインなど)       | 9  | 77.8%     | 22.2%         | 0.0%       | 0.0%  | 20位           |
|                              |                            | 5-3 体温上昇について                   | 9  | 66.7%     | 33.3%         | 0.0%       | 0.0%  | 30位           |
|                              |                            | 5-4 急変状態について                   | 9  | 100.0%    | 0.0%          | 0.0%       | 0.0%  | 1位            |
| 6                            | 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」(概論)     | 6-1 呼吸のしくみとはたらき                | 9  | 100.0%    | 0.0%          | 0.0%       | 0.0%  | 1位            |
|                              |                            | 6-2 いつもと違う呼吸状態                 | 9  | 88.9%     | 11.1%         | 0.0%       | 0.0%  | 9位            |
|                              |                            | 6-3 たんの吸引とは                    | 9  | 100.0%    | 0.0%          | 0.0%       | 0.0%  | 1位            |
|                              |                            | 6-4 人工呼吸器と吸引                   | 9  | 33.3%     | 66.7%         | 0.0%       | 0.0%  | 44位           |
|                              |                            | 6-5 成人と小児の吸引の違い                | 9  | 55.6%     | 44.4%         | 0.0%       | 0.0%  | 39位           |
|                              |                            | 6-6 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応        | 9  | 77.8%     | 22.2%         | 0.0%       | 0.0%  | 20位           |
|                              |                            | 6-7 事前説明(声かけ)と同意、事後の確認         | 9  | 100.0%    | 0.0%          | 0.0%       | 0.0%  | 1位            |
|                              |                            | 6-8 呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して)        | 9  | 66.7%     | 33.3%         | 0.0%       | 0.0%  | 30位           |
|                              |                            | 6-9 たんの吸引により生じる危険、事後の安全確認      | 9  | 55.6%     | 44.4%         | 0.0%       | 0.0%  | 39位           |
|                              |                            | 6-10 急変・事故発生時の対応と事前対策          | 9  | 55.6%     | 33.3%         | 0.0%       | 11.1% | 39位           |
| 7                            | 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」(実施手順解説) | 7-1 たんの吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 | 9  | 88.9%     | 11.1%         | 0.0%       | 0.0%  | 9位            |
|                              |                            | 7-2 吸引の技術と留意点                  | 10 | 60.0%     | 40.0%         | 0.0%       | 0.0%  | 37位           |
|                              |                            | 7-3 たんの吸引に伴うケア                 | 9  | 100.0%    | 0.0%          | 0.0%       | 0.0%  | 1位            |
|                              |                            | 7-4 報告及び記録                     | 9  | 88.9%     | 11.1%         | 0.0%       | 0.0%  | 9位            |
| 8                            | 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」(概論)      | 8-1 消化器系のしくみとはたらき              | 10 | 80.0%     | 20.0%         | 0.0%       | 0.0%  | 18位           |
|                              |                            | 8-2 消化・吸収とよくある消化器の症状           | 9  | 77.8%     | 22.2%         | 0.0%       | 0.0%  | 20位           |
|                              |                            | 8-3 経管栄養法とは                    | 9  | 88.9%     | 11.1%         | 0.0%       | 0.0%  | 9位            |
|                              |                            | 8-4 注入する内容に関する知識               | 9  | 66.7%     | 33.3%         | 0.0%       | 0.0%  | 30位           |
|                              |                            | 8-5 経管栄養実施上の留意点                | 10 | 60.0%     | 40.0%         | 0.0%       | 0.0%  | 37位           |
|                              |                            | 8-6 成人と小児の経管栄養の違い              | 9  | 44.4%     | 55.6%         | 0.0%       | 0.0%  | 43位           |
|                              |                            | 8-7 経管栄養に関係する感染と予防             | 9  | 88.9%     | 11.1%         | 0.0%       | 0.0%  | 9位            |
|                              |                            | 8-8 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応      | 9  | 88.9%     | 11.1%         | 0.0%       | 0.0%  | 9位            |
|                              |                            | 8-9 事前説明(声かけ)と同意、事後の確認         | 9  | 100.0%    | 0.0%          | 0.0%       | 0.0%  | 1位            |
|                              |                            | 8-10 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認     | 9  | 100.0%    | 0.0%          | 0.0%       | 0.0%  | 1位            |
|                              |                            | 8-11 急変・事故発生時の対応と事前対策          | 9  | 77.8%     | 22.2%         | 0.0%       | 0.0%  | 20位           |
| 9                            | 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」(実施手順解説)  | 9-1 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持  | 9  | 77.8%     | 11.1%         | 11.1%      | 0.0%  | 20位           |
|                              |                            | 9-2 経管栄養の技術と留意点                | 12 | 75.0%     | 8.3%          | 8.3%       | 8.3%  | 29位           |
|                              |                            | 9-3 経管栄養に必要なケア                 | 9  | 77.8%     | 11.1%         | 11.1%      | 0.0%  | 20位           |
|                              |                            | 9-4 報告及び記録                     | 10 | 80.0%     | 10.0%         | 10.0%      | 0.0%  | 18位           |

#### ⑩介護職員が理解しにくい理由(講義内容)(自由回答)(指導者)

講義の難易度(設問「講義は介護職員が理解できる内容だと思いませんか」)において、「どちらともいえない」、「理解できない」と回答した方に、介護職員が理解しにくい理由を聞き、89件の回答を得た。

具体的な回答は以下の通り(図表 3-29)。

**図表 3-29 介護職員が理解しにくい理由(講義内容)(自由回答) 指導者(基本研修・講義)**

- ・ (2-1) 範囲が広すぎて、到達目標も具体的でない。
- ・ (2-3) チーム医療の概念がイメージできない。
- ・ (4-4) 洗浄、消毒、滅菌の項目は一連の作業でもあり、乾燥についても述べる必要がある。
- ・ (5-1) 内容的にざっくりしすぎており、このままでは理解しづらい。
- ・ (5-2) 脈拍、血圧については、もう少しいねいな説明が必要。
- ・ (5-3) 到達目標と、テキストの文章が必ずしも一致していないように感じた。
- ・ (6-4) 人工呼吸器を見たことがある人がいなかったのも、イメージしにくかったのではないかと思います。
- ・ (6-4) 写真がほしい
- ・ (6-5) 高齢者の介護職なので、小児はイメージしにくかったです。
- ・ (6-6) 9:00 からの開始で眠そうにしていました。早くから起床したと言っていました。
- ・ (6-8) 平常状態をよく理解できていないので、感染の兆候などがわからない様子。
- ・ (6-9) 吸引の手順や使用器具(吸引器等)についての講義が後半になっているので、イメージしにくいのではないかと。
- ・ (7-1) もっと見本があったり画像があったりした方がわかりやすい。
- ・ (7-2) 各施設で方法(チューブディスプレイ、鎮子を使用する等)が違ったので、それぞれの方法が的確に説明できたかわからない。実際、自分が経験したことのない方法についての説明が難しかった。
- ・ (8-1) 解剖・生理学から学ばないと理解は困難。正常なしくみの教育が必要。
- ・ (8-4) 栄養剤の何を知っていることが重要なのか明確でない。
- ・ (8-5) 内容が重複している。「介護」をまとめて記述すると良い。
- ・ (8-6) 成人と小児の違いは理解できると思うが、もっと写真等での具体的な違いが、消化器系の発達の違いなどを書いてもらった方がわかりやすいのではないのでしょうか。
- ・ (8-6) 何を伝えたいかが不明瞭。消化器管等の発達の状態も小児と成人では違うため、そこから伝える必要があるのではないかと。
- ・ (9-1) 現場で、見たり、さわったりの経験がない介護者には理解できなかった。
- ・ (9-2) p129 に 1 分間の滴下数を合わせると書いてあるが、どのように合わせるのかわからない。
- ・ (9-4) 内容が漠然としている。

## ⑪テキストのわかりやすさ(指導者)

講師担当の指導者全員に対し、介護職員にとってのテキストのわかりやすさ（設問「講義のテキストは介護職員にとってわかりやすく記述されていましたか」）を3段階（「わかりやすい」、「どちらともいえない」、「わかりにくい」）で聞いた（図表 3-30、図表 3-31）。

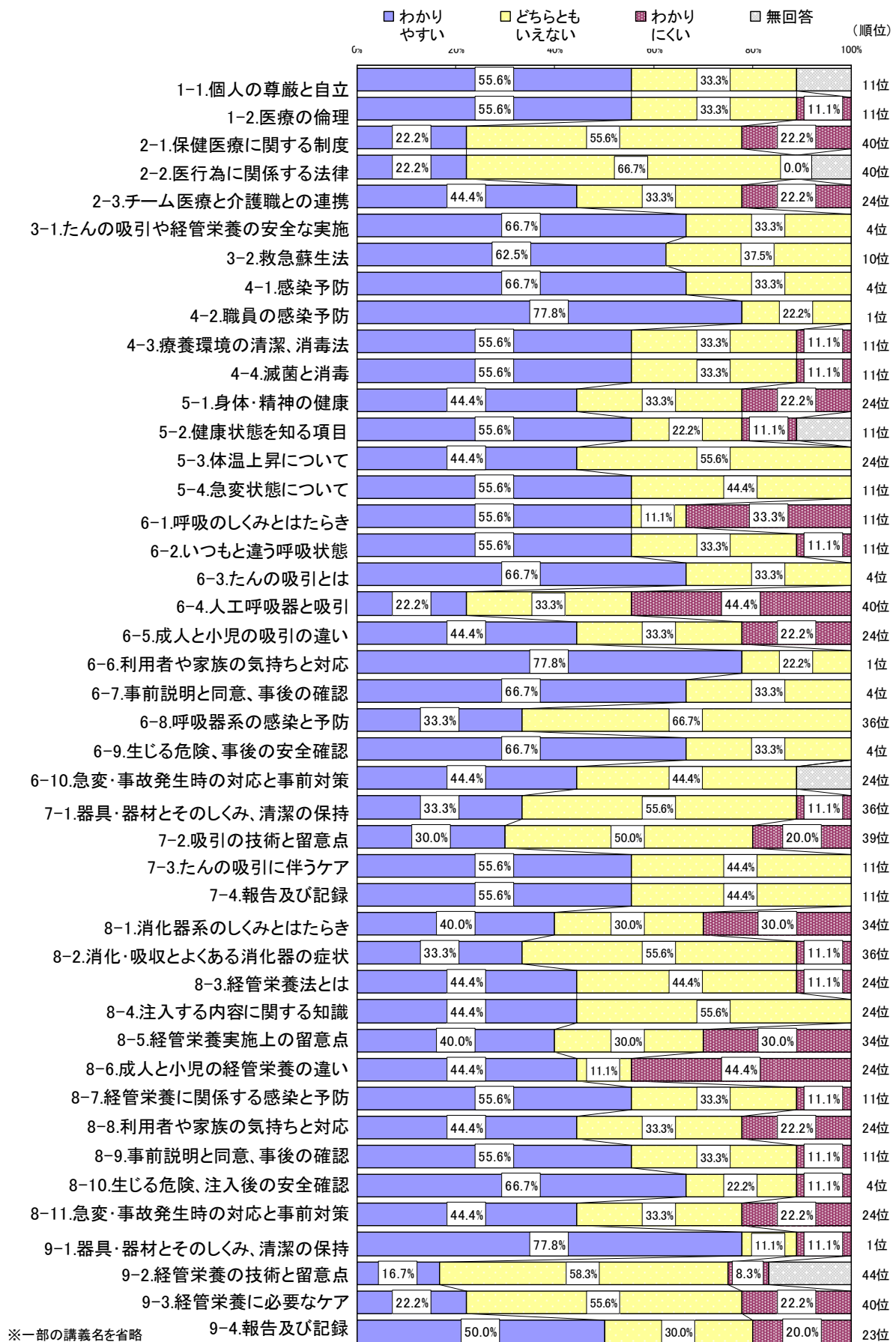
もともと回答対象者数が少ないため、回答数値の変動幅が大きいものの、全体としては、「わかりやすい」が16.7～77.8%と、44講義のうち33講義において、最も高い比率を占め、44講義の平均では49.4%であった。一方、「わかりにくい」は0.0%～44.4%と講義によってその比率はバラツキがあり、44講義のうち2講義においては、「わかりやすい」の比率を上回るか同じ比率であり、44講義の平均では11.8%であった。この結果から、基本研修のテキストについては、講師担当の指導者は、講義によって評価が異なり、介護職員にとってテキストがわかりやすいとした（「わかりやすい」の比率が50%以上）のは、44講義のうち23講義であった。

講義別にみると、「わかりやすい」の比率が高かったのは、「4-2.職員の感染予防」、「6-6.吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応」、「9-1.経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持」の3講義がいずれも77.8%で最も高く、次いで、「3-1.たんの吸引や経管栄養の安全な実施」、「4-1.感染予防」、「6-3.たんの吸引とは」、「6-7.事前説明（声かけ）と同意、事後の確認」、「6-9.たんの吸引により生じる危険、事後の安全確認」、「8-10.経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認」の6講義がいずれも66.7%で続いた。

一方、逆に、「わかりやすい」比率が低かったのは、「2-1.保健医療に関する制度」、「2-2.医行為に係る法律」、「6-4.人工呼吸器と吸引」、「9-3.経管栄養に必要なケア」の4講義がいずれも22.2%、次いで「9-2.経管栄養の技術と留意点」16.7%の順であった。また、「わかりにくい」の比率が高かったのは、「6-4.人工呼吸器と吸引」と「8-6.成人と小児の経管栄養の違い」のともに44.4%、「6-1.呼吸のしくみとはたらき」が33.3%であった。

図表 3-30.テキストのわかりやすさ 指導者(基本研修・講義)

(n=8~12)





図表 3-31.テキストのわかりやすさ 指導者(基本研修・講義)

| 問2. 講義のテキストは介護職員にとってわかりやすく記述されていましたか。 |                            |                                | 件数 | わかりやすい | どちらともいえない | わかりにくい | 無回答   | 順位(わかりやすい) |
|---------------------------------------|----------------------------|--------------------------------|----|--------|-----------|--------|-------|------------|
| 1                                     | 人間と社会                      | 1-1 個人の尊厳と自立                   | 9  | 55.6%  | 33.3%     | 0.0%   | 11.1% | 11位        |
|                                       |                            | 1-2 医療の倫理                      | 9  | 55.6%  | 33.3%     | 11.1%  | 0.0%  | 11位        |
| 2                                     | 保健医療制度とチーム医療               | 2-1 保健医療に関する制度                 | 9  | 22.2%  | 55.6%     | 22.2%  | 0.0%  | 40位        |
|                                       |                            | 2-2 医行為に関係する法律                 | 9  | 22.2%  | 66.7%     | 0.0%   | 11.1% | 40位        |
|                                       |                            | 2-3 チーム医療と介護職との連携              | 9  | 44.4%  | 33.3%     | 22.2%  | 0.0%  | 24位        |
| 3                                     | 安全な療養生活                    | 3-1 たんの吸引や経管栄養の安全な実施           | 9  | 66.7%  | 33.3%     | 0.0%   | 0.0%  | 4位         |
|                                       |                            | 3-2 救急蘇生法                      | 8  | 62.5%  | 37.5%     | 0.0%   | 0.0%  | 10位        |
| 4                                     | 清潔保持と感染予防                  | 4-1 感染予防                       | 9  | 66.7%  | 33.3%     | 0.0%   | 0.0%  | 4位         |
|                                       |                            | 4-2 職員の感染予防                    | 9  | 77.8%  | 22.2%     | 0.0%   | 0.0%  | 1位         |
|                                       |                            | 4-3 療養環境の清潔、消毒法                | 9  | 55.6%  | 33.3%     | 11.1%  | 0.0%  | 11位        |
|                                       |                            | 4-4 滅菌と消毒                      | 9  | 55.6%  | 33.3%     | 11.1%  | 0.0%  | 11位        |
| 5                                     | 健康状態の把握                    | 5-1 身体・精神の健康                   | 9  | 44.4%  | 33.3%     | 22.2%  | 0.0%  | 24位        |
|                                       |                            | 5-2 健康状態を知る項目(バイタルサインなど)       | 9  | 55.6%  | 22.2%     | 11.1%  | 11.1% | 11位        |
|                                       |                            | 5-3 体温上昇について                   | 9  | 44.4%  | 55.6%     | 0.0%   | 0.0%  | 24位        |
|                                       |                            | 5-4 急変状態について                   | 9  | 55.6%  | 44.4%     | 0.0%   | 0.0%  | 11位        |
| 6                                     | 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」(概論)     | 6-1 呼吸のしくみとはたらき                | 9  | 55.6%  | 11.1%     | 33.3%  | 0.0%  | 11位        |
|                                       |                            | 6-2 いつもと違う呼吸状態                 | 9  | 55.6%  | 33.3%     | 11.1%  | 0.0%  | 11位        |
|                                       |                            | 6-3 たんの吸引とは                    | 9  | 66.7%  | 33.3%     | 0.0%   | 0.0%  | 4位         |
|                                       |                            | 6-4 人工呼吸器と吸引                   | 9  | 22.2%  | 33.3%     | 44.4%  | 0.0%  | 40位        |
|                                       |                            | 6-5 成人と小児の吸引の違い                | 9  | 44.4%  | 33.3%     | 22.2%  | 0.0%  | 24位        |
|                                       |                            | 6-6 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応        | 9  | 77.8%  | 22.2%     | 0.0%   | 0.0%  | 1位         |
|                                       |                            | 6-7 事前説明(声かけ)と同意、事後の確認         | 9  | 66.7%  | 33.3%     | 0.0%   | 0.0%  | 4位         |
|                                       |                            | 6-8 呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して)        | 9  | 33.3%  | 66.7%     | 0.0%   | 0.0%  | 36位        |
|                                       |                            | 6-9 たんの吸引により生じる危険、事後の安全確認      | 9  | 66.7%  | 33.3%     | 0.0%   | 0.0%  | 4位         |
|                                       |                            | 6-10 急変・事故発生時の対応と事前対策          | 9  | 44.4%  | 44.4%     | 0.0%   | 11.1% | 24位        |
| 7                                     | 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」(実施手順解説) | 7-1 たんの吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 | 9  | 33.3%  | 55.6%     | 11.1%  | 0.0%  | 36位        |
|                                       |                            | 7-2 吸引の技術と留意点                  | 10 | 30.0%  | 50.0%     | 20.0%  | 0.0%  | 39位        |
|                                       |                            | 7-3 たんの吸引に伴うケア                 | 9  | 55.6%  | 44.4%     | 0.0%   | 0.0%  | 11位        |
|                                       |                            | 7-4 報告及び記録                     | 9  | 55.6%  | 44.4%     | 0.0%   | 0.0%  | 11位        |
| 8                                     | 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」(概論)      | 8-1 消化器系のしくみとはたらき              | 10 | 40.0%  | 30.0%     | 30.0%  | 0.0%  | 34位        |
|                                       |                            | 8-2 消化・吸収とよくある消化器の症状           | 9  | 33.3%  | 55.6%     | 11.1%  | 0.0%  | 36位        |
|                                       |                            | 8-3 経管栄養法とは                    | 9  | 44.4%  | 44.4%     | 11.1%  | 0.0%  | 24位        |
|                                       |                            | 8-4 注入する内容に関する知識               | 9  | 44.4%  | 55.6%     | 0.0%   | 0.0%  | 24位        |
|                                       |                            | 8-5 経管栄養実施上の留意点                | 10 | 40.0%  | 30.0%     | 30.0%  | 0.0%  | 34位        |
|                                       |                            | 8-6 成人と小児の経管栄養の違い              | 9  | 44.4%  | 11.1%     | 44.4%  | 0.0%  | 24位        |
|                                       |                            | 8-7 経管栄養に関する感染と予防              | 9  | 55.6%  | 33.3%     | 11.1%  | 0.0%  | 11位        |
|                                       |                            | 8-8 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応      | 9  | 44.4%  | 33.3%     | 22.2%  | 0.0%  | 24位        |
|                                       |                            | 8-9 事前説明(声かけ)と同意、事後の確認         | 9  | 55.6%  | 33.3%     | 11.1%  | 0.0%  | 11位        |
|                                       |                            | 8-10 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認     | 9  | 66.7%  | 22.2%     | 11.1%  | 0.0%  | 4位         |
|                                       |                            | 8-11 急変・事故発生時の対応と事前対策          | 9  | 44.4%  | 33.3%     | 22.2%  | 0.0%  | 24位        |
| 9                                     | 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」(実施手順解説)  | 9-1 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持  | 9  | 77.8%  | 11.1%     | 11.1%  | 0.0%  | 1位         |
|                                       |                            | 9-2 経管栄養の技術と留意点                | 12 | 16.7%  | 58.3%     | 8.3%   | 16.7% | 44位        |
|                                       |                            | 9-3 経管栄養に必要なケア                 | 9  | 22.2%  | 55.6%     | 22.2%  | 0.0%  | 40位        |
|                                       |                            | 9-4 報告及び記録                     | 10 | 50.0%  | 30.0%     | 20.0%  | 0.0%  | 23位        |

## ⑫介護職員にとってわかりにくい理由(テキスト内容)(自由回答)(指導者)

介護職員にとってのテキストのわかりやすさ（設問「講義のテキストは介護職員にとってわかりやすく記述されていましたか」）において、「どちらともいえない」、「わかりにくい」と回答した方に、介護職員にとってわかりにくい理由を聞き、192 件の回答を得た。

具体的な回答は以下の通りです（図表 3-32）。

**図表 3-32 介護職員にとってわかりにくい理由(テキスト内容)(自由回答) 指導者(基本研修・講義)**

- ・ (1-1) 冊子で配布するだけで良い。
- ・ (1-2) 倫理についての説明が十分でない。
- ・ (2-2) 図があるともっと理解しやすいと思う。
- ・ (2-3) 目標のわりに内容が薄い。
- ・ (3-1) テキストに書いてあることは理解できるものと思いますが、もっと具体的に「予防」の為に必要なのは正しい知識と正確な手技である。とか、事故をおこさないための工夫とか、のべられていても良いと思います。抽象的すぎると思います。
- ・ (3-2) この項目の詳細さは評価できるが、それに比し他の項目の説明が大まかである。
- ・ (4-2) 清潔保持と感染予防についてもっと、まとめてほしい。後の実施等の項でも同じ内容が繰り返されている。
- ・ (5-1) 「健康」という言葉が繰り返し使われているがきわめて抽象的であり、とくに最後の一文「平常状態」との関係はわかりにくく意味不明です。私自身は「平常状態」を、「その人なりの通常の状態」であり「多少の好・不調の波はあっても、おおよそ、安定した状態」ととらえて講義しました。それは、その人が「具合が悪く」なったとき、「いつも＝平常状態」と違う、と気付かなければならないから把握しておく必要がある、という観点で話しました。このテキストでは、それで良かったのかどうかわかりません。
- ・ (5-4) 急変状態と、応急処置については、具体例を入れるなど、ていねいな説明が必要。
- ・ (6-1) 図を多く取り入れた方がわかりやすいと思う（呼吸器全体、ガス交換のしくみ等）
- ・ (6-5) 小児を対象とした時、内容がうすすぎる。小児の特性が見えない。
- ・ (6-9) 酸素飽和度やバッキングについて（←気道浄化看護チアノーゼなど）について、どこで説明するのか整理されてない。
- ・ (6-10) 記述がメインで緊急時対応のサンプル図があるとよいと感じた。
- ・ (7-2) 手順についてはテキストⅠがメインなのかⅡにそって説明した方がよいのか迷った。
- ・ (7-2) P 86 からの手順は口鼻腔、気管カニューレ、人工呼吸器の有無を全て含んだ手順書のため、対象の条件別に理解するのは、大変難しいと思う。かといって別冊の手順書は重複部分が非常に多いにも関わらず、何ページも作製してあり、違いがわかりにくい。チャート式に整理してはどうか？
- ・ (8-1) 消化器系の解剖図があれば良いと思う。
- ・ (8-2) 専門職であれば理解できるが、受講生達からは「むずかしい…」と言われた。
- ・ (8-3) 疾患名などが、理解しにくい様子あり。
- ・ (8-5) 実施上の注意についてよりは、起こりうる危険・リスクの説明になっている。
- ・ (8-6) もっと教えておくべき内容があるのであればポイントをしぼりこんでわかりやすく書いてあった方がよい
- ・ (8-6) 小児の消化器の特徴が書かれていない
- ・ (8-7) 項目の分類がわかりづらかった
- ・ (8-8) 内容がまとめづらかった
- ・ (8-10) 経管栄養の実施順序に従って発生しやすいトラブルについて書いてあるとわかりやすかったのでは？
- ・ (9-3) 重要な箇所がわかりづらかった。特に「体位を整えるケア」
- ・ (9-4) 報告及び記録が繰り返し書かれているので、まとめると良いのではないかな。

### ⑬講義時間の適切さ(指導者)

講師担当の指導者に対し講義の時間の適切さ（設問「講義時間は適切だと思いましたか」）を、「適切である」、「短い」、「長い」の3つの選択肢で聞いた（図表 3-33、図表 3-34）。

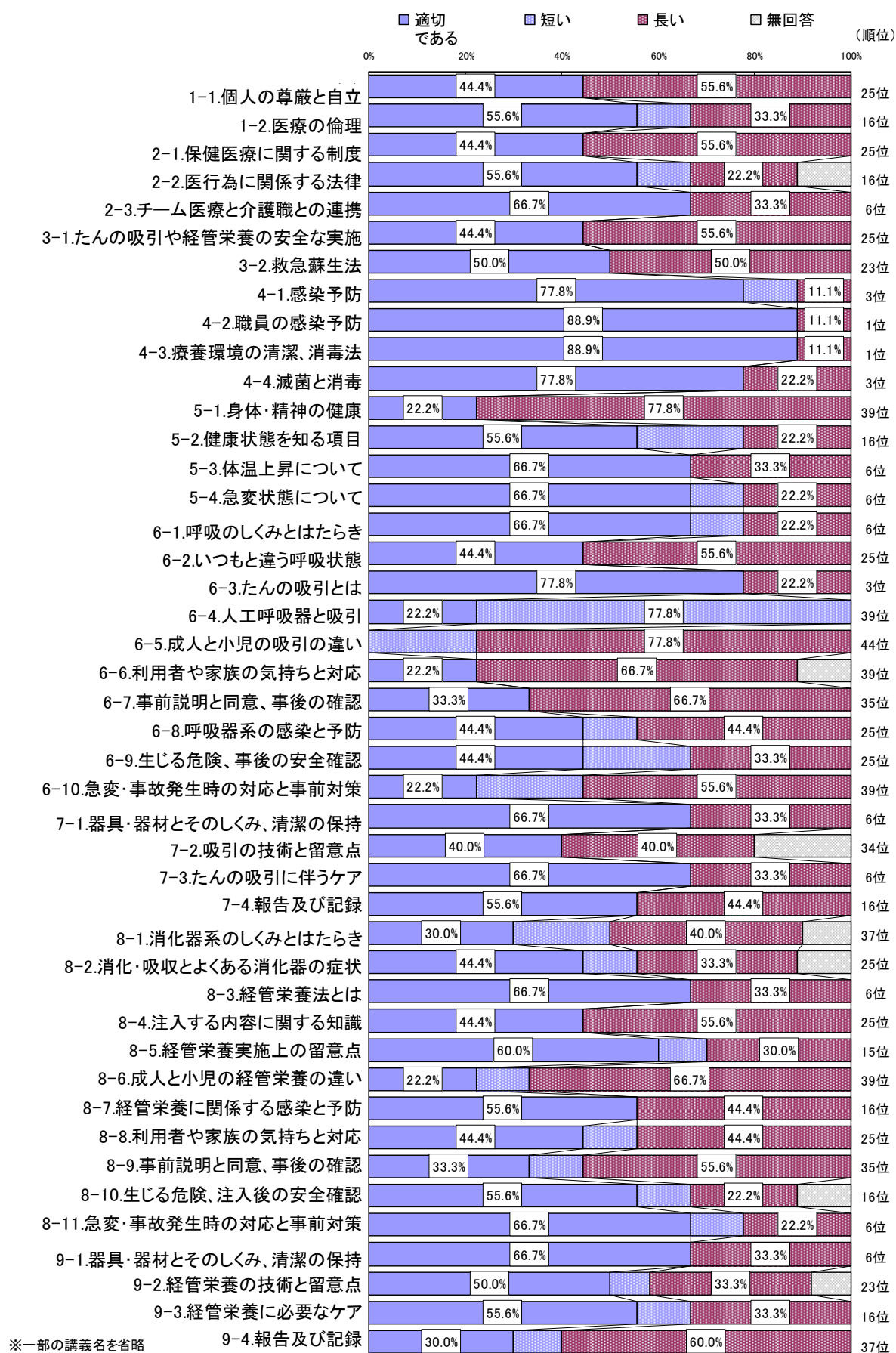
もともと回答対象者数が少ないため、回答数値の変動幅が大きい。全体としては、「適切である」は0.0%～88.9%（44 講義平均 50.9%）、「長い」が0.0%～77.8%（44 講義平均 39.1%）、「短い」は0.0%～77.8%（44 講義平均 8.2%）となった。「適切である」の比率が5割を超えたのは44 講義中 24 講義、同様に「長い」の場合は14 講義、「短い」の場合は1 講義と、基本研修の講義時間についての指導者の評価は、講義によって意見が分かれている。特に、回答者の7割以上が「長い」と回答した「5-1.身体・精神の健康」と「6-5.成人と小児の吸引の違い」の2 講義、同様に回答者の7割以上が「短い」とした「6-4.人工呼吸器と吸引」の1 講義については、講義時間や講義内容を再考する必要があると思われる。

講義別にみると、「適切である」の比率が高かったのは、「4-2.職員の感染予防」、「4-3.療養環境の清潔、消毒法」がともに88.9%で最も高く、次いで、「4-1.感染予防」、「4-4.滅菌と消毒」、「6-3.たんの吸引とは」の3 講義がいずれも77.8%で続いた。

一方、「長い」の比率が高かったのは、「5-1.身体・精神の健康」と「6-5.成人と小児の吸引の違い」のともに77.8%、次いで「6-6.吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応」、「6-7.事前説明（声かけ）と同意、事後の確認」、「8-6.成人と小児の経管栄養の違い」の3 講義で、いずれも66.7%であった。逆に、「短い」の比率が高かったのは、「6-4.人工呼吸器と吸引」77.8%であった。

図表 3-33.講義時間の適切さ 指導者(基本研修・講義)

(n=8~12)



図表 3-34.講義時間の適切さ 指導者(基本研修・講義)

| 問3. 講義時間は適切だと思いましたか。 |                            |      |                            | 講義<br>時間 | 件数 | 適切<br>である | 短い    | 長い    | 無回答   | 順位(適切<br>である) |
|----------------------|----------------------------|------|----------------------------|----------|----|-----------|-------|-------|-------|---------------|
| 1                    | 人間と社会                      | 1-1  | 個人の尊厳と自立                   | 0.5      | 9  | 44.4%     | 0.0%  | 55.6% | 0.0%  | 25位           |
|                      |                            | 1-2  | 医療の倫理                      | 0.5      | 9  | 55.6%     | 11.1% | 33.3% | 0.0%  | 16位           |
| 2                    | 保健医療制度とチーム医療               | 2-1  | 保健医療に関する制度                 | 1.0      | 9  | 44.4%     | 0.0%  | 55.6% | 0.0%  | 25位           |
|                      |                            | 2-2  | 医行為に関係する法律                 | 0.5      | 9  | 55.6%     | 11.1% | 22.2% | 11.1% | 16位           |
|                      |                            | 2-3  | チーム医療と介護職との連携              | 0.5      | 9  | 66.7%     | 0.0%  | 33.3% | 0.0%  | 6位            |
| 3                    | 安全な療養生活                    | 3-1  | たんの吸引や経管栄養の安全な実施           | 2.0      | 9  | 44.4%     | 0.0%  | 55.6% | 0.0%  | 25位           |
|                      |                            | 3-2  | 救急蘇生法                      | 2.0      | 8  | 50.0%     | 0.0%  | 50.0% | 0.0%  | 23位           |
| 4                    | 清潔保持と感染予防                  | 4-1  | 感染予防                       | 0.5      | 9  | 77.8%     | 11.1% | 11.1% | 0.0%  | 3位            |
|                      |                            | 4-2  | 職員の感染予防                    | 0.5      | 9  | 88.9%     | 0.0%  | 11.1% | 0.0%  | 1位            |
|                      |                            | 4-3  | 療養環境の清潔、消毒法                | 0.5      | 9  | 88.9%     | 0.0%  | 11.1% | 0.0%  | 1位            |
|                      |                            | 4-4  | 滅菌と消毒                      | 0.5      | 9  | 77.8%     | 0.0%  | 22.2% | 0.0%  | 3位            |
| 5                    | 健康状態の把握                    | 5-1  | 身体・精神の健康                   | 1.0      | 9  | 22.2%     | 0.0%  | 77.8% | 0.0%  | 39位           |
|                      |                            | 5-2  | 健康状態を知る項目(バイタルサインなど)       | 1.0      | 9  | 55.6%     | 22.2% | 22.2% | 0.0%  | 16位           |
|                      |                            | 5-3  | 体温上昇について                   | 0.5      | 9  | 66.7%     | 0.0%  | 33.3% | 0.0%  | 6位            |
|                      |                            | 5-4  | 急変状態について                   | 0.5      | 9  | 66.7%     | 11.1% | 22.2% | 0.0%  | 6位            |
| 6                    | 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」(概論)     | 6-1  | 呼吸のしくみとはたらき                | 1.0      | 9  | 66.7%     | 11.1% | 22.2% | 0.0%  | 6位            |
|                      |                            | 6-2  | いつもと違う呼吸状態                 | 1.0      | 9  | 44.4%     | 0.0%  | 55.6% | 0.0%  | 25位           |
|                      |                            | 6-3  | たんの吸引とは                    | 1.0      | 9  | 77.8%     | 0.0%  | 22.2% | 0.0%  | 3位            |
|                      |                            | 6-4  | 人工呼吸器と吸引                   | 1.0      | 9  | 22.2%     | 77.8% | 0.0%  | 0.0%  | 39位           |
|                      |                            | 6-5  | 成人と小児の吸引の違い                | 1.0      | 9  | 0.0%      | 22.2% | 77.8% | 0.0%  | 44位           |
|                      |                            | 6-6  | 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応        | 1.0      | 9  | 22.2%     | 0.0%  | 66.7% | 11.1% | 39位           |
|                      |                            | 6-7  | 事前説明(声かけ)と同意、事後の確認         | 1.0      | 9  | 33.3%     | 0.0%  | 66.7% | 0.0%  | 35位           |
|                      |                            | 6-8  | 呼吸器系の感染と予防(吸引に関連して)        | 1.0      | 9  | 44.4%     | 11.1% | 44.4% | 0.0%  | 25位           |
|                      |                            | 6-9  | たんの吸引により生じる危険、事後の安全確認      | 1.0      | 9  | 44.4%     | 22.2% | 33.3% | 0.0%  | 25位           |
|                      |                            | 6-10 | 急変・事故発生時の対応と事前対策           | 2.0      | 9  | 22.2%     | 22.2% | 55.6% | 0.0%  | 39位           |
| 7                    | 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」(実施手順解説) | 7-1  | たんの吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 | 1.0      | 9  | 66.7%     | 0.0%  | 33.3% | 0.0%  | 6位            |
|                      |                            | 7-2  | 吸引の技術と留意点                  | 5.0      | 10 | 40.0%     | 0.0%  | 40.0% | 20.0% | 34位           |
|                      |                            | 7-3  | たんの吸引に伴うケア                 | 1.0      | 9  | 66.7%     | 0.0%  | 33.3% | 0.0%  | 6位            |
|                      |                            | 7-4  | 報告及び記録                     | 1.0      | 9  | 55.6%     | 0.0%  | 44.4% | 0.0%  | 16位           |
| 8                    | 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」(概論)      | 8-1  | 消化器系のしくみとはたらき              | 1.0      | 10 | 30.0%     | 20.0% | 40.0% | 10.0% | 37位           |
|                      |                            | 8-2  | 消化・吸収とよくある消化器の症状           | 1.0      | 9  | 44.4%     | 11.1% | 33.3% | 11.1% | 25位           |
|                      |                            | 8-3  | 経管栄養法とは                    | 1.0      | 9  | 66.7%     | 0.0%  | 33.3% | 0.0%  | 6位            |
|                      |                            | 8-4  | 注入する内容に関する知識               | 1.0      | 9  | 44.4%     | 0.0%  | 55.6% | 0.0%  | 25位           |
|                      |                            | 8-5  | 経管栄養実施上の留意点                | 1.0      | 10 | 60.0%     | 10.0% | 30.0% | 0.0%  | 15位           |
|                      |                            | 8-6  | 成人と小児の経管栄養の違い              | 1.0      | 9  | 22.2%     | 11.1% | 66.7% | 0.0%  | 39位           |
|                      |                            | 8-7  | 経管栄養に係る感染と予防               | 1.0      | 9  | 55.6%     | 0.0%  | 44.4% | 0.0%  | 16位           |
|                      |                            | 8-8  | 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応      | 1.0      | 9  | 44.4%     | 11.1% | 44.4% | 0.0%  | 25位           |
|                      |                            | 8-9  | 事前説明(声かけ)と同意、事後の確認         | 1.0      | 9  | 33.3%     | 11.1% | 55.6% | 0.0%  | 35位           |
|                      |                            | 8-10 | 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認      | 1.0      | 9  | 55.6%     | 11.1% | 22.2% | 11.1% | 16位           |
|                      |                            | 8-11 | 急変・事故発生時の対応と事前対策           | 1.0      | 9  | 66.7%     | 11.1% | 22.2% | 0.0%  | 6位            |
| 9                    | 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」(実施手順解説)  | 9-1  | 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持  | 1.0      | 9  | 66.7%     | 0.0%  | 33.3% | 0.0%  | 6位            |
|                      |                            | 9-2  | 経管栄養の技術と留意点                | 5.0      | 12 | 50.0%     | 8.3%  | 33.3% | 8.3%  | 23位           |
|                      |                            | 9-3  | 経管栄養に必要なケア                 | 1.0      | 9  | 55.6%     | 11.1% | 33.3% | 0.0%  | 16位           |
|                      |                            | 9-4  | 報告及び記録                     | 1.0      | 10 | 30.0%     | 10.0% | 60.0% | 0.0%  | 37位           |

50.0%以上

#### ⑭講義時間を不適切とした理由(自由回答)(指導者)

講義の時間の適切さ(設問「講義時間は適切だと思いませんか」)において、「長い」、「短い」と回答した方に、講義時間を不適切とした理由を聞き、158件の回答を得た。

具体的な回答は以下の通り(図表 3-35)。

図表 3-35 講義時間を不適切とした理由(自由回答) 指導者(基本研修・講義)

- ・ (1-1) 30 分を 15 分に、介護保険法や自立支援法において、介護職も学習しているため、確認とポイントを学ぶのであれば、15 分程度でも良いのではと思った。
- ・ (1-2) 30 分を 10 分に、内容は読むだけで良いと思う
- ・ (2-1) 60 分を 30 分に、保険種類と概論的な部分であれば 30 分でよいと思う。
- ・ (2-2) 30 分を 60 分に、p7. 介護職と医行為における 6 項目について、介護職の多くは知らなかった。川村先生の研究資料を用いて、説明すると 30 分では短いと思った。
- ・ (2-3) 30 分を 10 分に、テキストの内容に添えばこのくらい。
- ・ (3-1) 120 分を 30 分に、すでに老健ではやっている事
- ・ (3-2) 120 分を 60 分に、実習とセットにしないとすぐに忘れると思う
- ・ (4-1) 30 分を 60 分に、手洗いの正しい洗い方の演習をすればよいと思った。
- ・ (4-4) 30 分を 15 分に、テキスト内容を説明するには、15 分くらいが適切と感じた。
- ・ (5-1) 60 分を 30 分に、健康についての概念的な事なので基礎知識はあると思う。
- ・ (5-2) 60 分を 75 分に、血圧測定、脈拍測定の体験(実習)時間を設けたかった。
- ・ (5-3) 30 分を 0 分に、バイタルサインの体温の項目で説明すれば良いと思う。
- ・ (6-1) 60 分を 90 分に、一番理解していないといけな基礎の部分なのでもう少し図解や模型などを使って指導した方がよいと思った。
- ・ (6-2) 60 分を 30 分に、正常な呼吸、異常な呼吸、呼吸の苦しさの 3 点でこの位が適当だと思う。
- ・ (6-4) 60 分を 300 分に、看護学校での講義を参考に、左記 TIME を出しました。
- ・ (6-5) 60 分を 40 分に、やれば深い内容だと思います。でも、このテキストの内容だと、あまり時間はいりません。
- ・ (6-6) 60 分を 30 分に、6-6.と 6-7.は合わせて 60 分で良いと思った。
- ・ (6-8) 60 分を 30 分に、感染についての説明はいくつかの項で説明される整理が必要。
- ・ (6-9) 60 分を 20 分に、トラブルの状況は他の講義の時間に話を聞いているので理解できると思う。その対応についての話は、これ位の時間でよいと思う。またヒヤリハットは他の講義と重複なので、これに含めなくてもよい。
- ・ (6-10) 120 分を 90 分に、流れをもう少し工夫ヒヤリハットをじっくり考える機会をもってもらいたいです。
- ・ (7-1) 60 分を 30 分に、器具、チューブの保存方法の実際など、実物を見ながらの説明にすると、理解しやすく、時間短縮もできる。
- ・ (7-2) 300 分を 60 分に、技術・留意点で 5 時間は長い。シミュレーションも実施で 5 時間
- ・ (7-3) 60 分を 40 分に、口腔ケアについては、十分に職員は必要性を学んでいる。
- ・ (7-4) 60 分を 20 分に、吸引も経管栄養も「報告・記録」は同じ。注意点だけなら短時間で十分。
- ・ (8-1) 60 分を 30 分に、この講義を消化器のしくみを知る頃にして、「嚥下のしくみ」は 8-3. にくみこんだ方が理解しやすいのではないかな。
- ・ (8-2) 60 分を 15-20 分に、テキストに記述のあった「経管栄養を実施している人の下痢の症状」の項は胃瘻の合併症の項に含めてよいように思いましたが…。
- ・ (8-3) 60 分を 15-20 分に、経管栄養とは…、というのはポイントだけでいいのかなと思います。特に今回は経験者も多く、よりその方がよいと思いました。
- ・ (8-4) 60 分を 30 分に、種類等もう少し
- ・ (9-4) 60 分を 45 分に、報告、記録(連携含む)の必要性は、前の内容で重ねて実感できるため。

### ⑮「指導者講習」の役立ち度(指導者)

講師担当の指導者に対し、「指導者講習」の役立ち度（設問「講義を行うにあたって『指導者講習』はどの程度役に立ちましたか」を3段階（「役に立った」、「どちらともいえない」、「役に立たなかった」）で聞いた（図表 3-36、図表 3-37）。

もともと回答対象者数が少ないため、回答数値の変動幅は大きい。全体としては、「役に立った」が8.3%～44.4%（44 講義平均 26.7%）、「どちらともいえない」が11.1%～60.0%（44 講義平均 33.7%）、「役に立たなかった」が10.0%～55.6%（44 講義平均 38.1%）となった。「役に立たなかった」の比率が5割を超えたのは44 講義中 11 講義、同様に「どちらともいえない」の場合は4 講義、「役に立った」は0 講義となっており、「指導者講習」の役立ち度についての指導者の評価は3つに分かれたものの、「役に立たった」という評価は少数に留まり、むしろ「役に立たなかった」という評価が多く、「指導者講習」の内容や時間配分、総時間数については再考の余地が大きいと言える。

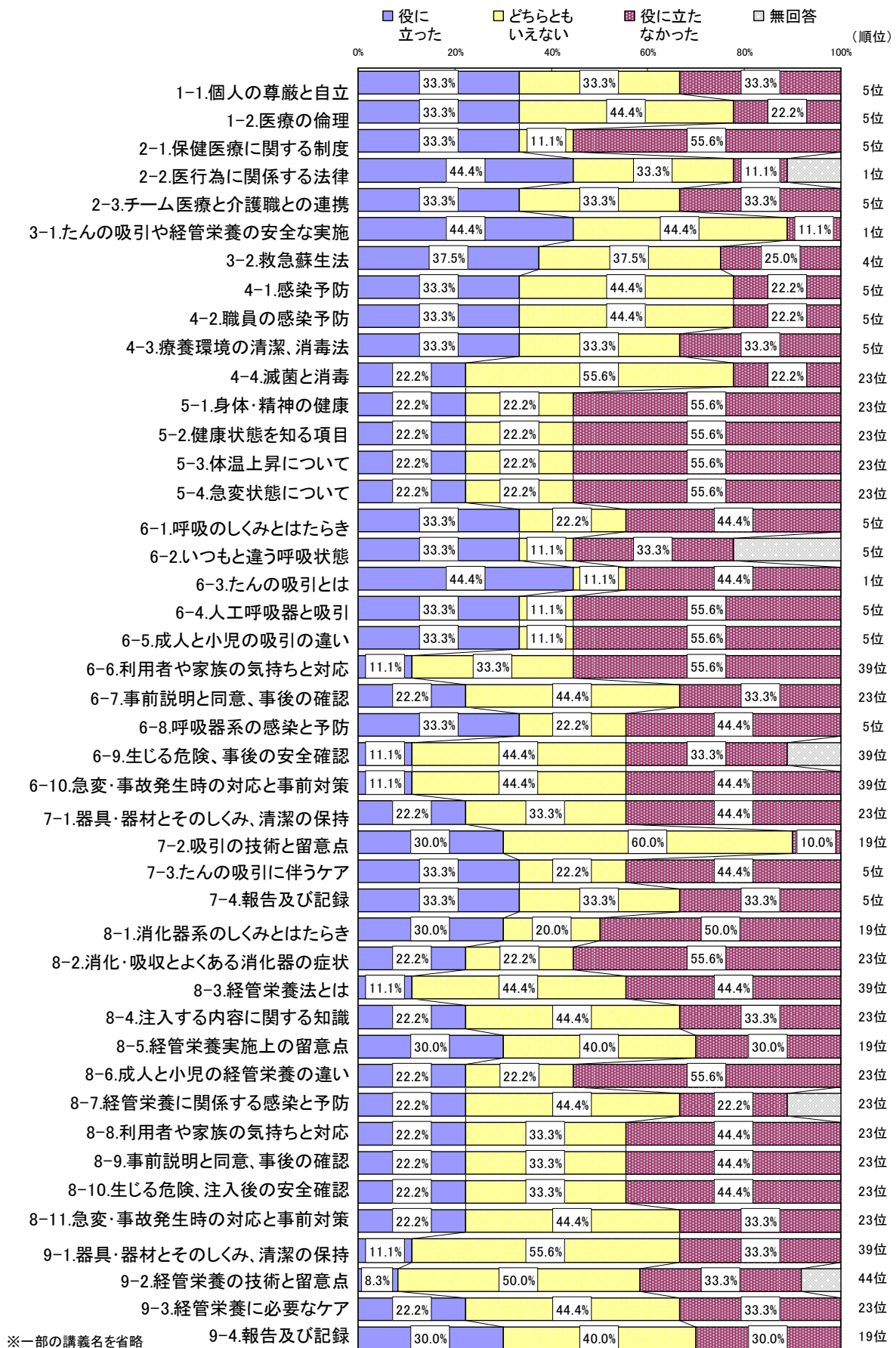
講義別にみると、「役に立たなかった」の比率が高かったのは、「2-1.保健医療に関する制度」、「6-4.人工呼吸器と吸引」、「6-5.成人と小児の吸引の違い」、「5-1.身体・精神の健康」、「5-2.健康状態を知る項目(バイタルサインなど)」、「5-3.体温上昇について」、「5-4.急変状態について」、「8-2.消化・吸収とよくある消化器の症状」、「8-6.成人と小児の経管栄養の違い」、「6-6.吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応」の10 講義でいずれも55.6%であった。また、「どちらともいえない」の比率が高かったのは「7-2.吸引の技術と留意点」が60.0%、次いで「4-4.滅菌と消毒」と「9-1.経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持」の2 講義で、ともに55.6%、「9-2.経管栄養の技術と留意点」の50.0%の順であった。

一方、「役に立った」の比率が高かったのは、「2-2.医行為に関係する法律」、「3-1.たんの吸引や経管栄養の安全な実施」、「6-3.たんの吸引とは」の3 講義で、いずれも44.3%となっているものの、最も評価が高い3 講義においても半数を超えなかった。



図表 3-36.指導者講習の役立ち度 指導者(基本研修・講義)

(n=8~12)





図表 3-37.指導者講習の役立ち度 指導者(基本研修・講義)

| 問4. 講義を行うにあたって「指導者講習」はどの程度、役に立ちましたか。 |                            |                                | 件数 | 役に<br>立った | どちらとも<br>いえない | 役に立た<br>なかった | 無回答   | 順位(役に<br>立った) |
|--------------------------------------|----------------------------|--------------------------------|----|-----------|---------------|--------------|-------|---------------|
| 1                                    | 人間と社会                      | 1-1 個人の尊厳と自立                   | 9  | 33.3%     | 33.3%         | 33.3%        | 0.0%  | 5位            |
|                                      |                            | 1-2 医療の倫理                      | 9  | 33.3%     | 44.4%         | 22.2%        | 0.0%  | 5位            |
| 2                                    | 保健医療制度とチーム医療               | 2-1 保健医療に関する制度                 | 9  | 33.3%     | 11.1%         | 55.6%        | 0.0%  | 5位            |
|                                      |                            | 2-2 医行為に関係する法律                 | 9  | 44.4%     | 33.3%         | 11.1%        | 11.1% | 1位            |
|                                      |                            | 2-3 チーム医療と介護職との連携              | 9  | 33.3%     | 33.3%         | 33.3%        | 0.0%  | 5位            |
| 3                                    | 安全な療養生活                    | 3-1 たんの吸引や経管栄養の安全な実施           | 9  | 44.4%     | 44.4%         | 11.1%        | 0.0%  | 1位            |
|                                      |                            | 3-2 救急蘇生法                      | 8  | 37.5%     | 37.5%         | 25.0%        | 0.0%  | 4位            |
| 4                                    | 清潔保持と感染予防                  | 4-1 感染予防                       | 9  | 33.3%     | 44.4%         | 22.2%        | 0.0%  | 5位            |
|                                      |                            | 4-2 職員の感染予防                    | 9  | 33.3%     | 44.4%         | 22.2%        | 0.0%  | 5位            |
|                                      |                            | 4-3 療養環境の清潔、消毒法                | 9  | 33.3%     | 33.3%         | 33.3%        | 0.0%  | 5位            |
|                                      |                            | 4-4 滅菌と消毒                      | 9  | 22.2%     | 55.6%         | 22.2%        | 0.0%  | 23位           |
| 5                                    | 健康状態の把握                    | 5-1 身体・精神の健康                   | 9  | 22.2%     | 22.2%         | 55.6%        | 0.0%  | 23位           |
|                                      |                            | 5-2 健康状態を知る項目(バイタルサインなど)       | 9  | 22.2%     | 22.2%         | 55.6%        | 0.0%  | 23位           |
|                                      |                            | 5-3 体温上昇について                   | 9  | 22.2%     | 22.2%         | 55.6%        | 0.0%  | 23位           |
|                                      |                            | 5-4 急変状態について                   | 9  | 22.2%     | 22.2%         | 55.6%        | 0.0%  | 23位           |
| 6                                    | 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」(概論)     | 6-1 呼吸のしくみとはたらき                | 9  | 33.3%     | 22.2%         | 44.4%        | 0.0%  | 5位            |
|                                      |                            | 6-2 いつもと違う呼吸状態                 | 9  | 33.3%     | 11.1%         | 33.3%        | 22.2% | 5位            |
|                                      |                            | 6-3 たんの吸引とは                    | 9  | 44.4%     | 11.1%         | 44.4%        | 0.0%  | 1位            |
|                                      |                            | 6-4 人工呼吸器と吸引                   | 9  | 33.3%     | 11.1%         | 55.6%        | 0.0%  | 5位            |
|                                      |                            | 6-5 成人と小児の吸引の違い                | 9  | 33.3%     | 11.1%         | 55.6%        | 0.0%  | 5位            |
|                                      |                            | 6-6 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応        | 9  | 11.1%     | 33.3%         | 55.6%        | 0.0%  | 39位           |
|                                      |                            | 6-7 事前説明(声かけ)と同意、事後の確認         | 9  | 22.2%     | 44.4%         | 33.3%        | 0.0%  | 23位           |
|                                      |                            | 6-8 呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して)        | 9  | 33.3%     | 22.2%         | 44.4%        | 0.0%  | 5位            |
|                                      |                            | 6-9 たんの吸引により生じる危険、事後の安全確認      | 9  | 11.1%     | 44.4%         | 33.3%        | 11.1% | 39位           |
|                                      |                            | 6-10 急変・事故発生時の対応と事前対策          | 9  | 11.1%     | 44.4%         | 44.4%        | 0.0%  | 39位           |
| 7                                    | 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」(実施手順解説) | 7-1 たんの吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 | 9  | 22.2%     | 33.3%         | 44.4%        | 0.0%  | 23位           |
|                                      |                            | 7-2 吸引の技術と留意点                  | 10 | 30.0%     | 60.0%         | 10.0%        | 0.0%  | 19位           |
|                                      |                            | 7-3 たんの吸引に伴うケア                 | 9  | 33.3%     | 22.2%         | 44.4%        | 0.0%  | 5位            |
|                                      |                            | 7-4 報告及び記録                     | 9  | 33.3%     | 33.3%         | 33.3%        | 0.0%  | 5位            |
| 8                                    | 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」(概論)      | 8-1 消化器系のしくみとはたらき              | 10 | 30.0%     | 20.0%         | 50.0%        | 0.0%  | 19位           |
|                                      |                            | 8-2 消化・吸収とよくある消化器の症状           | 9  | 22.2%     | 22.2%         | 55.6%        | 0.0%  | 23位           |
|                                      |                            | 8-3 経管栄養法とは                    | 9  | 11.1%     | 44.4%         | 44.4%        | 0.0%  | 39位           |
|                                      |                            | 8-4 注入する内容に関する知識               | 9  | 22.2%     | 44.4%         | 33.3%        | 0.0%  | 23位           |
|                                      |                            | 8-5 経管栄養実施上の留意点                | 10 | 30.0%     | 40.0%         | 30.0%        | 0.0%  | 19位           |
|                                      |                            | 8-6 成人と小児の経管栄養の違い              | 9  | 22.2%     | 22.2%         | 55.6%        | 0.0%  | 23位           |
|                                      |                            | 8-7 経管栄養に関係する感染と予防             | 9  | 22.2%     | 44.4%         | 22.2%        | 11.1% | 23位           |
|                                      |                            | 8-8 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応      | 9  | 22.2%     | 33.3%         | 44.4%        | 0.0%  | 23位           |
|                                      |                            | 8-9 事前説明(声かけ)と同意、事後の確認         | 9  | 22.2%     | 33.3%         | 44.4%        | 0.0%  | 23位           |
|                                      |                            | 8-10 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認     | 9  | 22.2%     | 33.3%         | 44.4%        | 0.0%  | 23位           |
|                                      |                            | 8-11 急変・事故発生時の対応と事前対策          | 9  | 22.2%     | 44.4%         | 33.3%        | 0.0%  | 23位           |
| 9                                    | 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」(実施手順解説)  | 9-1 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持  | 9  | 11.1%     | 55.6%         | 33.3%        | 0.0%  | 39位           |
|                                      |                            | 9-2 経管栄養の技術と留意点                | 12 | 8.3%      | 50.0%         | 33.3%        | 8.3%  | 44位           |
|                                      |                            | 9-3 経管栄養に必要なケア                 | 9  | 22.2%     | 44.4%         | 33.3%        | 0.0%  | 23位           |
|                                      |                            | 9-4 報告及び記録                     | 10 | 30.0%     | 40.0%         | 30.0%        | 0.0%  | 19位           |

50%以上

#### ⑭「指導者講習」が役立たなかった理由(自由回答)(指導者)

「指導者講習」の役立ち度（設問「講義を行うにあたって『指導者講習』はどの程度役に立ちましたか」）において、「どちらともいえない」、「役に立たなかった」と回答した方に、指導者講習が役立たなかった理由を聞き、239 件の回答を得た。

具体的な回答は以下の通り（図表 3-38）。

**図表 3-38.「指導者講習」が役立たなかった理由(自由回答) 指導者(基本研修・講義)**

- ・ (1-1) 関連性が乏しい
- ・ (1-2) 特に説明はなかった。補足説明が必要なのかも不明。
- ・ (2-3) 説明が少なかった
- ・ (3-1) 「テキストに従って行う」という、今回の試行事業のあり方を理解するには役立ったが個々の講義内容に役立ったとはいえないと思う。
- ・ (3-2) 講義内容について、指導者講習でなされていない（説明はない）。
- ・ (4-2) 講習で得た新しい情報はない。
- ・ (5-1) 説明会の時、具体的に提案がなかった様に思います。
- ・ (6-1) 時間があまりにも短すぎて、結果的には直接役立つところがなかったように思います。
- ・ (6-2) 時間の関係だと思いますが指導内容の説明不足だったように思う。
- ・ (6-4) 短時間だし「テキストにそって」としかなかった。どこまで伝えるべきかまよった。
- ・ (6-6) 実際すすめ方を聞いただけなので教材などの紹介もなく大変でした。
- ・ (6-6) 指導者講習では説明等がなかったが指導者の力量によって説明内容がちがうのではと感じた。
- ・ (6-8) テキストにそってしか聞いた覚えがない。同じ感染の説明でどこにポイントをおくのかわかりづらい。
- ・ (6-9) ヒヤリハット・アクシデント) 出来事の影響度分類の根拠等の解説がほしい
- ・ (7-3) 時間があまりにも短すぎて、結果的には直接役立つところがなかったように思います。
- ・ (7-2) 最近の吸引の方法（口腔内にチューブを入れる時に根元を折らない）が変わった事を知った
- ・ (7-4) 講習では、ヒヤリハットを中心に説明されていたため、特に今回のこの講義についてナビゲートされた感はありません。
- ・ (8-1) あまりにも説明がざっくりしすぎてよくわからなかった。
- ・ (8-2) その時点で自分の担当は決定されていなかったし、もっと早くからの計画が必要だと思う。
- ・ (8-4) さらに自分で深めました。
- ・ (8-5) もの足りず、さらに自分で深めました。
- ・ (8-9) 講義というより読むだけで終わっていた。全く無意味
- ・ (9-3) 指導者講習の中ではあまり注目された部分でなかった。
- ・ (9-4) 著者の先生方の説明をもっと長くしていただきたいかったです

## ⑮講義の必要性(指導者)

指導者に対し、講義の必要性(設問「介護職員がたんの吸引等を行うに当たり、どの程度、必要であると思いますか」)を6段階(「必ず必要」、「必要」、「どちらかという必要」、「どちらかという不要」、「不要」、「まったく不要」)で聞いた(図表3-39、図表3-40)。

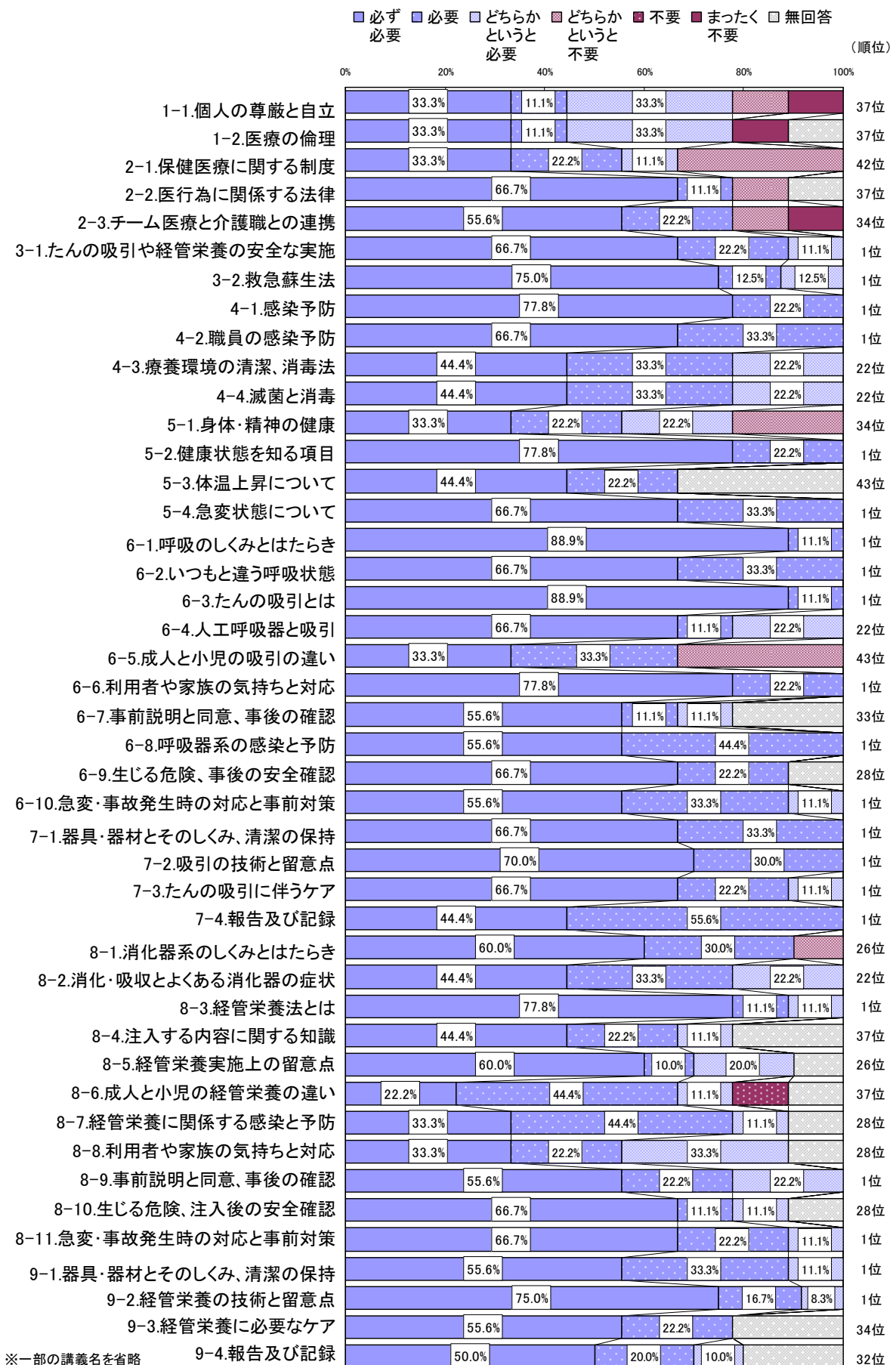
もともと回答対象者数が少ないため、回答数値の変動幅が大きい。全体としては、『必要』(「必ず必要」、「必要」、「どちらかという必要」の合計値)が66.7%~100.0%(44講義平均91.3%)半数を超えるのに対し、『不要』(「どちらかという不要」、「不要」、「まったく不要」の合計値)は0.0%~33.3%(44講義平均4.0%)と約3割以下に留まった。この結果から、講義の必要性については、講師担当の指導者は、44講義のいずれの講義においても、必要であると判断していると考えられる。

講義別にみると、『必要』(「必ず必要」、「必要」、「どちらかという必要」の合計値)の比率が100.0%となったのは、44講義のうち、「3-1.たんの吸引や経管栄養の安全な実施」、「3-2.救急蘇生法」、「4-1.感染予防」、「4-2.職員の感染予防」、「4-3.療養環境の清潔、消毒法」、「4-4.滅菌と消毒」、「5-2.健康状態を知る項目(バイタルサインなど)」、「5-4.急変状態について」、「6-1.呼吸のしくみとはたらき」、「6-2.いつもと違う呼吸状態」、「6-3.たんの吸引とは」、「6-4.人工呼吸器と吸引」、「6-6.吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応」、「6-8.呼吸器系の感染と予防(吸引に関連して)」、「6-10.急変・事故発生時の対応と事前対策」、「7-1.たんの吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持」、「7-2.吸引の技術と留意点」、「7-3.たんの吸引に伴うケア」、「7-4.報告及び記録」、「8-2.消化・吸収とよくある消化器の症状」、「8-3.経管栄養法とは」、「8-9.事前説明(声かけ)と同意、事後の確認」、「8-11.急変・事故発生時の対応と事前対策」、「9-1.経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持」、「9-2.経管栄養の技術と留意点」の25講義であり、そのうち9講義(「3-2.救急蘇生法」、「4-1.感染予防」、「5-2.健康状態を知る項目(バイタルサインなど)」、「6-1.呼吸のしくみとはたらき」、「6-3.たんの吸引とは」、「6-6.吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応」、「7-2.吸引の技術と留意点」、「8-3.経管栄養法とは」、「9-2.経管栄養の技術と留意点」)については、「必ず必要」の比率が70%以上であった。

一方、『不要』(「どちらかという不要」、「不要」、「まったく不要」の合計値)の比率が高かったのは、「2-1.保健医療に関する制度」と「6-5.成人と小児の吸引の違い」のともに約33%が最も高く、次いで、「1-1.個人の尊厳と自立」、「2-3.チーム医療と介護職との連携」、「5-1.身体・精神の健康」の3講義でいずれも約22%であった。全体的に「必要」との回答が圧倒的な多数を占める中で、この5講義については「不要」との回答者が一定数(3名)存在した。

図表 3-39.講義の必要性 指導者(基本研修・講義)

(n=8~12)



※一部の講義名を省略

図表 3-40.講義の必要性 指導者(基本研修・講義)

| 問5. 講義は、介護職員がたんの吸引等を行うに当たり、どの程度、必要であると思いますか。 |                            |                                | 件数 | 『必要』  |       |               | 『不要』          |       |            | 無回答   | 『必要』   | 『不要』  | 順位<br>(『必要』) |
|----------------------------------------------|----------------------------|--------------------------------|----|-------|-------|---------------|---------------|-------|------------|-------|--------|-------|--------------|
|                                              |                            |                                |    | 必ず必要  | 必要    | どちらかという<br>必要 | どちらかという<br>不要 | 不要    | まったく<br>不要 |       |        |       |              |
| 1                                            | 人間と社会                      | 1-1 個人の尊厳と自立                   | 9  | 33.3% | 11.1% | 33.3%         | 11.1%         | 0.0%  | 11.1%      | 0.0%  | 77.8%  | 22.2% | 37位          |
|                                              |                            | 1-2 医療の倫理                      | 9  | 33.3% | 11.1% | 33.3%         | 0.0%          | 0.0%  | 11.1%      | 11.1% | 77.8%  | 11.1% | 37位          |
| 2                                            | 保健医療制度<br>とチーム医療           | 2-1 保健医療に関する制度                 | 9  | 33.3% | 22.2% | 11.1%         | 33.3%         | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  | 66.7%  | 33.3% | 42位          |
|                                              |                            | 2-2 医行為に関係する法律                 | 9  | 66.7% | 11.1% | 0.0%          | 11.1%         | 0.0%  | 0.0%       | 11.1% | 77.8%  | 11.1% | 37位          |
|                                              |                            | 2-3 チーム医療と介護職との連携              | 9  | 55.6% | 22.2% | 0.0%          | 11.1%         | 0.0%  | 11.1%      | 0.0%  | 77.8%  | 22.2% | 34位          |
| 3                                            | 安全な療養生活                    | 3-1 たんの吸引や経管栄養の安全な実施           | 9  | 66.7% | 22.2% | 11.1%         | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  | 100.0% | 0.0%  | 1位           |
|                                              |                            | 3-2 救急蘇生法                      | 8  | 75.0% | 12.5% | 12.5%         | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  | 100.0% | 0.0%  | 1位           |
| 4                                            | 清潔保持と感染<br>予防              | 4-1 感染予防                       | 9  | 77.8% | 22.2% | 0.0%          | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  | 100.0% | 0.0%  | 1位           |
|                                              |                            | 4-2 職員の感染予防                    | 9  | 66.7% | 33.3% | 0.0%          | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  | 100.0% | 0.0%  | 1位           |
|                                              |                            | 4-3 療養環境の清潔、消毒法                | 9  | 44.4% | 33.3% | 22.2%         | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  | 100.0% | 0.0%  | 22位          |
|                                              |                            | 4-4 滅菌と消毒                      | 9  | 44.4% | 33.3% | 22.2%         | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  | 100.0% | 0.0%  | 22位          |
| 5                                            | 健康状態の把握                    | 5-1 身体・精神の健康                   | 9  | 33.3% | 22.2% | 22.2%         | 22.2%         | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  | 77.8%  | 22.2% | 34位          |
|                                              |                            | 5-2 健康状態を知る項目(バイタルサインなど)       | 9  | 77.8% | 22.2% | 0.0%          | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  | 100.0% | 0.0%  | 1位           |
|                                              |                            | 5-3 体温上昇について                   | 9  | 44.4% | 22.2% | 0.0%          | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 33.3% | 66.7%  | 0.0%  | 43位          |
|                                              |                            | 5-4 急変状態について                   | 9  | 66.7% | 33.3% | 0.0%          | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  | 100.0% | 0.0%  | 1位           |
| 6                                            | 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」(概論)     | 6-1 呼吸のしくみとはたらき                | 9  | 88.9% | 11.1% | 0.0%          | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  | 100.0% | 0.0%  | 1位           |
|                                              |                            | 6-2 いつもと違う呼吸状態                 | 9  | 66.7% | 33.3% | 0.0%          | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  | 100.0% | 0.0%  | 1位           |
|                                              |                            | 6-3 たんの吸引とは                    | 9  | 88.9% | 11.1% | 0.0%          | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  | 100.0% | 0.0%  | 1位           |
|                                              |                            | 6-4 人工呼吸器と吸引                   | 9  | 66.7% | 11.1% | 22.2%         | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  | 100.0% | 0.0%  | 22位          |
|                                              |                            | 6-5 成人と小児の吸引の違い                | 9  | 33.3% | 33.3% | 0.0%          | 33.3%         | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  | 66.7%  | 33.3% | 43位          |
|                                              |                            | 6-6 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応        | 9  | 77.8% | 22.2% | 0.0%          | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  | 100.0% | 0.0%  | 1位           |
|                                              |                            | 6-7 事前説明(声かけ)と同意、事後の確認         | 9  | 55.6% | 11.1% | 11.1%         | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 22.2% | 77.8%  | 0.0%  | 33位          |
|                                              |                            | 6-8 呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して)        | 9  | 55.6% | 44.4% | 0.0%          | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  | 100.0% | 0.0%  | 1位           |
|                                              |                            | 6-9 たんの吸引により生じる危険、事後の安全確認      | 9  | 66.7% | 22.2% | 0.0%          | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 11.1% | 88.9%  | 0.0%  | 28位          |
|                                              |                            | 6-10 急変・事故発生時の対応と事前対策          | 9  | 55.6% | 33.3% | 11.1%         | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  | 100.0% | 0.0%  | 1位           |
| 7                                            | 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」(実施手順解説) | 7-1 たんの吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 | 9  | 66.7% | 33.3% | 0.0%          | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  | 100.0% | 0.0%  | 1位           |
|                                              |                            | 7-2 吸引の技術と留意点                  | 10 | 70.0% | 30.0% | 0.0%          | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  | 100.0% | 0.0%  | 1位           |
|                                              |                            | 7-3 たんの吸引に伴うケア                 | 9  | 66.7% | 22.2% | 11.1%         | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  | 100.0% | 0.0%  | 1位           |
|                                              |                            | 7-4 報告及び記録                     | 9  | 44.4% | 55.6% | 0.0%          | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  | 100.0% | 0.0%  | 1位           |
| 8                                            | 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」(概論)      | 8-1 消化器系のしくみとはたらき              | 10 | 60.0% | 30.0% | 0.0%          | 10.0%         | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  | 90.0%  | 10.0% | 26位          |
|                                              |                            | 8-2 消化・吸収とよくなる消化器の症状           | 9  | 44.4% | 33.3% | 22.2%         | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  | 100.0% | 0.0%  | 22位          |
|                                              |                            | 8-3 経管栄養法とは                    | 9  | 77.8% | 11.1% | 11.1%         | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  | 100.0% | 0.0%  | 1位           |
|                                              |                            | 8-4 注入する内容に関する知識               | 9  | 44.4% | 22.2% | 11.1%         | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 22.2% | 77.8%  | 0.0%  | 37位          |
|                                              |                            | 8-5 経管栄養実施上の留意点                | 10 | 60.0% | 10.0% | 20.0%         | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 10.0% | 90.0%  | 0.0%  | 26位          |
|                                              |                            | 8-6 成人と小児の経管栄養の違い              | 9  | 22.2% | 44.4% | 11.1%         | 0.0%          | 11.1% | 0.0%       | 11.1% | 77.8%  | 11.1% | 37位          |
|                                              |                            | 8-7 経管栄養に関係する感染と予防             | 9  | 33.3% | 44.4% | 11.1%         | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 11.1% | 88.9%  | 0.0%  | 28位          |
|                                              |                            | 8-8 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応      | 9  | 33.3% | 22.2% | 33.3%         | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 11.1% | 88.9%  | 0.0%  | 28位          |
|                                              |                            | 8-9 事前説明(声かけ)と同意、事後の確認         | 9  | 55.6% | 22.2% | 22.2%         | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  | 100.0% | 0.0%  | 1位           |
|                                              |                            | 8-10 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認     | 9  | 66.7% | 11.1% | 11.1%         | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 11.1% | 88.9%  | 0.0%  | 28位          |
|                                              |                            | 8-11 急変・事故発生時の対応と事前対策          | 9  | 66.7% | 22.2% | 11.1%         | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  | 100.0% | 0.0%  | 1位           |
| 9                                            | 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」(実施手順解説)  | 9-1 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持  | 9  | 55.6% | 33.3% | 11.1%         | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  | 100.0% | 0.0%  | 1位           |
|                                              |                            | 9-2 経管栄養の技術と留意点                | 12 | 75.0% | 16.7% | 8.3%          | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 0.0%  | 100.0% | 0.0%  | 1位           |
|                                              |                            | 9-3 経管栄養に必要なケア                 | 9  | 55.6% | 22.2% | 0.0%          | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 22.2% | 77.8%  | 0.0%  | 34位          |
|                                              |                            | 9-4 報告及び記録                     | 10 | 50.0% | 20.0% | 10.0%         | 0.0%          | 0.0%  | 0.0%       | 20.0% | 80.0%  | 0.0%  | 32位          |

## ⑩講義の改善点(自由回答)(指導者)

指導者に対し、講義の改善点（設問「この講義で改善した方が良い点があればお知らせ下さい」）を聞き、162 件の回答を得た。

具体的な回答は以下の通り（図表 3-41）。

図表 3-41 講義の改善点(自由回答) 指導者(基本研修・講義)

- ・ (1-1) 講義全搬で時間が余ってしまいました。私自身の準備不足も否定しませんが、このテキストの資料のみでは話す側の解釈によって随分差が出ると思います。又、担当した項目の中には、事業との関連や、意図が分からないものもあり、話しにくい面がありました。認知症サポート医研修のような標準化されたスライド資料や、割当てた時間に相当する講師用のテキストなどが必要だと思います。統一されたカリキュラムにするには必要な事だと思います。
- ・ (3-1) 「安全や療養生活」では、日常の生活支援における医行為の必要性和実践する際の安全の確保に関する記述が必須である。
- ・ (3-2) 参加者から救急車対応。救急隊に申し送る内容等（質問がありました）バイスタンダーとしての役割として追加していただきたい。
- ・ (4-3) 熱消毒、消毒剤による消毒のターゲットに見合った具体的な方法を示す必要があると感じました。たとえば、熱消毒の温度と時間、消毒剤の種類濃度などです。
- ・ (5-1) 体調不良をキチンととらえる。という項目の中で「その人なりのいつもの（＝平常）状態をよく知っておくこと」の必要性を話せばすむことかと思います。それを話すことは大切ですがわざわざそのためだけに時間を割く必要はないと思います。
- ・ (5-3) バイタルサインの体温の項目に含めた方が説明しやすいし、このページのみで1時間、何を説明すべきなのか？わからない。
- ・ (6-4) 介護スタッフが人工呼吸器に触れてよいか、人工呼吸器を使用している方の吸引を実施してよいのかという疑問はある。内容的には、人工呼吸器のリスクと気管カニューレの管理について、内容がうすいと思う。人工呼吸器装着者の緊急な状態は見極めができるような内容で必要だが、連絡方法以降は10) 事故発生時の対応にまとめて良いと思う。
- ・ (6-5) 有料老人ホームでは小児の吸引をする機会は全くないので、在宅、居宅系と施設での研修内容はちがってもいいように思います。
- ・ (6-7) 利用者の気持、利用者家族の気持・・・記述を統一した方がよいと思います。・声のトーンやタッチングなども行っていくこと。注意。・吸引機を作動させる前に同意を得ることが大切。
- ・ (6-10) 緊急時の対応マニュアルの具体例の記載。ひとりで訪問している場合の緊急の際の連絡報告について追加した方がよい。
- ・ (7-1) 吸引器ももっと様々あるので、紹介してほしい。フタつきの保管容器を探すのはむずかしい。消毒されたビンなどの活用を紹介してほしい。
- ・ (7-2) 実際DVD（日本老年看護学会の口腔内吸引）を利用したが、教材などとして、最初から認めてほしい。
- ・ (7-3) 講義時間は十分あるので、私自身実技を入れた講義をすると効果的だった。例えば会場に「Bed」を入れたり、「枕」を使ったりとすると効果的
- ・ (8-1) できれば講義をした講師が演習に関われる方がいいと思う。自分の講義の内容を演習で再確認したり強調したりすることができると思う。準備期間が短い。
- ・ (8-10) 経管栄養の実施順序に従って発生しやすいトラブルについて書いてあるとわかりやすかったのでは？
- ・ (9-3) テキストのみの講義ではイメージ化が困難です。実際にシミュレーターや、物品を見せながら受講者が手にとり、学ぶ場面が必要と感じました。

## ⑰試行事業への意見・要望(自由回答)(指導者)

試行事業への意見・要望(設問「試行事業へのご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にご記入下さい」)に対し、50件の回答を得た。

具体的な回答は以下の通り(図表 3-42)。

図表 3-42.試行事業への意見・要望(自由回答) 指導者(基本研修・講義)

- ・(1-1) 個人の尊厳と自立、医療の倫理、チーム医療と介護職との連携を担当しました。テキスト内容のごくありふれた、当たり前の事であり、介護職員が理解できるか否か以前の内容である。この内容であれば冊子を配布し、各自読んでもらうだけで良い。
- ・(3-2) 救急蘇生法の学習後、消防署による演習3時間実施した。学習内容と同様の演習であったため、理解を深めることができたと思う。3h程度の消防署への救急蘇生を取り入れるとよいと思う。
- ・(4-1) 基本研修の講義については全体的に時間が長すぎる。この研修時間であればグループホーム等では研修に1人ずつしか出せないと思われるので、できるだけ短くして2人ずつくらいは研修を受けられるよう考慮して欲しい。
- ・(4-3) テキストの内容が重複している部分が多い為、説明に困ります。説明時間が不必要に長いと感じます。
- ・(5-2) 今回参加されている介護支援員さん等の経験もさまざまで知識も差が大きい為、戸惑いも大きいです。参加の方の経験等、ある程度の統一性も必要ではないでしょうか？求めておられる内容も差が大きいように感じました。
- ・(6-3) 表 6-1 はわかりやすくてよい。この項にも、たんの吸引に要する時間は老人の場合1回に10～15秒と明記した方がよいのでは？
- ・(6-4) ・全体的に時間は長すぎる。・テキストにそうと同じ内容のことを何度も伝えることになり、受講生にあきられる。
- ・(6-6) ・気持ちと対応については、介護職が学習することには異存はないが、医療現場の実際とテキスト内容がそっていないと思う。・医療現場の看護職もこれを機に、介護職のお手本となるべく、再教育が必要と思った。・現場実習に行ったとき、理想と現実のギャップになやむことになりそう。
- ・(6-10) 1. このテキスト全て理解できるように講義を行っても50時間は長すぎるし、50時間必要ないと考えます。2. このテキストを基本にするなら講習を受けた人が各施設なり事業所で十分行えるので最終的には試験に合格すれば良いと思う。3. 各施設、事業所共に人が不足している時に決められた場所に出ていく事はできない。各施設、事業所でもできる方法を考えるべき。4. 施設等のサービスは医師、看護師など連絡は取りやすいが在宅の事業所であるなら何が生じても訪問看護ステーションも主治医も利用者にとっては夫々違いがあり何があっても連絡体系が取りにくい現実がある！5. 経管前に看護師が確認するとあるが施設ならできるが在宅で経管を行う場合看護師が毎回365日確認していたら訪看の料金だけでもとてもではないが払えないですが…
- ・(7-1) 在宅で行われるケア、特に医行為については原理・原則を踏まえた上での応用です。応用にならざるを得ない理由が利用者様やとりまく環境にはあります。技術の習得は、「やさしいことから難しいことへ」と順序性があり、その順序性をとびこえて、いきなり応用の技術をテキストに示し学んでいただこうとするのは、いかがなものかと思っています。知識をもたずに即実践で実施されている方への指導となりますから、やや難しくなったとしても、原理・原則をていねいに示したテキストの方が、講義の時だけでなく、復習する時や実施研修で使っているのではないかと考えています。公的な講義ですから、できる限りテキストに沿って進めようとつとめました。その原理・原則のなさをどこまで口答で伝えてよいものか、資料として提示すべきなのか、ずい分なやみしました。
- ・(7-2) 受講者の特性を考えると文字ばかりがぎっしりと書かれたテキストを読む気になれるのでしょうか。また、この講義は技術と留意点ですから、講義までの時点で技術のイ

メージを助ける教材が必要と思いますし、技術の定着を助ける、すなわち復習や実践でも横に置きながらでも活用できるくらいの教材が必要だと思います。テキストに図表が引用されていますが、その引用もずい分正誤表で修正されており、どんなサブテキストを用意すればよいのか、受講生の方々は悩まれるのではないのでしょうか。とりあえず、看護技術のサブテキストよりグラフィックで示した手順をテキストとともに示させていただきましたが、その方法が適切か否か、他の会場の受講生の方々はどのように学ばれ理解を助けていただいているのか気になるところです。また、示した資料についてはグラフィックの引用元も記述するよう、つとめました。

- ・(7-3) 介護職の反応。・吸引をやるかやらないかは別としてこのような研修を受ける機会がなかなか現場ではないので、受講してよかったという反応はありましたが、“怖いことをしようとしている…”というような（特に気管カニューレ内吸引）気持ちになった、といいますか、勉強をしてリスクが生命に直通していることに気づいた、という方もいらっしゃいました。
- ・(8-3) 全体的に一つ一つの項目の時間が長いと思います。スタッフの拘束時間や必要性を考えると、もっと短くした方が逆にわかりやすく、沢山のスタッフが受講出来ると思いました。昔ですが、看護学生を指導したことがあります。勉強して実習（現場で行う）看護学生と、現場で経験した上で勉強するサービススタッフはやり方が違うと思います。また、今回受けられている方は、ある程度経験のあるリーダーレベルのスタッフだと思うので、それによって指導方法、内容が違うと思います。チューブの種類について、後でサンプルがきて説明出来ましたが、やはりサンプルがあると視覚的にもわかりやすいと思いました。
- ・(8-8) ◎60分単位の講義時間の中で、テキストで不足している部分を補いながら、自分の持っている知識の中で研修生に伝えました。60分×7回、終わった時はホットしましたがこれだけのテキストで介護者が実施するには、あまりにもリスクが大きいと感じています。50時間の何倍も必要ではないのでしょうか？安易に実施する事はハイリスクを伴うと思っています。もっと密に研修を組み立てなければ実施すべきではないと思っています。その人を捉え、実施する事より、技術が先行して行く可能性は大きいかとも思います。恐怖を感じます。
- ・(9-4) ・講義にあたり、講師が説明するにあたり、準備する事が多すぎる＝各項目において、1時間講義するのは、とても大変でした。講義のてびきや参考の本が必要だと思いました。・今回のテキスト内容を基に今後この事業が施行されると、講師により、講義内容に差が出てくる。・介護職員の経験にも差がずいぶんあった為、講義内容をまとめにくい。・テキストの内容で例えば、記録・報告などは、繰り返し記載されている為、まとめて、各項目での違いをはっきりさせる方が理解しやすい。・インシデント・アクシデント記載については、事例を出し、演習をもっともっと各項目で行い、解答を導き出す過程を伝える事が必要＝記載する為に時間がかかりすぎる。・テキストの内容は、述べられている事があちらこちらとバラバラであったり、重複していたりと説明しにくかった。



## 【指導者と介護職員の比較】

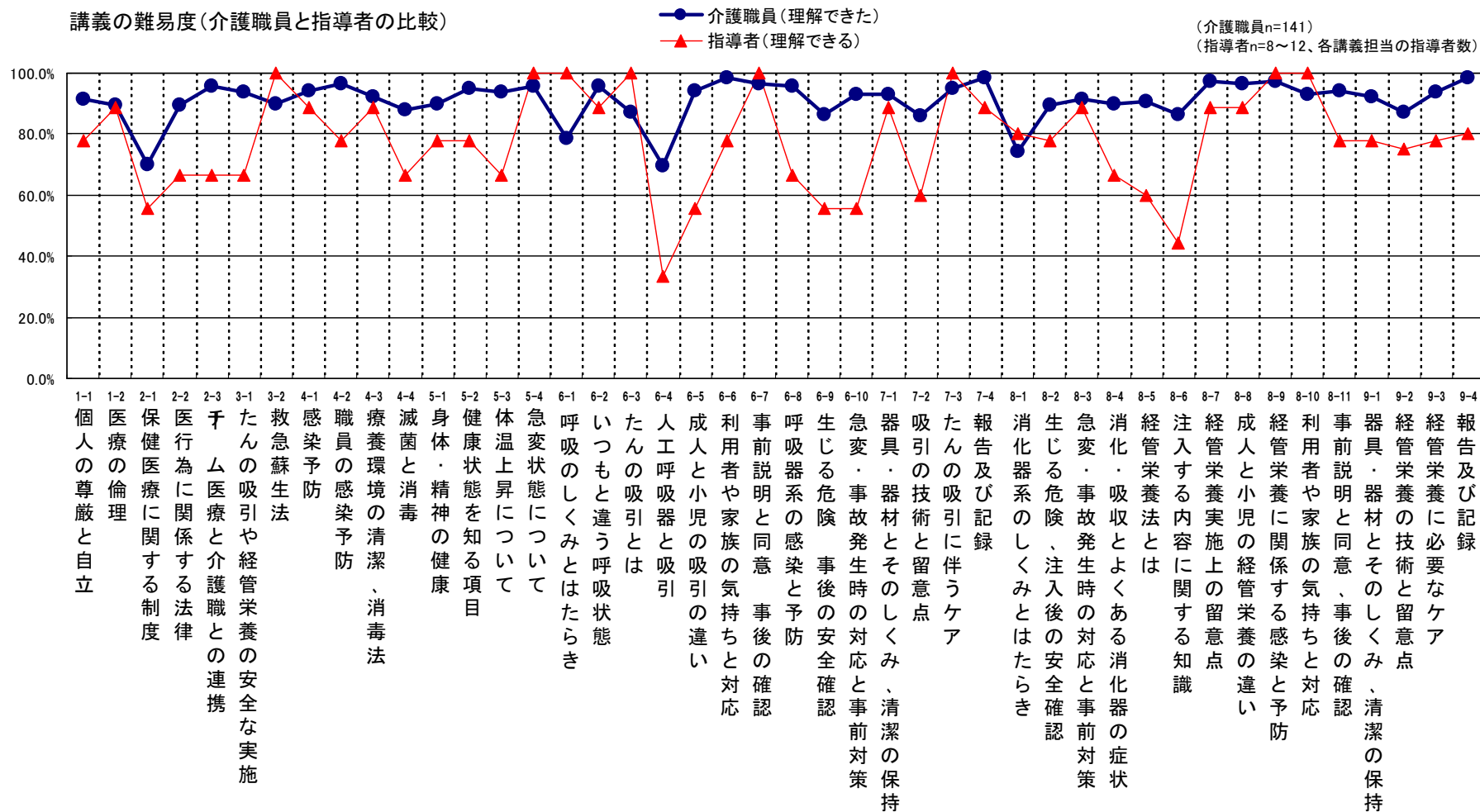
### ⑩講義の難易度(指導者と介護職員の比較)

講義の難易度について、介護職員に対しては4段階（「理解できた」、「一部理解できないところがあった」、「大半は理解できなかった」、「理解できなかった」）で、講師担当の指導者には3段階（「理解できる」、「どちらともいえない」、「理解できない」）で聞いている。両者の設問では、選択肢内容が異なっており、特に指導者の場合は回答者数が少なく、数値の直接比較は無理があるものの、介護職員の肯定的評価（「理解できた」）と指導者の肯定的評価（「理解できる」）の回答比率について、その傾向を比べてみる（図表 3-43、図表 3-44）。

全体としては、概ね類似の傾向がみられるが、介護職員の肯定的評価の比率が44講義平均91.0%に対し、指導者の同平均は77.8%と、指導者の方が約13ポイントも低い結果となっている。

特に、介護職員と指導者の評価で差が大きかったのは、「8-6.成人と小児の経管栄養の違い」、の約42ポイント、「6-5.成人と小児の吸引の違い」の約39ポイント、「6-10.急変・事故発生時の対応と事前対策」の約37ポイント、「6-4.人工呼吸器と吸引」の約36ポイントの4講義であり、いずれも指導者の評価の方が低かった。一方、逆に、指導者の肯定的評価が高かったのは「6-1.呼吸のしくみとはたらき」で、その差は約21ポイントであった。

図表 3-43. 講義の難易度の比較(基本研修・講義)



図表 3-44.講義の難易度 指導者と介護職員の比較(基本研修・講義)

| 問 1. 講義の難易度 |                            |      |                            | 介護職員<br>件数 | 指導者<br>件数 | 介護職員(理<br>解できた) | 指導者(理解<br>できる) |
|-------------|----------------------------|------|----------------------------|------------|-----------|-----------------|----------------|
| 1           | 人間と社会                      | 1-1  | 個人の尊厳と自立                   | 141        | 9         | 91.5%           | 77.8%          |
|             |                            | 1-2  | 医療の倫理                      | 141        | 9         | 89.4%           | 88.9%          |
| 2           | 保健医療制度とチーム医療               | 2-1  | 保健医療に関する制度                 | 141        | 9         | 70.2%           | 55.6%          |
|             |                            | 2-2  | 医行為に関係する法律                 | 141        | 9         | 89.4%           | 66.7%          |
|             |                            | 2-3  | チーム医療と介護職との連携              | 141        | 9         | 95.7%           | 66.7%          |
| 3           | 安全な療養生活                    | 3-1  | たんの吸引や経管栄養の安全な実施           | 141        | 9         | 93.6%           | 66.7%          |
|             |                            | 3-2  | 救急蘇生法                      | 141        | 8         | 90.1%           | 100.0%         |
| 4           | 清潔保持と感染予防                  | 4-1  | 感染予防                       | 141        | 9         | 94.3%           | 88.9%          |
|             |                            | 4-2  | 職員の感染予防                    | 141        | 9         | 96.5%           | 77.8%          |
|             |                            | 4-3  | 療養環境の清潔、消毒法                | 141        | 9         | 92.2%           | 88.9%          |
|             |                            | 4-4  | 滅菌と消毒                      | 141        | 9         | 87.9%           | 66.7%          |
| 5           | 健康状態の把握                    | 5-1  | 身体・精神の健康                   | 141        | 9         | 90.1%           | 77.8%          |
|             |                            | 5-2  | 健康状態を知る項目(バイタルサインなど)       | 141        | 9         | 95.0%           | 77.8%          |
|             |                            | 5-3  | 体温上昇について                   | 141        | 9         | 93.6%           | 66.7%          |
|             |                            | 5-4  | 急変状態について                   | 141        | 9         | 95.7%           | 100.0%         |
| 6           | 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」(概論)     | 6-1  | 呼吸のしくみとはたらき                | 141        | 9         | 78.7%           | 100.0%         |
|             |                            | 6-2  | いつもと違う呼吸状態                 | 141        | 9         | 95.7%           | 88.9%          |
|             |                            | 6-3  | たんの吸引とは                    | 141        | 9         | 87.2%           | 100.0%         |
|             |                            | 6-4  | 人工呼吸器と吸引                   | 141        | 9         | 69.5%           | 33.3%          |
|             |                            | 6-5  | 成人と小児の吸引の違い                | 141        | 9         | 94.3%           | 55.6%          |
|             |                            | 6-6  | 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応        | 141        | 9         | 98.6%           | 77.8%          |
|             |                            | 6-7  | 事前説明(声かけ)と同意、事後の確認         | 141        | 9         | 96.5%           | 100.0%         |
|             |                            | 6-8  | 呼吸器系の感染と予防(吸引に関連して)        | 141        | 9         | 95.7%           | 66.7%          |
|             |                            | 6-9  | たんの吸引により生じる危険、事後の安全確認      | 141        | 9         | 86.5%           | 55.6%          |
|             |                            | 6-10 | 急変・事故発生時の対応と事前対策           | 141        | 9         | 92.9%           | 55.6%          |
| 7           | 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」(実施手順解説) | 7-1  | たんの吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 | 141        | 9         | 92.9%           | 88.9%          |
|             |                            | 7-2  | 吸引の技術と留意点                  | 141        | 10        | 85.8%           | 60.0%          |
|             |                            | 7-3  | たんの吸引に伴うケア                 | 141        | 9         | 95.0%           | 100.0%         |
|             |                            | 7-4  | 報告及び記録                     | 141        | 9         | 98.6%           | 88.9%          |
| 8           | 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」(概論)      | 8-1  | 消化器系のしくみとはたらき              | 141        | 10        | 74.5%           | 80.0%          |
|             |                            | 8-2  | 消化・吸収とよくある消化器の症状           | 141        | 9         | 89.4%           | 77.8%          |
|             |                            | 8-3  | 経管栄養法とは                    | 141        | 9         | 91.5%           | 88.9%          |
|             |                            | 8-4  | 注入する内容に関する知識               | 141        | 9         | 90.1%           | 66.7%          |
|             |                            | 8-5  | 経管栄養実施上の留意点                | 141        | 10        | 90.8%           | 60.0%          |
|             |                            | 8-6  | 成人と小児の経管栄養の違い              | 141        | 9         | 86.5%           | 44.4%          |
|             |                            | 8-7  | 経管栄養に関係する感染と予防             | 141        | 9         | 97.2%           | 88.9%          |
|             |                            | 8-8  | 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応      | 141        | 9         | 96.5%           | 88.9%          |
|             |                            | 8-9  | 事前説明(声かけ)と同意、事後の確認         | 141        | 9         | 97.2%           | 100.0%         |
|             |                            | 8-10 | 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認      | 141        | 9         | 92.9%           | 100.0%         |
|             |                            | 8-11 | 急変・事故発生時の対応と事前対策           | 141        | 9         | 94.3%           | 77.8%          |
| 9           | 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」(実施手順解説)  | 9-1  | 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持  | 141        | 9         | 92.2%           | 77.8%          |
|             |                            | 9-2  | 経管栄養の技術と留意点                | 141        | 12        | 87.2%           | 75.0%          |
|             |                            | 9-3  | 経管栄養に必要なケア                 | 141        | 9         | 93.6%           | 77.8%          |
|             |                            | 9-4  | 報告及び記録                     | 141        | 10        | 98.6%           | 80.0%          |

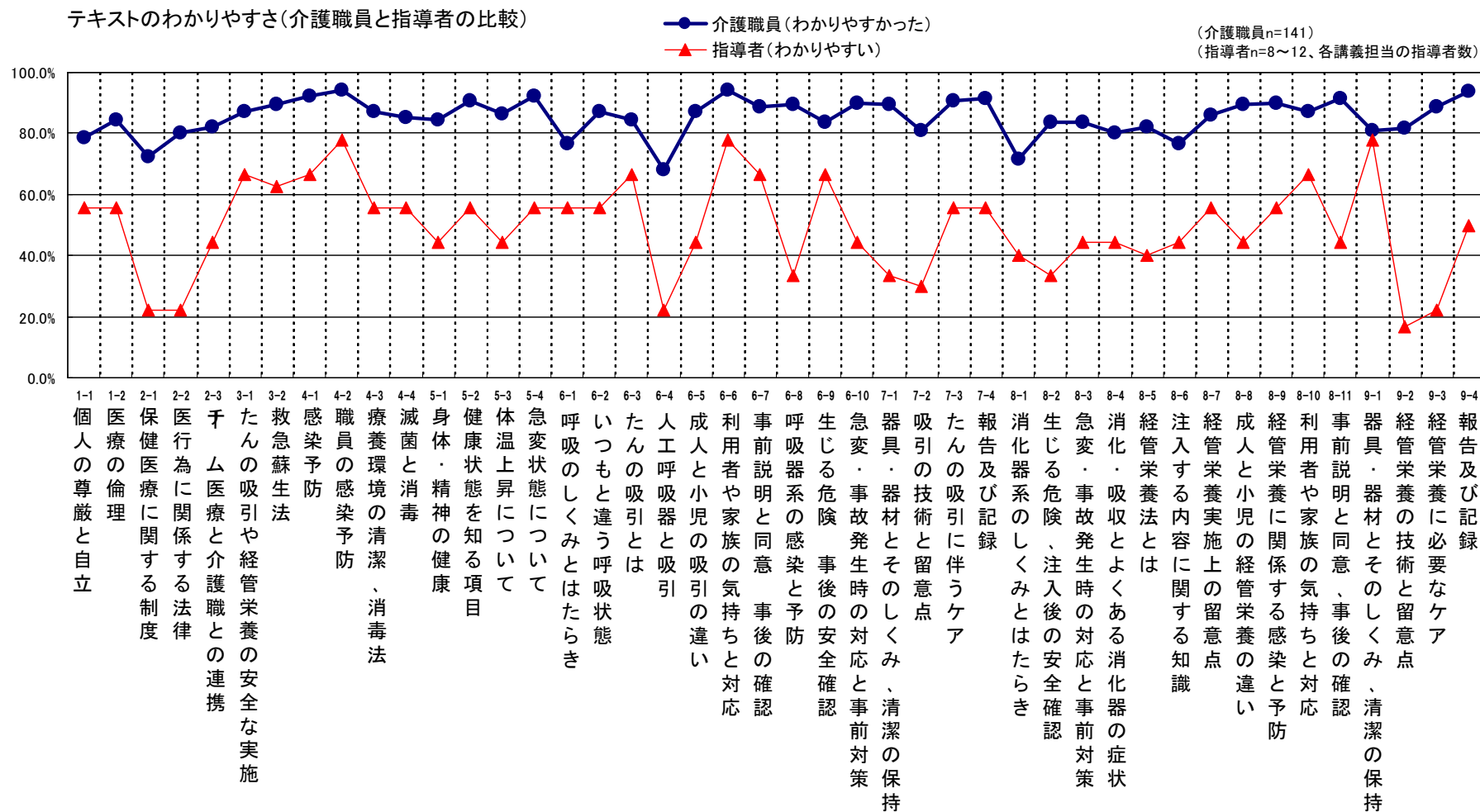
#### ⑬テキストのわかりやすさ(指導者と介護職員の比較)

テキストのわかりやすさについて、介護職員に対しては4段階（「わかりやすかった」、「一部わかりにくい箇所があった」、「大半はわかりにくい」、「わかりにくい」）で、講師担当の指導者には3段階（「わかりやすい」、「どちらともいえない」、「わかりにくい」）で聞いている。両者の設問では、選択肢内容が異なっており、特に指導者の場合は回答者数が少なく、数値の直接比較は無理があるものの、介護職員の肯定的評価（「わかりやすかった」）と指導者の肯定的評価（「わかりやすい」）の回答比率について、その傾向を比べてみる（図表 3-45、図表 3-46）。

全体としては、概ね類似の傾向がみられるが、介護職員の肯定的評価の比率が44講義平均85.5%に対し、指導者の同平均は49.2%と、指導者の方が約36ポイントも低く、非常に大きな差となった。44講義の全てについて指導者の評価の方が低く、テキストのわかりやすさに対する評価結果は、非常に厳しいものとなっている。

特に、介護職員と指導者の評価で差が大きかったのは、「9-3.経管栄養に必要なケア」の約66ポイント、「9-2.経管栄養の技術と留意点」の約65ポイント、「2-2.医行為に関係する法律」の約58ポイント、「6-8.呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して)」の約56ポイント、「7-1.たんの吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持」の約56ポイント、「7-2.吸引の技術と留意点」の約51ポイント、「8-2.消化・吸収とよくある消化器の症状」の約50ポイント、「2-1.保健医療に関する制度」の約50ポイントの8講義であり、いずれも指導者の方が50ポイント以上も低かった。一方、指導者の肯定的評価が高かったものは1つもなかった。

図表 3-45.テキストのわかりやすさ 指導者と介護職員の比較（基本研修・講義）



図表 3-46.テキストのわかりやすさ 指導者と介護職員の比較(基本研修・講義)

| 問2. テキストの分かり易さ |                                            |      |                            | 介護職員<br>件数 | 指導者<br>件数 | 介護職員(わ<br>かりやすかつ<br>た) | 指導者(わか<br>りやすい) |
|----------------|--------------------------------------------|------|----------------------------|------------|-----------|------------------------|-----------------|
| 1              | 人間と社会                                      | 1-1  | 個人の尊厳と自立                   | 141        | 9         | 78.7%                  | 55.6%           |
|                |                                            | 1-2  | 医療の倫理                      | 141        | 9         | 84.4%                  | 55.6%           |
| 2              | 保健医療制<br>度とチーム<br>医療                       | 2-1  | 保健医療に関する制度                 | 141        | 9         | 72.3%                  | 22.2%           |
|                |                                            | 2-2  | 医行為に関係する法律                 | 141        | 9         | 80.1%                  | 22.2%           |
|                |                                            | 2-3  | チーム医療と介護職との連携              | 141        | 9         | 82.3%                  | 44.4%           |
| 3              | 安全な療養<br>生活                                | 3-1  | たんの吸引や経管栄養の安全な実施           | 141        | 9         | 87.2%                  | 66.7%           |
|                |                                            | 3-2  | 救急蘇生法                      | 141        | 8         | 89.4%                  | 62.5%           |
| 4              | 清潔保持と<br>感染予防                              | 4-1  | 感染予防                       | 141        | 9         | 92.2%                  | 66.7%           |
|                |                                            | 4-2  | 職員の感染予防                    | 141        | 9         | 94.3%                  | 77.8%           |
|                |                                            | 4-3  | 療養環境の清潔、消毒法                | 141        | 9         | 87.2%                  | 55.6%           |
|                |                                            | 4-4  | 滅菌と消毒                      | 141        | 9         | 85.1%                  | 55.6%           |
| 5              | 健康状態の<br>把握                                | 5-1  | 身体・精神の健康                   | 141        | 9         | 84.4%                  | 44.4%           |
|                |                                            | 5-2  | 健康状態を知る項目(バイタルサインなど)       | 141        | 9         | 90.8%                  | 55.6%           |
|                |                                            | 5-3  | 体温上昇について                   | 141        | 9         | 86.5%                  | 44.4%           |
|                |                                            | 5-4  | 急変状態について                   | 141        | 9         | 92.2%                  | 55.6%           |
| 6              | 高齢者及び<br>障害児・者<br>の「たんの<br>吸引」(概論)         | 6-1  | 呼吸のしくみとはたらき                | 141        | 9         | 76.6%                  | 55.6%           |
|                |                                            | 6-2  | いつもと違う呼吸状態                 | 141        | 9         | 87.2%                  | 55.6%           |
|                |                                            | 6-3  | たんの吸引とは                    | 141        | 9         | 84.4%                  | 66.7%           |
|                |                                            | 6-4  | 人工呼吸器と吸引                   | 141        | 9         | 68.1%                  | 22.2%           |
|                |                                            | 6-5  | 成人と小児の吸引の違い                | 141        | 9         | 87.2%                  | 44.4%           |
|                |                                            | 6-6  | 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応        | 141        | 9         | 94.3%                  | 77.8%           |
|                |                                            | 6-7  | 事前説明(声かけ)と同意、事後の確認         | 141        | 9         | 88.7%                  | 66.7%           |
|                |                                            | 6-8  | 呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して)        | 141        | 9         | 89.4%                  | 33.3%           |
|                |                                            | 6-9  | たんの吸引により生じる危険、事後の安全確認      | 141        | 9         | 83.7%                  | 66.7%           |
|                |                                            | 6-10 | 急変・事故発生時の対応と事前対策           | 141        | 9         | 90.1%                  | 44.4%           |
| 7              | 高齢者及び<br>障害児・者<br>の「たんの<br>吸引」(実施<br>手順解説) | 7-1  | たんの吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 | 141        | 9         | 89.4%                  | 33.3%           |
|                |                                            | 7-2  | 吸引の技術と留意点                  | 141        | 10        | 80.9%                  | 30.0%           |
|                |                                            | 7-3  | たんの吸引に伴うケア                 | 141        | 9         | 90.8%                  | 55.6%           |
|                |                                            | 7-4  | 報告及び記録                     | 141        | 9         | 91.5%                  | 55.6%           |
| 8              | 高齢者及び<br>障害児・者<br>の「経管栄<br>養」(概論)          | 8-1  | 消化器系のしくみとはたらき              | 141        | 10        | 71.6%                  | 40.0%           |
|                |                                            | 8-2  | 消化・吸収とよくある消化器の症状           | 141        | 9         | 83.7%                  | 33.3%           |
|                |                                            | 8-3  | 経管栄養法とは                    | 141        | 9         | 83.7%                  | 44.4%           |
|                |                                            | 8-4  | 注入する内容に関する知識               | 141        | 9         | 80.1%                  | 44.4%           |
|                |                                            | 8-5  | 経管栄養実施上の留意点                | 141        | 10        | 82.3%                  | 40.0%           |
|                |                                            | 8-6  | 成人と小児の経管栄養の違い              | 141        | 9         | 76.6%                  | 44.4%           |
|                |                                            | 8-7  | 経管栄養に係る感染と予防               | 141        | 9         | 85.8%                  | 55.6%           |
|                |                                            | 8-8  | 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応      | 141        | 9         | 89.4%                  | 44.4%           |
|                |                                            | 8-9  | 事前説明(声かけ)と同意、事後の確認         | 141        | 9         | 90.1%                  | 55.6%           |
|                |                                            | 8-10 | 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認      | 141        | 9         | 87.2%                  | 66.7%           |
|                |                                            | 8-11 | 急変・事故発生時の対応と事前対策           | 141        | 9         | 91.5%                  | 44.4%           |
| 9              | 高齢者及び<br>障害児・者<br>の「経管栄<br>養」(実施手<br>順解説)  | 9-1  | 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持  | 141        | 9         | 80.9%                  | 77.8%           |
|                |                                            | 9-2  | 経管栄養の技術と留意点                | 141        | 12        | 81.6%                  | 16.7%           |
|                |                                            | 9-3  | 経管栄養に必要なケア                 | 141        | 9         | 88.7%                  | 22.2%           |
|                |                                            | 9-4  | 報告及び記録                     | 141        | 10        | 93.6%                  | 50.0%           |

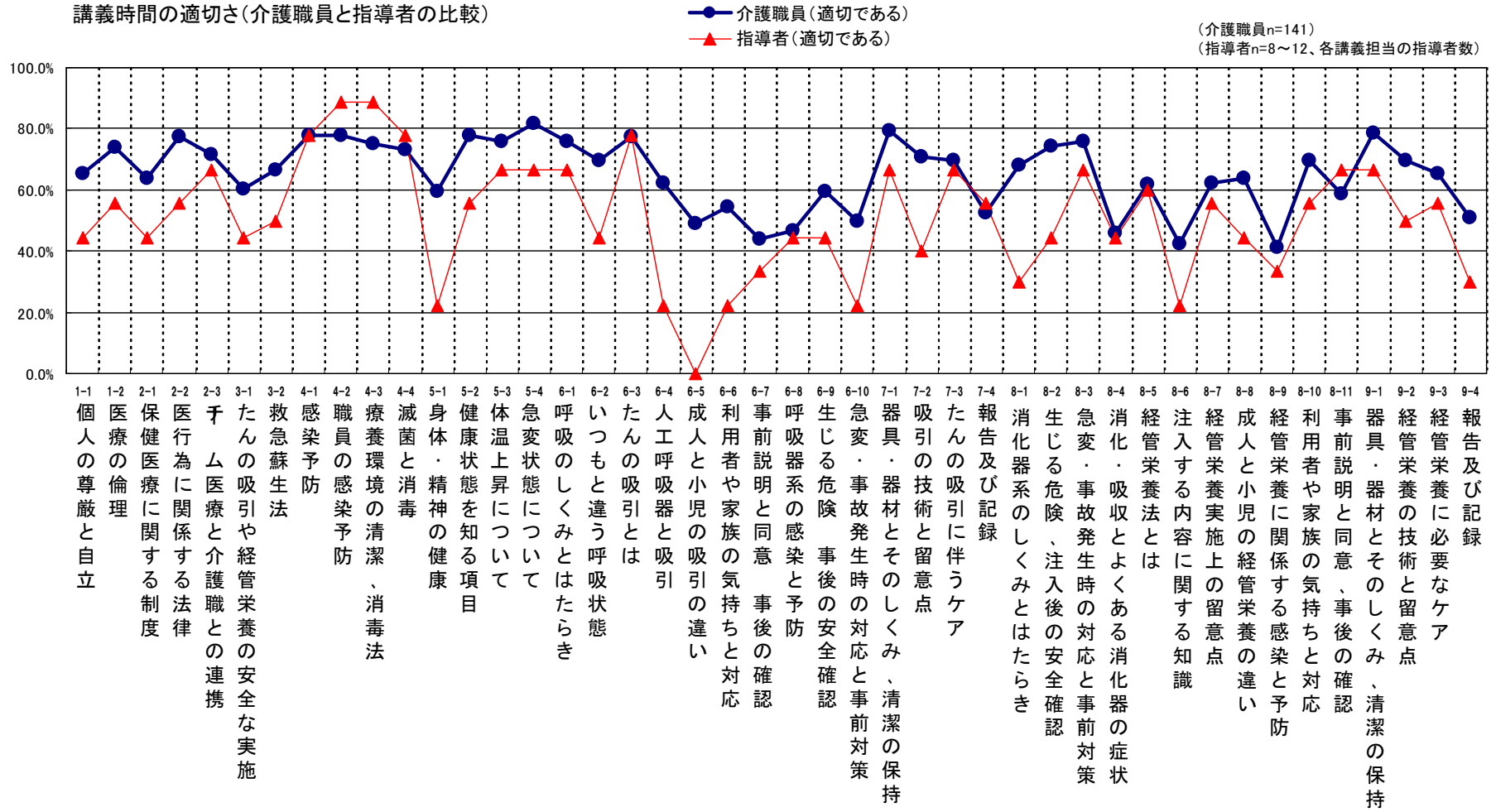
## ⑳講義時間の適切さ(指導者と介護職員の比較)

講義時間の適切さについては、介護職員と講師担当の指導者の両者ともに、「適切である」、「長い」、「短い」の3択で聞いている。特に指導者の場合は回答者数が少ないが、介護職員と指導者の肯定的評価（「適切である」）の回答比率について、その傾向を比べてみる（図表 3-47、図表 3-48）。

全体としては、概ね類似の傾向がみられるが、介護職員の肯定的評価の比率が 44 講義平均 65.2%に対し、指導者の同平均は 51.0%と、指導者の方が約 14 ポイントも低い評価となっており、44 講義のうち 38 講義が指導者の評価の方が低くなっている。

特に、介護職員と指導者の評価で差が大きかったのは、「6-5.成人と小児の吸引の違い」の約 49 ポイント、「6-4.人工呼吸器と吸引」の約 40 ポイント、「8-1.消化器系のしくみとはたらき」の約 38 ポイント、「5-1.身体・精神の健康」の約 37 ポイントの 4 講義であった。一方、指導者の肯定的評価が高かったものは 4 講義あり、両者の差が最も大きかったのは「4-3.療養環境の清潔、消毒法」の約 14 ポイントであった。

図表 3-47. 講義時間の適切さ(指導者と介護職員)の比較(基本研修・講義)





図表 3-48.講義時間の適切さ 指導者と介護職員の比較(基本研修・講義)

| 問3. 講義時間の適切さ |                            |      |                            | 講義<br>時間 | 介護職<br>員件数 | 指導者<br>件数 | 介護職員(適<br>切である) | 指導者(適切<br>である) |
|--------------|----------------------------|------|----------------------------|----------|------------|-----------|-----------------|----------------|
| 1            | 人間と社会                      | 1-1  | 個人の尊厳と自立                   | 0.5      | 141        | 9         | 65.2%           | 44.4%          |
|              |                            | 1-2  | 医療の倫理                      | 0.5      | 141        | 9         | 73.8%           | 55.6%          |
| 2            | 保健医療制度とチーム医療               | 2-1  | 保健医療に関する制度                 | 1.0      | 141        | 9         | 63.8%           | 44.4%          |
|              |                            | 2-2  | 医行為に関係する法律                 | 0.5      | 141        | 9         | 77.3%           | 55.6%          |
|              |                            | 2-3  | チーム医療と介護職との連携              | 0.5      | 141        | 9         | 71.6%           | 66.7%          |
| 3            | 安全な療養生活                    | 3-1  | たんの吸引や経管栄養の安全な実施           | 2.0      | 141        | 9         | 60.3%           | 44.4%          |
|              |                            | 3-2  | 救急蘇生法                      | 2.0      | 141        | 8         | 66.7%           | 50.0%          |
| 4            | 清潔保持と感染予防                  | 4-1  | 感染予防                       | 0.5      | 141        | 9         | 78.0%           | 77.8%          |
|              |                            | 4-2  | 職員の感染予防                    | 0.5      | 141        | 9         | 78.0%           | 88.9%          |
|              |                            | 4-3  | 療養環境の清潔、消毒法                | 0.5      | 141        | 9         | 75.2%           | 88.9%          |
|              |                            | 4-4  | 滅菌と消毒                      | 0.5      | 141        | 9         | 73.0%           | 77.8%          |
| 5            | 健康状態の把握                    | 5-1  | 身体・精神の健康                   | 1.0      | 141        | 9         | 59.6%           | 22.2%          |
|              |                            | 5-2  | 健康状態を知る項目(バイタルサインなど)       | 1.0      | 141        | 9         | 78.0%           | 55.6%          |
|              |                            | 5-3  | 体温上昇について                   | 0.5      | 141        | 9         | 75.9%           | 66.7%          |
|              |                            | 5-4  | 急変状態について                   | 0.5      | 141        | 9         | 81.6%           | 66.7%          |
| 6            | 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」(概論)     | 6-1  | 呼吸のしくみとはたらき                | 1.0      | 141        | 9         | 75.9%           | 66.7%          |
|              |                            | 6-2  | いつもと違う呼吸状態                 | 1.0      | 141        | 9         | 69.5%           | 44.4%          |
|              |                            | 6-3  | たんの吸引とは                    | 1.0      | 141        | 9         | 77.3%           | 77.8%          |
|              |                            | 6-4  | 人工呼吸器と吸引                   | 1.0      | 141        | 9         | 62.4%           | 22.2%          |
|              |                            | 6-5  | 成人と小児の吸引の違い                | 1.0      | 141        | 9         | 48.9%           | 0.0%           |
|              |                            | 6-6  | 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応        | 1.0      | 141        | 9         | 54.6%           | 22.2%          |
|              |                            | 6-7  | 事前説明(声かけ)と同意、事後の確認         | 1.0      | 141        | 9         | 44.0%           | 33.3%          |
|              |                            | 6-8  | 呼吸器系の感染と予防(吸引に関連して)        | 1.0      | 141        | 9         | 46.8%           | 44.4%          |
|              |                            | 6-9  | たんの吸引により生じる危険、事後の安全確認      | 1.0      | 141        | 9         | 59.6%           | 44.4%          |
|              |                            | 6-10 | 急変・事故発生時の対応と事前対策           | 2.0      | 141        | 9         | 49.6%           | 22.2%          |
| 7            | 高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」(実施手順解説) | 7-1  | たんの吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 | 1.0      | 141        | 9         | 79.4%           | 66.7%          |
|              |                            | 7-2  | 吸引の技術と留意点                  | 5.0      | 141        | 10        | 70.9%           | 40.0%          |
|              |                            | 7-3  | たんの吸引に伴うケア                 | 1.0      | 141        | 9         | 69.5%           | 66.7%          |
|              |                            | 7-4  | 報告及び記録                     | 1.0      | 141        | 9         | 52.5%           | 55.6%          |
| 8            | 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」(概論)      | 8-1  | 消化器系のしくみとはたらき              | 1.0      | 141        | 10        | 68.1%           | 30.0%          |
|              |                            | 8-2  | 消化・吸収とよくある消化器の症状           | 1.0      | 141        | 9         | 74.5%           | 44.4%          |
|              |                            | 8-3  | 経管栄養法とは                    | 1.0      | 141        | 9         | 75.9%           | 66.7%          |
|              |                            | 8-4  | 注入する内容に関する知識               | 1.0      | 141        | 9         | 46.1%           | 44.4%          |
|              |                            | 8-5  | 経管栄養実施上の留意点                | 1.0      | 141        | 10        | 61.7%           | 60.0%          |
|              |                            | 8-6  | 成人と小児の経管栄養の違い              | 1.0      | 141        | 9         | 42.6%           | 22.2%          |
|              |                            | 8-7  | 経管栄養に関係する感染と予防             | 1.0      | 141        | 9         | 62.4%           | 55.6%          |
|              |                            | 8-8  | 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応      | 1.0      | 141        | 9         | 63.8%           | 44.4%          |
|              |                            | 8-9  | 事前説明(声かけ)と同意、事後の確認         | 1.0      | 141        | 9         | 41.1%           | 33.3%          |
|              |                            | 8-10 | 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認      | 1.0      | 141        | 9         | 69.5%           | 55.6%          |
|              |                            | 8-11 | 急変・事故発生時の対応と事前対策           | 1.0      | 141        | 9         | 58.9%           | 66.7%          |
| 9            | 高齢者及び障害児・者の「経管栄養」(実施手順解説)  | 9-1  | 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持  | 1.0      | 141        | 9         | 78.7%           | 66.7%          |
|              |                            | 9-2  | 経管栄養の技術と留意点                | 5.0      | 141        | 12        | 69.5%           | 50.0%          |
|              |                            | 9-3  | 経管栄養に必要なケア                 | 1.0      | 141        | 9         | 65.2%           | 55.6%          |
|              |                            | 9-4  | 報告及び記録                     | 1.0      | 141        | 10        | 51.1%           | 30.0%          |

#### (4) 基本研修・演習アンケートの結果

##### 【介護職員・演習アンケート】

##### ①演習回数の適切さ(介護職員)

基本研修の所定の演習回数（救急蘇生は1回以上、それ以外は5回以上）の適切さ（設問「介護職員がケアの技術を習得するために、「基本研修(演習)」の設定回数は適切でしたか」）について、介護職員に対し、「適切」、「多い」、「少ない」、「不要」の4択で聞いた(図表 3-49)。

全体としては、「適切」が約6割強～8割と非常に高く、所定の演習回数について、介護職員は適切であると判断していることがわかる。

ケアの種類別にみると、救急蘇生では「適切」の比率が83.0%とほとんどを占め、次いで「少ない」10.6%、「不要」2.8%、「多い」0.7%の順で、介護職員は「適切」と判断している。

たんの吸引・口腔内では「適切」の比率が66.0%と6割以上を占め、次いで「多い」14.9%、「少ない」14.2%、「不要」0.7%の順で、介護職員は「適切」と判断している。

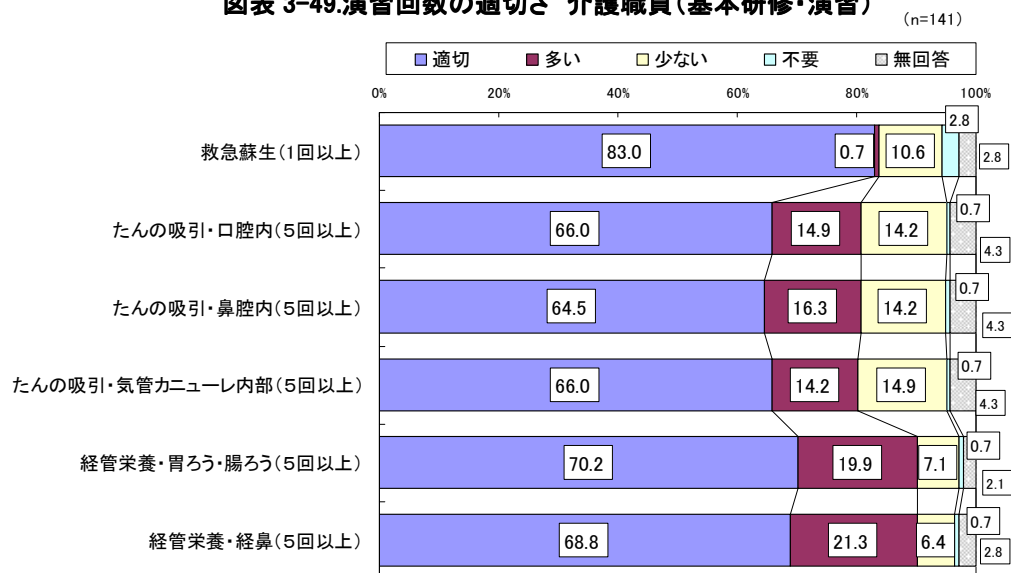
たんの吸引・鼻腔内では「適切」の比率が64.5%と6割以上を占め、次いで「多い」16.3%、「少ない」14.2%、「不要」0.7%の順で、介護職員は「適切」と判断している。

たんの吸引・気管カニューレ内部では「適切」の比率が66.0%と6割以上を占め、次いで「少ない」14.9%、「多い」14.2%、「不要」0.7%の順で、介護職員は「適切」と判断している。

経管栄養・胃ろう・腸ろうでは「適切」の比率が70.2%と7割以上を占め、次いで「多い」19.9%、「少ない」7.1%、「不要」0.7%の順で、介護職員は「適切」と判断している。

経管栄養・経鼻では「適切」の比率が68.8%と6割以上を占め、次いで「多い」21.3%、「少ない」6.4%、「不要」0.7%の順で、介護職員は「適切」と判断している。

図表 3-49.演習回数の適切さ 介護職員(基本研修・演習)



## ②ケア技術習得の課題(自由回答)(介護職員)

ケア技術習得の課題（設問「『基本研修（演習）』を通じ、介護職員がケアの技術を習得するために、どのようなことが課題であると思いますか」）を聞き、630件の回答を得た（図表3-50）。

図表 3-50.ケア技術習得の課題(自由回答の件数) 介護職員(基本研修・演習)

| ケアの種類           | 回答件数 | 関連知識・技術等の習得 | 正確・確実な技術の習得 | 定期的な研修・演習の実施 | 日常的な訓練の実施 | 職員の意識向上 | ケアに関する理解を深める | 実施における環境整備の必要性 | 緊急時の対応 | その他 |
|-----------------|------|-------------|-------------|--------------|-----------|---------|--------------|----------------|--------|-----|
| 救急蘇生            | 90   | 5           | 16          | 52           | 13        | 7       | 1            | 3              | 12     | 31  |
| たんの吸引・口腔内       | 108  | 26          | 23          | 12           | 25        | 6       | 9            | 6              | 4      | 41  |
| たんの吸引・鼻腔内       | 109  | 29          | 27          | 12           | 18        | 6       | 10           | 9              | 5      | 42  |
| たんの吸引・気管カニューレ内部 | 114  | 37          | 24          | 12           | 15        | 9       | 4            | 9              | 3      | 50  |
| 経管栄養・胃ろう・腸ろう    | 106  | 25          | 19          | 17           | 15        | 8       | 9            | 6              | 4      | 46  |
| 経管栄養・経鼻         | 103  | 26          | 19          | 22           | 11        | 7       | 8            | 5              | 4      | 42  |
| 計               | 630  | 148         | 128         | 127          | 97        | 43      | 41           | 38             | 32     | 252 |

具体的な回答は以下の通り（図表 3-51）。

図表 3-51.ケア技術習得の課題(自由回答) 介護職員(基本研修・講義)

- ・(救急蘇生) 心臓マッサージの素早い開始。みんなができる必要がある。
- ・(救急蘇生) 突然の事態に慌てずに、落ち着いて行動できること
- ・(たんの吸引／口腔内) 医療との連携が必要。職員全体の意識統一（その方をどう介護していくのか）
- ・(たんの吸引／口腔内) それぞれの特性、何より「なぜそのケアが必要なのか」という理由を理解する必要がある。それができていないと安易な事故などが起きてしまうと思う。しっかりと「理解」することが必要だと思う。
- ・(たんの吸引／鼻腔内) 痰の吸引によるリスク等について、学べる病院等をもっと増やす。研修等の機会を増やす。(機会や環境の増加) 異なる鼻の形の人形等あれば使って頂きたい。色々な形のものに触れて学ぶ。
- ・(たんの吸引／鼻腔内) 鼻腔の方は出血の可能性もある為研修を重ねた上で実施しなければならない
- ・(たんの吸引／気管カニューレ内部) 吸引チューブを清潔に扱う意識と技術。
- ・(たんの吸引／気管カニューレ内部) 講義の内容や体制に特に問題は無いと思う。受ける本人の学ぶ意識があればある程度の技術は習得可能かと。受講要件や人数枠の幅を広げすぎず、明確にする事が必要だと感じた。
- ・(たんの吸引／気管カニューレ内部) 人形と生身の人間とでは絶対ちがう。人間でも練習すべき。
- ・(経管栄養／胃ろう・腸ろう) ケアを受ける側の気持ちを理解すること。(経管栄養の利用者は意思疎通を取ることが困難な事が多いので)
- ・(経管栄養／胃ろう・腸ろう) 予防ケア・経口摂取回復へのとりくみ◎現場に近い演習
- ・(経管栄養／経鼻) ケアを受ける側の気持ちを理解すること。(経管栄養の利用者は意思疎通を取ることが困難な事が多いので)
- ・(経管栄養／経鼻) 実際に現場に必要な利用者がいなければ学んだことは実にならない。今後必要な利用者がいた場合には、再指導を受ける必要があり習得をすることに時間を要する

### ③「基本研修・講義」への追加希望(自由回答)(介護職員)

「基本研修・講義」への追加希望(設問「『基本研修(演習)』を受けるにあたって、『基本研修・講義』で加えて欲しい内容はありますか」)を聞き、救急蘇生 35 件、たんの吸引・口腔内 41 件、たんの吸引・鼻腔内 40 件、たんの吸引・気管カニューレ内部 46 件、経管栄養・胃ろう・腸ろう 39 件、経管栄養・経鼻 37 件の合計 238 件の回答を得た。なお、238 件のうち 45 件は「充分である、特になし」であり、112 件は演習の実施方法や回数に関する要望であった。

具体的な回答は以下の通り(図表 3-52)。

**図表 3-52.「基本研修講義」への追加希望(自由回答) 介護職員(基本研修・講義)**

- ・(救急蘇生) 倒れている人を発見したところから A E D を使用するまでの通しての流れを行いたかったです。
- ・(救急蘇生) 異物除去中以外で救命処置を行なう可能性のある事例があれば。
- ・(救急蘇生) 生身の人間での練習を 1 回でもいいから加えてほしい。
- ・(たんの吸引／口腔内) 基礎研修中にイメージをわかりやすくするため手順のビデオがみたい
- ・(たんの吸引／口腔内) 人工呼吸器などの説明をもう少し詳しい内容で。
- ・(たんの吸引／口腔内) 安全に吸引、経管栄養を行う上での知識、手技について。(例)・吸引のチューブの持ち方、清潔、不潔の扱い。・経管チューブの扱い方等
- ・(たんの吸引／鼻腔内) テキスト等では、図であったり模型であったり…今後人の生命に関わる技術を習得しようと思うと、実際の写真であったりビデオ等でより細かく学べたら…と思った。
- ・(たんの吸引／鼻腔内) 講義の合間に、物品に触れたり、指導者が実際に人形か何かに実践したりを、見せてほしかったです。やはり講義で知識がついてもイメージがわかりにくく、演習まで少し時間もある為、合間に少し技法を加えてほしかったです。
- ・(たんの吸引／気管カニューレ内部) 気管切開がどんなものか、映像としてみられるとよい。
- ・(たんの吸引／気管カニューレ内部) 講義に関して、テキストだけでは理解しにくい部分がある。(講師の先生方のスライドや資料で理解が深まった。吸引、胃ろう、等に関しては、映像などがあればもっと理解が深まったと思う。(早い段階で) 演習では、しっかり理解できた。
- ・(たんの吸引／気管カニューレ内部) 講義の後に演習があると忘れないと思う。もう少し詳しく先生の見本等を見せて頂いてからの演習だと良いと思います。講義の時間を減らし、演習に時間を増やして欲しいと思いました。
- ・(経管栄養／胃ろう・腸ろう) 水ではなく、ミキサー、半固形のドロドロしたものの滴下等を見てみたかった。
- ・(経管栄養／胃ろう・腸ろう) 講義に関して、テキストだけでは理解しにくい部分がある。(講師の先生方のスライドや資料で理解が深まった。吸引、胃ろう、等に関しては、映像などがあればもっと理解が深まったと思う。(早い段階で) 演習では、しっかり理解できた。
- ・(経管栄養／胃ろう・腸ろう) 講義と演習を合わせた方が効率的だと思う。
- ・(経管栄養／経鼻) 1 度、マニュアルに沿った見本を見せてほしいです。
- ・(経管栄養／経鼻) ビデオ等実際にしているところを見たい。
- ・(経管栄養／経鼻) 講義の後に演習があると忘れないと思う。もう少し詳しく先生の見本等を見せて頂いてからの演習だと良いと思います。講義の時間を減らし、演習に時間を増やして欲しいと思いました。

#### ④「基本研修(演習)」への意見・要望(自由回答)(介護職員)

「基本研修(演習)」への意見・要望(設問『「基本研修(演習)」に対するご意見ご要望があればお知らせ下さい』)を聞き、75件の回答を得た。

具体的な回答は以下の通り(図表 3-53)。

図表 3-53.「基本研修(演習)」への意見・要望(自由回答) 介護職員(基本研修・講義)

- ・スキルアップ研修があると良い
- ・ノルマをこなすだけの研修だった。
- ・手順を読んでいるだけではなかなか分からないので、こういう時はこのようにしたら良い、や、ここに注意する等わかりやすく教えて頂けてよかった。
- ・たんの吸引に関しての概論後に吸引の演習、経管栄養に関しての概論後にその演習をした方が、知識との結びつきが得られると思います
- ・1日という期間では非常に短いと感じた。時間に余裕をもって、十分に回数を行ないたい。
- ・設定回数は個人によって違うと思いますできる迄だと思うので回数では決められないと思います
- ・口、鼻からたんの吸引は、研修生同士で実際に行ってみるのもいいかもしれないです。「技術と留意点」の手順確認の講義の説明だけで、膨大な時間を費やすも、実技のイメージが出来ないと思うので、混乱するだけで実技に直結しない。「技術と留意点」のコマで、演習に慣れる流れを作るべき。テキストⅡ・Ⅲの横向きの表を使用して、指導者(Drが望ましい)が手順や流れを実演して説明しながら、留意事項を(理由もつけて)説明すると、演習にスムーズに入れて、演習で必要な観察項目をしっかりと把握しながら、進められるのではないかな。
- ・回数ではなく「しっかりとできるかどうか」をポイントに置くのはどうでしょうか。
- ・演習はとても時間がかかりました。たん吸引口腔と鼻腔など重なっているところはくり返さず手技はきちっとやるなどの工夫がないと回数がこなせません。
- ・たんの吸引、経管栄養ともに演習の時間が全く足りなかった。
- ・シミュレーターによる演習と実際に看護師が行っている現場を見せていただくとわかり易いと思う(現場でやった事がある介護員の方は別でしょうが・・・)

#### ⑤試行事業への意見・要望(自由回答)(介護職員)

試行事業への意見・要望(設問「試行事業へのご意見・ご要望などございましたら、ご自由にご記入下さい」)を聞き、62件の回答を得た。

具体的な回答は以下の通り(図表 3-54)。

図表 3-54.試行事業への意見・要望(自由回答) 介護職員(基本研修・講義)

- ・長い時間で、つらかったですが、とてもくわしく教えて頂きとても勉強になりました。ありがとうございました。仕事にいかせるよう、頑張っていきたいです。
- ・長い時間の研修で、正直、疲れましたが、改めて、体のしくみ、利用者(Fa)の心理面も学べて充実した時間でもありました。学ぶ側としましては、会場(B1)がきつかった…少しでも、日当りがあるような会場でしたら、体のサイクルがちがったかも…でも、あの環境だったから、のりきれたのか…今となっては、無事終わった事に感謝しています。今回、学んだ事を無駄にしないように、私の職場の方々にも少しずつ教えていきたいと思います。お疲れ様でした。
- ・たんの吸引や経管栄養の実施手順や留意点だけでなく、講師の現場での話等、興味のある話が多く、飽きる事なく話を聴くことができました。呼吸、消化器系のしくみについても詳しく勉強する事ができ、状態を把握するうえで注意する点等が身に付いたと思い

ます。なぜ脱水が恐ろしいのか？と言う事を詳しく、理論づけて教えてもらう事で、理解する事が出来たし、他のスタッフにも教えて、広めて行きたい事が多くあり、ケアの質の向上にもつながると思いました。

- ・今回、試行事業に参加させて頂きありがとうございました。大変、勉強になりました。意見としてですが、“たん吸引”・“経管栄養”とも各重複してしまっている部分が多くあるので、もっと簡略出来ると思い研修とヒヤリハットを想定した演習を受けたいと思いましたので、検討して頂ければと思います。又、知人の看護師の方に看護学校でも、“50時間”という時間は、勉強しないと伺いました。ですからもっと短い時間の研修でも良かったのではないのでしょうか、と思い感じました。本当に様々なコトが勉強になりましたので参加出来、光栄に思います。ありがとうございました。
- ・訪看ステーションの講師の方達には休みも返上の上、深夜まで、研修して頂き感謝しています。私達も勤務をしながらの受講だったので、肉体的にも、精神的にも、きつい部分がありましたが、それだけに、連帯感が生まれて、忘れられない思い出も出来ました。本当にありがとうございました。
- ・講義内容と時間をもっとコンパクトにまとめるべき。演習だが、先生の説明がかなり不足。やり方がいいかげんだと研修の意味がない。演習に時間がかかり、予定の時間・期間に終わらなかったが、時間内に終了するように、教え方や1人1人の時間配分を考えて演習時間を組むべきだったのではないか。時間もないのに1人5回以上やるというのは現実的ではない。回数だけこなして雑な手技をおぼえてもしかたがない。結局、研修がもう1日ふえたが、私たちの事業所（ヘルパー）ではぎりぎりの人数でやっているの、4日や5日も研修を出してもらっただけでもたいへんだったのに、さらにもう1日来いというのは本当に無茶な話した。勤務変更など、現場の不都合になることを考えていないのか。この50時間の演習を介護スタッフ全員に受けさせることも現実的にきびしい。1～2日で受講でき、わかりやすいものにして、皆が受けられるものになってほしい。文句ばかりになりましたが、各先生方、全社協の方、長い期間お世話になり、ありがとうございました。吸引や経管栄養の講義はとても勉強になりました。

## 【指導者・演習アンケート】

### ⑥演習回数の適切さ(指導者)

基本研修・演習の所定の演習回数（救急蘇生は1回以上、それ以外は5回以上）の適切さ（設問「基本研修（演習）の設定回数は、適切だと思いましたか」）について、指導者（講師もしくは指導看護師）に対し、「適切」、「多い」、「少ない」、「不要」の4択で聞いた（図表3-55）。

全体としては、「適切」が約7割～8割強と非常に高く、所定の演習回数について、指導者は適切であると判断していることがわかる。

ケアの種類別にみると、救急蘇生では「適切」の比率が83.3%と8割以上を占めており、「多い」・「少ない」・「不要」の回答はなく、指導者は「適切」と判断している。

たんの吸引・口腔内では「適切」の比率が85.0%と8割以上を占め、次いで「多い」10.0%、「少ない」5.0%、「不要」0.0%の順で、指導者は「適切」と判断している。

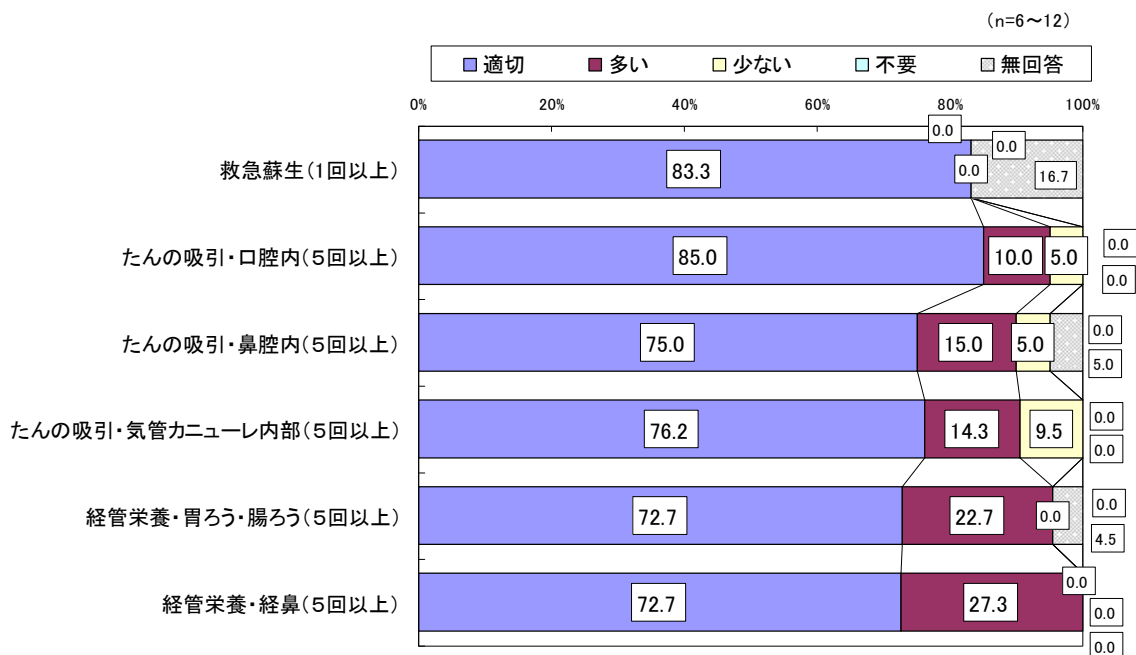
たんの吸引・鼻腔内では「適切」の比率が75.0%と7割以上を占め、次いで「多い」15.0%、「少ない」5.0%、「不要」0.0%の順で、指導者は「適切」と判断している。

たんの吸引・気管カニューレ内部では「適切」の比率が76.2%と7割以上を占め、次いで「多い」14.3%、「少ない」9.5%、「不要」0.0%の順で、指導者は「適切」と判断している。

経管栄養・胃ろう・腸ろうでは「適切」の比率が72.7%と7割以上を占め、次いで「多い」22.7%、「少ない」・「不要」0.0%で、指導者は「適切」と判断している。

経管栄養・経鼻では「適切」の比率が72.7%と7割以上を占め、次いで「多い」27.3%、「少ない」・「不要」0.0%の順で、指導者は「適切」と判断している。

図表 3-55.演習回数の適切さ 指導者(基本研修・演習)



## ⑦「基本研修(演習)」での工夫点(自由回答)(指導者)

「基本研修(演習)」での工夫点(設問『「基本研修(演習)」を行うに当たって、工夫した点があれば教えてください』)を聞き、25件の回答を得た。

具体的な回答は以下の通り(図表 3-56)。

図表 3-56.「基本研修(演習)」での工夫点(自由回答) 指導者(基本研修・演習)

- ・自分の担当した講義(たんの吸引)に関しては、演習用のマニュアルを別に作成し、最初はそれを見ながらやってもらうようにしました。実際ではない部分も声に出して言うってもらうことによって手順を確認してもらうようにしました。
- ・1グループ4人程度として多くの演習ができるようにする。デモンストレーションを多くする。
- ・手順説明の講義時に、以下の内容を押さえ、受講生が演習をイメージしやすいようにしておいた。あらかじめ部分的なデモンストレーションを行った。デモンストレーションの導入では、受講生にも協力してもらった。写真が豊富な資料を用意しておきイメージづくりに役立ててもらった。手順説明の時に、グループワークを行った。グループワークでは、受講生に手順書(たんの吸引・口腔)を作成してもらった。もれなく必要物品が準備できるように必要物品の写真を撮り、写真に沿って準備してもらった。技術チェックを行う前に講師が付きながら、評価表に沿いひと通り練習をしてもらった。他者評価として、指導者評価以外に共に行動している受講生からの評価が聞けるようにした。実施前・実施中・実施後に必要な観察視点を評価表の蘭外に1回の演習につきひとつ記録として書きとめ、5回の演習の最終には、相手の観察視点を含めて、10の観察視点が集まるようにした。直接教えるよりも受講生達に考えていただくことに重きを置いた。
- ・気管カニューレを介護職の方に触れてもらい吸引方法もイメージトレーニングで一通り全員で声を出して行った。吸引時間は10～15秒。実際に息止めをしてどのくらい呼吸に影響があるか体験してもらった。DVDで人工呼吸器装着の方療養生活を視聴した。

## ⑧介護職員のケア技術習得の課題(自由回答)(指導者)

介護職員のケア技術習得の課題(設問『「基本研修(演習)」を通じて、介護職員がケアの技術を習得するために、どのようなことが課題であると思いますか』)を聞き、救急蘇生 11件、たんの吸引・口腔内 16件、たんの吸引・鼻腔内 20件、たんの吸引・気管カニューレ内部 21件、経管栄養・胃ろう・腸ろう 20件、経管栄養・経鼻 18件の合計 106件の回答を得た。

具体的な回答は以下の通り(図表 3-57)。

図表 3-57.介護職員のケア技術習得の課題(自由回答) 指導者(基本研修・演習)

- ・(救急蘇生) 医療的な器具がない状態での基本的な蘇生技術 今回消防スタッフの方の指導は良かった
- ・(救急蘇生) 一般的な流れの研修のみでなく、高齢者・障害者の特徴をふまえた内容が必要ではないか(身体の変形、カニューレ使用者、人工呼吸器使用者など)。
- ・(たんの吸引/口腔内) 抵抗がある時の対処
- ・(たんの吸引/口腔内) 詳細な手順ではなく、各プロセス(step)における留意事項、ポイントを簡潔に示し、手技の習熟を図るべき。順番のみに気をとられるより、生命の安心・安全に関わる事項を指導すべき
- ・(たんの吸引/鼻腔内) 無菌操作(手洗いの意義、清潔・不潔の区別)や観察技術・アセスメント能力
- ・(たんの吸引/鼻腔内) 詳細な手順ではなく、各プロセス(step)における留意事項、ポイントを簡潔に示し、手技の習熟を図るべき。順番のみに気をとられるより、生命の安心・安全に関わる事項を指導すべき



- ・(たんの吸引／気管カニューレ内部)「たんの吸引」「経管栄養」だけではなく全身の状態を把握した上での実施になるため、一人ひとりの状態像に応じたスキルを身につけることが必要
- ・(たんの吸引／気管カニューレ内部) マンツーマンで回数を行なうことでスムーズに習得することができた。手指消毒等がしっかり行なうことが出来る部屋がのぞましい。滅菌操作、手袋の着脱
- ・(経管栄養／胃ろう・腸ろう) 何故この基本行動があるのか。患者さんの安全を基に出来ているという理由を分かりやすく。
- ・(経管栄養／胃ろう・腸ろう) 注入を開始する前の観察(全身状態)
- ・(経管栄養／経鼻) ムセや自己抜去等注入時の観察
- ・(経管栄養／経鼻) 在宅では、使用している栄養剤や胃ろうのカテーテルがそれぞれ違うため個別性が高い。様々なパターンを体験できないことには不安がある

### ⑨「基本研修・講義」への追加希望(自由回答)(指導者)

「基本研修・講義」への追加希望(設問「『基本研修(演習)』を通じて、介護職員がケアの技術を習得するために、どのようなことが課題であると思いますか」)を聞き、救急蘇生7件、たんの吸引・口腔内10件、たんの吸引・鼻腔内10件、たんの吸引・気管カニューレ内部12件、経管栄養・胃ろう・腸ろう12件、経管栄養・経鼻12件の合計63件の回答を得た。

具体的な回答は以下の通り(図表3-58)。

図表 3-58.「基本研修・講義」への追加希望(自由回答) 指導者(基本研修・演習)

- ・(救急蘇生) 症例や場面に応じた知識が別立てであってもいいかな…と思いました。
- ・(たんの吸引／口腔内) 身体(人体)の解剖をもう少し具体的に記載すると良い。各器官の生理学も具体的に知る必要があると思う。
- ・(たんの吸引／口腔内) 演習時の必要物品等が講義の時に準備されているとテキストと併用しながら講義ができより知識が深められると思います。
- ・(たんの吸引／鼻腔内) 講義のあとに実習(演習)を行なうことが、知識・技術の習得につながると思う。
- ・(たんの吸引／鼻腔内) 統一した手技の流れだけでなく、声かけ等のポイント。例)吸引後痰を取りきれてない場合→「看護師に連絡しましょうか」等。
- ・(たんの吸引／気管カニューレ内部) カニューレの仕組みと特徴の理解が課題
- ・(たんの吸引／気管カニューレ内部) 清潔と不潔
- ・(経管栄養／胃ろう・腸ろう) 滴下数のカウント
- ・(経管栄養／胃ろう・腸ろう) DVD等で実際の技術をみてもらいイメージ化する
- ・(経管栄養／経鼻) 疾患の話がもう少し入ってもいいと思う。
- ・(経管栄養／経鼻) 講義の中で、清潔等について具体的な説明がない為、演習時に説明が必要であった。

### ⑩基本研修・演習への意見・要望(自由回答)(指導者)

基本研修・演習への意見・要望(設問「試行事業へのご意見・ご要望などございましたら、ご自由にご記入下さい」)を聞き、20件の回答を得た。

具体的な回答は以下の通り(図表3-59)。

図表 3-59. 基本研修・演習への意見・要望(自由回答) 指導者(基本研修・講義)

- ・演習時間が長く指導者の評価票が多く負担に思う
- ・人形でやるのとは、実際が全然違うと思ったので、現場での実際をしっかりとやる方に重きをおいてやった方が、いいかなと思いました。

- ・講師も、演習に対するシミュレーションがあるともっとスムーズに進められたのではと思います。
- ・ひとつの演習にふたつ以上の学ぶことがあると受講生の伝えることが増え、ぶれてしまうと思います。演習そのものに係る時間も増えます。よって、無菌操作に関連した演習をひとつ起こしていただければありがたいです。
- ・一人の評価者が長時間通しで評価を行うことは集中力、判断力等鈍化して疲労してしまう。今後はスケジュールに余裕をもってとりくめるようにしていただければと思います。（演習を受ける介護職員の方も同様と思いますが・・・）
- ・演習に必要な時間が個々に大きな違いがありますので、演習時間を十分に当てる必要があると思う。
- ・各部位毎の吸引のたびに、最初と最後の共通の項目をくり返す必要はなし。肝心なのは、チューブを挿入する時の部位別の留意点の方ではないか？

### ⑪試行事業への意見・要望(自由回答)(指導者)

試行事業への意見・要望（設問「試行事業へのご意見・ご要望などございましたら、ご自由にご記入下さい」）を聞き、19件の回答を得た。

具体的な回答は以下の通り（図表 3-60）。

**図表 3-60.試行事業への意見・要望(自由回答) 指導者(基本研修・講義)**

- ・シミュレーションは大事と思う。座学とセットで出来ると良い。座学→試験→演習だと忘れてしまう人もいる。協力して下さったボランティアの方が、うまい事演技してくれるのでとっさの対応の練習も出来て良かった。
- ・演習について。口腔内の吸引や胃ろうの注入については、実際に施行したり、そうでなくても見たことがある方がほとんどだったので、手技についてもすんなりとやれていたように思います。経管については、手技がほぼ共通しているので、特に問題なく行えていましたが、鼻腔内の吸引と気管内吸引は、しっかり説明して見本を見せてはいたものの、自分でもあとの演習で、細かいところ（鑷子の使い方（チューブを持ったときにどうするか）、チューブの操作の仕方（袋から出すときに少しまるめて持ちながら出すとか）、気管カニューレ内の吸引での清潔と不潔（カニューレ入り口にあまりふれないように挿入する…とか）、しずくがたれないようにというところも、手技に必死で忘れているようだったので、もう少し強調して言うべきだった…とか）の指導ができていなかったことに気づきましたし、やったことがない方が多く、人形での練習では、手順はわかっても、手技については、体感することができたかどうか、疑問でした。利用者にとっても、鼻腔内、気管内の吸引は相当苦痛を伴うものなので、手順がわかっている、熟練とそのようなケースに慣れることが必要だろうと思いました。（私達も同じですが…）
- ・演習実施にあたり行いづらい点が多くありました。指導者・受講生共に評価票がわかりづらく数も多く指導者側としても、受講生の評価票まで確認はしておらず記載ミスがある可能性があります。・用紙があまりに多いことと記入量も多くわかりづらく気管カニューレの演習を5回以上実施しておりますが人工呼吸器をつけたものでも同じように実施しております。・演習が必要かと思いますが回数はもっと多くすることで安全に行えると思います。実地よりもより知識技術が必要です。・実習実施し評価する必要は非常に大切なことだと思っておりますが、評価票はとにかく記入量が多く感じました。
- ・準備段階が大変。・最後提出書類の説明をもっと事前に詳しくしてほしかった。（運営事務側も誰もよくわからない状況。書類の流れがわかりやすい一覧表あった方がよい。）・今回できる選抜メンバーが集まったので演習5回で終わったが自社のホームでのメンバーを想定すると5回では終わらないだろうと思う。・教育（基本の）はあらためて大切だと思った。現場では手順優先の指導だから。

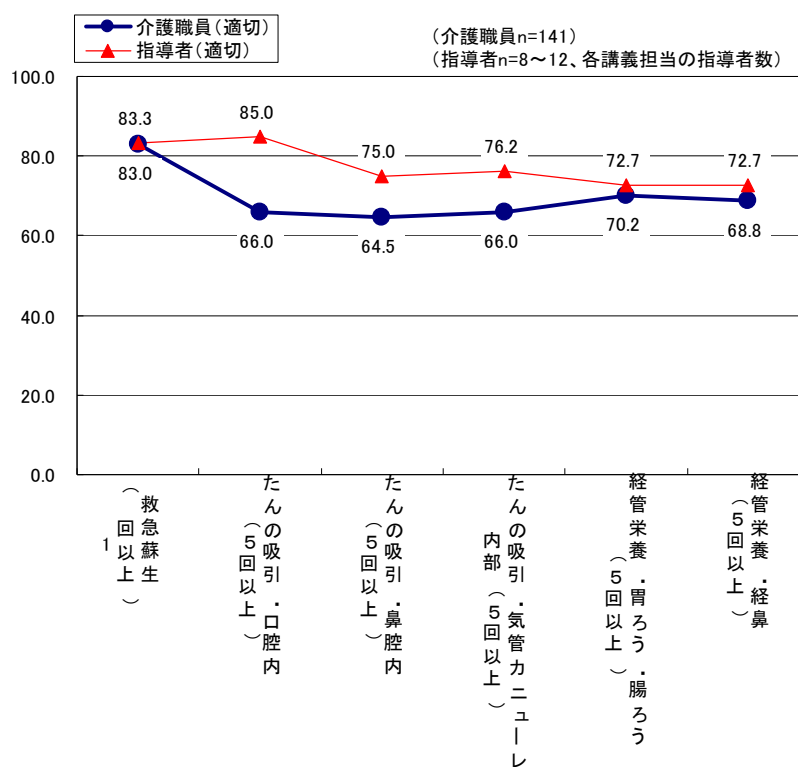
### ⑪演習回数の適切さ(介護職員と指導者の比較)

基本研修・演習の所定の演習回数（救急蘇生は1回以上、それ以外は5回以上）の適切さ（設問「基本研修（演習）の設定回数は、適切だと思いましたか」）について、介護職員と指導者の回答を比較した（図表 3-61）。

全体としては、両者とも「適切」が約7割弱～8割強と非常に高く、ほぼ同様の傾向といえる。

個別でみると、救急蘇生、経管栄養・胃ろう・腸ろう、経管栄養・経鼻では、両者の「適切」の比率はほぼ同じ水準にある。一方、たんの吸引・口腔内、たんの吸引・鼻腔内、たんの吸引・気管カニューレ内部の3つでは、介護職員より指導者の方が「適切」の比率が10ポイント以上高くなっている。特にたんの吸引・口腔内では19ポイントとその差は大きい。

図表 3-61.演習回数の適切さ 介護職員と指導者の比較(基本研修・演習)



## 4. 実地研修

### (1) 実施概要

#### ①実施期間

平成 23 年 1 月 1 日(土)～2 月 28 日 (月) ※延長希望者は 3 月 6 日 (日) まで

#### ②研修場所

今回の試行事業への協力が得られた施設・居宅

#### ③参加者数

介護職員 141 名（進行判定の結果、「基本研修」受講の介護職員全員が実地研修に進行）

指導看護師 69 名

#### ④ケア対象者数

472 名（今回の実地研修に同意を頂いた方）

#### ⑤実施内容

- 1) ケア実施対象者として選定された標準的なレベルの利用者に対して、指導看護師が 1 回実施（指導）し、それを見学した介護職員が同一ケア実施対象者へ 5 回実施、プロセス評価を実施・記録する（指導者評価票及び自己評価票への記入）。
- 2) 6 回目以降にはケア実施対象者選定の条件は設けないが、新たなケア実施対象者については指導看護師が 1 回実施（指導）し、介護職員が所定の回数のたんの吸引及び経管栄養のケアを実施する。ただし、新たなケア実施対象者は複数名（3 名以上）とし、指導看護師は全てのケア実施対象者について、状態像をケア実施対象者票に記録する。
- 3) ケア実施の手引きの手順通りに実施できる（指導者評価において、全てのプロセス評価の評価項目で「ア」と評価される）まで行う。
- 4) 指導者評価において、全てのプロセス評価の評価項目で、「ア」の個数が、たんの吸引では 22 個以上、経管栄養では 16 個以上になった以降については、その後、指導者評価又は自己評価の評価項目で「イ」又は「ウ」となった場合に、介護職員は所定の報告様式（ヒヤリハット・アクシデント報告書）を記入する（評価方法については P102～103 を、評価項目については P92-100 を参照）。

#### ⑥参加者アンケート

##### 介護職員アンケート(自己評価票アンケート、実地研修アンケート)

調査方法：質問紙は指導者（担当の指導看護師）を通じて介護職員に手渡し配布。自己評価票アンケートの回答記入は実地研修の対象となったケアの終了時に、実地研修アンケートの回答は実地研修終了時に行い、郵送（レターパック利用）にて一括回収した。

回収数：141 票（回収率 100%）

調査票：P126～P127 を参照

##### 指導者アンケート(指導者評価票アンケート、実地研修アンケート)

調査方法：質問紙は各指導者の勤務先に配布。指導者評価票アンケートの回答記入は実地研修の対象となったケアの終了時に、実地研修アンケートの回答は実地研修終了時に行い、郵送（レターパック利用）にて一括回収した。

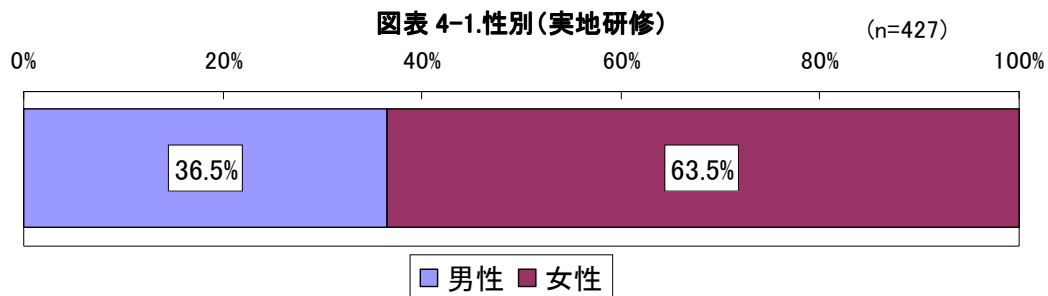
回収数：8～12 票（実地研修を担当した指導看護師数）

調査票：P130～P131 を参照

## (2) ケア実施対象者の属性

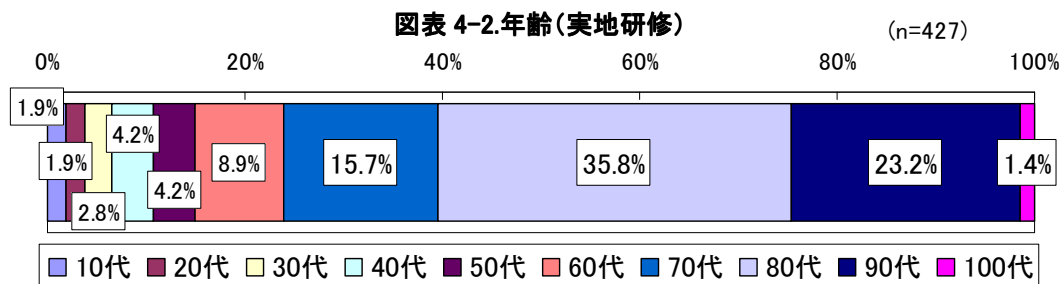
### ①性別

男性 36.5%に対し、女性 63.5%。



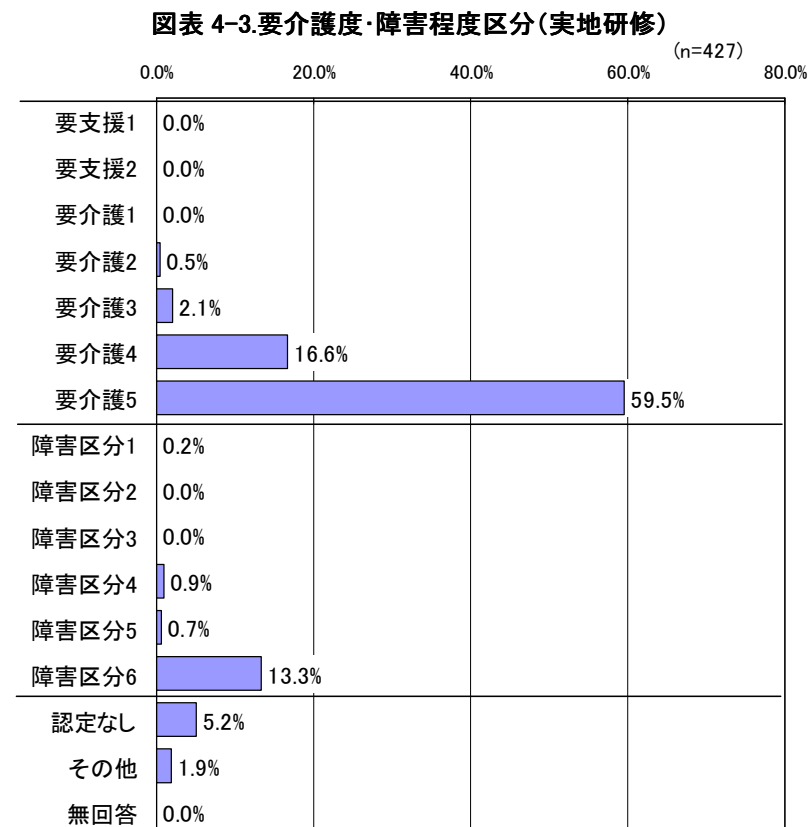
### ②年齢

80代が35.8%、90代23.2%、70代15.7%、50代以下は15%のみ。平均年齢77.1歳。



### ③要介護度・障害程度区分

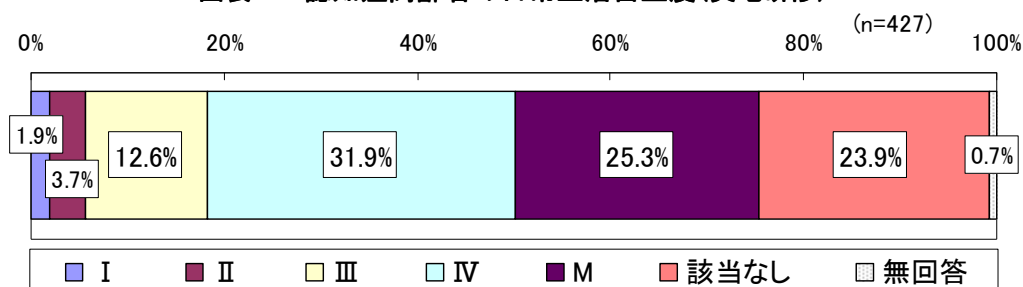
「要介護 5」は全体の 59.5%（認定者平均 4.7）、障害区分程度で最も多いのは「区分 6」で 13.3%（認定者平均 5.8）と、両者とも重度の方が多い。



#### ④認知症高齢者の日常生活自立度

「該当なし」が23.9%を占めるものの、自立度「IV」が31.9%、「M」25.3%と常時介護や専門的医療を必要としている方が多い。

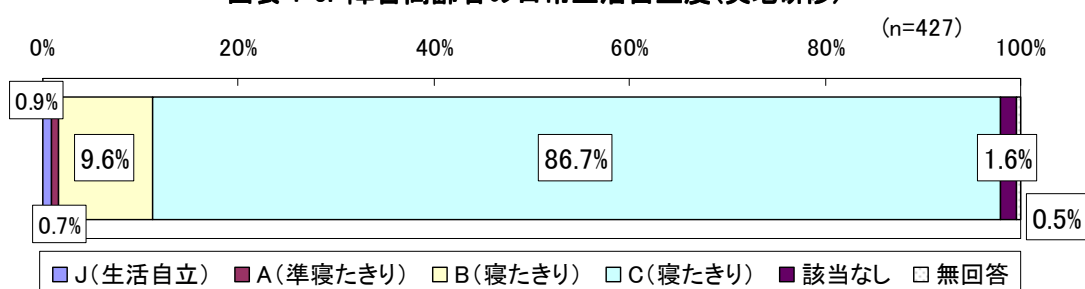
図表 4-4. 認知症高齢者の日常生活自立度(実地研修)



#### ⑤障害高齢者の日常生活自立度

自立度「C（寝たきり）」が86.7%（障害高齢者以外の方も含めて回答）。

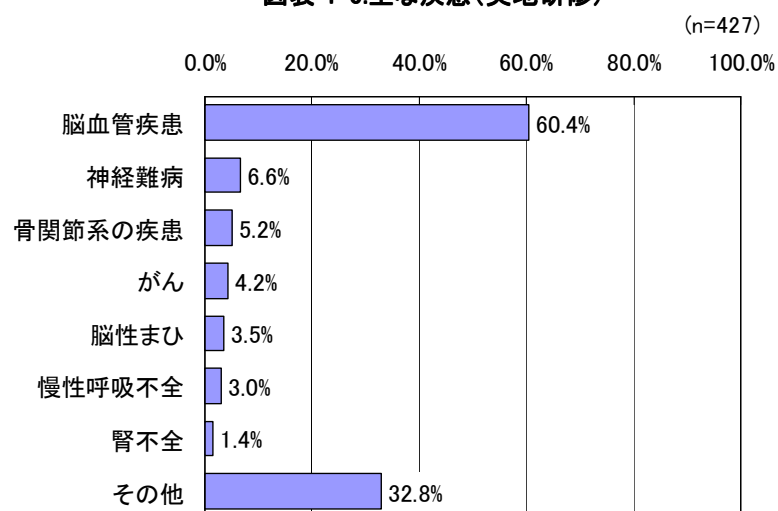
図表 4-5. 障害高齢者の日常生活自立度(実地研修)



#### ⑥主な疾患

「脳血管疾患」が60.4%と非常に多い、次いで「神経難病」6.6%、「骨関節系の疾患」5.2%の順。

図表 4-6. 主な疾患(実地研修)

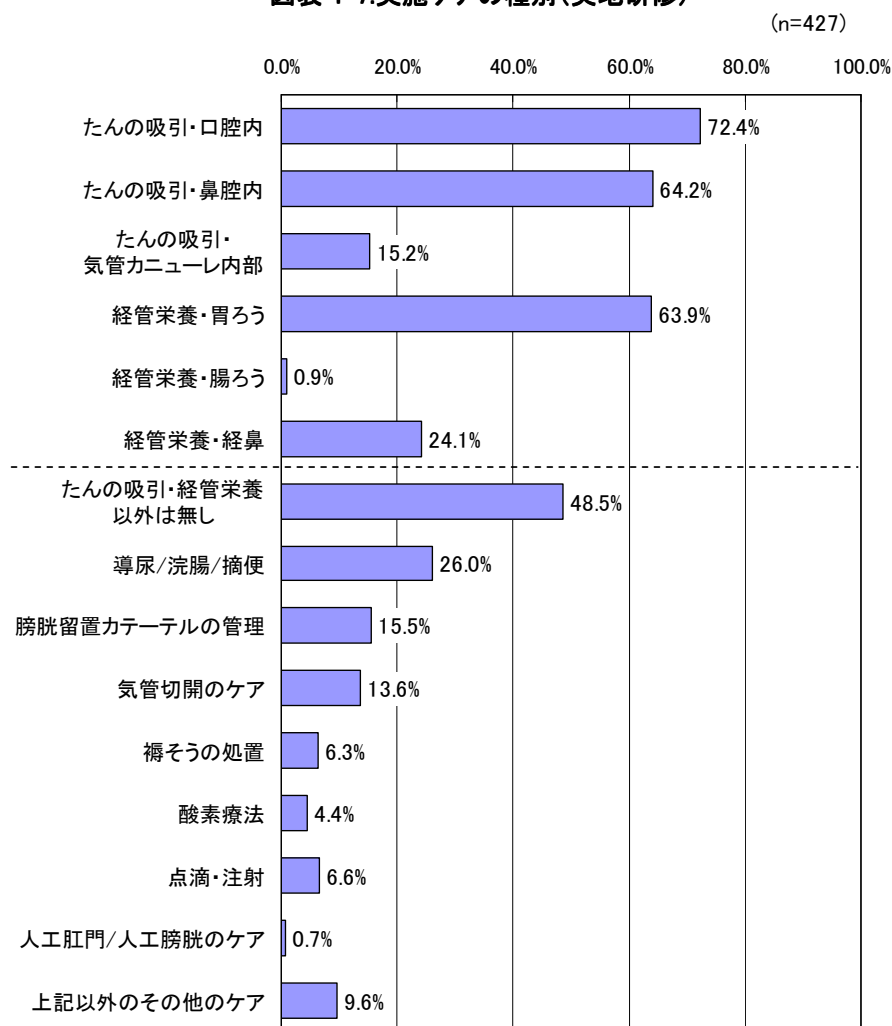


## ⑦実施ケアの種別

「たんの吸引・口腔内」72.4%、「たんの吸引・鼻腔内」64.2%、「経管栄養・胃ろう」63.9%の順で6～7割を占めるが、一方、「経管栄養・経鼻」24.1%、「たんの吸引・気管カニューレ内部」15.2%、「経管栄養・腸ろう」0.9%と、この3ケアについては、対象者が非常に少ない。

今回対象の「たんの吸引・経管栄養以外は無し」は48.5%。それ以外のケアでは「導尿/浣腸/摘便」が26.0%で最も多かった。

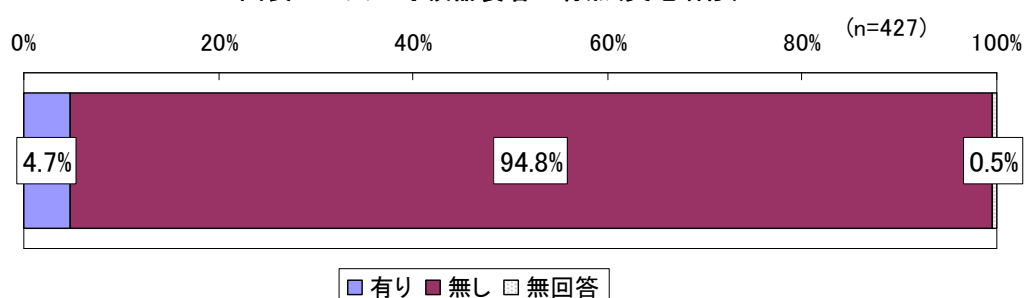
図表 4-7.実施ケアの種別(実地研修)



## ⑧人工呼吸器装着の有無

「人工呼吸器の装着有り」は全体の4.7% (20名) に留まり、その現在の居所の内訳は、「居宅」11名、「障害児・者施設」7名、「有料老人ホーム」2名であった。

図表 4-8.人工呼吸器装着の有無(実地研修)

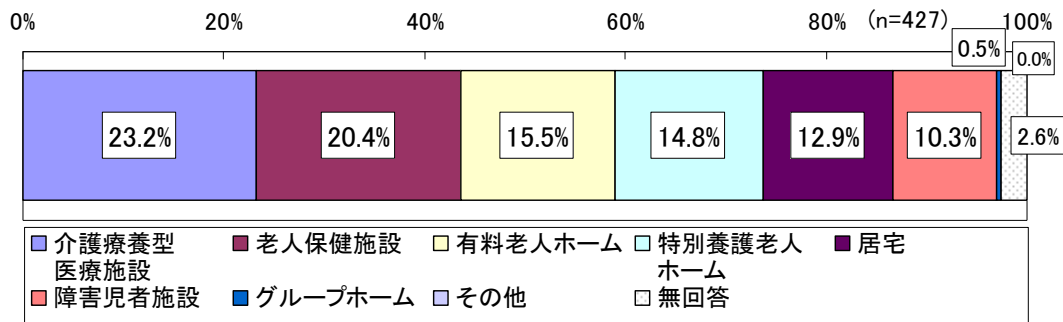


## ⑨現在の居所

「介護療養型医療施設」23.2%、「老人保健施設」20.4%、「有料老人ホーム」15.5%、「特別養護老人ホーム」14.8%、「居宅」12.9%、「障害児・者施設」10.3%、「グループホーム」0.5%の順。実地研修のケア実施対象者を確保するために、介護職員の勤務先以外の介護療養型医療施設、老人保健施設などに協力を求めた結果、その比率が高くなったと思われる。

なお、ケアの試行においては、「介護療養型医療施設」は対象外となるため、さらにケア実施対象者の確保が難しくなることが推測される。

図表 4-9.現在の居所(実地研修)





### **(3) 実地研修アンケート**

#### **【介護職員・実地研修アンケート】**

#### **【指導者・実地研修アンケート】**

実地研修アンケートは、介護職員・指導者分とともに、現在、調査票の回収・データ入力中である。

### **(4) ヒヤリハット・アクシデント報告**

介護職員記入のヒヤリハット・アクシデント報告は、現在、報告書の回収・データ入力中である。

## 第2章 試行事業の評価結果

### 1. 評価①（基本研修から実地研修へ）

#### （1）基本研修・講義の評価方法（筆記試験）

##### ①基本方針

介護職員が、利用者の心身の状態を正確に観察し、医師に報告し、その指示に基づいて、看護職員と連携しながら、たんの吸引及び経管栄養を安全、安楽かつ効果的に実施できる能力が評価されること。

##### ②出題内容

各項目の出題内容は、基本研修カリキュラムの到達目標に定めるところによること。

【問題作成に当たっての基本的な考え方】

- ア. 細かな専門的知識を要求する問題を避け、医学的な問題に偏らず、たんの吸引及び経管栄養を中心とした内容となるよう配慮すること。
- イ. 次のことについて基礎的知識を問う問題を中心とすること。
  - ・ 利用者を観察した内容を的確に表現できる用語や指示が理解できる知識
  - ・ たんの吸引及び経管栄養について行為の根拠や目的及び技術に関する知識
- ウ. 知識の想起及び理解を問う問題を中心に出题すること。
- エ. 問題の難易度は、平均的な正解率が八割から九割となるようにすること。
- オ. 試験問題の作成に当たっては専門領域の異なる複数の委員が検討し、問題の客観的な妥当性を高めるよう工夫すること。

##### ③出題形式

客観式問題（四肢択一）

##### ④出題数

50 問

##### ⑤試験時間

90 分間

##### ⑥受験者

基本研修・講義（50 時間）を受講した介護職員 141 名

##### ⑦実施方法

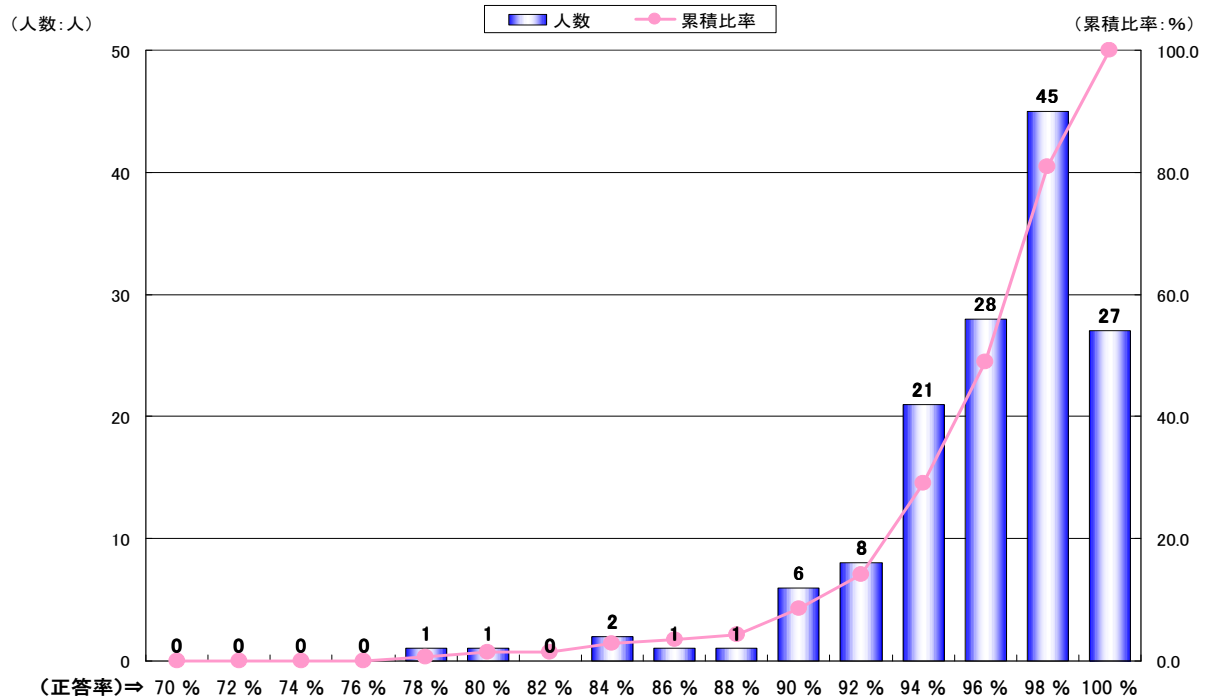
各実施団体の研修会場において、事務局（試験監督員）が、試験実施日当日、筆記試験問題及び答案用紙を配布し、筆記試験終了後に試験問題冊子及び答案用紙を回収した。また、受験者以外には問題冊子は非公開（含む実施団体事務局）とした。

## (2) 基本研修・講義の評価結果(筆記試験)

### ①全体正答率

介護職員 141 名が受験した筆記試験の結果は、平均正答率が 96.1% (50 問中、2 問不正解)、最高値は正答率 100% (50 問全問正解) で 27 名、最低値は正答率 78% (11 問不正解) で 1 名であった (図表 5-1)。

図表 5-1.全体正答率(評価①)



### ②設問別正答率

設問は、「講義用テキスト」と「ケア実施の手引き」から出題され、たんの吸引・経管栄養を行うにあたり、必須となる基礎知識、手技の基本手順を問う基礎的問題を中心に構成されている。

設問別の正答率の全体的な傾向としては、基礎的問題の正答率は高く、一方、医療保険制度、清潔や感染予防、からだのしくみ、あるいは実際に起こりうる場面を想定した介護職の正しい判断を問うような応用問題の正答率は、やや低くなる傾向がみられた (図表 5-2)。

なお、筆記試験の正答率が 90.0%未満の者に対しては、基本研修・演習の担当指導看護師のもとで、個別の弱点領域の「追加学習指導」と口頭試問による「追試」を実施した結果、対象者全員が実地研修への進行に十分な基本知識の習得が認められたとの報告を受けた。本委員会委員長への報告・承認のうえ、基本研修受講の介護職員 141 名全員について、実地研修へと進行することとなった。

※筆記試験問題 Q37 について：試験開始直後に「正答が 2 つ」あることが判明したため、2 つとも正答扱いとして処理した。

図表 5-2.設問別正答率(評価①)

| 設問構成                | 問   | 正答率    | 出題範囲                  | 設問構成                    | 問   | 正答率    | 出題範囲                    |
|---------------------|-----|--------|-----------------------|-------------------------|-----|--------|-------------------------|
| 1-5章<br>基礎          | Q1  | 100.0% | 医療の倫理                 | 7章<br>「たんの吸引」<br>実施手順解説 | Q24 | 99.3%  | 器具・機材とそのしくみ、清潔保持        |
|                     | Q2  | 70.9%  | 保健医療制度                |                         | Q25 | 87.9%  | 吸引の技術と留意点(状態観察)         |
|                     | Q3  | 98.6%  | 医行為とチーム医療             |                         | Q26 | 92.2%  | 吸引の技術と留意点(吸引手順)         |
|                     | Q4  | 100.0% | 医療的ケアの安全な実施           |                         | Q27 | 97.2%  | 吸引の技術と留意点(吸引方法)         |
|                     | Q5  | 99.3%  | 医療的ケアの安全な実施           |                         | Q28 | 97.9%  | 吸引の技術と留意点(実施後の状態観察)     |
|                     | Q6  | 96.5%  | 救急蘇生法(呼吸の確認)          |                         | Q29 | 96.5%  | 吸引の技術と留意点(吸引物の確認)       |
|                     | Q7  | 90.1%  | 救急蘇生法(市民の対応)          |                         | Q30 | 98.6%  | たんの吸引に伴うケア              |
|                     | Q8  | 98.6%  | 清潔保持と感染予防             |                         | Q31 | 100.0% | 報告及び記録                  |
|                     | Q9  | 70.9%  | 清潔保持と感染予防             |                         | Q32 | 82.3%  | 消化器系のしくみとはたらき           |
|                     | Q10 | 99.3%  | 健康状態の把握(平常と異常)        |                         | Q33 | 95.0%  | 消化・吸収とよくある消化器の症状        |
|                     | Q11 | 100.0% | 健康状態の把握(バイタルサイン)      | 8章<br>「経管栄養」<br>概論      | Q34 | 100.0% | 経管栄養法とは                 |
|                     | Q12 | 100.0% | 健康状態の把握(急変状態)         |                         | Q35 | 87.9%  | 注入する内容に関する知識            |
| 6章<br>「たんの吸引」<br>概論 | Q13 | 100.0% | 呼吸のしくみとはたらき           |                         | Q36 | 100.0% | 経管栄養実施上の留意点             |
|                     | Q14 | 99.3%  | いつもと違う呼吸状態            |                         | Q37 | 99.3%  | 成人と小児の違い                |
|                     | Q15 | 98.6%  | たんの吸引とは               |                         | Q38 | 96.5%  | 経管栄養に関する感染と予防           |
|                     | Q16 | 100.0% | 人工呼吸器と吸引              |                         | Q39 | 100.0% | 利用者・家族の気持ちと対応           |
|                     | Q17 | 100.0% | 成人と小児の違い 他            |                         | Q40 | 100.0% | 事前説明と同意、事後の確認           |
|                     | Q18 | 97.2%  | 利用者や家族の気持ちと対応         |                         | Q41 | 99.3%  | 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認   |
|                     | Q19 | 100.0% | 事前説明と同意、事後の確認         |                         | Q42 | 100.0% | 急変・事故発生時の対応と事前対策        |
|                     | Q20 | 99.3%  | 呼吸器系の感染予防             | 9章<br>「経管栄養」<br>実施手順解説  | Q43 | 92.2%  | 器具・器材とそのしくみ、清潔の保持       |
|                     | Q21 | 97.9%  | たんの吸引により生じる危険、事後の安全確認 |                         | Q44 | 100.0% | 経管栄養の技術と留意点(異常時の対応)     |
|                     | Q22 | 97.9%  | 急変・事故の事前対策と再発予防       |                         | Q45 | 92.9%  | 経管栄養の技術と留意点(身体変化の確認と報告) |
|                     | Q23 | 100.0% | 急変・事故の事前対策と再発予防       |                         | Q46 | 100.0% | 経管栄養の技術と留意点(注入準備)       |
|                     |     |        |                       |                         | Q47 | 99.3%  | 経管栄養の技術と留意点(片付け)        |
|                     |     |        |                       |                         | Q48 | 92.9%  | 経管栄養の技術と留意点(状態観察)       |
|                     |     |        |                       |                         | Q49 | 83.7%  | 経管栄養に必要なケア              |
|                     |     |        |                       |                         | Q50 | 99.3%  | 報告及び記録                  |
| 平均正答率               |     |        |                       |                         |     | 96.1%  |                         |

全50問のうち17問が「正答率100%」(黄色の網掛け)

### ③分野別正答率

分野別の正答率をみると、『1-5章基礎』(12問)の正答率は約94%で最も低く、次いで『9章「経管栄養」実施手順解説』(8問)の95%であり、一方、『6章「たんの吸引」概論』(11問)は約99%と非常に高い結果となった(図表5-3)。

全体的に高い正答率の中で、『1-5章基礎』が低くなったのは、普段の介護業務の中では、馴染みのない「保健医療制度(Q2)」や、厳密に意識することが少ない「清潔保持と感染予防(Q9)」の両問の正答率が共に約71%と、他の設問に比べ極端に低いことが影響しており、重点的な対応が望まれる。

『9章「経管栄養」実施手順解説』では、「経管栄養に必要なケア(Q49)」の正答率が約84%と低かった。やや応用的な問題であるが、今後、介護職として医療的ケアに関与するなかで、正しい判断を求められる場面が多くなると推測される。そのような場面に遭遇しても、適切な対応ができるよう、現実起こりうる場面を想定した研修内容の検討などの対応が望まれる。

図表 5-3.分野別正答率(評価①)

| 分野   | (全体)           | 1-5章<br>基礎   | 6章<br>「たんの吸引」概<br>論 | 7章<br>「たんの吸引」実<br>施手順解説 | 8章<br>「経管栄養」<br>概論 | 9章<br>「経管栄養」<br>実施手順解説 |
|------|----------------|--------------|---------------------|-------------------------|--------------------|------------------------|
| 設問番号 | (Q1～Q50)       | Q1～Q12       | Q13～Q23             | Q24～Q31                 | Q32～Q42            | Q43～Q50                |
| 設問数  | (50問)          | 12問          | 11問                 | 8問                      | 11問                | 8問                     |
| 正答率  | <b>(96.1%)</b> | <b>93.7%</b> | <b>99.1%</b>        | <b>96.3%</b>            | <b>96.4%</b>       | <b>95.0%</b>           |

### (3) 基本研修・演習の評価方法(プロセス評価)

#### ①基本方針

介護職員が、たんの吸引及び経管栄養について、シミュレーターを用いて、効果的に演習でき、習得した技術が適正に評価されること。

#### ②評価方法

「ケア実施の手引き」に基づくプロセス評価（指導者評価及び自己評価）の実施。

##### 【到達度評価】

- ・講師が標準的なレベルの紙上事例対象者（シミュレーター）を設定して1回実演し、見学した介護職員が5回以上演習する。毎回プロセス評価（指導者評価及び自己評価）を実施する。
- ・原則として、介護職員全員がケア実施の手引きの手順通りに実施できる（指導者評価において、全てのプロセス評価の評価項目で「ア」と評価される）まで個別指導を繰り返し、介護職員の演習回数は5回から数十回まで個人差があり得ることとする。実施した全ての演習についてプロセス評価票（指導者評価票及び自己評価票）に記録する。

#### ③評価項目と項目数

「ケア実施の手引き」に基づくプロセス評価（指導者評価及び自己評価）を実施した。

ケアごとの評価項目数は、下表の通りである。

図表 5-4.基本研修・演習の所定回数と評価項目数(評価①)

| ケアの種類                     | ケア実施回数 | 評価項目数 |
|---------------------------|--------|-------|
| たんの吸引・口腔内(通常手順)           | 5回以上   | 36 項目 |
| たんの吸引・鼻腔内(通常手順)           | 5回以上   | 36 項目 |
| たんの吸引・気管カニューレ内部(通常手順)     | 5回以上   | 35 項目 |
| 経管栄養・胃ろう・腸ろう              | 5回以上   | 26 項目 |
| 経管栄養・経鼻                   | 5回以上   | 25 項目 |
| たんの吸引・口腔内(人工呼吸器装着者)       | 5回以上   | 39 項目 |
| たんの吸引・鼻腔内(人工呼吸器装着者)       | 5回以上   | 39 項目 |
| たんの吸引・気管カニューレ内部(人工呼吸器装着者) | 5回以上   | 39 項目 |

※記入用紙（ケア別の具体的な評価項目内容）は、P92～P100 を参照（なお、通常手順の口腔内と鼻腔内、並びに、人工呼吸器装着者の口腔と鼻腔は共通の記入用紙を利用している）。

#### ④評価基準(3段階)

演習の評価は、以下のア～ウの3段階で指導者及び介護職員自身が評価する。

ア.「ケア実施ガイドラインの手順通りに実施できている」

イ.「この項目について、ケア実施ガイドラインの留意事項・考えられるリスクに記載されている細目レベルで、手順を抜かしたり間違えた」

ウ.「この項目について抜かした」

## ⑤基本研修・演習の実施手順と評価

- 1) 標準的なレベルの紙上事例対象者（シミュレーター）に対して、講師が1回の実演を行う。
- 2) グループ試行として、介護職員はグループを作り1人1回実施し、指導者は各グループに対して、観察・指導を行う。
- 3) 全介護職員がたんの吸引（口腔、鼻腔、気管カニューレ内部）各5回実施以上、経管栄養（胃ろう又は腸ろう）5回以上、経鼻経管栄養5回以上の演習を行う。
- 4) 演習を実施する毎にプロセス評価票（指導者評価票及び自己評価票）に記録する。指導者及び介護職員は、毎回、一緒にプロセス評価票に基づき振り返りを行い、介護職員は次の演習の改善につなげる。
- 6) 各5回の演習を終了する以前に、たんの吸引等を完全に実施できる（指導者評価において、全てのプロセス評価の評価項目で「ア」と評価される）ようになった場合でも、所定の回数を実施する。
- 7) 各5回の演習を終了しても、完全に実施できなかった者については、完全に実施できるまで個別指導する。
- 8) 演習の実施は、STEP2-②準備からSTEP7 評価記録までを一連の行為を1回としてカウントする。
- 9) 実地研修のケア実施対象者の中に人工呼吸器を利用している利用者がいる場合は、人工呼吸器の使用を想定した演習も行う。

#### (4) 基本研修・演習の評価結果(プロセス評価)

##### ①ケアの実施状況

参加7団体が推薦した介護職員141名全員が、全演習を終了した。たんの吸引・口腔内（通常手順）、たんの吸引・鼻腔内（通常手順）、たんの吸引・気管カニューレ内部（通常手順）、経管栄養・胃ろう・腸ろう、経管栄養・経鼻については、参加全7団体が演習を実施した。また、経管栄養・胃ろう・腸ろう（半固形）、たんの吸引・口腔内（人工呼吸器装着）、たんの吸引・鼻腔内（人工呼吸器装着）、たんの吸引・気管カニューレ内部（人工呼吸器装着）については、実地研修におけるケア実施対象者の必要とするケアの種類に応じて、それぞれ、1団体、2団体、1団体、2団体が演習を実施した。

下表は、演習の指導者評価（プロセス評価）の記録から、「初回」（初めて全評価項目が「ア」となった回）、並びに「実施」（最終的な実施回数）について、実施ケア別の平均値・最大値・最小値を整理したものである（図表5-5）。

計画当初、初回・実施回数ともに、ケア実施の難易度（易⇒難の順：口腔内⇒鼻腔内⇒気管カニューレ内部、胃ろう・腸ろう⇒経鼻、通常手順⇒人工呼吸器装着）と正比例するものと想定していたが、実際には、演習を行った順番、講師人数・シミュレーター台数・演習日数の制約（実施できる回数の物理的・時間的な上限の存在）などに、大きく影響を受けたものと考えられる。

図表 5-5.基本研修・演習のケアの実施状況(評価①)

| 初回: 初めて全項目「7」となった回、実施: 全実施回数     |         |     |         |     |           |     |         |     |         |     |              |     |              |     |              |     |                    |     |
|----------------------------------|---------|-----|---------|-----|-----------|-----|---------|-----|---------|-----|--------------|-----|--------------|-----|--------------|-----|--------------------|-----|
|                                  | 1-1     |     | 1-2     |     | 1-3       |     | 1-4     |     | 1-5     |     | 1-6          |     | 1-7          |     | 1-8          |     | 1-9                |     |
|                                  | 口腔内     |     | 鼻腔内     |     | 気管カニューレ内部 |     | 胃ろう・腸ろう |     | 経鼻経管栄養  |     | 胃ろう・腸ろう(半固形) |     | 口腔内(人工呼吸器装着) |     | 鼻腔内(人工呼吸器装着) |     | 気管カニューレ内部(人工呼吸器装着) |     |
|                                  | 36項目    |     | 36項目    |     | 36項目      |     | 35項目    |     | 25項目    |     | 26項目         |     | 39項目         |     | 39項目         |     | 39項目               |     |
|                                  | (実施7団体) |     | (実施7団体) |     | (実施7団体)   |     | (実施7団体) |     | (実施7団体) |     | (実施1団体)      |     | (実施2団体)      |     | (実施1団体)      |     | (実施2団体)            |     |
|                                  | 初回      | 実施  | 初回      | 実施  | 初回        | 実施  | 初回      | 実施  | 初回      | 実施  | 初回           | 実施  | 初回           | 実施  | 初回           | 実施  | 初回                 | 実施  |
| 平均                               | 2.9     | 5.4 | 2.0     | 5.1 | 2.0       | 5.2 | 2.7     | 5.1 | 2.9     | 5.0 | 1.3          | 5.0 | 1.4          | 5.0 | 2.1          | 5.0 | 2.0                | 5.1 |
| 最大                               | 7       | 11  | 5       | 7   | 6         | 8   | 6       | 8   | 7       | 7   | 2            | 5   | 4            | 5   | 4            | 5   | 6                  | 7   |
| 最小                               | 1       | 5   | 1       | 5   | 1         | 5   | 1       | 5   | 1       | 5   | 1            | 5   | 1            | 5   | 1            | 5   | 1                  | 5   |
| たんの吸引(通常手順)経管栄養半固形たんの吸引(人工呼吸器装着) |         |     |         |     |           |     |         |     |         |     |              |     |              |     |              |     |                    |     |

たんの吸引(通常手順)

経管栄養

半固形

たんの吸引(人工呼吸器装着)

たんの吸引（口腔内、鼻腔内、気管カニューレ内部の3ケア）では、「初回」は2.0～2.9回、「実施」は5.1～5.4回であった。ほとんどの団体で「口腔内⇒鼻腔内」の順で演習を実施したため、手技の難易度よりも、最初に演習実施したケア（すなわち「口腔内」）が、初回・実施ともに回数が多くなったものと推測される。

経管栄養（胃ろう・腸ろう、経鼻の2ケア）では、「初回」は2.7～2.9回、「実施」は5.0～5.1回であった。多くの場合、「胃ろう・腸ろう⇒経鼻経管栄養」の順で演習を実施しているが、手技の難易度も加わり、「胃ろう・腸ろう」と「経鼻経管栄養」は、初回・実施ともにほぼ同程度の回数となったものと推測される。

1団体が選択実施した胃ろう・腸ろう（半固形）では、「胃ろう・腸ろう（通常手順）⇒胃ろう・腸ろう（半固形）」の順で実施した結果、「初回」は、通常手順よりも、半固形状栄養物の使用の回数の方が少なくなったものと推測される。

1～2団体が選択実施した人工呼吸器装着（口腔内、鼻腔内、気管カニューレ内部）では、「通常手順⇒人工呼吸器装着」の順に実施したり、通常手順と人工呼吸器装着を同時実施することで手技の留意点に気付かせるなどの工夫した結果、通常手順と人工呼吸器装着の回数が同水準か、あるいは、人工呼吸器装着の回数の方が少なくなったものと推測される。

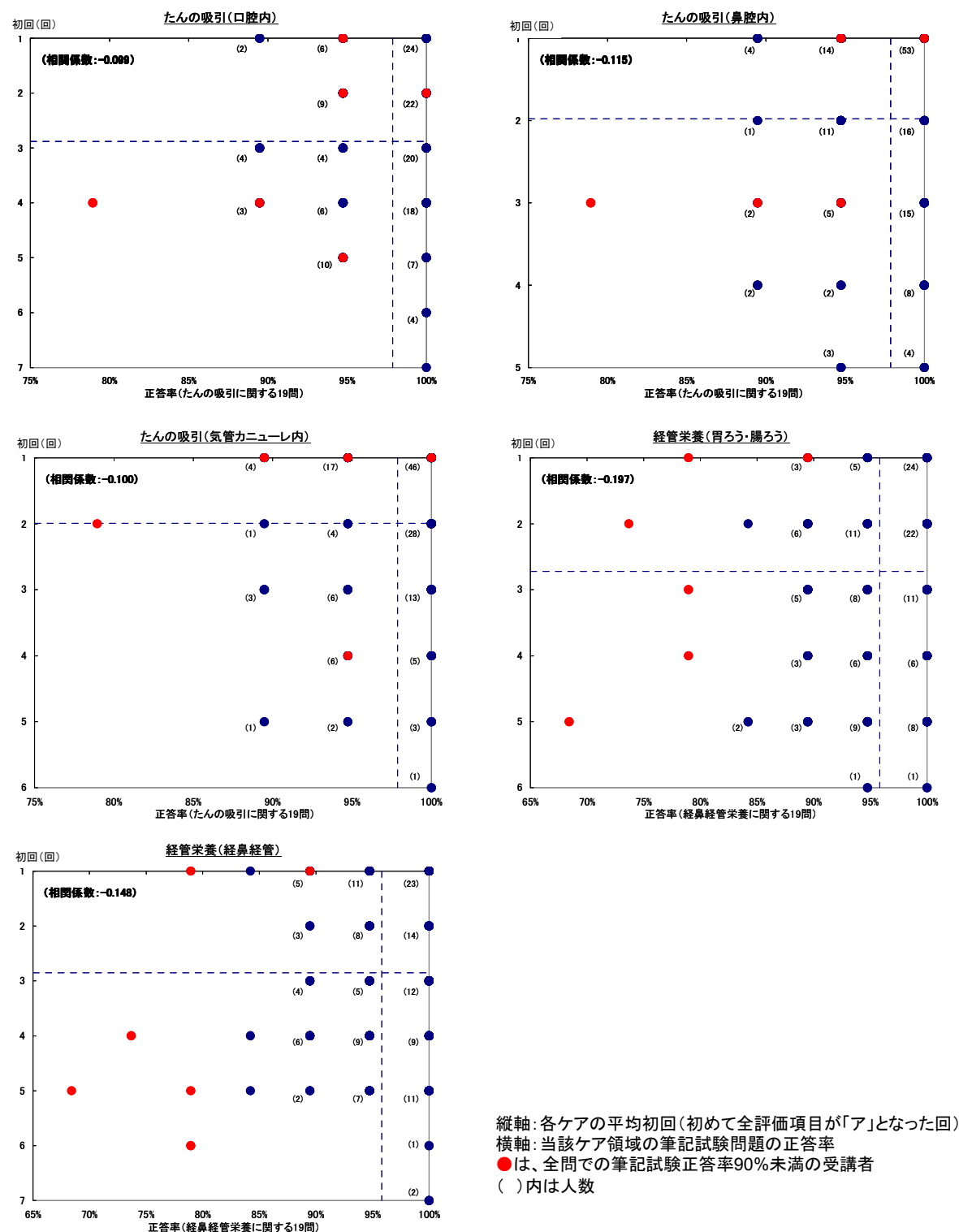
なお、各ケアにおける「初回」は平均1.3～2.9回と、全てのケアで規定回数である5回よりも少ない回数で達成できている。しかし、一度、全項目「ア」が評価になっても、その後、

連続実施した演習や、一定期間後に実施した演習の中で「イ・ウ」の評価が生じていることもあり、この結果のみで、『適正な演習回数』を決めることは難しいものと考えられる（別途、指導者及び介護職員を対象としたアンケート調査結果では、両者ともに6割～8割強が「適切」と回答した）。

## ②指導者評価結果と筆記試験結果との関係

実施者が多かった5種類のケア別について、当該領域の筆記試験正答率とプロセス評価結果（平均初回回数）の統計的な関係性をみたところ、特に相関はみられないということがわかった（図表 5-6）。

図表 5-6.指導者評価結果と筆記試験の相関（評価①）





### ③実施ケアごとのプロセス評価結果(達成状況)

#### 1) たんの吸引・口腔内

指導者評価の結果から、「たんの吸引・口腔内」演習の1回目～5回目までについて、全36項目ごとの評価結果(演習実施介護職員のうち、「ア」評価を得た比率)を集計・表示した(図表5-7)。

1回目の78.7～96.5%が、5回目には98.6～100.0%にまで向上し、5回目では36項目中30項目までが100.0%(全介護職員が「ア」評価を得た)を達成している。

図表5-7.「たんの吸引・口腔内」の演習評価(評価①)

数値は、被評価者(ケア実施介護職員)に占める「ア. 手引きの手順通りに実施できている」の割合(%)

| 評価     |       | ア. 手引きの手順通りに実施できている                                        |                                    |        |        |        |        |        |
|--------|-------|------------------------------------------------------------|------------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
|        |       | イ. この項目について、手引きの留意事項・考えられる主なリスクに記載されている細目レベルで、手順を抜かしたり間違えた |                                    |        |        |        |        |        |
|        |       | ウ. この項目について、抜かした                                           |                                    |        |        |        |        |        |
|        |       | 回数                                                         | 1回目                                | 2回目    | 3回目    | 4回目    | 5回目    |        |
| 実施準備   | 1     | 医師の指示等の確認を行う                                               | 93.6%                              | 100.0% | 100.0% | 99.3%  | 100.0% |        |
|        | 2     | 手洗いを行う                                                     | 88.7%                              | 95.7%  | 97.1%  | 99.3%  | 98.6%  |        |
|        | 3     | 必要物品をそろえ、作動状況等を点検確認する                                      | 80.1%                              | 97.2%  | 97.9%  | 98.6%  | 100.0% |        |
|        | 4     | 必要物品を利用者のもとへ運ぶ                                             | 93.6%                              | 99.3%  | 99.3%  | 100.0% | 100.0% |        |
| ケア実施   | 5     | 利用者に吸引の説明をする                                               | 91.5%                              | 96.5%  | 99.3%  | 97.9%  | 100.0% |        |
|        | 6     | 吸引の環境・利用者の姿勢を整える                                           | 81.3%                              | 87.9%  | 92.9%  | 97.2%  | 100.0% |        |
|        | 7     | 口腔内・鼻腔内を観察する                                               | 79.4%                              | 87.1%  | 92.9%  | 92.9%  | 98.6%  |        |
|        | 8     | 手袋の着用またはセッソを持つ                                             | 93.6%                              | 99.3%  | 99.3%  | 99.3%  | 99.3%  |        |
|        | 吸引の実施 | 9                                                          | 吸引チューブを清潔に取り出す                     | 86.4%  | 92.1%  | 95.7%  | 98.6%  | 100.0% |
|        |       | 10                                                         | 吸引チューブを清潔に吸引器と連結管で連結する             | 90.8%  | 93.6%  | 95.7%  | 100.0% | 100.0% |
|        |       | 11                                                         | （浸漬法の場合）吸引チューブ外側を清浄綿等で拭く           | 92.4%  | 98.5%  | 99.2%  | 100.0% | 100.0% |
|        |       | 12                                                         | 吸引器のスイッチを入れて水を吸い決められた吸引圧になることを確認する | 92.9%  | 95.7%  | 97.9%  | 97.9%  | 99.3%  |
|        |       | 13                                                         | 吸引チューブの先端の水をよく切る                   | 89.4%  | 93.6%  | 96.5%  | 97.9%  | 100.0% |
|        |       | 14                                                         | 利用者に吸引の開始について声かけをする                | 95.7%  | 98.6%  | 99.3%  | 100.0% | 100.0% |
|        |       | 15                                                         | 適切な吸引圧で適切な深さまで吸引チューブを挿入する          | 82.3%  | 95.7%  | 97.2%  | 99.3%  | 100.0% |
|        |       | 16                                                         | 適切な吸引時間で分泌物等の貯留物を吸引する              | 90.1%  | 97.2%  | 95.7%  | 99.3%  | 100.0% |
|        | 17    | 吸引チューブを静かに抜く                                               | 96.5%                              | 97.2%  | 97.9%  | 100.0% | 100.0% |        |
|        | 18    | 吸引チューブの外側を毒剤で浸した清浄綿等で拭く                                    | 85.7%                              | 94.3%  | 95.7%  | 99.3%  | 100.0% |        |
|        | 19    | 洗浄水を吸引し、吸引チューブ内側の汚れを落とす                                    | 90.8%                              | 95.7%  | 98.6%  | 97.9%  | 100.0% |        |
|        | 20    | 吸引器の電源を切る                                                  | 93.6%                              | 97.9%  | 99.3%  | 98.6%  | 100.0% |        |
|        | 21    | 吸引チューブを連結管から外し保管容器に戻す（または廃棄する）                             | 85.1%                              | 94.3%  | 98.6%  | 100.0% | 100.0% |        |
|        | 22    | 手袋をはずす（手袋を使用している場合）またはセッソを戻す                               | 87.9%                              | 95.7%  | 99.3%  | 99.3%  | 100.0% |        |
|        | 23    | 吸引終了時の利用者への声かけ・姿勢を整える                                      | 89.4%                              | 96.5%  | 97.9%  | 99.3%  | 100.0% |        |
|        | 24    | 次回使用時のための物品の確認をする（吸引瓶の状況・不足物品の補充）                          | 80.7%                              | 95.0%  | 97.2%  | 98.6%  | 100.0% |        |
|        | 25    | 手洗いをする                                                     | 78.7%                              | 88.7%  | 94.3%  | 97.2%  | 99.3%  |        |
| 結果確認報告 | 26    | 利用者の吸引前の状態と吸引後の状態変化を観察する                                   | 85.7%                              | 95.7%  | 98.6%  | 99.3%  | 100.0% |        |
|        | 27    | 顔色・呼吸の状態等について観察する                                          | 87.9%                              | 96.5%  | 98.6%  | 100.0% | 100.0% |        |
|        | 28    | 利用者の全身状態について観察する                                           | 90.1%                              | 97.9%  | 98.6%  | 100.0% | 100.0% |        |
|        | 29    | （鼻腔の場合）鼻血や口腔内への血液の流れ込みの有無等について観察する                         | 88.2%                              | 96.5%  | 96.4%  | 98.8%  | 100.0% |        |
|        | 30    | 吸引した物の量・性状等について観察する                                        | 92.1%                              | 94.3%  | 97.2%  | 99.3%  | 100.0% |        |
|        | 31    | 吸引後に経鼻経管栄養チューブが口腔内に出てきていないかを確認する（経鼻経管栄養実施者のみ）              | 81.5%                              | 90.7%  | 94.4%  | 98.2%  | 100.0% |        |
|        | 32    | ケア責任者（看護職員）に報告する                                           | 94.3%                              | 98.6%  | 99.3%  | 99.3%  | 100.0% |        |
| 片づけ    | 33    | ヒヤリハット・アクシデントの報告をする（該当する場合のみ）                              | 93.3%                              | 100.0% | 98.7%  | 100.0% | 100.0% |        |
|        | 34    | 吸引びんの排水量が70%～80%になる前に排水を捨てる                                | 87.0%                              | 95.5%  | 95.5%  | 99.2%  | 99.2%  |        |
| 評価記録   | 35    | 使用物品を速やかに後片付けまたは交換する                                       | 94.3%                              | 98.6%  | 98.6%  | 100.0% | 100.0% |        |
|        | 36    | 実施時刻、吸引した内容物の種類や性状及び量などを記録する                               | 95.7%                              | 98.6%  | 99.3%  | 100.0% | 100.0% |        |

(n=73～141)

＝介護職全体に占める「ア」の割合が100%

＝介護職全体に占める「ア」の割合が80%以上90%未満

＝介護職全体に占める「ア」の割合が80%未満

## 2) たんの吸引・鼻腔内

指導者評価の結果から、「たんの吸引・鼻腔内」演習の1回目～5回目までについて、全36項目ごとの評価結果（演習実施介護職員のうち、「ア」評価を得た比率）を集計・表示した（図表5-8）。

1回目の85.1～98.6%が、5回目には99.1～100.0%にまで向上し、5回目では36項目中32項目までが100.0%（全介護職員が「ア」評価を得た）を達成している。

図表5-8.「たんの吸引・鼻腔内」の演習評価（評価①）

数値は、被評価者（ケア実施介護職員）に占める「ア. 手引きの手順通りに実施できている」の割合（%）

| 評価     |    | ア. 手引きの手順通りに実施できている                                        |       |        |        |        |        |
|--------|----|------------------------------------------------------------|-------|--------|--------|--------|--------|
|        |    | イ. この項目について、手引きの留意事項・考えられる主なリスクに記載されている細目レベルで、手順を抜かしたり間違えた |       |        |        |        |        |
|        |    | ウ. この項目について、抜かした                                           |       |        |        |        |        |
| 回数     |    |                                                            | 1回目   | 2回目    | 3回目    | 4回目    | 5回目    |
| 実施準備   | 1  | 医師の指示等の確認を行う                                               | 97.9% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|        | 2  | 手洗いを行う                                                     | 95.0% | 96.5%  | 99.3%  | 99.3%  | 100.0% |
|        | 3  | 必要物品をそろえ、作動状況等を点検確認する                                      | 92.9% | 99.3%  | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|        | 4  | 必要物品を利用者のもとへ運ぶ                                             | 99.3% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| ケア実施   | 5  | 利用者に吸引の説明をする                                               | 97.9% | 97.9%  | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|        | 6  | 吸引の環境・利用者の姿勢を整える                                           | 91.5% | 96.5%  | 98.6%  | 99.3%  | 100.0% |
|        | 7  | 口腔内・鼻腔内を観察する                                               | 90.6% | 95.7%  | 99.3%  | 98.6%  | 99.3%  |
|        | 8  | 手袋の着用またはセッシーを持つ                                            | 95.7% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|        | 9  | 吸引チューブを清潔に取り出す                                             | 92.9% | 95.7%  | 98.6%  | 97.2%  | 100.0% |
|        | 10 | 吸引チューブを清潔に吸引器と連結管で連結する                                     | 94.3% | 97.2%  | 98.6%  | 100.0% | 100.0% |
|        | 11 | （浸漬法の場合）吸引チューブ外側を清浄綿等で拭く                                   | 96.1% | 98.5%  | 99.2%  | 100.0% | 100.0% |
|        | 12 | 吸引器のスイッチを入れて水を吸い決められた吸引圧になることを確認する                         | 98.6% | 99.3%  | 100.0% | 100.0% | 99.3%  |
|        | 13 | 吸引チューブの先端の水をよく切る                                           | 92.2% | 97.2%  | 98.6%  | 100.0% | 100.0% |
|        | 14 | 利用者に吸引の開始について声かけをする                                        | 96.5% | 99.3%  | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|        | 15 | 適切な吸引圧で適切な深さまで吸引チューブを挿入する                                  | 85.1% | 95.0%  | 98.6%  | 100.0% | 100.0% |
|        | 16 | 適切な吸引時間で分泌物等の貯留物を吸引する                                      | 89.4% | 98.6%  | 99.3%  | 99.3%  | 100.0% |
|        | 17 | 吸引チューブを静かに抜く                                               | 92.2% | 96.5%  | 99.3%  | 98.6%  | 100.0% |
|        | 18 | 吸引チューブの外側を毒剤で浸した清浄綿等で拭く                                    | 98.6% | 97.9%  | 97.9%  | 99.3%  | 100.0% |
|        | 19 | 洗浄水を吸引し、吸引チューブ内側の汚れを落とす                                    | 94.3% | 98.6%  | 99.3%  | 99.3%  | 100.0% |
|        | 20 | 吸引器の電源を切る                                                  | 97.9% | 98.6%  | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|        | 21 | 吸引チューブを連結管から外し保管容器に戻す（または廃棄する）                             | 97.2% | 98.6%  | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|        | 22 | 手袋をはずす（手袋を使用している場合）またはセッシーを戻す                              | 96.5% | 97.9%  | 99.3%  | 100.0% | 100.0% |
|        | 23 | 吸引終了時の利用者への声かけ・姿勢を整える                                      | 95.7% | 98.6%  | 99.3%  | 98.6%  | 100.0% |
|        | 24 | 次回使用時のための物品の確認をする（吸引瓶の状況・不足物品の補充）                          | 86.4% | 95.7%  | 99.3%  | 98.6%  | 100.0% |
|        | 25 | 手洗いをする                                                     | 91.5% | 98.6%  | 96.5%  | 98.6%  | 99.3%  |
| 結果確認報告 | 26 | 利用者の吸引前の状態と吸引後の状態変化を観察する                                   | 96.5% | 97.2%  | 99.3%  | 100.0% | 100.0% |
|        | 27 | 顔色・呼吸の状態等について観察する                                          | 97.2% | 97.9%  | 99.3%  | 100.0% | 100.0% |
|        | 28 | 利用者の全身状態について観察する                                           | 96.5% | 97.9%  | 99.3%  | 99.3%  | 100.0% |
|        | 29 | （鼻腔の場合）鼻血や口腔内への血液の流れ込みの有無等について観察する                         | 92.1% | 95.0%  | 99.3%  | 100.0% | 100.0% |
|        | 30 | 吸引した物の量・性状等について観察する                                        | 95.0% | 96.5%  | 100.0% | 99.3%  | 100.0% |
|        | 31 | 吸引後に経鼻経管栄養チューブが口腔内に出てきていないかを確認する（経鼻経管栄養実施者のみ）              | 87.6% | 95.6%  | 100.0% | 98.2%  | 99.1%  |
|        | 32 | ケア責任者（看護職員）に報告する                                           | 97.2% | 98.6%  | 99.3%  | 100.0% | 100.0% |
|        | 33 | ヒヤリハット・アクシデントの報告をする（該当する場合のみ）                              | 97.7% | 98.9%  | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 片づけ    | 34 | 吸引びんの排液量が70%～80%になる前に排液を捨てる                                | 91.5% | 96.9%  | 98.5%  | 99.2%  | 100.0% |
|        | 35 | 使用物品を速やかに後片付けまたは交換する                                       | 97.1% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 評価記録   | 36 | 実施時刻、吸引した内容物の種類や性状及び量などを記録する                               | 98.6% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

（n=86～141）

100% =介護職全体に占める「ア」の割合が100%  
80%以上90%未満 =介護職全体に占める「ア」の割合が80%以上90%未満  
80%未満 =介護職全体に占める「ア」の割合が80%未満

### 3) たんの吸引・気管カニューレ内部

指導者評価の結果から、「たんの吸引・気管カニューレ内部」演習の1回目～5回目までについて、全35項目ごとの評価結果（演習実施介護職員のうち、「ア」評価を得た比率）を集計・表示した（図表5-9）。

1回目の82.3～99.3%が、5回目には98.6～100.0%にまで向上し、5回目では35項目中34項目までが100.0%（全介護職員が「ア」評価を得た）を達成している。

図表5-9.「たんの吸引・気管カニューレ内部」の演習評価(評価①)

数値は、被評価者(ケア実施介護職員)に占める「ア. 手引きの手順通りに実施できている」の割合(%)

| 評価                                             |        | ア. 手引きの手順通りに実施できている                                        |                             |        |        |        |        |        |
|------------------------------------------------|--------|------------------------------------------------------------|-----------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
|                                                |        | イ. この項目について、手引きの留意事項・考えられる主なリスクに記載されている細目レベルで、手順を抜かしたり間違えた |                             |        |        |        |        |        |
|                                                |        | ウ. この項目について、抜かした                                           |                             |        |        |        |        |        |
|                                                |        |                                                            |                             |        |        |        |        |        |
|                                                |        | 回数                                                         | 1回目                         | 2回目    | 3回目    | 4回目    | 5回目    |        |
| 実施準備                                           |        | 1 医師の指示等の確認を行う                                             | 97.1%                       | 99.3%  | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                |        | 2 手洗いをを行う                                                  | 97.9%                       | 99.3%  | 100.0% | 99.3%  | 100.0% |        |
|                                                |        | 3 必要物品をそろえ、作動状況等を点検確認する                                    | 96.4%                       | 100.0% | 100.0% | 99.3%  | 100.0% |        |
|                                                |        | 4 必要物品を利用者のもとへ運ぶ                                           | 99.3%                       | 100.0% | 100.0% | 99.3%  | 100.0% |        |
| ケア実施                                           |        | 5 利用者に吸引の説明を行う                                             | 95.7%                       | 99.3%  | 99.3%  | 99.3%  | 100.0% |        |
|                                                |        | 6 吸引の環境を整える                                                | 89.4%                       | 97.2%  | 99.3%  | 97.9%  | 100.0% |        |
|                                                |        | 7 気管カニューレ周囲や固定の状態（出血や損傷の有無）を観察する                           | 85.1%                       | 90.8%  | 93.6%  | 98.6%  | 98.6%  |        |
|                                                |        | 8 手袋の着用またはセッションを持つ                                         | 83.7%                       | 95.0%  | 97.2%  | 99.3%  | 100.0% |        |
|                                                | 吸引の実施  | 9 吸引チューブを清潔に取り出す                                           | 82.3%                       | 95.0%  | 95.0%  | 97.9%  | 100.0% |        |
|                                                |        | 10 吸引チューブを清潔に吸引器と連結管で連結する                                  | 82.9%                       | 95.0%  | 99.3%  | 99.3%  | 100.0% |        |
|                                                |        | 11 （浸漬法の場合）吸引チューブ外側を清浄綿等で拭く                                | 84.6%                       | 97.6%  | 99.2%  | 96.7%  | 100.0% |        |
|                                                |        | 12 吸引器のスイッチを入れて水を吸い決められた吸引圧になることを確認する                      | 91.5%                       | 95.7%  | 99.3%  | 98.6%  | 100.0% |        |
|                                                |        | 13 吸引チューブ先端の水をよく切る                                         | 90.8%                       | 97.2%  | 98.6%  | 97.9%  | 100.0% |        |
|                                                |        | 14 利用者に吸引の開始について声をかける                                      | 97.2%                       | 97.9%  | 99.3%  | 98.6%  | 100.0% |        |
|                                                |        | 15 適切な吸引圧で適切な深さまで吸引チューブを挿入する                               | 85.1%                       | 95.7%  | 97.9%  | 98.6%  | 100.0% |        |
|                                                |        | 16 適切な吸引時間で気管カニューレ内の分泌物等の貯留物を吸引する                          | 87.2%                       | 99.3%  | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                |        | 17 吸引チューブを静かに抜く                                            | 91.5%                       | 100.0% | 98.6%  | 98.6%  | 100.0% |        |
|                                                |        | 18 吸引チューブの外側を清浄綿等で拭く                                       | 88.6%                       | 98.6%  | 98.6%  | 98.6%  | 100.0% |        |
|                                                |        | 19 滅菌精製水を吸引し吸引チューブ内側を清掃する                                  | 93.6%                       | 95.7%  | 100.0% | 97.9%  | 100.0% |        |
|                                                |        | 20 吸引器の電源を切る                                               | 95.0%                       | 97.9%  | 98.6%  | 98.6%  | 100.0% |        |
|                                                |        | 21 吸引チューブを連結管から外し保管容器に戻す（または廃棄する）                          | 92.1%                       | 96.4%  | 97.1%  | 99.3%  | 100.0% |        |
|                                                |        | 22 手袋をはずす（手袋を着用している場合）またはセッションを戻す                          | 94.3%                       | 95.0%  | 97.9%  | 99.3%  | 100.0% |        |
|                                                |        | 23 吸引終了時の利用者への声かけ・姿勢を整える                                   | 95.0%                       | 97.9%  | 98.6%  | 97.9%  | 100.0% |        |
|                                                |        | 24 次回使用時のための物品の確認をする（吸引瓶の状況・不足物品の補充）                       | 92.9%                       | 99.3%  | 98.6%  | 99.3%  | 100.0% |        |
|                                                |        | 25 手洗いをする                                                  | 93.6%                       | 97.1%  | 97.1%  | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                | 結果確認報告 |                                                            | 26 利用者の吸引前の状態と吸引後の状態変化を観察する | 97.9%  | 100.0% | 97.1%  | 99.3%  | 100.0% |
|                                                |        | 観察・確認事項                                                    | 27 顔色・呼吸の状態等について観察する        | 98.6%  | 99.3%  | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|                                                |        |                                                            | 28 利用者の全身状態について観察する         | 97.9%  | 98.6%  | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|                                                |        |                                                            | 29 吸引した物の量・性状等について観察する      | 99.3%  | 99.3%  | 98.6%  | 99.3%  | 100.0% |
| 30 吸引後に経鼻経管栄養チューブが口腔内に出ていないかを確認する（経鼻経管栄養実施者のみ） |        |                                                            | 92.9%                       | 95.6%  | 93.2%  | 98.3%  | 100.0% |        |
| 31 ケア責任者（看護職員）に報告する                            |        |                                                            | 97.1%                       | 99.3%  | 100.0% | 99.3%  | 100.0% |        |
| 32 ヒヤリハット・アクシデントの報告をする（該当する場合のみ）               |        |                                                            | 99.0%                       | 98.0%  | 99.0%  | 99.0%  | 100.0% |        |
| 片づけ                                            |        | 33 吸引びんの排液量が70%～80%になる前に排液を捨てる                             | 94.8%                       | 97.8%  | 99.3%  | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                |        | 34 使用物品を速やかに後片付けまたは交換する                                    | 95.7%                       | 97.1%  | 99.3%  | 100.0% | 100.0% |        |
| 評価記録                                           |        | 35 実施時刻、吸引した内容物の種類や性状及び量などを記録する                            | 99.3%                       | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |

(n=96～141)

=介護職全体に占める「ア」の割合が100%  
 =介護職全体に占める「ア」の割合が80%以上90%未満  
 =介護職全体に占める「ア」の割合が80%未満

#### 4) 経管栄養・胃ろう・腸ろう

指導者評価の結果から、「経管栄養・胃ろう・腸ろう」演習の1回目～5回目までについて、全26項目ごとの評価結果（演習実施介護職員のうち、「ア」評価を得た比率）を集計・表示した（図表5-10）。

1回目の75.0～92.9%が、5回目には97.1～100.0%にまで向上し、5回目では26項目中10項目までが100.0%（全介護職員が「ア」評価を得た）を達成している。

図表 5-10.「経管栄養・胃ろう・腸ろう」の演習評価（評価①）

数値は、被評価者（ケア実施介護職員）に占める「ア. 手引きの手順通りに実施できている」の割合（%）

| 評価                                                         |         | 回数                                 |                                       |       |       |        |        |        |
|------------------------------------------------------------|---------|------------------------------------|---------------------------------------|-------|-------|--------|--------|--------|
| ア. 手引きの手順通りに実施できている                                        |         |                                    |                                       |       |       |        |        |        |
| イ. この項目について、手引きの留意事項・考えられる主なリスクに記載されている細目レベルで、手順を抜かしたり間違えた |         |                                    |                                       |       |       |        |        |        |
| ウ. この項目について、抜かした                                           |         |                                    |                                       |       |       |        |        |        |
|                                                            |         | 回数                                 | 1回目                                   | 2回目   | 3回目   | 4回目    | 5回目    |        |
| 実施準備                                                       | 1       | 医師の指示等の確認を行う                       | 92.9%                                 | 94.3% | 97.8% | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                            | 2       | 手洗いをを行う                            | 87.9%                                 | 90.0% | 92.9% | 95.7%  | 100.0% |        |
|                                                            | 3       | 必要な物品を準備する                         | 87.9%                                 | 94.3% | 97.1% | 98.6%  | 100.0% |        |
|                                                            | 4       | 指示された栄養剤（流動食）の種類・量・温度・時間を確認する      | 79.3%                                 | 92.9% | 95.0% | 98.6%  | 99.3%  |        |
|                                                            | 5       | 経管栄養の注入準備を行う                       | 75.0%                                 | 90.7% | 95.0% | 95.7%  | 97.9%  |        |
|                                                            | 6       | 準備した栄養剤（流動食）を利用者のもとに運ぶ             | 90.7%                                 | 93.6% | 97.9% | 98.6%  | 100.0% |        |
| ケア実施                                                       | 7       | 利用者に本人確認を行い、胃ろう又は腸ろうによる経管栄養の説明を行う  | 87.1%                                 | 92.9% | 97.9% | 98.6%  | 100.0% |        |
|                                                            | 8       | 注入する栄養剤（流動食）が利用者本人のものかどうかを確認する     | 80.7%                                 | 89.3% | 92.1% | 97.9%  | 99.3%  |        |
|                                                            | 9       | 胃ろう・腸ろう栄養チューブの挿入部の状態を確認し体位及び環境を整える | 75.7%                                 | 85.0% | 88.6% | 89.3%  | 97.1%  |        |
|                                                            | 経管栄養の実施 | 10                                 | 注入を開始し、注入直後の様子を観察する                   | 87.9% | 93.6% | 96.4%  | 99.3%  | 100.0% |
|                                                            |         | 11                                 | 注入中の表情や状態を定期的に観察する                    | 85.7% | 93.6% | 97.1%  | 97.1%  | 98.6%  |
|                                                            |         | 12                                 | 利用者の体位を観察する                           | 77.1% | 85.7% | 87.9%  | 95.0%  | 100.0% |
|                                                            |         | 13                                 | 利用者の滴下の状態を観察する                        | 76.4% | 87.9% | 95.7%  | 97.1%  | 98.6%  |
|                                                            |         | 14                                 | 挿入部からの栄養剤（流動食）のものを確認する。               | 77.7% | 87.9% | 95.0%  | 97.1%  | 98.6%  |
|                                                            |         | 15                                 | 利用者に気分不快、腹部ぼう満感、おう気・おう吐などがないか確認する     | 87.9% | 91.4% | 95.0%  | 98.6%  | 99.3%  |
|                                                            |         | 16                                 | 注入終了後は白湯を注入し、状態を観察する                  | 78.6% | 86.4% | 95.0%  | 95.7%  | 99.3%  |
|                                                            |         | 17                                 | 連結を外し、逆流を防ぐために栄養点滴チューブを止めるとともに頭部を挙上する | 87.1% | 88.6% | 95.0%  | 99.3%  | 99.3%  |
| 結果確認報告                                                     | 18      | 利用者の状態を食後しばらく観察する                  | 90.0%                                 | 92.1% | 95.7% | 98.6%  | 99.3%  |        |
|                                                            | 観察事項    | 19                                 | 腹部ぼう満感がないか観察する                        | 89.3% | 88.6% | 94.3%  | 99.3%  | 99.3%  |
|                                                            |         | 20                                 | おう気・おう吐がないか観察する                       | 87.9% | 85.6% | 92.9%  | 100.0% | 99.3%  |
|                                                            |         | 21                                 | 腹痛・呼吸困難がないか観察する                       | 85.0% | 85.0% | 88.6%  | 93.6%  | 98.6%  |
|                                                            |         | 22                                 | 寝たきり者に対しては、異常がなければ体位変換を再開する           | 87.1% | 90.0% | 92.9%  | 98.6%  | 98.6%  |
|                                                            | 23      | ケア責任者（看護職員）に報告する                   | 84.3%                                 | 90.0% | 97.1% | 99.3%  | 100.0% |        |
|                                                            | 24      | ヒヤリハット・アクシデントの報告をする（該当する場合のみ）      | 87.5%                                 | 88.8% | 94.7% | 98.6%  | 97.2%  |        |
| 片づけ                                                        | 25      | 使用物品を後片付けする                        | 88.4%                                 | 92.8% | 96.4% | 98.6%  | 100.0% |        |
| 評価記録                                                       | 26      | 実施時刻、栄養剤（流動食）の種類、量等について記録する        | 87.1%                                 | 93.6% | 97.9% | 99.3%  | 100.0% |        |

(n=71～140)

=介護職全体に占める「ア」の割合が100%  
=介護職全体に占める「ア」の割合が80%以上90%未満  
=介護職全体に占める「ア」の割合が80%未満

## 5) 経管栄養・経鼻

指導者評価の結果から、「経管栄養・経鼻」演習の1回目～5回目までについて、全25項目ごとの評価結果（演習実施介護職員のうち、「ア」評価を得た比率）を集計・表示した（図表5-11）。

1回目の77.1～98.6%が、5回目には99.3～100.0%にまで向上し、5回目では25項目中19項目までが100.0%（全介護職員が「ア」評価を得た）を達成している。

図表 5-11.「経管栄養・経鼻」の演習評価(評価①)

数値は、被評価者(ケア実施介護職員)に占める「ア. 手引きの手順通りに実施できている」の割合(%)

| 評価                                                         |         | 回数                                             |                                       |       |        |        | 1回目    | 2回目    | 3回目 | 4回目 | 5回目 |
|------------------------------------------------------------|---------|------------------------------------------------|---------------------------------------|-------|--------|--------|--------|--------|-----|-----|-----|
| ア. 手引きの手順通りに実施できている                                        |         |                                                |                                       |       |        |        |        |        |     |     |     |
| イ. この項目について、手引きの留意事項・考えられる主なリスクに記載されている細目レベルで、手順を抜かしたり間違えた |         |                                                |                                       |       |        |        |        |        |     |     |     |
| ウ. この項目について、抜かした                                           |         |                                                |                                       |       |        |        |        |        |     |     |     |
|                                                            |         | 回数                                             | 1回目                                   | 2回目   | 3回目    | 4回目    | 5回目    |        |     |     |     |
| 実施準備                                                       | 1       | 医師の指示等の確認を行う                                   | 98.6%                                 | 99.3% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |     |     |     |
|                                                            | 2       | 手洗いをを行う                                        | 92.1%                                 | 92.1% | 94.3%  | 93.6%  | 100.0% |        |     |     |     |
|                                                            | 3       | 必要な物品を準備する                                     | 89.3%                                 | 97.1% | 98.6%  | 100.0% | 100.0% |        |     |     |     |
|                                                            | 4       | 指示された栄養剤（流動食）の種類・量・温度・時間を確認する                  | 84.3%                                 | 95.7% | 97.1%  | 96.4%  | 100.0% |        |     |     |     |
|                                                            | 5       | 経管栄養の注入準備を行う                                   | 86.4%                                 | 90.7% | 94.3%  | 94.3%  | 99.3%  |        |     |     |     |
|                                                            | 6       | 準備した栄養剤（流動食）を利用者のもとに運ぶ                         | 96.4%                                 | 97.1% | 97.9%  | 98.6%  | 100.0% |        |     |     |     |
| ケア実施                                                       | 7       | 利用者に本人確認を行い、処置の説明を行う                           | 95.7%                                 | 97.1% | 99.3%  | 99.3%  | 100.0% |        |     |     |     |
|                                                            | 8       | 注入する栄養剤（流動食）が利用者本人のものであるかを確認し、適切な体位をとり、環境を整備する | 83.6%                                 | 93.6% | 93.6%  | 96.4%  | 98.6%  |        |     |     |     |
|                                                            | 9       | 経鼻経管栄養チューブが正しく挿入されているかを確認し、適切な体位に整える           | 80.0%                                 | 87.1% | 87.9%  | 97.1%  | 100.0% |        |     |     |     |
|                                                            | 経管栄養の実施 | 10                                             | 注入を開始し、注入直後の様子を観察する                   | 95.0% | 97.1%  | 98.6%  | 100.0% | 100.0% |     |     |     |
|                                                            |         | 11                                             | 注入中の表情や状態を定期的に観察する                    | 92.9% | 96.4%  | 96.4%  | 99.3%  | 100.0% |     |     |     |
|                                                            |         | 12                                             | 利用者の体位を観察する                           | 81.4% | 87.1%  | 92.9%  | 95.7%  | 100.0% |     |     |     |
|                                                            |         | 13                                             | 利用者の滴下の状態を観察する                        | 77.9% | 90.0%  | 90.7%  | 97.1%  | 99.3%  |     |     |     |
|                                                            |         | 14                                             | 利用者に気分不快、腹部ぼう満感、おう気・おう吐などがないか確認する     | 89.3% | 95.0%  | 97.1%  | 100.0% | 99.3%  |     |     |     |
|                                                            |         | 15                                             | 注入終了後は白湯を注入し、状態を観察する                  | 92.9% | 92.9%  | 94.3%  | 98.6%  | 100.0% |     |     |     |
|                                                            |         | 16                                             | 連結を外し、逆流を防ぐために栄養点滴チューブを止めるとともに頭部を挙上する | 91.4% | 95.0%  | 97.9%  | 98.6%  | 99.3%  |     |     |     |
| 結果確認報告                                                     | 17      | 利用者の状態を食後しばらく観察する                              | 89.3%                                 | 97.9% | 98.6%  | 99.3%  | 100.0% |        |     |     |     |
|                                                            | 18      | 腹部ぼう満感がないか観察する                                 | 80.0%                                 | 95.7% | 95.7%  | 100.0% | 100.0% |        |     |     |     |
|                                                            | 19      | おう気・おう吐がないか観察する                                | 81.4%                                 | 96.4% | 97.1%  | 100.0% | 100.0% |        |     |     |     |
|                                                            | 20      | 腹痛・呼吸困難がないか観察する                                | 77.1%                                 | 91.4% | 94.3%  | 100.0% | 100.0% |        |     |     |     |
|                                                            | 21      | 寝たきり者に対しては、異常が無ければ体位変換を再開する                    | 80.0%                                 | 92.9% | 97.9%  | 99.3%  | 99.3%  |        |     |     |     |
|                                                            | 22      | ケア責任者（看護職員）に報告する                               | 91.4%                                 | 97.9% | 98.6%  | 99.3%  | 100.0% |        |     |     |     |
|                                                            | 23      | ヒヤリハット・アクシデントの報告をする（該当する場合のみ）                  | 96.1%                                 | 94.4% | 93.2%  | 97.4%  | 100.0% |        |     |     |     |
| 片づけ                                                        | 24      | 使用物品を後片付ける                                     | 97.1%                                 | 96.4% | 97.1%  | 100.0% | 100.0% |        |     |     |     |
| 評価記録                                                       | 25      | 実施時刻、栄養剤（流動食）の種類、量等について記録する                    | 96.4%                                 | 98.6% | 98.6%  | 100.0% | 100.0% |        |     |     |     |

(n=72～140)

=介護職全体に占める「ア」の割合が100%  
=介護職全体に占める「ア」の割合が80%以上90%未満  
=介護職全体に占める「ア」の割合が80%未満



## 6) 経管栄養・胃ろう・腸ろう(半固形)

指導者評価の結果から、「経管栄養・胃ろう・腸ろう(半固形)」演習の1回目～5回目までについて、全26項目ごとの評価結果(演習実施介護職員のうち、「ア」評価を得た比率)を集計・表示した(図表5-12)。

1回目の83.3～100.0%が、5回目には全項目100.0%(全介護職員が「ア」評価を得た)を達成している。但し、ケア実施介護職員数は4～6名である。

図表5-12「経管栄養・胃ろう・腸ろう(半固形)」の演習評価(評価①)

数値は、被評価者(ケア実施介護職員)に占める「ア. 手引きの手順通りに実施できている」の割合(%)

| 評価     |         | 回数                          |                                       |  |  |  | 1回目                                                        | 2回目    | 3回目    | 4回目    | 5回目    |        |
|--------|---------|-----------------------------|---------------------------------------|--|--|--|------------------------------------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
|        |         | ア. 手引きの手順通りに実施できている         |                                       |  |  |  | イ. この項目について、手引きの留意事項・考えられる主なリスクに記載されている細目レベルで、手順を抜かしたり間違えた |        |        |        |        |        |
|        |         | ウ. この項目について、抜かした            |                                       |  |  |  |                                                            |        |        |        |        |        |
| 実施準備   |         | 1                           | 医師の指示等の確認を行う                          |  |  |  |                                                            | 100.0% | 100.0% | 83.3%  | 100.0% | 100.0% |
|        |         | 2                           | 手洗いをを行う                               |  |  |  |                                                            | 83.3%  | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|        |         | 3                           | 必要な物品を準備する                            |  |  |  |                                                            | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|        |         | 4                           | 指示された栄養剤（流動食）の種類・量・温度・時間を確認する         |  |  |  |                                                            | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 83.3%  | 100.0% |
|        |         | 5                           | 経管栄養の注入準備を行う                          |  |  |  |                                                            | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|        |         | 6                           | 準備した栄養剤（流動食）を利用者のもとに運ぶ                |  |  |  |                                                            | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| ケア実施   | 経管栄養の実施 | 7                           | 利用者に本人確認を行い、胃ろう又は腸ろうによる経管栄養の説明を行う     |  |  |  |                                                            | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|        |         | 8                           | 注入する栄養剤（流動食）が利用者本人のものかどうかを確認する        |  |  |  |                                                            | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|        |         | 9                           | 胃ろう・腸ろう栄養チューブの挿入部の状態を確認し体位及び環境を整える    |  |  |  |                                                            | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|        |         | 10                          | 注入を開始し、注入直後の様子を観察する                   |  |  |  |                                                            | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|        |         | 11                          | 注入中の表情や状態を定期的に観察する                    |  |  |  |                                                            | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|        |         | 12                          | 利用者の体位を観察する                           |  |  |  |                                                            | —      | —      | —      | —      | —      |
|        |         | 13                          | 利用者の滴下の状態を観察する                        |  |  |  |                                                            | —      | —      | —      | —      | —      |
|        |         | 14                          | 挿入部からの栄養剤（流動食）のものを確認する。               |  |  |  |                                                            | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|        |         | 15                          | 利用者に気分不快、腹部ぼう満感、おう気・おう吐などがないか確認する     |  |  |  |                                                            | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|        |         | 16                          | 注入終了後は白湯を注入し、状態を観察する                  |  |  |  |                                                            | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|        |         | 17                          | 連結を外し、逆流を防ぐために栄養点滴チューブを止めるとともに頭部を挙上する |  |  |  |                                                            | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 結果確認報告 | 観察事項    | 18                          | 利用者の状態を食後しばらく観察する                     |  |  |  |                                                            | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|        |         | 19                          | 腹部ぼう満感がないか観察する                        |  |  |  |                                                            | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|        |         | 20                          | おう気・おう吐がないか観察する                       |  |  |  |                                                            | 83.3%  | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|        |         | 21                          | 腹痛・呼吸困難がないか観察する                       |  |  |  |                                                            | 83.3%  | 100.0% | 100.0% | 83.3%  | 100.0% |
|        |         | 22                          | 寝たきり者に対しては、異常がなければ体位変換を再開する           |  |  |  |                                                            | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|        |         | 23                          | ケア責任者（看護職員）に報告する                      |  |  |  |                                                            | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|        |         | 24                          | ヒヤリハット・アクシデントの報告をする（該当する場合のみ）         |  |  |  |                                                            | —      | —      | —      | —      | —      |
| 片づけ    | 25      | 使用物品を後片付ける                  |                                       |  |  |  | 100.0%                                                     | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
| 評価記録   | 26      | 実施時刻、栄養剤（流動食）の種類、量等について記録する |                                       |  |  |  | 100.0%                                                     | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |

(n=4～6)

=介護職全体に占める「ア」の割合が100%  
=介護職全体に占める「ア」の割合が80%以上90%未満  
=介護職全体に占める「ア」の割合が80%未満

## 7) たんの吸引・口腔内(人工呼吸器装着)

指導者評価の結果から、「たんの吸引・口腔内(人工呼吸器装着)」演習の1回目～5回目までについて、全39項目ごとの評価結果(演習実施介護職員のうち、「ア」評価を得た比率)を集計・表示した(図表5-13)。

1回目の96.2～100.0%が、4回目と5回目には全項目100.0%(全介護職員が「ア」評価を得た)を達成している。但し、ケア実施介護職員数は19～26名である。

図表 5-13.「たんの吸引・口腔内(人工呼吸器装着)」の演習評価(評価①)

数値は、被評価者(ケア実施介護職員)に占める「ア. 手引きの手順通りに実施できている」の割合(%)

| 評価     | 回数                  |                                                    |  |  |  |  |
|--------|---------------------|----------------------------------------------------|--|--|--|--|
|        | 1回目 2回目 3回目 4回目 5回目 |                                                    |  |  |  |  |
| 実施準備   | 1                   | 医師の指示等の確認を行う                                       |  |  |  |  |
|        | 2                   | 手洗いをを行う                                            |  |  |  |  |
|        | 3                   | 必要物品をそろえ、作動状況等を点検確認する                              |  |  |  |  |
|        | 4                   | 必要物品を利用者のもとへ運ぶ                                     |  |  |  |  |
| ケア実施   | 5                   | 利用者に吸引の説明をする                                       |  |  |  |  |
|        | 6                   | 吸引の環境・利用者の姿勢を整える                                   |  |  |  |  |
|        | 7                   | 口腔内・鼻腔内を観察する                                       |  |  |  |  |
|        | 8                   | 手袋の着用またはセッションを持つ                                   |  |  |  |  |
|        | 9                   | 吸引チューブを清潔に取り出す                                     |  |  |  |  |
|        | 10                  | 吸引チューブを清潔に吸引器と連結管で連結する                             |  |  |  |  |
|        | 11                  | (浸漬法の場合) 吸引チューブ外側を清浄綿等で拭く                          |  |  |  |  |
|        | 12                  | 吸引器のスイッチを入れて水を吸い決められた吸引圧になることを確認する                 |  |  |  |  |
|        | 13                  | 吸引チューブの先端の水をよく切る                                   |  |  |  |  |
|        | 14                  | 利用者に吸引の開始について声をかける                                 |  |  |  |  |
|        | 15                  | 口鼻マスクまたは鼻マスクをはすず(注)                                |  |  |  |  |
|        | 16                  | 適切な吸引圧で適切な深さまで吸引チューブを挿入する                          |  |  |  |  |
|        | 17                  | 適切な吸引時間で分泌物等の貯留物を吸引する                              |  |  |  |  |
|        | 18                  | 吸引チューブを静かに抜く                                       |  |  |  |  |
|        | 19                  | 口鼻マスク・鼻マスクを適切に戻す(注)                                |  |  |  |  |
|        | 20                  | 吸引チューブの外側を清浄綿等で拭く                                  |  |  |  |  |
|        | 21                  | 洗浄水を吸引し、吸引チューブ内側の汚れを落とす                            |  |  |  |  |
|        | 22                  | 吸引器の電源を切る                                          |  |  |  |  |
|        | 23                  | 吸引チューブを連結管から外し保管容器に戻す(または廃棄する)                     |  |  |  |  |
|        | 24                  | 手袋をはすず(手袋を着用している場合)またはセッションを戻す                     |  |  |  |  |
|        | 25                  | 吸引終了時の利用者への声かけ・姿勢を整える                              |  |  |  |  |
|        | 26                  | 次回使用時のための物品の確認をする(吸引瓶の状況・不足物品の補充)                  |  |  |  |  |
|        | 27                  | 手洗いをする                                             |  |  |  |  |
| 結果確認報告 | 28                  | 利用者の吸引前の状態と吸引後の状態変化を観察する                           |  |  |  |  |
|        | 29                  | 顔色・呼吸の状態等について観察する                                  |  |  |  |  |
|        | 30                  | 利用者の全身状態について観察する                                   |  |  |  |  |
|        | 31                  | (鼻腔の場合) 鼻血や口腔内への血液の流れ込みの有無等について観察する                |  |  |  |  |
|        | 32                  | 吸引した物の量・性状等について観察する                                |  |  |  |  |
|        | 33                  | 吸引後に経鼻経管栄養チューブが口腔内に出てきていないかを確認する(経鼻経管栄養実施者のみ)      |  |  |  |  |
|        | 34                  | 人工呼吸器が正常に作動していること・口鼻マスクまたは鼻マスクの装着感が通常通りであることを確認をする |  |  |  |  |
|        | 35                  | ケア責任者(看護職員)に報告する                                   |  |  |  |  |
|        | 36                  | ヒヤリハット・アクシデントの報告をする(該当する場合のみ)                      |  |  |  |  |
| 片づけ    | 37                  | 吸引びんの排液量が70%～80%になる前に排液を捨てる                        |  |  |  |  |
|        | 38                  | 使用物品を速やかに後片付けまたは交換する                               |  |  |  |  |
| 評価記録   | 39                  | 実施時刻、吸引した内容物の種類や性状及び量などを記録する                       |  |  |  |  |

(n=19～26)

100.0% =介護職全体に占める「ア」の割合が100%  
88.5% =介護職全体に占める「ア」の割合が80%以上90%未満  
86.2% =介護職全体に占める「ア」の割合が80%未満

## 8) たんの吸引・鼻腔内(人工呼吸器装着)

指導者評価の結果から、「たんの吸引・鼻腔内(人工呼吸器装着)」演習の1回目～5回目までについて、全39項目ごとの評価結果(演習実施介護職員のうち、「ア」評価を得た比率)を集計・表示した(図表5-14)。

1回目の57.1～100.0%が、4回目と5回目には全項目100.0%(全介護職員が「ア」評価を得た)を達成している。但し、ケア実施介護職員数は3～7名である。

図表 5-14.「たんの吸引・鼻腔内(人工呼吸器装着)」の演習評価(評価①)

数値は、被評価者(ケア実施介護職員)に占める「ア. 手引きの手順通りに実施できている」の割合(%)

| 評価                                                    |                                      | ア. 手引きの手順通りに実施できている                                        |                                      |        |        |        |        |        |
|-------------------------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------------------------------|--------------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
|                                                       |                                      | イ. この項目について、手引きの留意事項・考えられる主なリスクに記載されている細目レベルで、手順を抜かしたり間違えた |                                      |        |        |        |        |        |
|                                                       |                                      | ウ. この項目について、抜かした                                           |                                      |        |        |        |        |        |
|                                                       |                                      | 回数                                                         | 1回目                                  | 2回目    | 3回目    | 4回目    | 5回目    |        |
| 実施準備                                                  |                                      | 1 医師の指示等の確認を行う                                             | 100.0%                               | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                       |                                      | 2 手洗いをを行う                                                  | 100.0%                               | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                       |                                      | 3 必要物品をそろえ、作動状況等を点検確認する                                    | 57.1%                                | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                       |                                      | 4 必要物品を利用者のもとへ運ぶ                                           | 100.0%                               | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
| ケア実施                                                  | 吸引の実施                                | 5 利用者に吸引の説明をする                                             | 100.0%                               | 85.7%  | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                       |                                      | 6 吸引の環境・利用者の姿勢を整える                                         | 85.7%                                | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                       |                                      | 7 口腔内・鼻腔内を観察する                                             | 85.7%                                | 85.7%  | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                       |                                      | 8 手袋の着用またはセッションを持つ                                         | 100.0%                               | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                       |                                      | 9 吸引チューブを清潔に取り出す                                           | 85.7%                                | 85.7%  | 85.7%  | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                       |                                      | 10 吸引チューブを清潔に吸引器と連結管で連結する                                  | 100.0%                               | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                       |                                      | 11（浸漬法の場合）吸引チューブ外側を清浄綿等で拭く                                 | 100.0%                               | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                       |                                      | 12 吸引器のスイッチを入れて水を吸い決められた吸引圧になることを確認する                      | 100.0%                               | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                       |                                      | 13 吸引チューブの先端の水をよく切る                                        | 100.0%                               | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                       |                                      | 14 利用者に吸引の開始について声かけをする                                     | 100.0%                               | 85.7%  | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                       |                                      | 15 口鼻マスクまたは鼻マスクをはずす（注）                                     | 85.7%                                | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                       |                                      | 16 適切な吸引圧で適切な深さまで吸引チューブを挿入する                               | 85.7%                                | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                       |                                      | 17 適切な吸引時間で分泌物等の貯留物を吸引する                                   | 100.0%                               | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                       |                                      | 18 吸引チューブを静かに抜く                                            | 100.0%                               | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                       |                                      | 19 口鼻マスク・鼻マスクを適切に戻す（注）                                     | 85.7%                                | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                       |                                      | 20 吸引チューブの外側を清浄綿等で拭く                                       | 100.0%                               | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                       |                                      | 21 洗浄水を吸引し、吸引チューブ内側の汚れを落とす                                 | 71.4%                                | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                       |                                      | 22 吸引器の電源を切る                                               | 71.4%                                | 85.7%  | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                       |                                      | 23 吸引チューブを連結管から外し保管容器に戻す（または廃棄する）                          | 100.0%                               | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                       | 24 手袋をはずす（手袋を着用している場合）またはセッションを戻す    | 100.0%                                                     | 100.0%                               | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |        |
|                                                       | 25 吸引終了時の利用者への声かけ・姿勢を整える             | 57.1%                                                      | 100.0%                               | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |        |
|                                                       | 26 次回使用時のための物品の確認をする（吸引瓶の状況・不足物品の補充） | 100.0%                                                     | 100.0%                               | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |        |
|                                                       | 27 手洗いをする                            | 100.0%                                                     | 100.0%                               | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |        |
|                                                       | 結果確認報告                               | 観察・確認事項                                                    | 28 利用者の吸引前の状態と吸引後の状態変化を観察する          | 85.7%  | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|                                                       |                                      |                                                            | 29 顔色・呼吸の状態等について観察する                 | 85.7%  | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|                                                       |                                      |                                                            | 30 利用者の全身状態について観察する                  | 85.7%  | 85.7%  | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|                                                       |                                      |                                                            | 31（鼻腔の場合）鼻血や口腔内への血液の流れ込みの有無等について観察する | —      | —      | —      | —      | —      |
| 32 吸引した物の量・性状等について観察する                                |                                      |                                                            | 100.0%                               | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
| 33 吸引後に経鼻経管栄養チューブが口腔内に出てきていないかを確認する（経鼻経管栄養実施者のみ）      |                                      |                                                            | 100.0%                               | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
| 34 人工呼吸器が正常に作動していること・口鼻マスクまたは鼻マスクの装着感が通常通りであることを確認をする |                                      |                                                            | 85.7%                                | 85.7%  | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
| 35 ケア責任者（看護職員）に報告する                                   |                                      |                                                            | 100.0%                               | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
| 36 ヒヤリハット・アクシデントの報告をする（該当する場合のみ）                      |                                      |                                                            | 100.0%                               | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
| 片づけ                                                   | 37 吸引びんの排液量が70％～80％になる前に排液を捨てる       | —                                                          | —                                    | —      | —      | —      |        |        |
|                                                       | 38 使用物品を速やかに後片付けまたは交換する              | —                                                          | —                                    | —      | —      | —      |        |        |
| 評価記録                                                  | 39 実施時刻、吸引した内容物の種類や性状及び量などを記録する      | —                                                          | —                                    | —      | —      | —      |        |        |

(n=3～7)

＝介護職全体に占める「ア」の割合が100%

＝介護職全体に占める「ア」の割合が80%以上90%未満

＝介護職全体に占める「ア」の割合が80%未満



## 9) たんの吸引・気管カニューレ内部(人工呼吸器装着)

指導者評価の結果から、「たんの吸引・気管カニューレ内部(人工呼吸器装着)」演習の1回目～5回目までについて、全39項目ごとの評価結果(演習実施介護職員のうち、「ア」評価を得た比率)を集計・表示した(図表5-15)。

1回目の69.0～100.0%が、5回目には97.6～100.0%にまで向上し、5回目では39項目中36項目までが100.0%(全介護職員が「ア」評価を得た)を達成している。但し、ケア実施介護職員数は35～42名である。

図表 5-15.「たんの吸引・気管カニューレ内部(人工呼吸器装着)」の演習評価(評価①)

数値は、被評価者(ケア実施介護職員)に占める「ア、手引きの手順通りに実施できている」の割合(%)

| 評価                                               |                                      | 回数                                                        |                             |        |        |        |        |        |
|--------------------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------------------------------|-----------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
|                                                  |                                      | ア、手引きの手順通りに実施できている                                        |                             |        |        |        |        |        |
|                                                  |                                      | イ、この項目について、手引きの留意事項・考えられる主なリスクに記載されている細目レベルで、手順を抜かしたり間違えた |                             |        |        |        |        |        |
|                                                  |                                      | ウ、この項目について、抜かした                                           |                             |        |        |        |        |        |
|                                                  |                                      | 回数                                                        | 1回目                         | 2回目    | 3回目    | 4回目    | 5回目    |        |
| 実施準備                                             |                                      | 1 医師の指示等の確認を行う                                            | 100.0%                      | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                  |                                      | 2 手洗いをを行う                                                 | 100.0%                      | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                  |                                      | 3 必要物品をそろえ、作動状況等を点検確認する                                   | 95.2%                       | 100.0% | 100.0% | 95.1%  | 100.0% |        |
|                                                  |                                      | 4 必要物品を利用者のもとへ運ぶ                                          | 97.6%                       | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
| ケア実施                                             | 吸引の実施                                | 5 利用者に吸引の説明を行う                                            | 95.2%                       | 97.6%  | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                  |                                      | 6 吸引の環境・利用者の姿勢を整える                                        | 88.1%                       | 97.6%  | 100.0% | 95.1%  | 100.0% |        |
|                                                  |                                      | 7 気管カニューレ周囲や固定の状態、人工呼吸器の作動状況を観察する                         | 69.0%                       | 90.5%  | 90.5%  | 95.1%  | 100.0% |        |
|                                                  |                                      | 8 手袋の着用またはセッソを持つ                                          | 92.9%                       | 97.6%  | 97.6%  | 97.6%  | 100.0% |        |
|                                                  |                                      | 9 吸引チューブを清潔に取り出す                                          | 92.9%                       | 95.2%  | 97.6%  | 97.6%  | 100.0% |        |
|                                                  |                                      | 10 吸引チューブを清潔に吸引器と連結管で連結する                                 | 95.2%                       | 97.6%  | 100.0% | 97.6%  | 100.0% |        |
|                                                  |                                      | 11 (浸漬法の場合) 吸引チューブ外側を清浄綿等で拭く                              | 100.0%                      | 97.6%  | 100.0% | 97.5%  | 100.0% |        |
|                                                  |                                      | 12 吸引器のスイッチを入れて水を吸い決められた吸引圧になることを確認する                     | 95.2%                       | 100.0% | 97.6%  | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                  |                                      | 13 吸引チューブ先端の水をよく切る                                        | 100.0%                      | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                  |                                      | 14 利用者に吸引の開始について声をかける                                     | 97.6%                       | 95.2%  | 100.0% | 100.0% | 97.6%  |        |
|                                                  |                                      | 15 人工呼吸器の接続を外す                                            | 90.5%                       | 97.6%  | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                  |                                      | 16 適切な吸引圧で適切な深さまで吸引チューブを挿入する                              | 92.9%                       | 97.6%  | 100.0% | 95.1%  | 100.0% |        |
|                                                  |                                      | 17 適切な吸引時間で気管カニューレ内の分泌物等の貯留物を吸引する                         | 100.0%                      | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                  |                                      | 18 吸引チューブを静かに抜く                                           | 100.0%                      | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                  |                                      | 19 人工呼吸器の接続を元に戻す                                          | 83.3%                       | 88.1%  | 97.6%  | 100.0% | 100.0% |        |
|                                                  |                                      | 20 吸引チューブの外側を清浄綿等で拭く                                      | 97.6%                       | 97.6%  | 100.0% | 100.0% | 97.6%  |        |
|                                                  |                                      | 21 滅菌精製水を吸引し吸引チューブ内側を清掃する                                 | 95.2%                       | 97.6%  | 100.0% | 97.6%  | 100.0% |        |
|                                                  |                                      | 22 吸引器の電源を切る                                              | 100.0%                      | 97.6%  | 100.0% | 97.6%  | 100.0% |        |
|                                                  | 23 吸引チューブを連結管から外し保管容器に戻す(または廃棄する)    | 95.2%                                                     | 100.0%                      | 95.2%  | 97.6%  | 100.0% |        |        |
|                                                  | 24 手袋をはずす(手袋を着用している場合)またはセッソを戻す      | 95.2%                                                     | 95.2%                       | 100.0% | 95.1%  | 100.0% |        |        |
|                                                  | 25 吸引終了時の利用者への声かけ・姿勢を整える             | 92.9%                                                     | 95.2%                       | 97.6%  | 97.6%  | 100.0% |        |        |
|                                                  | 26 人工呼吸器が正常に作動していることを確認する            | 90.5%                                                     | 92.9%                       | 97.6%  | 92.7%  | 97.6%  |        |        |
|                                                  | 27 次回使用時のための物品の確認をする(吸引瓶の状況・不足物品の補充) | 92.9%                                                     | 100.0%                      | 100.0% | 95.1%  | 100.0% |        |        |
|                                                  | 28 手洗いをする                            | 90.5%                                                     | 95.2%                       | 100.0% | 95.1%  | 100.0% |        |        |
|                                                  | 結果確認報告                               | 観察・確認事項                                                   | 29 利用者の吸引前の状態と吸引後の状態変化を観察する | 85.7%  | 97.6%  | 100.0% | 97.6%  | 100.0% |
|                                                  |                                      |                                                           | 30 顔色・呼吸の状態等について観察する        | 100.0% | 97.6%  | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|                                                  |                                      |                                                           | 31 利用者の全身状態について観察する         | 97.6%  | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
|                                                  |                                      |                                                           | 32 吸引した物の量・性状等について観察する      | 97.6%  | 100.0% | 97.6%  | 97.6%  | 100.0% |
| 33 吸引後に経鼻経管栄養チューブが口腔内に出てきていないかを確認する(経鼻経管栄養実施者のみ) |                                      |                                                           | 83.3%                       | 92.9%  | 97.6%  | 92.7%  | 100.0% |        |
| 34 (再度) 人工呼吸器が正常に作動していることを確認をする                  |                                      |                                                           | 88.1%                       | 90.5%  | 97.6%  | 95.1%  | 100.0% |        |
| 35 ケア責任者(看護職員)に報告する                              |                                      |                                                           | 95.2%                       | 97.6%  | 100.0% | 100.0% | 100.0% |        |
| 36 ヒヤリハット・アクシデントの報告をする(該当する場合のみ)                 |                                      |                                                           | 95.2%                       | 92.5%  | 100.0% | 97.4%  | 100.0% |        |
| 片づけ                                              | 37 吸引びんの排液量が70%~80%になる前に排液を捨てる       | 97.6%                                                     | 100.0%                      | 100.0% | 97.6%  | 100.0% |        |        |
|                                                  | 38 使用物品を速やかに後片付けまたは交換する              | 92.9%                                                     | 92.9%                       | 97.6%  | 100.0% | 100.0% |        |        |
| 評価記録                                             | 39 実施時刻、吸引した内容物の種類や性状及び量などを記録する      | 97.6%                                                     | 100.0%                      | 100.0% | 97.6%  | 100.0% |        |        |

(n=35～42)

＝介護職全体に占める「ア」の割合が100%

＝介護職全体に占める「ア」の割合が80%以上90%未満

＝介護職全体に占める「ア」の割合が80%未満

## 2. 評価②（実地研修からケアの試行へ）

### （1）実地研修の評価方法（プロセス評価）

#### ①基本方針

介護職員が、指導看護師の指導を受けながら、ケア実施対象者の心身の状態を正確に観察し、指導看護師と連携し医師に報告し、その指示に基づいて、たんの吸引及び経管栄養を安全、安楽かつ効果的に実施でき、習得した技術が適正に評価されること。

#### ②評価方法

ケア実施の手引きに基づくプロセス評価（指導者評価票及び自己評価票）の実施、並びにヒヤリハット・アクシデント報告書への記入。

#### ③評価項目と項目数

図表 6-1.実地研修の所定回数と評価項目数（評価②）

| ケアの種類                     | ケア実施回数 | 評価項目数 |
|---------------------------|--------|-------|
| たんの吸引・口腔内（通常手順）           | 10 回以上 | 36 項目 |
| たんの吸引・鼻腔内（通常手順）           | 20 回以上 | 36 項目 |
| たんの吸引・気管カニューレ内部（通常手順）     | 20 回以上 | 35 項目 |
| 経管栄養・胃ろう・腸ろう              | 20 回以上 | 26 項目 |
| 経管栄養・経鼻                   | 20 回以上 | 25 項目 |
| たんの吸引・口腔内（人工呼吸器装着者）       | 20 回以上 | 39 項目 |
| たんの吸引・鼻腔内（人工呼吸器装着者）       | 20 回以上 | 39 項目 |
| たんの吸引・気管カニューレ内部（人工呼吸器装着者） | 20 回以上 | 39 項目 |

※記入用紙（ケア別の具体的な評価項目内容）は、P92～P100 を参照（評価項目の内容は基本研修・演習と同一だが、評価基準は異なる）。

#### ④評価基準（4段階）

実地研修の評価は、以下のア～エの 4 段階で指導者及び介護職員自身が評価する。

- ア.「1 人で実施し、ケア実施の手引きの手順通りに実施できている」
- イ.「1 人で実施しているが、ケア実施の手引きの手順を抜かしたり間違えており、実施後に指導した（指導を受けた）」
- ウ.「1 人で実施しているが、ケア実施の手引きの手順を抜かしたり間違えており、その場で指導した（指導を受けた）」（その場では見逃せないレベル）
- エ.「1 人での実施を任せられるレベルにはない（任せてもらえない）」

#### ⑤実地研修の実施手順と評価

- 1) ケア実施対象者として選定された標準的なレベルの利用者（※）に対して、指導看護師が 1 回実施（指導）する。
- 2) 講師の実施（指導）を見学後、1) の標準的なレベルの利用者について 5 回実施する。  
原則として、同一ケア実施対象者に対して実施するが、やむを得ない場合には別の新たなケア実施対象者に実施することができる。

- 3) 6回目以降はケア実施対象者選定の条件は設けないが、新たなケア実施対象者については指導看護師が1回実施（指導）し、介護職員が所定の回数のたんの吸引及び経管栄養のケアを実施する。
- 4) 新たなケア実施対象者は複数名（3名以上）とする。
- 5) 実施する毎にプロセス評価票（指導者評価票及び自己評価票）に記録する。指導者及び介護職員は毎回、一緒にプロセス評価票に基づいて振り返りを行い、介護職員は次の演習の改善につなげる。
- 6) 実施の評価は、口腔内吸引と鼻腔内吸引を連続して実施した場合、口腔内吸引、鼻腔内吸引がそれぞれ1回終了したこととなる。
- 7) 連続して複数の部位の吸引を実施した場合、「実施準備」「結果報告確認」「片付け」の欄については一箇所の部位の項で記入（評価）されていれば、同時に実施した他の部位の項に記入（評価）する必要はない。
- 8) 規定の回数を終了する以前に、たんの吸引等を完全に実施できる（指導者評価において、全てのプロセス評価の評価項目で「ア」と評価される）ようになった場合でも、全介護職員が、【たんの吸引】口腔10回以上、鼻腔20回以上、気管カニューレ内部20回以上、【経管栄養】胃ろう又は腸ろうによる経管栄養20回以上、経鼻経管栄養20回以上、の実施を行う。
- 9) 指導者評価において、全てのプロセス評価の評価項目で、「ア」の個数が、たんの吸引では22個以上、経管栄養では16個以上になった以降については、その後、指導者評価又は自己評価の評価項目で「イ」又は「ウ」となった場合に、介護職員は所定の報告様式（ヒヤリハット・アクシデント報告書）を記入する（評価方法についてはP102～103を、評価項目についてはP92-100を参照）。

※文中の「標準的なレベルの利用者」とは、以下の4点を満たす者であること。

- ・病状が安定しており、介護職員がたんの吸引等を実施可能であると、医師の承認が得られる者
- ・ケア実施対象者本人又は家族等が、介護職員等がたんの吸引等を実施について同意している者
- ・暴力・暴言等拒否的態度がない者
- ・特殊な技術や器具を用いる必要がない者

## (2) 実地研修の評価結果(プロセス評価)

### ①実地研修の実施状況

実地研修実施予定の介護職員 141 名（基本研修を終了し、実地研修への進行を認められた者）のうち研修を実施できたのは、「たんの吸引・口腔内」では 135 名、「たんの吸引・鼻腔内」では 130 名、「経管栄養・胃ろう・腸ろう」では 137 名であったが、一方、「たんの吸引・気管カニューレ内部」は 141 名のうち 67 名、「経管栄養・経鼻」は 105 名のみに留まっており、実地研修を実施した人数は、ケアの種類ごとに大きな差が出る結果となった（図表 6-2）。

また、研修を開始できずに「研修中止」となったケースも多く、「たんの吸引・気管カニューレ内部」で 74 名、「経管栄養・経鼻」で 36 名、「たんの吸引・気管カニューレ内部（人工呼吸器装着）」で 22 名に達した。一方、実地研修を開始しても、1 回も実施できない例も、「たんの吸引・気管カニューレ内部」で 12 名、「経管栄養・経鼻」で 10 名と、少なからず発生している。

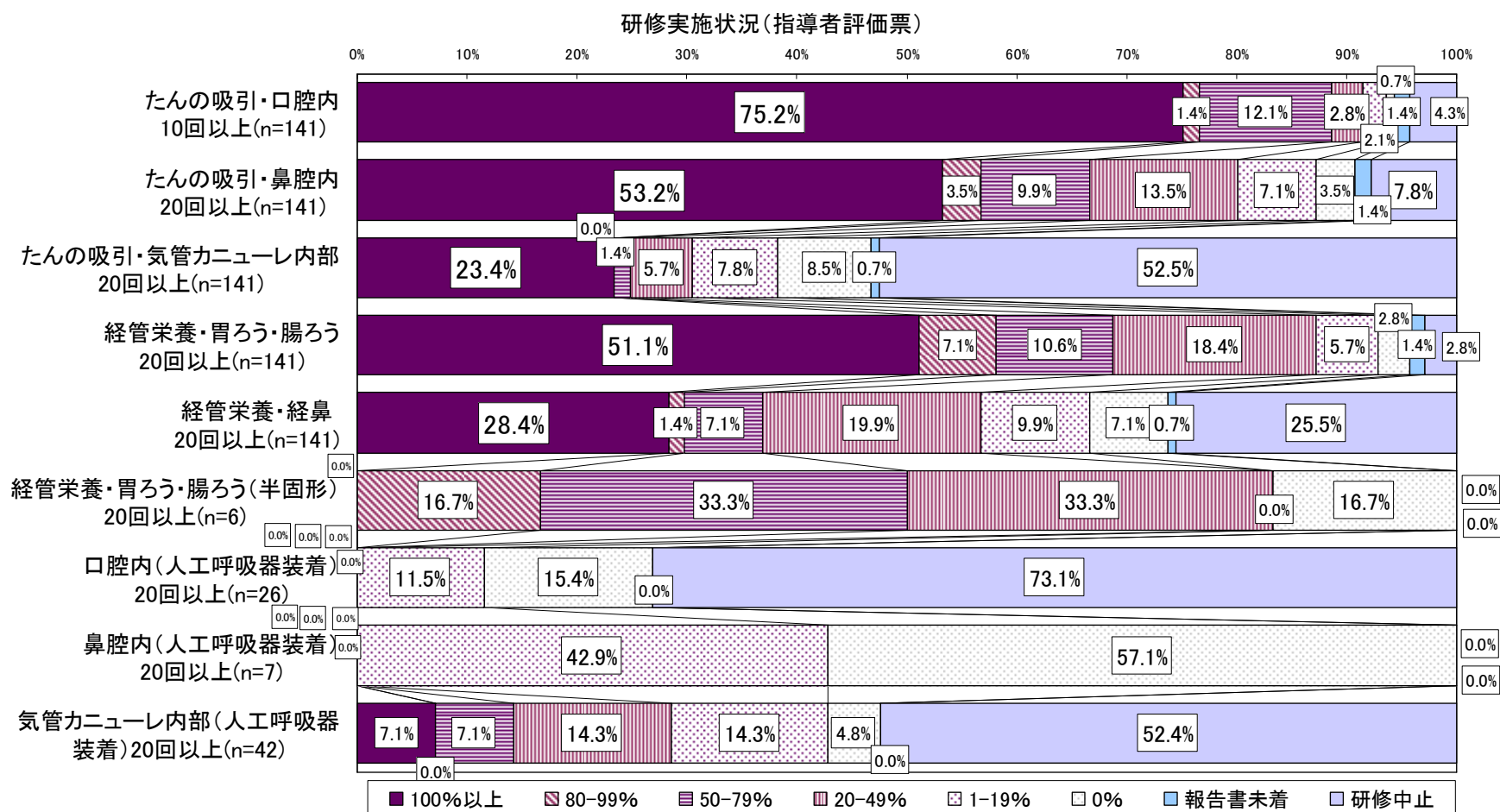
改めて、所定回数（口腔 10 回以上、口腔以外 20 回以上）の達成状況を構成比率でみると、ケアの種類ごとに大きな差がでていることがわかる。所定回数に対し「100%以上」の達成は、「たんの吸引・口腔内」で約 75%、「たんの吸引・鼻腔内」で約 53%、「たんの吸引・気管カニューレ内部」で約 23%、「経管栄養・胃ろう・腸ろう」で約 51%、「経管栄養・経鼻」で約 28%とやはり大きくバラついている（図表 6-3）。また、当初実施予定の介護職員がもともと少なかった、胃ろう・腸ろう（半固形）、人工呼吸器装着の口腔・鼻腔・気管カニューレ内部の 4 ケアの実施状況は、前述 5 ケアよりもさらに低くなった（図表 6-3）。

なお、研修の中止理由、あるいは実地研修が予定通り進まなかった理由としては、「ケア実施対象者が確保できなかった」という声を多く聞いた。他には、「最終的な同意を取れなかった」、「期間中にケア実施対象者の体調が変化した」「ケアが必要となる状況が発生しなかった」、「インフルエンザの発生でフロアや施設内への立入が禁止された」、「入院・転出」「死亡」、「指導看護師と介護職員の勤務シストや業務日程調整ができなかった」「指導看護師の突然の退職」などがあげられた。

図表 6-2.実地研修の実施状況(実数) (評価②)

| ケアの種類(所定回数)               | 当初<br>予定者 | 研修<br>実施 | 達成     | 当初の所定回数の未達成 |        |        |       |     |           | 未達成計      |     | 研修<br>中止 |
|---------------------------|-----------|----------|--------|-------------|--------|--------|-------|-----|-----------|-----------|-----|----------|
|                           |           |          | 100%以上 | 80-99%      | 50-79% | 20-49% | 1-19% | 0%  | 報告書<br>未着 | 対実施<br>比率 | 人数  |          |
| たんの吸引・口腔内(10回以上)          | 141名      | 135名     | 106名   | 2名          | 17名    | 4名     | 3名    | 1名  | 2名        | 21.5%     | 29名 | 6名       |
| たんの吸引・鼻腔内(20回以上)          | 141名      | 130名     | 75名    | 5名          | 14名    | 19名    | 10名   | 5名  | 2名        | 42.3%     | 55名 | 11名      |
| たんの吸引・気管カニューレ内部(20回以上)    | 141名      | 67名      | 33名    | 0名          | 2名     | 8名     | 11名   | 12名 | 1名        | 50.7%     | 34名 | 74名      |
| 経管栄養・胃ろう・腸ろう(20回以上)       | 141名      | 137名     | 72名    | 10名         | 15名    | 26名    | 8名    | 4名  | 2名        | 47.4%     | 65名 | 4名       |
| 経管栄養・経鼻(20回以上)            | 141名      | 105名     | 40名    | 2名          | 10名    | 28名    | 14名   | 10名 | 1名        | 61.9%     | 65名 | 36名      |
| 経管栄養・胃ろう・腸ろう(半固形)(20回以上)  | 6名        | 6名       | 0名     | 1名          | 2名     | 2名     | 0名    | 1名  | 0名        | 100.0%    | 6名  | 0名       |
| 口腔内(人工呼吸器装着)(20回以上)       | 26名       | 7名       | 0名     | 0名          | 0名     | 0名     | 3名    | 4名  | 0名        | 100.0%    | 7名  | 19名      |
| 鼻腔内(人工呼吸器装着)(20回以上)       | 7名        | 7名       | 0名     | 0名          | 0名     | 0名     | 3名    | 4名  | 0名        | 100.0%    | 7名  | 0名       |
| 気管カニューレ内部(人工呼吸器装着)(20回以上) | 42名       | 20名      | 3名     | 0名          | 3名     | 6名     | 6名    | 2名  | 0名        | 85.0%     | 17名 | 22名      |

図表 6-3 実地研修の実施状況(構成比) (評価②)



## ②評価指標について

今回、実地研修の習熟状況を評価する指標として、「累積の成功率」と「連続3回成功者比率」の2つの指標を採用する。

### 1)累積の成功率

「累積の成功率」とは、当該実施回までに、指導者評価票の全評価項目が「ア」となった回数が占める割合（比率）を意味し、以下の方法で算出する。

$$\text{累積の成功率} = (\text{ケア実施介護職員の累積成功回数の平均値}) \div \text{実施回数} \times 100$$

「累積の成功率」によって、ケア実施介護職員の当該実施回の成功・不成功ではなく、当該実施回に至るまでの過程（過去の結果）を含めた成功率を評価する。

図表 6-4.累積成功率の意味と算出手順(評価②)

#### ▼ケア実施介護職員の累積成功率の算出

| 成功「1」、不成功「0」の記録 |       |       |       |       |       |       |       |       |        |       | 累積成功回数 |     |     |     |     |     |     |     |     |      |        | (累積)                      |  |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|--------|---------------------------|--|
|                 | 1st   | 2nd   | 3rd   | 4th   | 5th   | 6th   | 7th   | 8th   | 9th    | 10th  | 1st    | 2nd | 3rd | 4th | 5th | 6th | 7th | 8th | 9th | 10th | 成功率    |                           |  |
| 職員A             | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1      | 1     | 1      | 2   | 3   | 4   | 5   | 6   | 7   | 8   | 9   | 10   | 100.0% | → 成功回数80%だが、実<br>集回数は5回のみ |  |
| 職員B             | 0     | 0     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1      | 1     | 0      | 0   | 1   | 2   | 3   | 4   | 5   | 6   | 7   | 8    | 80.0%  |                           |  |
| 職員C             | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     |       |       |        |       | 1      | 2   | 3   | 4   | 5   |     |     |     |     |      | 100.0% |                           |  |
| 職員D             | 1     | 1     | 1     | 1     | 0     |       |       |       |        |       | 1      | 2   | 3   | 4   | 4   |     |     |     |     |      | 80.0%  |                           |  |
| 職員E             | 0     | 0     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1      | 1     | 0      | 0   | 1   | 2   | 3   | 4   | 5   | 6   | 7   | 8    | 80.0%  |                           |  |
| 職員F             | 0     | 0     | 0     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1      | 1     | 0      | 0   | 0   | 1   | 2   | 3   | 4   | 5   | 6   | 7    | 70.0%  | → 後半は連続して成功<br>【安定】       |  |
| 職員G             | 0     | 0     | 0     | 0     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1      | 1     | 0      | 0   | 0   | 0   | 1   | 2   | 3   | 4   | 5   | 6    | 60.0%  |                           |  |
| 職員H             | 1     | 1     | 0     | 1     | 1     | 1     | 0     | 0     | 0      | 1     | 0      | 1   | 2   | 2   | 3   | 4   | 4   | 4   | 4   | 5    | 5      | 50.0%                     |  |
| 職員I             | 0     | 1     | 0     | 1     | 1     |       |       |       |        |       | 0      | 1   | 1   | 2   | 3   |     |     |     |     |      | 60.0%  | → 成功・不成功が安定<br>していない      |  |
| 職員J             | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 1     | 1     | 1     | 1      | 1     | 0      | 0   | 0   | 0   | 0   | 1   | 2   | 3   | 4   | 5    | 50.0%  |                           |  |
| 単回の成功率          | 40.0% | 50.0% | 50.0% | 80.0% | 80.0% | 85.7% | 85.7% | 85.7% | 100.0% | 85.7% |        |     |     |     |     |     |     |     |     |      |        |                           |  |

| 累積成功回数の平均 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 0.4   | 0.9   | 1.4   | 2.2   | 3.0   | 3.4   | 4.3   | 5.1   | 6.1   | 7.0   |
|-----------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 累積の成功率    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 40.0% | 45.0% | 46.7% | 55.0% | 60.0% | 57.1% | 61.2% | 64.3% | 68.3% | 70.0% |

当該回時点の研修参加者全員の成功率を、過去の結果を含めて表現

成功率80%だが、実施回数は5回のみ  
後半は連続して成功(安定)  
成功・不成功が安定していない  
成功率50%だが、前半5回は不成功のみ

| 累積成功回数の平均 | 0.4   | 0.9   | 1.4   | 2.2   | 3.0   | 3.4   | 4.3   | 5.1   | 6.1   | 7.0   |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 累積の成功率    | 40.0% | 45.0% | 48.7% | 55.0% | 60.0% | 57.1% | 61.2% | 64.3% | 68.3% | 70.0% |

当該回時点の研修参加者全員の成功率を、過去の結果を含めて表視

#### ▼職員Eの累積成功率の算出

| 1回目 | 2回目 | 3回目   | 4回目   | 5回目   |
|-----|-----|-------|-------|-------|
| 0   | 0   | 1     | 1     | 1     |
| 0   | 0   | 1     | 2     | 3     |
| 0%  | 0%  | 33.3% | 50.0% | 60.0% |

- 1)成功「1」、不成功「0」(口腔であれば36項目全てが「ア」評価ならば「1」)  
→2)累積の成功回数(1の足し上げ)  
→3)累積の成功率=累積成功回数÷実施回数

## 2) 3回連続成功者比率

「3回連続成功者数」とは、当該回の前2回を含めて、3回連続で全評価項目が「ア」となった人数で、「3回連続成功者比率」とは、前述の該当者がケア実施介護職員数に占める割合（比率）を意味し、以下の方法で算出する。

$$3\text{回連続成功者比率} = (3\text{回連続成功者数}) \div \text{ケア実施介護職員数} \times 100$$

$$3\text{回連続成功者数} = \text{当該回の前2回を含め当該回までに全評価項目が「ア」となった人数}$$

「3回連続成功者比率」によって、ケア実施介護職員の当該実施回の成功・不成功だけでなく、当該実施回に至る前3回分の過程（過去の結果）を含めた成功率を評価する。

図表 6-5. 3回連続成功者比率の意味と算出手順(評価②)

| 成功「1」、不成功「0」の記録 |       |       |       |       |       |       |       |       |        |       |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
|                 | 1st   | 2nd   | 3rd   | 4th   | 5th   | 6th   | 7th   | 8th   | 9th    | 10th  |
| 職員A             | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1      | 1     |
| 職員B             | 0     | 0     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1      | 1     |
| 職員C             | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     |       |       |       |        |       |
| 職員D             | 1     | 1     | 1     | 1     | 0     |       |       |       |        |       |
| 職員E             | 0     | 0     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1      | 1     |
| 職員F             | 0     | 0     | 0     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1      | 1     |
| 職員G             | 0     | 0     | 0     | 0     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1      | 1     |
| 職員H             | 1     | 1     | 0     | 1     | 1     | 0     | 0     | 0     | 1      | 0     |
| 職員I             | 0     | 1     | 0     | 1     | 1     |       |       |       |        |       |
| 職員J             | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 1     | 1     | 1     | 1      | 1     |
| 単回の成功率          | 40.0% | 50.0% | 50.0% | 80.0% | 80.0% | 85.7% | 85.7% | 85.7% | 100.0% | 85.7% |

| 連続成功回数    |     |     |       |       |       |       |       |       |       |       |
|-----------|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|           | 1st | 2nd | 3rd   | 4th   | 5th   | 6th   | 7th   | 8th   | 9th   | 10th  |
| 職員A       |     |     | 3     | 3     | 3     | 3     | 3     | 3     | 3     | 3     |
| 職員B       |     |     | 1     | 2     | 3     | 3     | 3     | 3     | 3     | 3     |
| 職員C       |     |     | 3     | 3     | 3     |       |       |       |       |       |
| 職員D       |     |     | 3     | 3     | 2     |       |       |       |       |       |
| 職員E       |     |     | 1     | 2     | 3     | 3     | 3     | 3     | 3     | 3     |
| 職員F       |     |     | 0     | 1     | 2     | 3     | 3     | 3     | 3     | 3     |
| 職員G       |     |     | 0     | 0     | 1     | 2     | 3     | 3     | 3     | 3     |
| 職員H       |     |     | 2     | 2     | 2     | 2     | 1     | 0     | 1     | 1     |
| 職員I       |     |     | 1     | 2     | 2     |       |       |       |       |       |
| 職員J       |     |     | 0     | 0     | 0     | 1     | 2     | 3     | 3     | 3     |
| 3回連続成功回数  |     |     | 3     | 3     | 4     | 4     | 5     | 6     | 6     | 6     |
| 3回連続成功者比率 |     |     | 30.0% | 30.0% | 40.0% | 57.1% | 71.4% | 85.7% | 85.7% | 85.7% |

## ③実地研修の習熟状況

前述した「累積成功率」と「3回連続成功者比率」の2つの指標によって、ケアの種類毎の習熟状況（実地研修の指導者評価票の評価結果が元データ）を明らかにした（図表 6-6～6-14）。

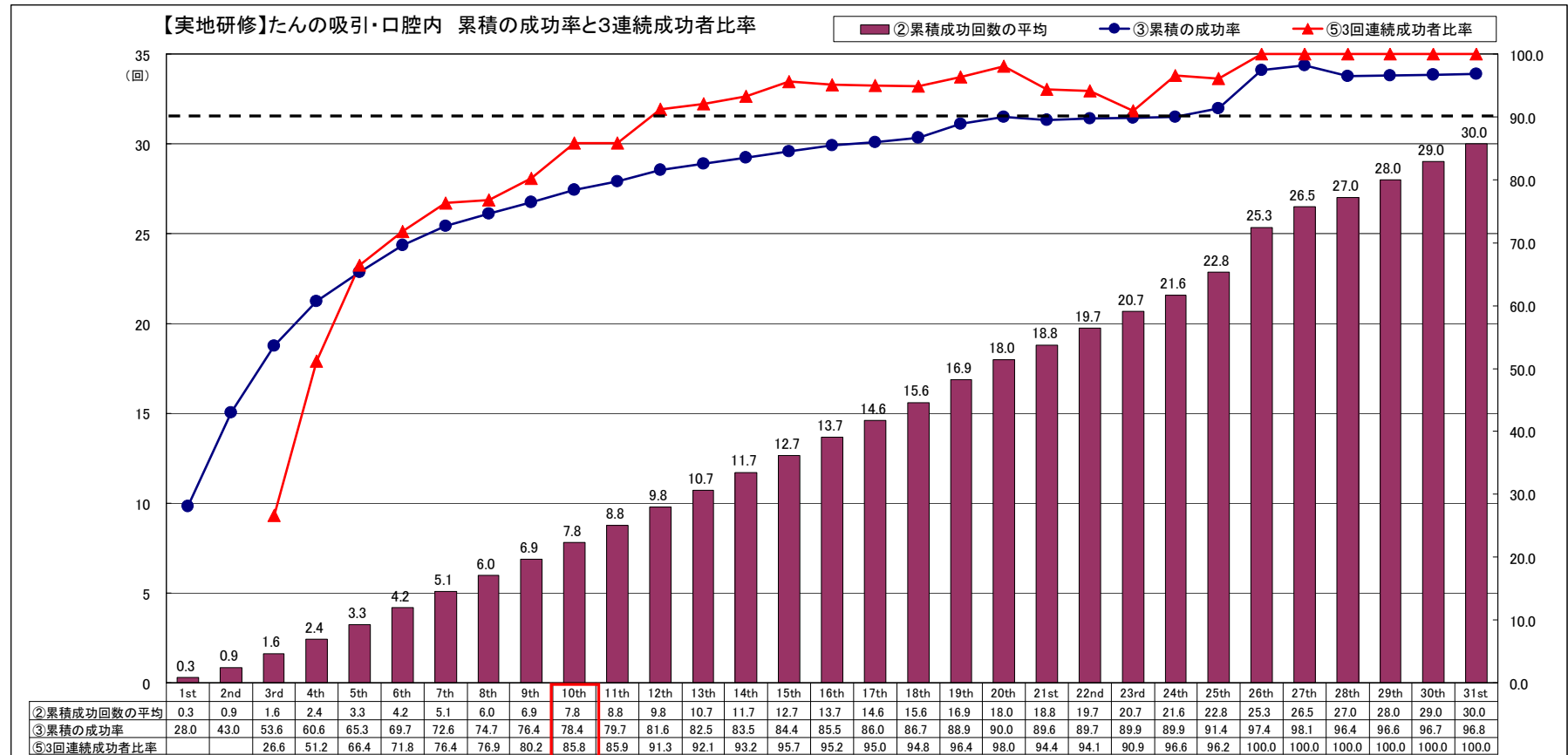
図表の凡例の説明は以下の通り。

|                                                 |
|-------------------------------------------------|
| ①ケア実施介護職員：当該回において、ケアを実施した介護職員数（人）               |
| ②累積成功回数の平均：当該回において、ケアを実施した介護職員の「累積の成功回数」の平均値（回） |
| ③累積の成功率：当該回において、ケアを実施した介護職員の「累積の成功率」の平均値（%）     |
| ④3回連続成功者数：当該回の前2回を含め、全評価項目が「ア」となった介護職員数（人）      |
| ⑤3回連続成功者比率：④÷①×100（%）                           |



図表 6-6 実地研修 たんの吸引・口腔内の習熟状況(評価②)

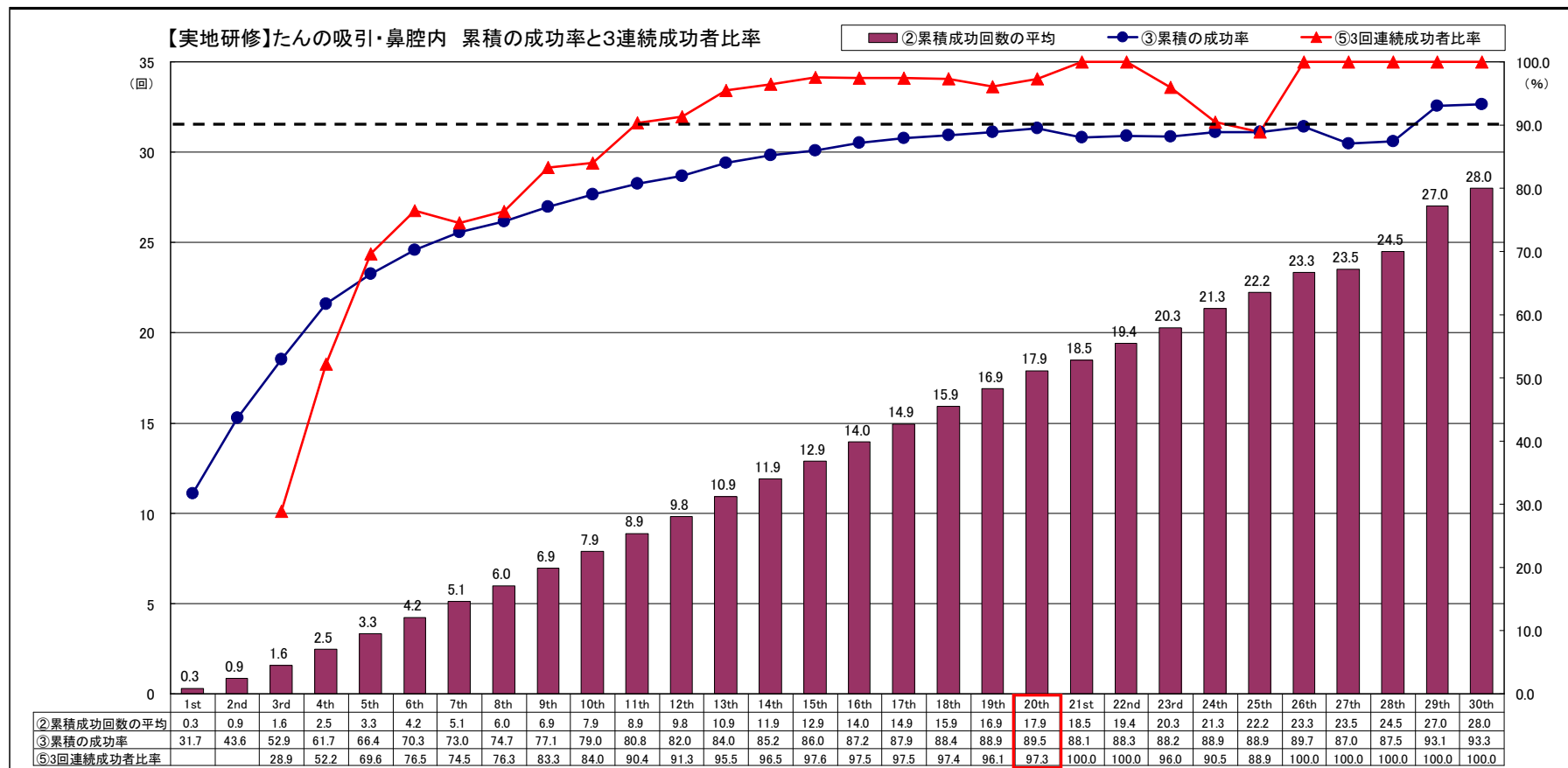
| 口腔         | 1st  | 2nd  | 3rd  | 4th  | 5th  | 6th  | 7th  | 8th  | 9th  | 10th | 11th | 12th | 13th | 14th | 15th | 16th | 17th | 18th | 19th | 20th | 21st | 22nd | 23rd | 24th | 25th | 26th  | 27th  | 28th  | 29th  | 30th  | 31st  |
|------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ①ケア実施介護職員  | 132  | 129  | 128  | 127  | 125  | 117  | 110  | 108  | 106  | 106  | 85   | 80   | 76   | 74   | 69   | 62   | 60   | 58   | 55   | 51   | 36   | 34   | 33   | 29   | 26   | 3     | 2     | 1     | 1     | 1     | 1     |
| ②累積成功回数の平均 | 0.3  | 0.9  | 1.6  | 2.4  | 3.3  | 4.2  | 5.1  | 6.0  | 6.9  | 7.8  | 8.8  | 9.8  | 10.7 | 11.7 | 12.7 | 13.7 | 14.6 | 15.6 | 16.9 | 18.0 | 18.8 | 19.7 | 20.7 | 21.6 | 22.8 | 25.3  | 26.5  | 27.0  | 28.0  | 29.0  | 30.0  |
| ③累積の成功率    | 28.0 | 43.0 | 53.6 | 60.6 | 65.3 | 69.7 | 72.6 | 74.7 | 76.4 | 78.4 | 79.7 | 81.6 | 82.5 | 83.5 | 84.4 | 85.5 | 86.0 | 86.7 | 88.9 | 90.0 | 89.6 | 89.7 | 89.9 | 89.9 | 91.4 | 97.4  | 98.1  | 96.4  | 96.6  | 96.7  | 96.8  |
| ④3回連続成功者数  |      |      | 34   | 65   | 83   | 84   | 84   | 83   | 85   | 91   | 73   | 73   | 70   | 69   | 66   | 59   | 57   | 55   | 53   | 50   | 34   | 32   | 30   | 28   | 25   | 3     | 2     | 1     | 1     | 1     | 1     |
| ⑤3回連続成功者比率 |      |      | 26.6 | 51.2 | 66.4 | 71.8 | 76.4 | 76.9 | 80.2 | 85.8 | 85.9 | 91.3 | 92.1 | 93.2 | 95.7 | 95.2 | 95.0 | 94.8 | 96.4 | 98.0 | 94.4 | 94.1 | 90.9 | 96.6 | 96.2 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |





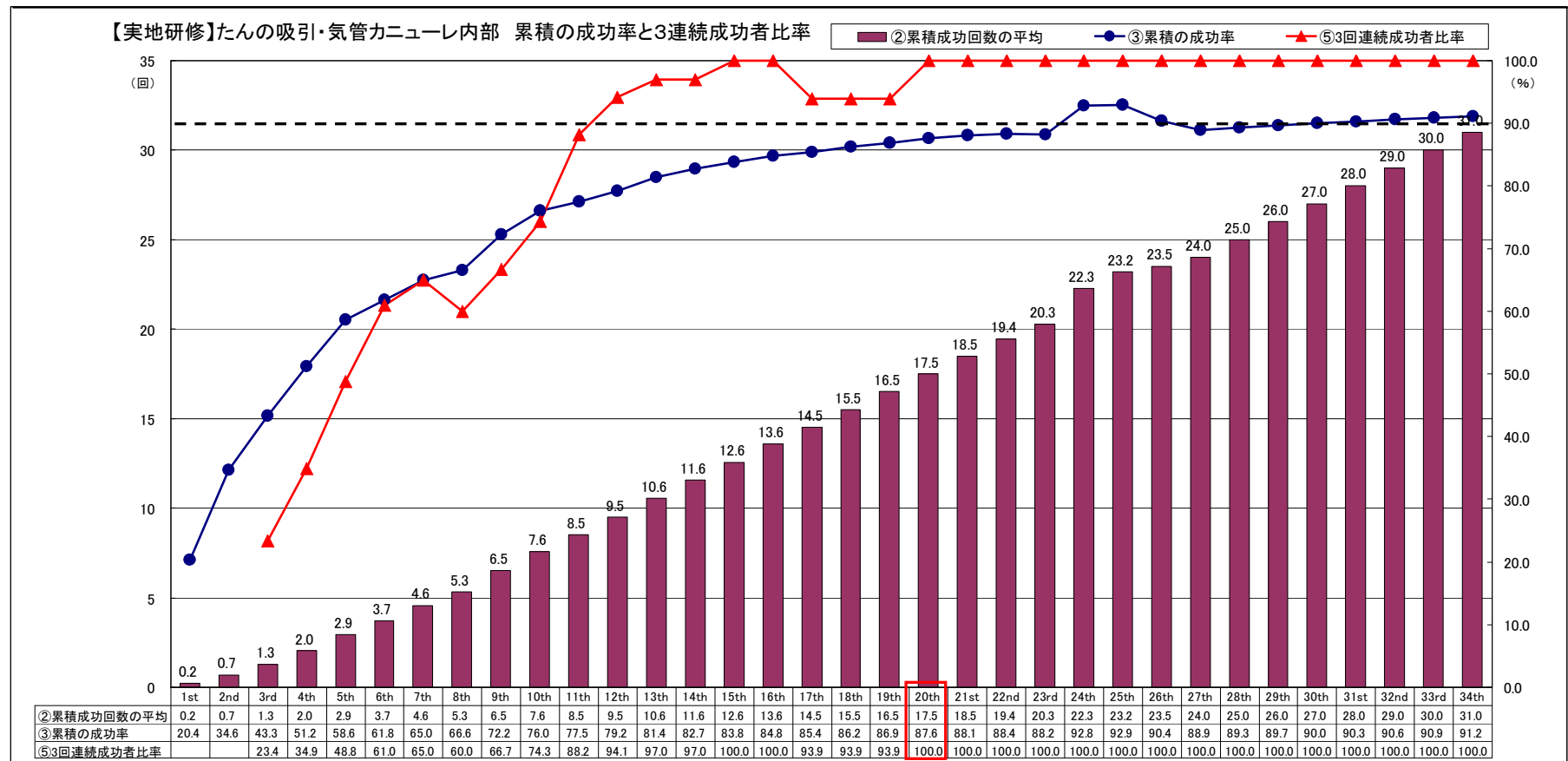
図表 6-7 実地研修 たんの吸引・鼻腔内の習熟状況(評価②)

| 鼻腔         | 1st  | 2nd  | 3rd  | 4th  | 5th  | 6th  | 7th  | 8th  | 9th  | 10th | 11th | 12th | 13th | 14th | 15th | 16th | 17th | 18th | 19th | 20th | 21st  | 22nd  | 23rd | 24th | 25th | 26th  | 27th  | 28th  | 29th  | 30th  |
|------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ①ケア実施介護職員  | 123  | 118  | 114  | 113  | 112  | 102  | 98   | 97   | 96   | 94   | 94   | 92   | 89   | 85   | 83   | 80   | 79   | 76   | 76   | 75   | 34    | 28    | 25   | 21   | 18   | 3     | 2     | 2     | 1     | 1     |
| ②累積成功回数の平均 | 0.3  | 0.9  | 1.6  | 2.5  | 3.3  | 4.2  | 5.1  | 6.0  | 6.9  | 7.9  | 8.9  | 9.8  | 10.9 | 11.9 | 12.9 | 14.0 | 14.9 | 15.9 | 16.9 | 17.9 | 18.5  | 19.4  | 20.3 | 21.3 | 22.2 | 23.3  | 23.5  | 24.5  | 27.0  | 28.0  |
| ③累積の成功率    | 31.7 | 43.6 | 52.9 | 61.7 | 66.4 | 70.3 | 73.0 | 74.7 | 77.1 | 79.0 | 80.8 | 82.0 | 84.0 | 85.2 | 86.0 | 87.2 | 87.9 | 88.4 | 88.9 | 89.5 | 88.1  | 88.3  | 88.2 | 88.9 | 88.9 | 89.7  | 87.0  | 87.5  | 93.1  | 93.3  |
| ④3回連続成功者数  |      |      | 33   | 59   | 78   | 78   | 73   | 74   | 80   | 79   | 85   | 84   | 85   | 82   | 81   | 78   | 77   | 74   | 73   | 73   | 34    | 28    | 24   | 19   | 16   | 3     | 2     | 2     | 1     | 1     |
| ⑤3回連続成功者比率 |      |      | 28.9 | 52.2 | 69.6 | 76.5 | 74.5 | 76.3 | 83.3 | 84.0 | 90.4 | 91.3 | 95.5 | 96.5 | 97.6 | 97.5 | 97.5 | 97.4 | 96.1 | 97.3 | 100.0 | 100.0 | 96.0 | 90.5 | 88.9 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |



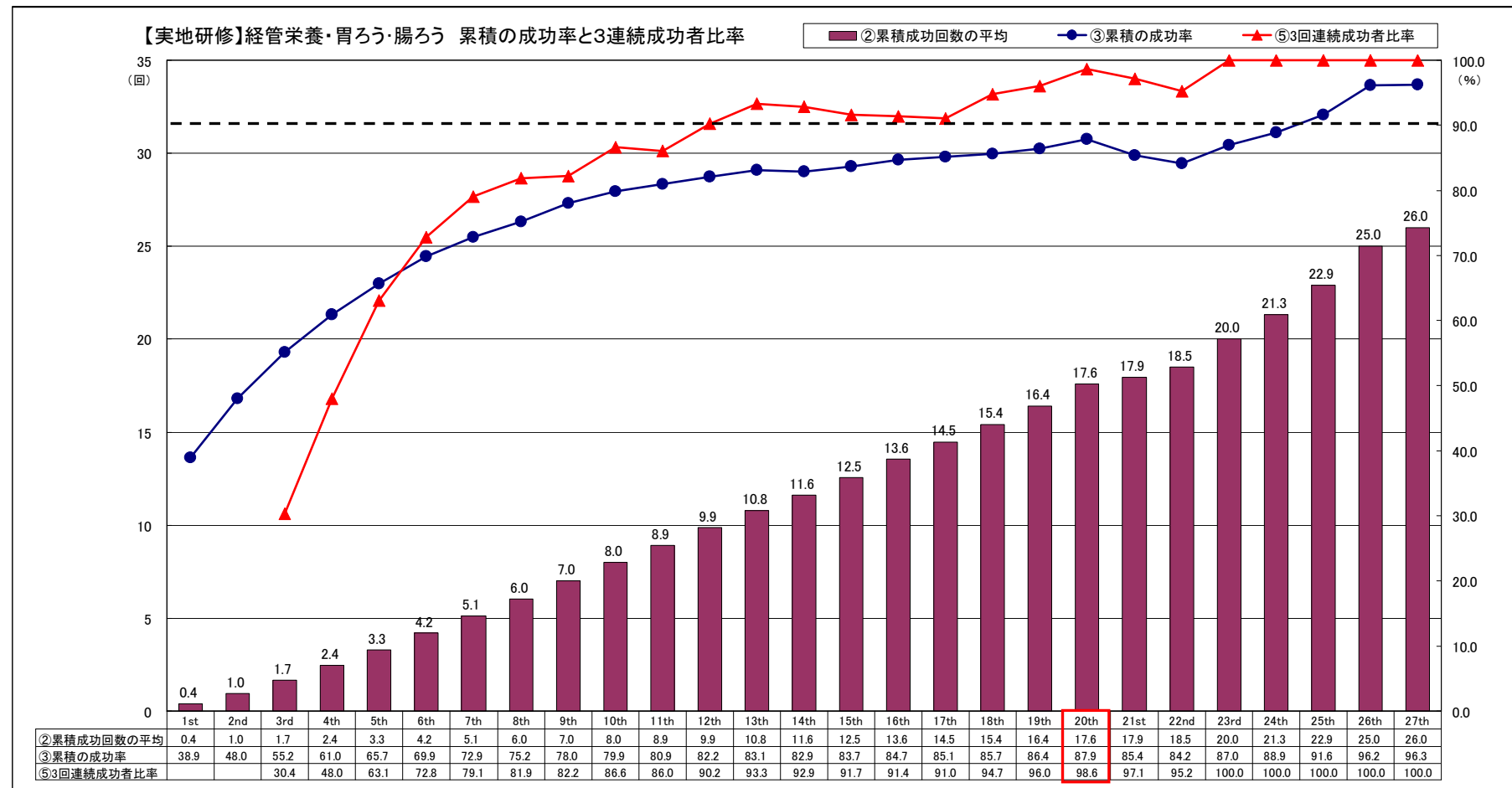
図表 6-8. 実地研修 たんの吸引・気管カニューレ内部の習熟状況（評価②）

| 気管カニューレ    | 1st  | 2nd  | 3rd  | 4th  | 5th  | 6th  | 7th  | 8th  | 9th  | 10th | 11th | 12th | 13th | 14th | 15th  | 16th  | 17th | 18th | 19th | 20th  | 21st  | 22nd  | 23rd  | 24th  | 25th  | 26th  | 27th  | 28th  | 29th  | 30th  | 31st  | 32nd  | 33rd  | 34th  |
|------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ①ケア実施介護職員  | 54   | 52   | 47   | 43   | 43   | 41   | 40   | 40   | 36   | 35   | 34   | 34   | 33   | 33   | 33    | 33    | 33   | 33   | 33   | 33    | 18    | 16    | 14    | 11    | 9     | 2     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     |
| ②累積成功回数の平均 | 0.2  | 0.7  | 1.3  | 2.0  | 2.9  | 3.7  | 4.6  | 5.3  | 6.5  | 7.6  | 8.5  | 9.5  | 10.6 | 11.6 | 12.6  | 13.6  | 14.5 | 15.5 | 16.5 | 17.5  | 18.5  | 19.4  | 20.3  | 22.3  | 23.2  | 23.5  | 24.0  | 25.0  | 26.0  | 27.0  | 28.0  | 29.0  | 30.0  | 31.0  |
| ③累積の成功率    | 20.4 | 34.6 | 43.3 | 51.2 | 58.6 | 61.8 | 65.0 | 66.6 | 72.2 | 76.0 | 77.5 | 79.2 | 81.4 | 82.7 | 83.8  | 84.8  | 85.4 | 86.2 | 86.9 | 87.6  | 88.1  | 88.4  | 88.2  | 92.8  | 92.9  | 90.4  | 88.9  | 89.3  | 89.7  | 90.0  | 90.3  | 90.6  | 90.9  | 91.2  |
| ④3回連続成功者数  |      |      | 11   | 15   | 21   | 25   | 26   | 24   | 24   | 26   | 30   | 32   | 32   | 32   | 33    | 33    | 31   | 31   | 31   | 33    | 18    | 16    | 14    | 11    | 9     | 2     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     |
| ⑤3回連続成功者比率 |      |      | 23.4 | 34.9 | 48.8 | 61.0 | 65.0 | 60.0 | 66.7 | 74.3 | 88.2 | 94.1 | 97.0 | 97.0 | 100.0 | 100.0 | 93.9 | 93.9 | 93.9 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

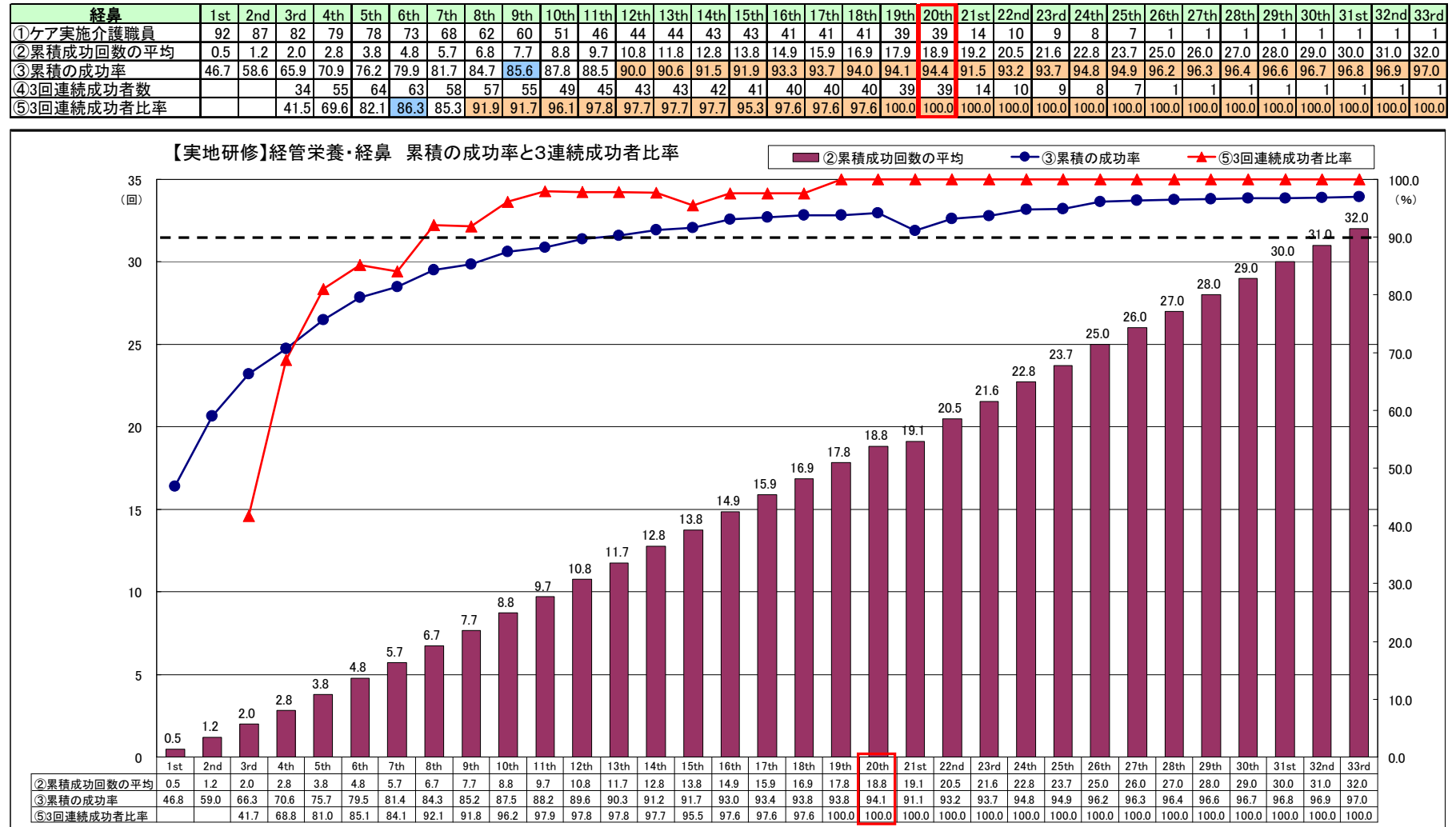


図表 6-9-実地研修 経管栄養・胃ろう・腸ろうの習熟状況(評価②)

| 胃ろう・腸ろう    | 1st  | 2nd  | 3rd  | 4th  | 5th  | 6th  | 7th  | 8th  | 9th  | 10th | 11th | 12th | 13th | 14th | 15th | 16th | 17th | 18th | 19th | 20th | 21st | 22nd | 23rd  | 24th  | 25th  | 26th  | 27th  |
|------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ①ケア実施介護職員  | 131  | 127  | 125  | 123  | 122  | 114  | 110  | 105  | 101  | 97   | 93   | 92   | 90   | 84   | 84   | 81   | 78   | 76   | 75   | 72   | 35   | 21   | 16    | 12    | 10    | 1     | 1     |
| ②累積成功回数の平均 | 0.4  | 1.0  | 1.7  | 2.4  | 3.3  | 4.2  | 5.1  | 6.0  | 7.0  | 8.0  | 8.9  | 9.9  | 10.8 | 11.6 | 12.5 | 13.6 | 14.5 | 15.4 | 16.4 | 17.6 | 17.9 | 18.5 | 20.0  | 21.3  | 22.9  | 25.0  | 26.0  |
| ③累積の成功率    | 38.9 | 48.0 | 55.2 | 61.0 | 65.7 | 69.9 | 72.9 | 75.2 | 78.0 | 79.9 | 80.9 | 82.2 | 83.1 | 82.9 | 83.7 | 84.7 | 85.1 | 85.7 | 86.4 | 87.9 | 85.4 | 84.2 | 87.0  | 88.9  | 91.6  | 96.2  | 96.3  |
| ④3回連続成功者数  |      |      | 38   | 59   | 77   | 83   | 87   | 86   | 83   | 84   | 80   | 83   | 84   | 78   | 77   | 74   | 71   | 72   | 72   | 71   | 34   | 20   | 16    | 12    | 10    | 1     | 1     |
| ⑤3回連続成功者比率 |      |      | 30.4 | 48.0 | 63.1 | 72.8 | 79.1 | 81.9 | 82.2 | 86.6 | 86.0 | 90.2 | 93.3 | 92.9 | 91.7 | 91.4 | 91.0 | 94.7 | 96.0 | 98.6 | 97.1 | 95.2 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |



図表 6-10.実地研修 経管栄養・経鼻の習熟状況(評価②)



図表 6-11.実地研修 経管栄養・胃ろう・腸ろう(半固形)の習熟状況(評価②)

| 胃ろう・腸ろう(半固形) | 1st   | 2nd  | 3rd  | 4th  | 5th   | 6th   | 7th  | 8th  | 9th  | 10th  | 11th  | 12th  | 13th  | 14th  | 15th  | 16th  | 17th  | 18th  |
|--------------|-------|------|------|------|-------|-------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ①ケア実施介護職員    | 5     | 5    | 5    | 5    | 5     | 4     | 3    | 3    | 3    | 2     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     |
| ②累積成功回数の平均   | 1.0   | 1.8  | 2.8  | 3.8  | 4.8   | 5.8   | 6.7  | 7.7  | 8.7  | 9.5   | 11.0  | 12.0  | 13.0  | 14.0  | 15.0  | 16.0  | 17.0  | 18.0  |
| ③累積の成功率      | 100.0 | 90.0 | 93.3 | 95.0 | 96.0  | 95.8  | 95.2 | 95.8 | 96.3 | 95.0  | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| ④3回連続成功者数    |       |      | 4    | 4    | 5     | 4     | 2    | 2    | 2    | 2     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     |
| ⑤3回連続成功者比率   |       |      | 80.0 | 80.0 | 100.0 | 100.0 | 66.7 | 66.7 | 66.7 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

図表 6-12.実地研修 たんの吸引・口腔内(人工呼吸器装着)の習熟状況(評価②)

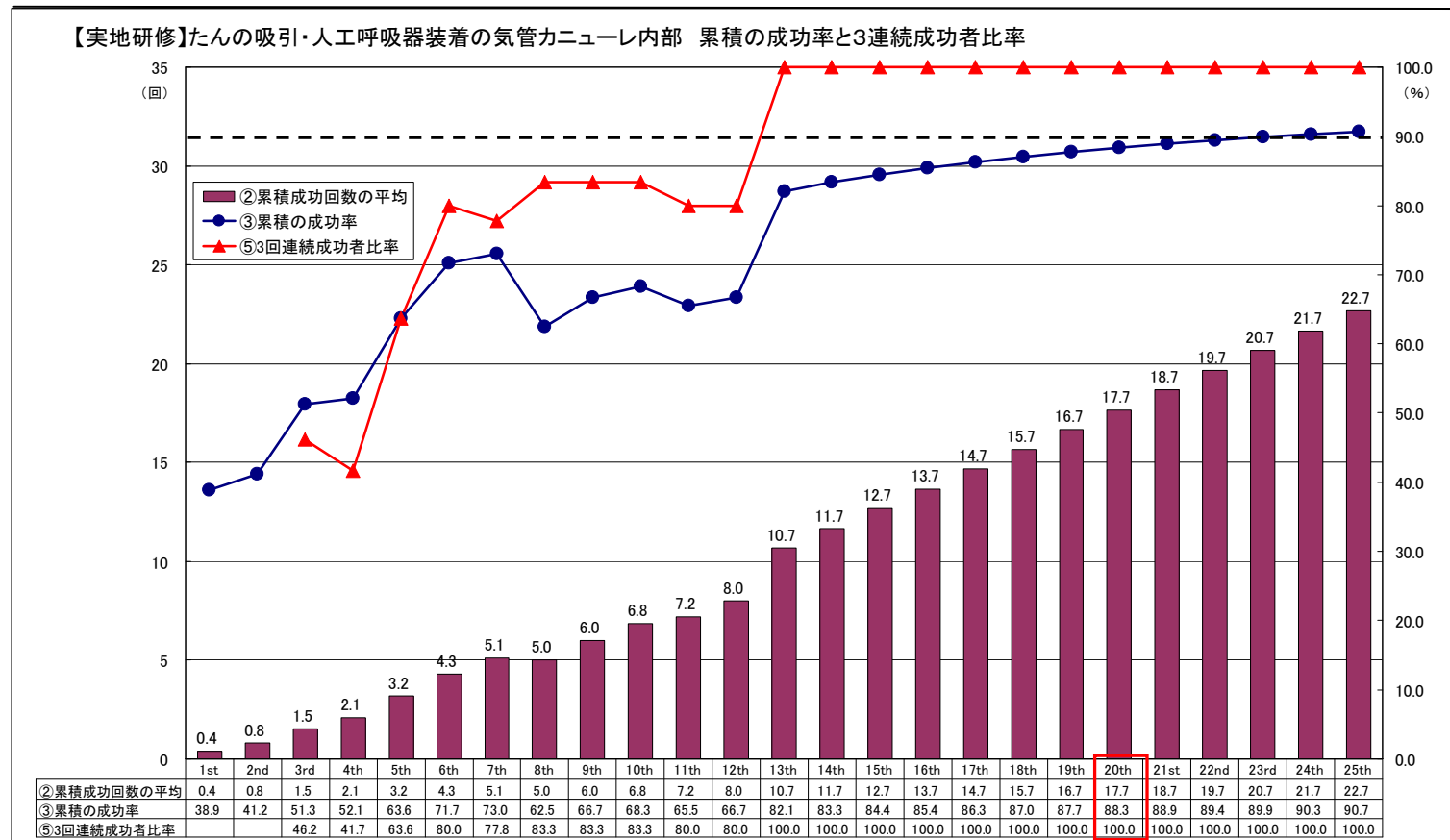
| 口腔(人工呼吸器装着) | 1st   | 2nd   | 3rd   |
|-------------|-------|-------|-------|
| ①ケア実施介護職員   | 3     | 1     | 1     |
| ②累積成功回数の平均  | 1.0   | 2.0   | 3.0   |
| ③累積の成功率     | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| ④3回連続成功者数   |       |       | 1     |
| ⑤3回連続成功者比率  |       |       | 100.0 |

図表 6-13.実地研修 たんの吸引・鼻腔内(人工呼吸器装着)の習熟状況(評価②)

| 鼻腔(人工呼吸器装着) | 1st   | 2nd   | 3rd   |
|-------------|-------|-------|-------|
| ①ケア実施介護職員   | 3     | 1     | 1     |
| ②累積成功回数の平均  | 1.0   | 2.0   | 3.0   |
| ③累積の成功率     | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| ④3回連続成功者数   |       |       | 1     |
| ⑤3回連続成功者比率  |       |       | 100.0 |

図表 6-14. 実地研修 たんの吸引・気管カニューレ内部(人工呼吸器装着)の習熟状況(評価②)

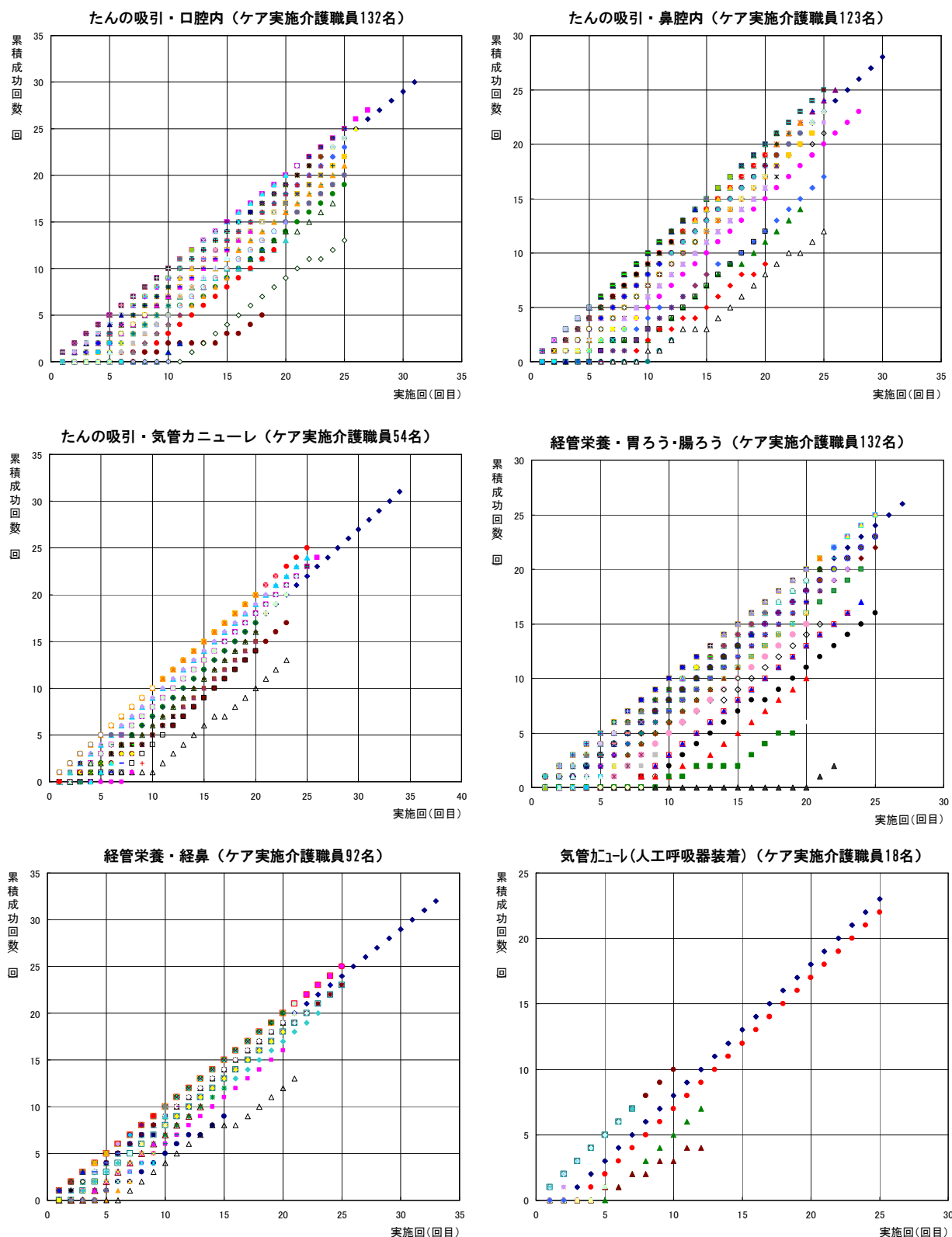
| 気管カニューレ(人工呼吸器装着) | 1st  | 2nd  | 3rd  | 4th  | 5th  | 6th  | 7th  | 8th  | 9th  | 10th | 11th | 12th | 13th  | 14th  | 15th  | 16th  | 17th  | 18th  | 19th  | 20th  | 21st  | 22nd  | 23rd  | 24th  | 25th  |
|------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ①ケア実施介護職員        | 18   | 17   | 13   | 12   | 11   | 10   | 9    | 6    | 6    | 6    | 5    | 5    | 3     | 3     | 3     | 3     | 3     | 3     | 3     | 3     | 3     | 3     | 3     | 3     | 3     |
| ②累積成功回数の平均       | 0.4  | 0.8  | 1.5  | 2.1  | 3.2  | 4.3  | 5.1  | 5.0  | 6.0  | 6.8  | 7.2  | 8.0  | 10.7  | 11.7  | 12.7  | 13.7  | 14.7  | 15.7  | 16.7  | 17.7  | 18.7  | 19.7  | 20.7  | 21.7  | 22.7  |
| ③累積の成功率          | 38.9 | 41.2 | 51.3 | 52.1 | 63.6 | 71.7 | 73.0 | 62.5 | 66.7 | 68.3 | 65.5 | 66.7 | 82.1  | 83.3  | 84.4  | 85.4  | 86.3  | 87.0  | 87.7  | 88.3  | 88.9  | 89.4  | 89.9  | 90.3  | 90.7  |
| ④3回連続成功者数        |      |      | 6    | 5    | 7    | 8    | 7    | 5    | 5    | 5    | 4    | 4    | 3     | 3     | 3     | 3     | 3     | 3     | 3     | 3     | 3     | 3     | 3     | 3     | 3     |
| ⑤3回連続成功者比率       |      |      | 46.2 | 41.7 | 63.6 | 80.0 | 77.8 | 83.3 | 83.3 | 83.3 | 80.0 | 80.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |



#### ④実施回と累積成功回数との関係

実施回と累積成功回数（全評価項目が「ア」評価となった回数の累積値）の関係は、ケアの種別にかかわらず、多くの場合、正比例の関係がみられた。

図表 6-15. 実施回と累積成功率の関係(評価②)



## 「指導者講習」に関するアンケート

|           |  |    |  |
|-----------|--|----|--|
| 指導者<br>番号 |  | 氏名 |  |
|-----------|--|----|--|

※指導者番号とは、「指導者講習」受講の際の案内状でご案内した、あなたの「指導者番号」です。

### 事前にお送りした指導者講習に関する資料について伺います。

問1 「介護職員によるたんの吸引等の試行事業における指導者講習」に、ご参加頂くためにお送りした  
事前送付資料について、あなたはどの様に感じましたか。（それぞれ○は1つ）

|                                                                            | そう思う | どちらとも<br>いえない | そう<br>思わない | 該当資料に<br>目を通さな<br>かった |
|----------------------------------------------------------------------------|------|---------------|------------|-----------------------|
| 1) 試行事業における指導者講習の位置づけを理解できた                                                | 1    | 2             | 3          | 4                     |
| 2) 指導者講習受講後の、自分の役割を理解できた                                                   | 1    | 2             | 3          | 4                     |
| 3) 「基本研修(講義)」の内容を理解できた                                                     | 1    | 2             | 3          | 4                     |
| 4) 「基本研修(演習)」の内容を理解できた                                                     | 1    | 2             | 3          | 4                     |
| 5) 「実地研修」の内容を理解できた                                                         | 1    | 2             | 3          | 4                     |
| 6) 「講義テキスト・ケア実施の手引き」は、介護職にとってわ<br>かりやすく記載されていると感じた                         | 1    | 2             | 3          | 4                     |
| 7) 「講義テキスト・ケア実施の手引き」には試行事業を行うに<br>あたって、介護職にとって必要と思われる技術や知識が記載<br>されていると感じた | 1    | 2             | 3          | 4                     |

問1.6)で「2. どちらとも言えない」「3. そう思わない」と回答した方に伺います。

問1-1. 記載が不足していると思われる技術や知識は何ですか。具体的に教えて下さい。

|  |
|--|
|  |
|--|

### 本日、受講頂いた指導者講習について伺います。

問2 本日の指導者講習を受講し、あなたはどの様に感じましたか。（それぞれ○は1つ）

|                                                          | そう思う | どちらとも<br>いえない | そう<br>思わない |
|----------------------------------------------------------|------|---------------|------------|
| 1) 試行事業における指導者講習の位置づけを理解できた                              | 1    | 2             | 3          |
| 2) 指導者講習に参加し、自分の役割を理解できた                                 | 1    | 2             | 3          |
| 3) 本日の講義「研修カリキュラム」について理解できた                              | 1    | 2             | 3          |
| 4) 本日の講義「基本研修の講義用テキスト」について理解できた                          | 1    | 2             | 3          |
| 5) 本日の講義「たんの吸引のケア実施の手引き」について理解できた                        | 1    | 2             | 3          |
| 6) 本日の講義「経管栄養のケア実施の手引き」について理解できた                         | 1    | 2             | 3          |
| 7) 本日の講義「ヒヤリハット・アクシデント報告」について理解できた                       | 1    | 2             | 3          |
| 8) 本日の説明「介護職員によるたんの吸引等の試行事業における評価・ア<br>ンケートの提出」について理解できた | 1    | 2             | 3          |
| 9) 本日の指導者講習(約5時間)の講習時間は適切であった                            | 1    | 2             | 3          |
| 10) 本日の指導者講習のプログラム構成は適切であった                              | 1    | 2             | 3          |

次ページの問2-1へ

問2.前問「9) 本日の指導者講習(約5時間)の講習時間は適切であった」で、「2. どちらとも言えない」「3. そう思わない」と回答した方に伺います。

問2-1. それでは、本日の指導者講習時間にプラスして、あとどの位の時間が必要だと思いますか。（数字を記入）

( ) 時間程度

以降は、全員の方に伺います。

問3 本日の指導者講習は、今後、基本研修（講義・演習）や実地研修を実施して頂くにあたり、どの程度役に立つと思いますか。  
(○は1つ)

1 かなり役に立つ      2 役に立つ      3 あまり役に立たない

問4 基本研修（講義・演習）や実地研修の指導のポイントについて、もっと詳しく聞きたかった点等が  
ありましたらご記入下さい。

|  |
|--|
|  |
|--|

### これから実施して頂く基本研修（講義・演習）や実地研修について伺います。

問5 基本研修（講義・演習）や実地研修を行うにあたって、疑問や不安を感じていることがあれば教えて下さい。

|  |
|--|
|  |
|--|

### 最後に、あなたご自身について伺います。

問6 所属している施設は  
(○は1つだけ)

1 病院 (一般病床： 床、療養病床： 床)  
2 診療所 ( 床)  
3 特別養護老人ホーム  
4 老人保健施設  
5 訪問介護事業所  
6 障害者福祉施設  
7 その他 ( )

問7 あなたは、この1ヶ月に、以下のケアが必要な患者さんを何人ぐらい受け持ちましたか。

1 たんの吸引・口腔 ( ) 人ぐらい  
2 たんの吸引・鼻腔 ( ) 人ぐらい  
3 たんの吸引・気管カニューレ内部 ( ) 人ぐらい  
4 経管栄養・胃ろう・腸ろう ( ) 人ぐらい  
5 経管栄養・経鼻 ( ) 人ぐらい

問8 所属している施設内研修以外に、外部講師をした経験はありますか。 1 ある 2 ない  
(○は1つだけ)

ご協力ありがとうございました。



試行事業へのご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にご記入下さい。  
なお、ご記入頂いた内容は、個人名を公表したりすることはありませんので、忌憚のないご意見をお願い致します。

※A4 版 3p の質問紙

## 「基本研修（講義）」に関するアンケート

|          |  |    |  |
|----------|--|----|--|
| 受講<br>番号 |  | 氏名 |  |
|----------|--|----|--|

※受講番号とは、基本研修受講の際の、あなたの受講番号です。

## あなたご自身について伺います。

問1 性別は **1** 男性 **2** 女性  
(○は1つだけ)

問2 年齢は ( ) 歳

問3 福祉分野における保有資格と資格取得の時期を教えてください。

- |                        |           |
|------------------------|-----------|
| <b>1</b> ホームヘルパー ( ) 級 | 西暦 ( ) 年頃 |
| <b>2</b> 介護福祉士         | 西暦 ( ) 年頃 |
| <b>3</b> 社会福祉士         | 西暦 ( ) 年頃 |
| <b>4</b> 介護支援専門員       | 西暦 ( ) 年頃 |
| <b>5</b> その他 ( )       | 西暦 ( ) 年頃 |

問4 あなたの現職種は ( )  
(問3から番号を選択)

問5 現職種の経験年数は ( ) 年

- 問6 所属している施設は (○は1つだけ)
- |                    |  |
|--------------------|--|
| <b>1</b> 特別養護老人ホーム |  |
| <b>2</b> 老人保健施設    |  |
| <b>3</b> 訪問介護事業所   |  |
| <b>4</b> グループホーム   |  |
| <b>5</b> 有料老人ホーム   |  |
| <b>6</b> 特定有料老人ホーム |  |
| <b>7</b> 障害者福祉施設   |  |
| <b>8</b> その他 ( )   |  |

問7 あなたが所属している施設の常勤職員数は ( ) 人

問8 あなたの施設（または貴施設のサービス利用者）で下記項目に該当する方はどのくらいいらっしゃいますか。  
該当者がいらっしゃる場合には、該当する番号に○をつけて、該当者数を記入してください。

- |                          |     |      |
|--------------------------|-----|------|
| <b>1</b> たんの吸引・口腔        | ( ) | 人ぐらい |
| <b>2</b> たんの吸引・鼻腔        | ( ) | 人ぐらい |
| <b>3</b> たんの吸引・気管カニューレ内部 | ( ) | 人ぐらい |
| <b>4</b> 経管栄養・胃ろう・腸ろう    | ( ) | 人ぐらい |
| <b>5</b> 経管栄養・経鼻         | ( ) | 人ぐらい |
| <b>6</b> 該当者はいない         |     |      |

※お手数ですが、アンケートは、受講後、時間をおかずにご記入下さいますようお願い致します。

|     |     |      |  |
|-----|-----|------|--|
| 受講日 | 月 日 | 指導者名 |  |
|-----|-----|------|--|

1-1 人間と社会：個人の尊厳と自立

上記講義について伺います。

問1 この講義は、理解できましたか。（○は1つ）  
なお、2～4を選んだ方は、理解できなかった箇所を、具体的に教えてください。

- 1 理解できた

2 だいたい理解できたが、一部理解できないところがあった

3 一部は理解できたが、大半は理解できなかった

4 理解できなかった
- 問1-1.理解出来なかった内容を教えてください。（○はいくつでも）
- 1 個人の尊厳と自立

2 利用者の尊厳を守り、自立を助ける支援

問2 この講義のテキストは、わかりやすく記述されていましたか。（○は1つ）  
なお、2～4を選んだ方は、わかりにくい箇所を、具体的に教えてください。

- 1 わかりやすかった

2 だいたいわかりやすく記述されているが、一部わかりにくい箇所があった

3 一部はわかりやすく記述されているが、大半はわかりにくい

4 わかりにくい
- 問2-1.理解出来なかった内容を教えてください。（○はいくつでも）
- 1 個人の尊厳と自立

2 利用者の尊厳を守り、自立を助ける支援

問3 この講義の時間は適切でしたか。（○は1つ）  
なお、2または3を選んだ方は、適切と思う研修時間（分）を教えてください。

- 1 適切である

2 長い

3 短い
- ( ) 分

問4 指導者はわかりやすく講義を行っていましたか。（○は1つ）  
なお、2～4を選んだ方は、どのような点にわかりにくいと感じたか、具体的に教えてください。

- 1 わかりやすかった

2 だいたいわかりやすかったが、一部わかりにくかった

3 一部はわかりやすかったが、大半はわかりにくかった

4 わかりにくかった
- 

問5 この講義は、総合的に見て（講義内容、テキスト、教え方など）、どのように感じましたか。（○は1つ）

1 よい

2 どちらかというといよい

3 どちらかというときよくない

4 よくない

問6 この講義に対する、ご意見ご要望がありましたらご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。

試行事業へのご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にご記入下さい。  
なお、ご記入頂いた内容は、個人名を公表したりすることはありませんので、忌憚のないご意見をお願い致します。

※1 講義につき、A4 版 1p の質問紙

(3) 介護職員・演習プロセス評価票(自己評価票)  
1 ケアの11ページの例

「たんの吸引（口腔内・鼻腔内）」の演習について伺います。

演習において、当該介護職員は、下記**■実施内容**について、どの程度達成できていますか。  
※業務内容については、**手引きの留意事項・考えられる主なリスクを参照のこと**

|                                                               |                                                           |                                       |     |     |     |     |     |  |
|---------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|---------------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|--|
| 評価                                                            | ア、手引きの手順通りに実施できている                                        |                                       |     |     |     |     |     |  |
|                                                               | イ、この項目について、手引きの留意事項・考えられる主なリスクに記載されている細目レベルで、手順を抜かしたり間違えた |                                       |     |     |     |     |     |  |
|                                                               | ウ、この項目について、抜かした                                           |                                       |     |     |     |     |     |  |
|                                                               |                                                           |                                       |     |     |     |     |     |  |
| 回数                                                            |                                                           | 例                                     | 1回目 | 2回目 | 3回目 | 4回目 | 5回目 |  |
| 月日                                                            |                                                           | 10/5                                  |     |     |     |     |     |  |
| 時間                                                            |                                                           | 14:00                                 |     |     |     |     |     |  |
| 実施準備                                                          | 1 医師の指示等の確認を行う                                            | ア                                     |     |     |     |     |     |  |
|                                                               | 2 手洗いをを行う                                                 | ア                                     |     |     |     |     |     |  |
|                                                               | 3 必要物品をそろえ、作動状況等を点検確認する                                   | ア                                     |     |     |     |     |     |  |
| ケア実施                                                          | 4 必要物品を利用者のもとへ運ぶ                                          | ア                                     |     |     |     |     |     |  |
|                                                               | 5 利用者に吸引の説明をする                                            | ア                                     |     |     |     |     |     |  |
|                                                               | 6 吸引の環境・利用者の姿勢を整える                                        | ア                                     |     |     |     |     |     |  |
|                                                               | 7 口腔内・鼻腔内を観察する                                            | ア                                     |     |     |     |     |     |  |
|                                                               | 8 手袋の着用またはセッシーを持つ                                         | ア                                     |     |     |     |     |     |  |
|                                                               | 吸引の実施                                                     | 9 吸引チューブを清潔に取り出す                      | ア   |     |     |     |     |  |
|                                                               |                                                           | 10 吸引チューブを清潔に吸引器と連結管で連結する             | ア   |     |     |     |     |  |
|                                                               |                                                           | 11 （浸漬法の場合）吸引チューブ外側を清浄綿等で拭く           | ア   |     |     |     |     |  |
|                                                               |                                                           | 12 吸引器のスイッチを入れて水を吸い決められた吸引圧になることを確認する | ア   |     |     |     |     |  |
|                                                               |                                                           | 13 吸引チューブの先端の水をよく切る                   | ア   |     |     |     |     |  |
|                                                               |                                                           | 14 利用者に吸引の開始について声かけをする                | ア   |     |     |     |     |  |
|                                                               |                                                           | 15 適切な吸引圧で適切な深さまで吸引チューブを挿入する          | ア   |     |     |     |     |  |
|                                                               |                                                           | 16 適切な吸引時間で分泌物等の貯留物を吸引する              | ア   |     |     |     |     |  |
|                                                               |                                                           | 17 吸引チューブを静かに抜く                       | ア   |     |     |     |     |  |
|                                                               |                                                           | 18 吸引チューブの外側を薬剤で浸した清浄綿等で拭く            | ア   |     |     |     |     |  |
|                                                               |                                                           | 19 洗浄水を吸引し、吸引チューブ内側の汚れを落とす            | ア   |     |     |     |     |  |
|                                                               |                                                           | 20 吸引器の電源を切る                          | ア   |     |     |     |     |  |
|                                                               |                                                           | 21 吸引チューブを連結管から外し保管容器に戻す(または廃棄する)     | ア   |     |     |     |     |  |
|                                                               |                                                           | 22 手袋をはずす（手袋を使用している場合）またはセッシーを戻す      | ア   |     |     |     |     |  |
|                                                               |                                                           | 23 吸引終了時の利用者への声かけ・姿勢を整える              | ア   |     |     |     |     |  |
|                                                               |                                                           | 24 次回使用時のための物品の確認をする（吸引瓶の状況・不足物品の補充）  | ア   |     |     |     |     |  |
|                                                               |                                                           | 25 手洗いをする                             | ア   |     |     |     |     |  |
|                                                               | 結果確認報告                                                    | 26 利用者の吸引前の状態と吸引後の状態変化を観察する           | イ   |     |     |     |     |  |
|                                                               |                                                           | 27 顔色・呼吸の状態等について観察する                  | ア   |     |     |     |     |  |
|                                                               |                                                           | 28 利用者の全身状態について観察する                   | ア   |     |     |     |     |  |
| 29 （鼻腔の場合）鼻血や口腔内への血液の流れ込みの有無等について観察する                         |                                                           | ア                                     |     |     |     |     |     |  |
| 30 吸引した物の量・性状等について観察する                                        |                                                           | ア                                     |     |     |     |     |     |  |
| 31 吸引後に経鼻経管栄養チューブが口腔内に出てきていないかを確認する（経鼻経管栄養実施者のみ）              |                                                           | ア                                     |     |     |     |     |     |  |
| 32 ケア責任者（看護職員）に報告する                                           |                                                           | イ                                     |     |     |     |     |     |  |
| 33 ヒヤリハット・アクシデントの報告をする（該当する場合のみ）                              |                                                           | イ                                     |     |     |     |     |     |  |
| 片づけ                                                           | 34 吸引びんの排液量が70%～80%になる前に排液を捨てる                            | イ                                     |     |     |     |     |     |  |
|                                                               | 35 使用物品を速やかに後片付けまたは交換する                                   | ア                                     |     |     |     |     |     |  |
| 評価記入                                                          | 36 実施時刻、吸引した内容物の種類や性状及び量などを記録する                           | ア                                     |     |     |     |     |     |  |
| ※指導内容を具体的に記述して下さい<br>手引きの留意事項・考えられる主なリスク等に<br>記載されている細目レベルで記述 |                                                           |                                       |     |     |     |     |     |  |

※ケアの種類毎に項目数は異なる。記入用紙は15 回分まで用意。それ以上の回数の回数は用紙をコピーして回答。

■指導内容・方法に関する意見をご記入下さい（自由記述）

■実際にケアを行う際に不安だった点についてご記入ください。（自由記述）

■ケアを行う上で、特に問題なく実施できた点についてご記入下さい（自由記述）

■介護職員が当該ケアにどのように関わっていくべきか、ご意見をお書きください（自由記述）

「基本研修（演習）」に関するアンケート

|          |  |    |  |
|----------|--|----|--|
| 受講<br>番号 |  | 氏名 |  |
|----------|--|----|--|

※受講番号とは、基本研修受講の際の、あなたの受講番号です。

あなたが受けた基本研修・演習について伺います。

問1 介護職員がケアの技術を習得するために、「基本研修（演習）」の設定回数は適切でしたか。（〇は1つ）  
なお、「2. 多い」「3. 少ない」と回答した方は、介護職員がケアの技術を習得するために適切だと思う回数を記入して下さい。

|                          | 適切 | 多い | 少ない | 不要 | ⇒                                                                                                               | 適切な回数                |
|--------------------------|----|----|-----|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| 1) 救急蘇生（1回以上）            | 1  | 2  | 3   | 4  | 2<br>を<br>ま<br>た<br>は<br>3<br>と<br>回<br>答<br>し<br>た<br>方<br>は<br>回<br>数<br>を<br>記<br>入<br>し<br>て<br>下<br>さ<br>い | <input type="text"/> |
| 2) たんの吸引・口腔（5回以上）        | 1  | 2  | 3   | 4  |                                                                                                                 | <input type="text"/> |
| 3) たんの吸引・鼻腔（5回以上）        | 1  | 2  | 3   | 4  |                                                                                                                 | <input type="text"/> |
| 4) たんの吸引・気管カニューレ内部（5回以上） | 1  | 2  | 3   | 4  |                                                                                                                 | <input type="text"/> |
| 5) 経管栄養・胃ろう・腸ろう（5回以上）    | 1  | 2  | 3   | 4  |                                                                                                                 | <input type="text"/> |
| 6) 経管栄養・経鼻（5回以上）         | 1  | 2  | 3   | 4  |                                                                                                                 | <input type="text"/> |

問2 「基本研修（演習）」を通じ、介護職員がケアの技術を習得するために、どのようなことが課題であると思いますか。

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 1) 救急蘇生               |  |
| 2) たんの吸引<br>口腔        |  |
| 3) たんの吸引<br>鼻腔        |  |
| 4) たんの吸引<br>気管カニューレ内部 |  |
| 5) 経管栄養<br>胃ろう・腸ろう    |  |
| 6) 経管栄養<br>経鼻         |  |

問3 「基本研修（演習）」を受けるにあたって、「基本研修・講義」で加えて欲しい内容はありますか。

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 1) 救急蘇生               |  |
| 2) たんの吸引<br>口腔        |  |
| 3) たんの吸引<br>鼻腔        |  |
| 4) たんの吸引<br>気管カニューレ内部 |  |
| 5) 経管栄養<br>胃ろう・腸ろう    |  |
| 6) 経管栄養<br>経鼻         |  |

問4 「基本研修（演習）」に対するご意見ご要望があればお知らせ下さい。

|  |
|--|
|  |
|--|

ご協力ありがとうございました。

試行事業へのご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にご記入下さい。  
なお、ご記入頂いた内容は、個人名を公表したりすることはありませんので、忌憚のないご意見をお願い致します。

|  |
|--|
|  |
|--|

「基本研修（講義）」に関するアンケート

|           |  |    |  |
|-----------|--|----|--|
| 指導者<br>番号 |  | 氏名 |  |
|-----------|--|----|--|

※指導者番号とは、指導者講習の際の、あなたの受講番号です。

あなたが講義を行った項目について伺います。

問A あなたが行った講義を教えてください。（あなたが行った講義全てに○を）

- 1-1

人間と社会：  
個人の尊厳と自立
- 1-2

人間と社会：  
医療の倫理
- 2-1

保健医療制度とチーム医療：  
保健医療に関する制度
- 2-2

保健医療制度とチーム医療：  
医行為に関係する法律
- 2-3

保健医療制度とチーム医療：  
チーム医療と介護職との連携
- 3-1

安全な療養生活：  
たんの吸引や経管栄養の安全な実施
- 3-2

安全な療養生活：  
救急蘇生法
- 4-1

清潔保持と感染予防：  
感染予防
- 4-2

清潔保持と感染予防：  
職員への感染予防
- 4-3

清潔保持と感染予防：  
療養環境の清潔、消毒法
- 4-4

清潔保持と感染予防：  
滅菌と消毒
- 5-1

健康状態の把握：  
身体・精神の健康
- 5-2

健康状態の把握：  
健康状態を知る項目(バイタルサインなど)
- 5-3

健康状態の把握：  
体温上昇について
- 5-4

健康状態の把握：  
急変状態について
- 6-1

高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」概論：  
呼吸のしくみとはたらき
- 6-2

高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」概論：  
いつもと違う呼吸状態
- 6-3

高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」概論：  
たんの吸引とは
- 6-4

高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」概論：  
人工呼吸器と吸引
- 6-5

高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」概論：  
成人と小児の吸引の違い
- 6-6

高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」概論：  
吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応
- 6-7

高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」概論：  
事前説明（声かけ）と同意、事後の確認
- 6-8

高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」概論：  
呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して)
- 6-9

高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」概論：  
たんの吸引により生じる危険、事後の安全確認
- 6-10

高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」概論：  
急変・事故発生時の対応と事前対策
- 7-1

高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」実施手順解説：  
たんの吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持
- 7-2

高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」実施手順解説：  
吸引の技術と留意点
- 7-3

高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」実施手順解説：  
たんの吸引に伴うケア
- 7-4

高齢者及び障害児・者の「たんの吸引」実施手順解説：  
報告及び記録
- 8-1

高齢者及び障害児・者の「経管栄養」概論：  
消化器系のしくみとはたらき
- 8-2

高齢者及び障害児・者の「経管栄養」概論：  
消化・吸収とよくある消化器の症状
- 8-3

高齢者及び障害児・者の「経管栄養」概論：  
経管栄養法とは
- 8-4

高齢者及び障害児・者の「経管栄養」概論：  
注入する内容に関する知識
- 8-5

高齢者及び障害児・者の「経管栄養」概論：  
経管栄養実施上の留意点
- 8-6

高齢者及び障害児・者の「経管栄養」概論：  
成人と小児の経管栄養の違い
- 8-7

高齢者及び障害児・者の「経管栄養」概論：  
経管栄養に関係する感染と予防
- 8-8

高齢者及び障害児・者の「経管栄養」概論：  
経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応
- 8-9

高齢者及び障害児・者の「経管栄養」概論：  
事前説明（声かけ）と同意、事後の確認
- 8-10

高齢者及び障害児・者の「経管栄養」概論：  
経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認
- 8-11

高齢者及び障害児・者の「経管栄養」概論：  
急変・事故発生時の対応と事前対策
- 9-1

高齢者及び障害児・者の「経管栄養」実施手順解説：  
経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持
- 9-2

高齢者及び障害児・者の「経管栄養」実施手順解説：  
経管栄養の技術と留意点
- 9-3

高齢者及び障害児・者の「経管栄養」実施手順解説：  
経管栄養に必要なケア
- 9-4

高齢者及び障害児・者の「経管栄養」実施手順解説：  
報告及び記録

- 「基本研修（講義）」について  
「基本研修（講義）」に関するアンケートでは、あなたが行った講義についてお伺いしています。

☐ — ☐ の中に、あなたが行った講義番号を入れて、質問にご回答下さい。

問Aの講義ナンバー順にご回答頂く必要はありませんが、あなたが行った講義全てについて回答をお願い致します。

「基本研修（講義）」に関するアンケート

☐ — ☐ P1問Aから、あなたが行った講義ナンバーを1つ選び記入して下さい。以下、このシートでは、その講義についてお伺い致します。

あなたが行った講義について伺います。

問1 上記項目の講義は介護職員が理解できる内容だと思いましたか。（○は1つ）

- 1 理解できる      2 どちらとも言えない      3 理解できない

問1-1. 問1で「2. どちらとも言えない」「3. そう思わない」と回答した方に伺います。  
その理由を具体的に教えてください。

問2 上記項目の講義のテキストは介護職員にとってわかりやすく記述されていましたか。（○は1つ）

- 1 わかりやすい      2 どちらとも言えない      3 わかりにくい

問2-1. 問2で「2. どちらとも言えない」「3. そう思わない」と回答した方に伺います。  
その理由を具体的に教えてください。

問3 上記項目の講義時間は適切だと思いましたか。（○は1つ）

- 1 適切である      2 長い      3 短い

問3-1. 問3で「2. 長い」「3. 短い」と回答した方に伺います。どのくらいが適切だと思いますか。  
その理由を具体的に教えてください。

|             |  |
|-------------|--|
| 適切な研修時間は・・・ |  |
| 分           |  |

問4 上記項目の講義を行うにあたって「指導者講習」はどの程度、役に立ちましたか。（○は1つ）

- 1 役に立った      2 どちらとも言えない      3 役に立たなかった

問4-1. 問4で「2. どちらとも言えない」「3. 役に立たなかった」と回答した方に伺います。  
その理由を具体的に教えてください。

問5 上記項目の講義は、介護職員がたんの吸引等を行うに当たり、どの程度、必要であると思いますか。（○は1つ）

- 1 必ず必要      2 必要      3 どちらかという必要      4 どちらかという不要      5 不要      6 全く不要

問6 上記項目の講義で、改善した方が良い点があればお知らせ下さい。

ご協力ありがとうございます。あなたが行った講義全てについてご回答をお願い致します。

試行事業へのご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にご記入下さい。  
なお、ご記入頂いた内容は、個人名を公表したりすることはありませんので、忌憚のないご意見をお願い致します。

※1 講義につき A4 版 2p の質問紙

(6) 指導者・演習プロセス評価票(指導者評価票)

1 ケアの11ページ目の例

「たんの吸引（口腔内・鼻腔内）」の演習について伺います。

演習において、当該介護職員は、下記業務内容について、どの程度達成できていますか。

※業務内容については、手引きの留意事項・考えられる主なリスクを参照のこと

※最大15回まで実施のこと

|    |                                                           |
|----|-----------------------------------------------------------|
| 評価 | ア、手引きの手順通りに実施できている                                        |
|    | イ、この項目について、手引きの留意事項・考えられる主なリスクに記載されている細目レベルで、手順を抜かしたり間違えた |
|    | ウ、この項目について、抜かした                                           |

|                                          |                                                  |       |     |     |     |     |     |
|------------------------------------------|--------------------------------------------------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 回数                                       |                                                  | 例     | 1回目 | 2回目 | 3回目 | 4回目 | 5回目 |
| 月日                                       |                                                  | 10/5  |     |     |     |     |     |
| 時間                                       |                                                  | 14:00 |     |     |     |     |     |
| 実施準備                                     | 1 医師の指示等の確認を行う                                   | ア     |     |     |     |     |     |
|                                          | 2 手洗いを行う                                         | ア     |     |     |     |     |     |
|                                          | 3 必要物品をそろえ、作動状況等を点検確認する                          | ア     |     |     |     |     |     |
|                                          | 4 必要物品を利用者のもとへ運ぶ                                 | ア     |     |     |     |     |     |
|                                          | 5 利用者に吸引の説明をする                                   | ア     |     |     |     |     |     |
|                                          | 6 吸引の環境・利用者の姿勢を整える                               | ア     |     |     |     |     |     |
|                                          | 7 口腔内・鼻腔内を観察する                                   | ア     |     |     |     |     |     |
|                                          | 8 手袋の着用またはセッシを持つ                                 | ア     |     |     |     |     |     |
|                                          | 9 吸引チューブを清潔に取り出す                                 | ア     |     |     |     |     |     |
|                                          | 10 吸引チューブを清潔に吸引器と連結管で連結する                        | ア     |     |     |     |     |     |
|                                          | 11（浸漬法の場合）吸引チューブ外側を清浄綿等で拭く                       | ア     |     |     |     |     |     |
|                                          | 12 吸引器のスイッチを入れて水を吸い決められた吸引圧になることを確認する            | ア     |     |     |     |     |     |
|                                          | 13 吸引チューブの先端の水をよく切る                              | ア     |     |     |     |     |     |
|                                          | 14 利用者に吸引の開始について声かけをする                           | ア     |     |     |     |     |     |
|                                          | 15 適切な吸引圧で適切な深さまで吸引チューブを挿入する                     | ア     |     |     |     |     |     |
|                                          | 16 適切な吸引時間で分泌物等の貯留物を吸引する                         | ア     |     |     |     |     |     |
|                                          | 17 吸引チューブを静かに抜く                                  | ア     |     |     |     |     |     |
|                                          | 18 吸引チューブの外側を清浄綿等で拭く                             | ア     |     |     |     |     |     |
|                                          | 19 洗浄水を吸引し、吸引チューブ内側の汚れを落とす                       | ア     |     |     |     |     |     |
|                                          | 20 吸引器の電源を切る                                     | ア     |     |     |     |     |     |
|                                          | 21 吸引チューブを連結管から外し保管容器に戻す（または廃棄する）                | ア     |     |     |     |     |     |
|                                          | 22 手袋をはずす（手袋を使用している場合）またはセッシを戻す                  | ア     |     |     |     |     |     |
|                                          | 23 吸引終了時の利用者への声かけ・姿勢を整える                         | ア     |     |     |     |     |     |
|                                          | 24 次回使用時のための物品の確認をする（吸引瓶の状況・不足物品の補充）             | ア     |     |     |     |     |     |
|                                          | 25 手洗いをする                                        | ア     |     |     |     |     |     |
| ケア実施                                     | 26 利用者の吸引前の状態と吸引後の状態変化を観察する                      | イ     |     |     |     |     |     |
|                                          | 27 顔色・呼吸の状態等について観察する                             | ア     |     |     |     |     |     |
|                                          | 28 利用者の全身状態について観察する                              | ア     |     |     |     |     |     |
|                                          | 29（鼻腔の場合）鼻血や口腔内への血液の流れ込みの有無等について観察する             | ア     |     |     |     |     |     |
|                                          | 30 吸引した物の量・性状等について観察する                           | ア     |     |     |     |     |     |
|                                          | 31 吸引後に経鼻経管栄養チューブが口腔内に出てきていないかを確認する（経鼻経管栄養実施者のみ） | ア     |     |     |     |     |     |
|                                          | 32 ケア責任者（看護職員）に報告する                              | イ     |     |     |     |     |     |
|                                          | 33 ヒヤリハット・アクシデントの報告をする（該当する場合のみ）                 | イ     |     |     |     |     |     |
| 片づけ                                      | 34 吸引びんの排液量が70％～80％になる前に排液を捨てる                   | イ     |     |     |     |     |     |
|                                          | 35 使用物品を速やかに後片付けまたは交換する                          | ア     |     |     |     |     |     |
|                                          | 36 実施時刻、吸引した内容物の種類や性状及び量などを記録する                  | ア     |     |     |     |     |     |
| 評価記録                                     | アの回数※                                            | 32    |     |     |     |     |     |
| ※指導内容を具体的に記述して下さい                        |                                                  |       |     |     |     |     |     |
| 手引きの留意事項・考えられる主なリスク等に<br>記載されている細目レベルで記述 |                                                  |       |     |     |     |     |     |

※ケアの種類ごとに項目数は異なる。記入用紙は15回分まで用意。それ以上の回数は用紙をコピーして回答。

■指導における問題点・課題をご記入下さい（自由記述）

■指導上、工夫した点についてご記入下さい（自由記述）

■介護職員が当該ケアを実施することについての意向をご記入下さい（自由記述）



(7) 指導者・演習アンケート(講師用)

※指導者番号とは、指導者講習の際の、あなたの受講番号です。

問1 あなたが担当した演習を教えてください。

- 問2 「基本研修（演習）」を行うに当たって、工夫した点があれば教えてください。

問3 「基本研修（演習）」の設定回数は、適切だと思いましたか。（〇は1つ）

「2. 多い」「3. 少ない」と回答した方は、介護職員がケアの技術を習得するために適切だと思う回数を記入して下さい。

問4 「基本研修（演習）」を通じて、介護職員がケアの技術を習得するために、どのようなことが課題であると思いますか。

問5 「基本研修（演習）」をスムーズに行うために、「基本研修・講義」で加えた方がよい内容はありますか。

問6 「基本研修（演習）」に対するご意見ご要望があればお知らせ下さい。

ご協力ありがとうございました。

[illegible]

(1) 介護職員・演習プロセス評価票(自己評価票)

| <p><b>「たんの吸引（口腔内）」の実地研修について伺います。</b></p> <p>あなたは下記の<b>業務内容</b>について、どの程度達成できているか該当する番号を記入して下さい。</p> <p><b>※業務内容については、手引きの留意事項・考えられる主なリスクを参照のこと</b></p> |                                                                                                                                                                    |                              |                                               |     |     |     |     |     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|-----------------------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 達成度                                                                                                                                                   | <p>ア. 1人で実施し、手引きの手順通りに実施できている</p> <p>イ. 1人で実施しているが、手引きの手順を抜かしたり間違えており、実施後に指導を受けた</p> <p>ウ. 1人で実施しているが、手引きの手順を抜かしただり間違えており、その場で指導を受けた</p> <p>エ. 1人での実施を任せてもらえない</p> |                              |                                               |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       | 回数                                                                                                                                                                 |                              | 例                                             | 1回目 | 2回目 | 3回目 | 4回目 | 5回目 |
|                                                                                                                                                       | 月日                                                                                                                                                                 |                              | 10/5                                          |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       | 時間                                                                                                                                                                 |                              | 14:00                                         |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       | ケア実施対象者（別紙参照）                                                                                                                                                      |                              | 1                                             |     |     |     |     |     |
| 実施準備                                                                                                                                                  | 1                                                                                                                                                                  | 医師の指示等の確認を行う                 | ア                                             |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       | 2                                                                                                                                                                  | 手洗いをを行う                      |                                               |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       | 3                                                                                                                                                                  | 必要物品をそろえ、作動状況等を点検確認する        |                                               |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       | 4                                                                                                                                                                  | 必要物品を利用者のものとへ違ひ              |                                               |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       | 5                                                                                                                                                                  | 利用者に吸引の説明をする                 |                                               |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       | 6                                                                                                                                                                  | 吸引の環境・利用者の姿勢を整える             |                                               |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       | 7                                                                                                                                                                  | 口腔内・鼻腔内を観察する                 |                                               |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       | 8                                                                                                                                                                  | 手袋の替用またはセッシーを持つ              |                                               |     |     |     |     |     |
| ケア実施                                                                                                                                                  | 吸引の実施                                                                                                                                                              | 9                            | 吸引チューブを清潔に取り出す                                |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                    | 10                           | 吸引チューブを清潔に吸引器と連結管で連結する                        |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                    | 11                           | （浸漬法の場合）吸引チューブ外側を洗浄線等で拭く                      |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                    | 12                           | 吸引機のスイッチを入れて水を吸い決められた吸引圧になることを確認する            |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                    | 13                           | 吸引チューブの先端の水をよけ切る                              | ↓   |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                    | 14                           | 利用者に吸引の開始について声かけをする                           | イ   |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                    | 15                           | 適切な吸引圧で適切な深さまで吸引チューブを挿入する                     |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                    | 16                           | 適切な吸引時間で分泌物等の貯留物を吸引する                         |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                    | 17                           | 吸引チューブを静かに抜く                                  | ↓   |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                    | 18                           | 吸引チューブの外側を洗浄線等で拭く                             | ウ   |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                    | 19                           | 洗浄水を吸引し、吸引チューブ内側の汚れを落とす                       | ア   |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                    | 20                           | 吸引機の電源を切る                                     |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                    | 21                           | 吸引チューブを連結管から外し保管容器に戻す（または廃棄する）                |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                    | 22                           | 手袋をはずす（手袋を使用している場合）またはセッシーを戻す                 |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                    | 23                           | 吸引終了時の利用者への声かけ・姿勢を整える                         |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                    | 24                           | 次回使用時のための物品の確認をする（吸引瓶の状況・不足物品の補充）             |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                    | 25                           | 手洗いをする                                        | ↓   |     |     |     |     |
| 結果確認報告                                                                                                                                                | 観察・確認事項                                                                                                                                                            | 26                           | 利用者の吸引前・吸引後の状態と吸引後の状態変化を観察する                  | イ   |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                    | 27                           | 顔色・呼吸の状態等について観察する                             | ア   |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                    | 28                           | 利用者の全身状態について観察する                              |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                    | 29                           | （鼻経管の場合）鼻血や口腔内への血液の流れ込みの有無等について観察する           |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                    | 30                           | 吸引した物の量・性状等について観察する                           |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                    | 31                           | 吸引後に経鼻経管栄養チューブが口腔内に出てきていないかを確認する（経鼻経管栄養実施者のみ） |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                    | 32                           | ケア責任者（看護職員）に報告する                              | イ   |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                    | 33                           | ヒヤリハット、アクシデントの報告をする（該当する場合のみ）                 |     |     |     |     |     |
| 片づけ                                                                                                                                                   | 34                                                                                                                                                                 | 吸引びんの排液量が70%～80%になる前に排液を捨てる  | ↓                                             |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       | 35                                                                                                                                                                 | 使用物品を速やかに後片付けまたは交換する         | ア                                             |     |     |     |     |     |
| 評価記入                                                                                                                                                  | 36                                                                                                                                                                 | 実施時刻、吸引した内容物の種類や性状及び量などを記録する | ↓                                             |     |     |     |     |     |
|                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                    |                              |                                               |     |     |     |     |     |
| ※手引きの手順を抜かしたり、間違えた内容を具体的に記述して下さい                                                                                                                      |                                                                                                                                                                    |                              |                                               |     |     |     |     |     |
| 手引きの留意事項・考えられる主なリスク等に記載されている細目レベルで記述                                                                                                                  |                                                                                                                                                                    |                              |                                               |     |     |     |     |     |

■指導内容・方法に関する意見をご記入下さい（自由記述）

■実際にケアを行う際に不安だった点についてご記入ください。（自由記述）

■ケアを行う上で、特に問題なく実施できた点についてご記入下さい（自由記述）

■介護職員が当該ケアにどのように関わっていくべきか、ご意見をお書きください（自由記述）

## 「実地研修」に関するアンケート

|          |  |    |  |
|----------|--|----|--|
| 受講<br>番号 |  | 氏名 |  |
|----------|--|----|--|

※受講番号とは、基本研修受講の際の、あなたの受講番号です。

### あなたが受けた実地研修について伺います。

問1 介護職員がケアの技術を習得し、指導看護師等と協働でケアを行うために、「実地研修」の設定回数は適切でしたか。  
(○は1つ)  
なお、「2. 多い」「3. 少ない」と回答した方は、介護職員がケアの技術を習得するために適切だと思う回数を記入して下さい。

|                            | 適切 | 多い | 少ない | 不要 | ⇒                                                 | 適切な回数                |
|----------------------------|----|----|-----|----|---------------------------------------------------|----------------------|
| 1) たんの吸引・口腔 (10回以上)        | 1  | 2  | 3   | 4  | いは2<br>回また<br>をは<br>るこ<br>と回<br>答し<br>下<br>さ<br>い | <input type="text"/> |
| 2) たんの吸引・鼻腔 (20回以上)        | 1  | 2  | 3   | 4  |                                                   | <input type="text"/> |
| 3) たんの吸引・気管カニューレ内部 (20回以上) | 1  | 2  | 3   | 4  |                                                   | <input type="text"/> |
| 4) 経管栄養・胃ろう・腸ろう (20回以上)    | 1  | 2  | 3   | 4  |                                                   | <input type="text"/> |
| 5) 経管栄養・経鼻 (20回以上)         | 1  | 2  | 3   | 4  |                                                   | <input type="text"/> |

問2 「実地研修」を通じて、介護職員がケアの技術を習得するために、どのようなことが課題であると思いますか。

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 1) たんの吸引<br>口腔        |  |
| 2) たんの吸引<br>鼻腔        |  |
| 3) たんの吸引<br>気管カニューレ内部 |  |
| 4) 経管栄養<br>胃ろう・腸ろう    |  |
| 5) 経管栄養<br>経鼻         |  |

問3 「実地研修」を受けるにあたって、「基本研修（講義・演習）」で加えて欲しい内容はありますか。

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 1) たんの吸引<br>口腔        |  |
| 2) たんの吸引<br>鼻腔        |  |
| 3) たんの吸引<br>気管カニューレ内部 |  |
| 4) 経管栄養<br>胃ろう・腸ろう    |  |
| 5) 経管栄養<br>経鼻         |  |

問4 「実地研修」で、「ヒヤリハット等及びアクシデント報告様式」に記入する際、指導看護師から記入する様、指示はありましたか。(○は1つ)

- 1** 指示はあった（指示されたもののしか記入していない） → 問4-1.報告様式への指示がない場合で、あなたご自身が  
**2** 指示がある場合と、ない場合があった ヒヤリとしたりハットしたことはありましたか。  
**3** 指示はなかった **1** あった **2** なかった **3** 忘れた

問5 「実地研修」に対するご意見ご要望があればお知らせ下さい。

ご協力ありがとうございました。

試行事業へのご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にご記入下さい。  
なお、ご記入頂いた内容は、個人名を公表したりすることはありませんので、忌憚のないご意見をお願い致します。

### (3) 介護職員・ヒヤリハット・アクシデント報告

## ヒヤリハット・アクシデント報告書（介護職員・指導看護師記入）

※ 指導看護師からの指示があった場合、あるいはご自身がヒヤリとしたことやハッとしたことがあった場合のすべてについてご記入下さい。

|                 |  |             |  |
|-----------------|--|-------------|--|
| 介護職<br>受講番号     |  | 介護職員<br>氏名  |  |
| 実地研修<br>施設名又は居宅 |  | 指導看護師<br>氏名 |  |

[illegible]

|                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 救急救命処置の実施                  | <input type="checkbox"/> なし<br><input type="checkbox"/> あり（具体的な処置： _____ ）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 出来事が発生した背景・要因              | ※なぜ、どのような背景や要因により、出来事が起きましたか。<br><br>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| （当てはまる要因を全て）               | <b>【人的要因】</b><br><input type="checkbox"/> 判断誤り <input type="checkbox"/> 知識誤り <input type="checkbox"/> 確認不十分 <input type="checkbox"/> 観察不十分 <input type="checkbox"/> 知識不足 <input type="checkbox"/> 未熟な技術<br><input type="checkbox"/> 技術間違い <input type="checkbox"/> 寝不足 <input type="checkbox"/> 体調不良 <input type="checkbox"/> 慌てていた <input type="checkbox"/> 緊張していた<br><input type="checkbox"/> 思いこみ <input type="checkbox"/> 忘れた <input type="checkbox"/> その他（ _____ ）<br><br><b>【環境要因】</b><br><input type="checkbox"/> 不十分な照明 <input type="checkbox"/> 業務の中断 <input type="checkbox"/> 緊急時 <input type="checkbox"/> その他（ _____ ）<br><br><b>【管理・システムの要因】</b><br><input type="checkbox"/> 連携（コミュニケーション）の不備 <input type="checkbox"/> 医療材料・医療機器の不具合 <input type="checkbox"/> 多忙<br><input type="checkbox"/> その他（ _____ ） |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 出来事の影響度分類<br>（レベル0～5のうち一つ） | <input type="checkbox"/> 0<br><input type="checkbox"/> 1<br><input type="checkbox"/> 2<br><input type="checkbox"/> 3 a<br><input type="checkbox"/> 3 b<br><input type="checkbox"/> 4 a<br><input type="checkbox"/> 4 b<br><input type="checkbox"/> 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが、利用者には実施されなかった<br>利用者への実害はなかった（何らかの影響を与えた可能性は否定できない）<br>処置や治療は行わなかった（利用者観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査などの必要性は生じた）<br>簡単な処置や治療を要した（消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など）<br>濃厚な処置や治療を要した（バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院、骨折など）<br>永続的な障害や後遺症が残ったが、有意な機能障害は伴わない<br>永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害の問題を伴う<br>レベル4 bをこえる影響を与えた |

介護職員 報告書記入日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

|           |                                        |
|-----------|----------------------------------------|
| 指導看護師の助言等 | 指導看護師の方は以下の①②について具体的に内容を記載して下さい。（②は必須） |
|           | ① 医師又は看護職員が出来事への対応として実施した医療処置等について     |
|           | ② 介護職員へ行った助言・指導内容等について                 |
|           | ③ その他                                  |

指導看護師 報告書記入日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

※A4 版 2p の記録用紙

(4) 指導者・演習プロセス評価票(指導者評価票)

1 ケアの11ページの例

「たんの吸引（口腔内）」の実地研修について伺います。

あなたが指導している介護職員は下記の**業務内容**について、どの程度達成できているか該当する番号を記入して下さい。

※業務内容については、**手引きの留意事項・考えられる主なリスクを参照のこと**

※最大**25回**まで実施のこと

|                                                  |                                                           |                                       |     |     |     |     |     |  |
|--------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|---------------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|--|
| 達成度                                              | ア. 1人で実施し、手引きの手順通りに実施できている                                |                                       |     |     |     |     |     |  |
|                                                  | イ. 1人で実施しているが、手引きの手順を抜かしたり間違えており、実施後に指導した                 |                                       |     |     |     |     |     |  |
|                                                  | ウ. 1人で実施しているが、手引きの手順を抜かしたり間違えており、その場で指導した（その場では見過ごせないレベル） |                                       |     |     |     |     |     |  |
|                                                  | エ. 1人での実施を任せられるレベルにはない                                    |                                       |     |     |     |     |     |  |
|                                                  | 回数                                                        | 例                                     | 1回目 | 2回目 | 3回目 | 4回目 | 5回目 |  |
|                                                  | 月日                                                        | 10/5                                  |     |     |     |     |     |  |
|                                                  | 時間                                                        | 14:00                                 |     |     |     |     |     |  |
|                                                  | ケア実施対象者（別紙参照）                                             | 1                                     |     |     |     |     |     |  |
| 実施準備                                             | 1 医師の指示等の確認を行う                                            | ア                                     |     |     |     |     |     |  |
|                                                  | 2 手洗いを行う                                                  |                                       |     |     |     |     |     |  |
| ケア実施                                             | 3 必要物品をそろえ、作動状況等を点検確認する                                   |                                       |     |     |     |     |     |  |
|                                                  | 4 必要物品を利用者のもとへ運ぶ                                          |                                       |     |     |     |     |     |  |
|                                                  | 5 利用者に吸引の説明をする                                            |                                       |     |     |     |     |     |  |
|                                                  | 6 吸引の環境・利用者の姿勢を整える                                        |                                       |     |     |     |     |     |  |
|                                                  | 7 口腔内・鼻腔内を観察する                                            |                                       |     |     |     |     |     |  |
|                                                  | 8 手袋の着用またはセッシンを持つ                                         |                                       |     |     |     |     |     |  |
|                                                  | 吸引の実施                                                     | 9 吸引チューブを清潔に取り出す                      |     |     |     |     |     |  |
|                                                  |                                                           | 10 吸引チューブを清潔に吸引器と連結管で連結する             |     |     |     |     |     |  |
|                                                  |                                                           | 11（浸漬法の場合）吸引チューブ外側を清浄綿等で拭く            |     |     |     |     |     |  |
|                                                  |                                                           | 12 吸引器のスイッチを入れて水を吸い決められた吸引圧になることを確認する |     |     |     |     |     |  |
|                                                  |                                                           | 13 吸引チューブの先端の水をよく切る                   | ↓   |     |     |     |     |  |
|                                                  |                                                           | 14 利用者に吸引の開始について声かけをする                | イ   |     |     |     |     |  |
|                                                  |                                                           | 15 適切な吸引圧で適切な深さまで吸引チューブを挿入する          |     |     |     |     |     |  |
|                                                  |                                                           | 16 適切な吸引時間で分泌物等の貯留物を吸引する              |     |     |     |     |     |  |
|                                                  |                                                           | 17 吸引チューブを静かに抜く                       | ↓   |     |     |     |     |  |
|                                                  |                                                           | 18 吸引チューブの外側を清浄綿等で拭く                  | ウ   |     |     |     |     |  |
|                                                  |                                                           | 19 洗浄水を吸引し、吸引チューブ内側の汚れを落とす            | ア   |     |     |     |     |  |
|                                                  |                                                           | 20 吸引器の電源を切る                          |     |     |     |     |     |  |
|                                                  |                                                           | 21 吸引チューブを連結管から外し保管容器に戻す（または廃棄する）     |     |     |     |     |     |  |
|                                                  |                                                           | 22 手袋をはずす（手袋を使用している場合）またはセッシンを戻す      |     |     |     |     |     |  |
|                                                  |                                                           | 23 吸引終了時の利用者への声かけ・姿勢を整える              |     |     |     |     |     |  |
|                                                  |                                                           | 24 次回使用時のための物品の確認をする（吸引瓶の状況・不足物品の補充）  |     |     |     |     |     |  |
|                                                  |                                                           | 25 手洗いをする                             | ↓   |     |     |     |     |  |
|                                                  | 結果確認報告                                                    | 26 利用者の吸引前の状態と吸引後の状態変化を観察する           | イ   |     |     |     |     |  |
|                                                  |                                                           | 27 顔色・呼吸の状態等について観察する                  | ア   |     |     |     |     |  |
| 28 利用者の全身状態について観察する                              |                                                           |                                       |     |     |     |     |     |  |
| 29（鼻腔の場合）鼻血や口腔内への血液の流れ込みの有無等について観察する             |                                                           |                                       |     |     |     |     |     |  |
| 30 吸引した物の量・性状等について観察する                           |                                                           |                                       |     |     |     |     |     |  |
| 31 吸引後に経鼻経管栄養チューブが口腔内に出てきていないかを確認する（経鼻経管栄養実施者のみ） |                                                           |                                       |     |     |     |     |     |  |
| 32 ケア責任者（看護職員）に報告する                              |                                                           | イ                                     |     |     |     |     |     |  |
| 33 ヒヤリハット・アクシデントの報告をする（該当する場合のみ）                 |                                                           | ↓                                     |     |     |     |     |     |  |
| 片づけ                                              | 34 吸引びんの排液量が70%～80%になる前に排液を捨てる                            | ↓                                     |     |     |     |     |     |  |
|                                                  | 35 使用物品を速やかに後片付けまたは交換する                                   | ア                                     |     |     |     |     |     |  |
| 詳細記録                                             | 36 実施時刻、吸引した内容物の種類や性状及び量などを記録する                           | ↓                                     |     |     |     |     |     |  |
|                                                  | アの個数※                                                     | 27                                    |     |     |     |     |     |  |
|                                                  | ※手引きの手順を抜かしたり、間違えた内容を具体的に記述して下さい                          |                                       |     |     |     |     |     |  |
|                                                  | 手引きの留意事項・考えられる主なリスク等に記載されている細目レベルで記述                      |                                       |     |     |     |     |     |  |

※ケアの種類ごとに項目数は異なる。記入用紙は25回分まで用意。それ以上の回数は用紙をコピーして回答。

■指導における問題点・課題をご記入下さい（自由記述）

■指導上、工夫した点についてご記入下さい（自由記述）

■介護職員が当該ケアを実施することについての意向をご記入下さい（自由記述）

## 「実地研修」に関するアンケート

|           |  |    |  |
|-----------|--|----|--|
| 指導者<br>番号 |  | 氏名 |  |
|-----------|--|----|--|

※指導者番号とは、指導者講習受講の際の、あなたの受講番号です。

### あなたが行った実地研修について伺います。

問1 あなたが担当した「実地研修」を教えてください。

- |                   |                |            |
|-------------------|----------------|------------|
| 1 救急蘇生            | 2 たんの吸引・口腔     | 3 たんの吸引・鼻腔 |
| 4 たんの吸引・気管カニューレ内部 | 5 経管栄養・胃ろう・腸ろう | 6 経管栄養・経鼻  |

問2 「実地研修」を行うに当たって、工夫した点があれば教えてください。

|  |
|--|
|  |
|--|

問3 「実地研修」の設定回数は、適切だと思いましたか。(○は1つ)  
「2. 多い」「3. 少ない」と回答した方は、介護職員がケアの技術を得得するために適切だと思う回数を記入して下さい。

|                            | 適切 | 多い | 少ない | 不要 | ⇒                                             | 適切な回数                |
|----------------------------|----|----|-----|----|-----------------------------------------------|----------------------|
| 1) たんの吸引・口腔 (10回以上)        | 1  | 2  | 3   | 4  | 下方2<br>さいは<br>い回<br>数は<br>をう<br>と回<br>答し<br>て | <input type="text"/> |
| 2) たんの吸引・鼻腔 (20回以上)        | 1  | 2  | 3   | 4  |                                               | <input type="text"/> |
| 3) たんの吸引・気管カニューレ内部 (20回以上) | 1  | 2  | 3   | 4  |                                               | <input type="text"/> |
| 4) 経管栄養・胃ろう・腸ろう (20回以上)    | 1  | 2  | 3   | 4  |                                               | <input type="text"/> |
| 5) 経管栄養・経鼻 (20回以上)         | 1  | 2  | 3   | 4  |                                               | <input type="text"/> |

問4 「実地研修」を通じて、介護職員がケアの技術を得得するために、どのようなことが課題であると思いますか。

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 1) たんの吸引<br>口腔        |  |
| 2) たんの吸引<br>鼻腔        |  |
| 3) たんの吸引<br>気管カニューレ内部 |  |
| 4) 経管栄養<br>胃ろう・腸ろう    |  |
| 5) 経管栄養<br>経鼻         |  |

問5 「実地研修」をスムーズに行うために、「基本研修(講義・演習)」で加えた方がよい内容はありますか。

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 1) たんの吸引<br>口腔        |  |
| 2) たんの吸引<br>鼻腔        |  |
| 3) たんの吸引<br>気管カニューレ内部 |  |
| 4) 経管栄養<br>胃ろう・腸ろう    |  |
| 5) 経管栄養<br>経鼻         |  |

問6 「実地研修」に対するご意見ご要望があればお知らせ下さい。

|  |
|--|
|  |
|--|

ご協力ありがとうございました。

試行事業へのご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にご記入下さい。  
なお、ご記入頂いた内容は、個人名を公表したりすることはありませんので、忌憚のないご意見をお願い致します。

|  |
|--|
|  |
|--|





平成 22 年度 老人保健事業推進費等補助金  
老人保健健康増進等事業

介護職員によるたんの吸引等の試行事業に関する  
調査研究事業

中間報告書

株式会社日本能率協会総合研究所

平成 23 年 3 月

